



0054848000

0054848-000

388.224-Ta164g

原語による台湾高砂族伝説集

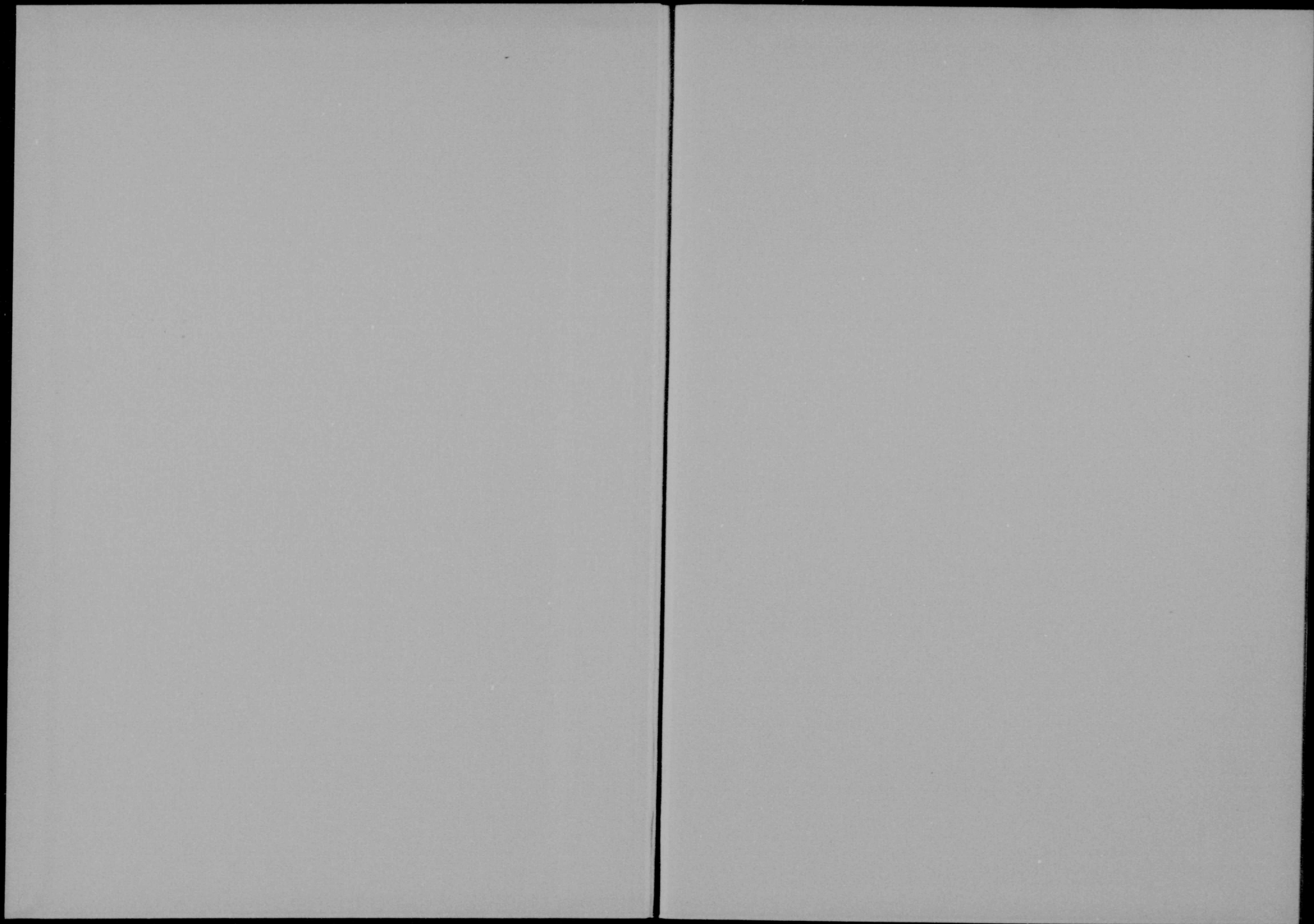
台北帝国大学言語学研究室・編

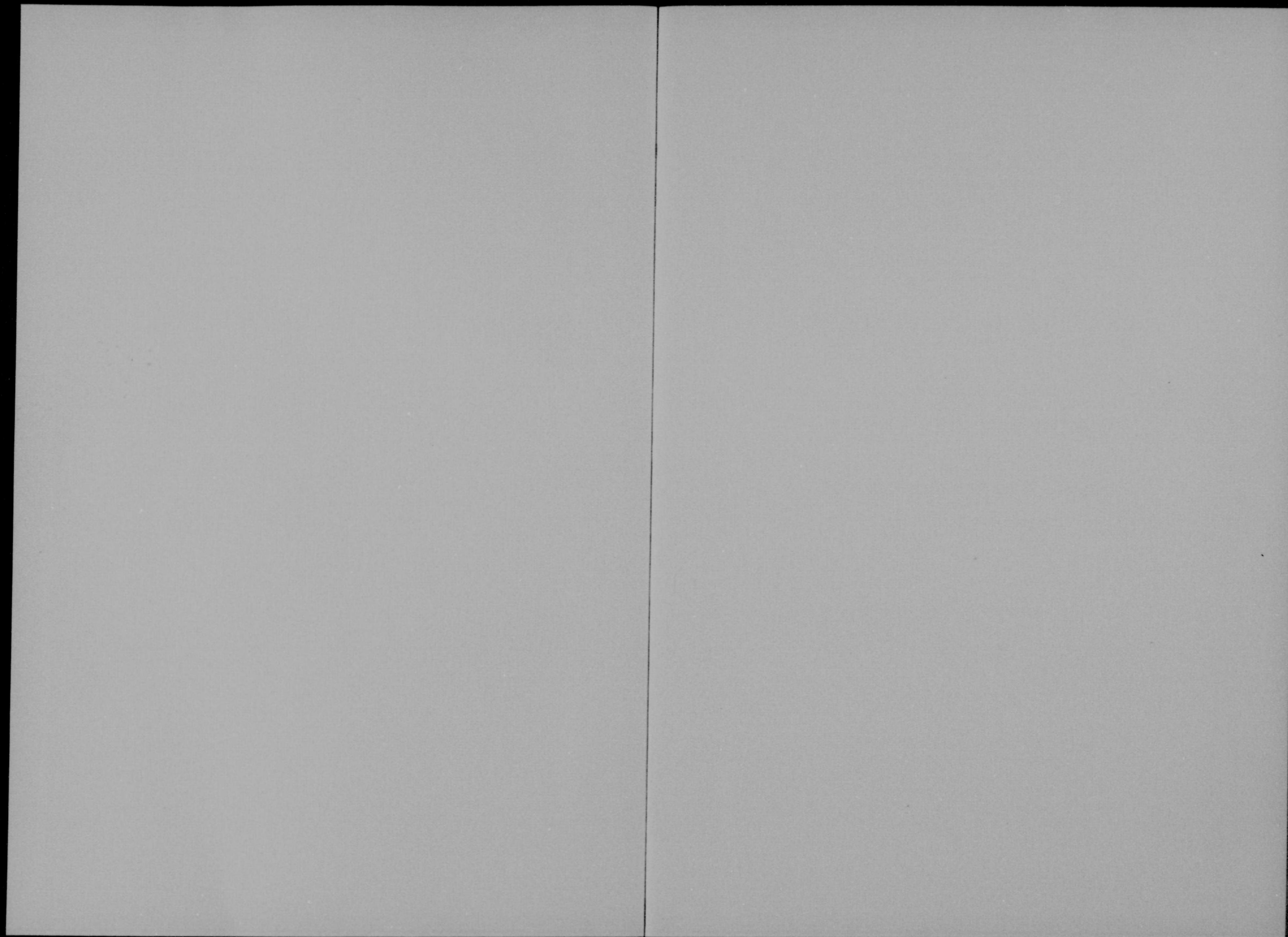
刀江書院

1935

AID

388.224
Ta164g
(E)





4797

上山元臺灣總督記念事業
UNDER THE AUSPICES OF KAMIYAMA FOUNDATION

原語による
臺灣高砂族傳説集

THE
MYTHS AND TRADITIONS
OF THE
FORMOSAN NATIVE TRIBES
(TEXTS AND NOTES)

— (•) —

臺北帝國大學
言語學研究室調查
INSTITUTE OF LINGUISTICS
TAIHOKU IMPERIAL UNIVERSITY

昭和十年
1935

38824
Ta164g



33982

388.224 Ta164g

序

輓近、世界の文運の進展に伴ひ、天涯地角、殆ど學者の闡明に洩るるもの無からむに至り、未開種族の研究の如きも、着々として其の成果の發表を見るに及べり。雖も、獨り我が臺灣の原住民族たる高砂族に關しては、其の棲息地帯、多くは峻嶺重峰の間にして、常に往還の便を缺くのみならず、又往々にして危険を作ひ、爲めに十分なる調査の資料を得ること難く、隨て從來未だ其の正確なる究明を遂げ得たるもの無きは、誠に學界の恨事とせる所なり。按ふに、高砂族は、言語あれども文字を有せず、傳説存すれども唯口誦に止まり、實に人類の原始生活を今日に營めるものなりとす。方今 皇恩邊陲に及び、化育の實大に擧がり、獵首の風既に廢れて、耕種の法廣く行はる。此の如くにして、改風易俗、月と共に新に就き、年と共に面目を更め、殆ど舊態を存せざるに至らん。今にして精到なる調査考究を試むるにあらずんば、千載の悔を學界に貽すなきを保せざるなり。

上山元臺灣總督學を好み治を勵み、其の職を退くに臨み、官民金を醜して、惜別記念の資となさむに至るに際し、擧げて之を臺北帝國大學に寄せ、囑するに高砂族の言語、傳説、土俗、人種等の調査考究を以てせらる。是に於て乎、本學は、小川尙義教授をして、主として言語の方面を擔當せしめ、大阪外國語學校教授淺井惠倫氏に、其の一部の分擔を依囑し、移川子之藏教授をして、主として土俗の方面を擔當せしめ、宮

本延人助手、囑託馬淵東一氏をして、分擔補助をなさしめ以て其の究査を進めたり。

爾來四星霜にして、漸く成稿を見たり。稿を分つて二部とす。一は高砂族の傳説を原語のまゝに表記して、譯文、註解、語法、概説を加へたるもの、名づけて「原語による臺灣高砂族傳説集」といふ。一は高砂族の系統所屬に關するものにして、名づけて「臺灣高砂族系統所屬の研究」といふ。共に臺灣原住民族たる高砂族に關する獨創的究明にして、世界の文運に寄與すること少からず、誠に上山總督の期待に副ふべきを疑はず。乃ち一括して之を元總督に報告し、更に其の認許を得て、之を學界に頒つと云爾。

昭和十年二月

臺北帝國大學總長 幣 原 坦

凡 例

1. 本書は臺灣に於ける主なる高砂族の傳説を、各々其の固有の言語を用ゐて之を記録し、其の言語を解説せるものなり。
1. 本書は言語の調査を主とし、傳説は得るに従つて之を蒐録したるを以て、傳説集としては組織的ならざるは止むを得ざる所なり。
1. 記録の文字は主として萬國發音記號を用ゐたり、但し a と a とは之を區別せず、又屢々必要に應じて特に製定したるものなきにあらず。其の場合の發音に關しては、各々語法概説の條に説明を施せり。
1. 高砂族の種族名、及び南洋インドネシアン語は凡て一般使用の文字を用ゐたり。
1. 未聞人の言語を記録するは容易の業にあらず、本書は只聞くがまゝに之を記録したるを以て、記音の方法適當ならざるもの少からざるべし。大方の是正を待つ。
1. 語法概説は現在知られたる語法の材料を列記するに止めたり。餘は他日の研究に譲る。
1. 概説、註解等に於て體裁を異にするものなきにあざれとも、改正統一する餘裕なきを以て已むを得ず其のまゝ出版することとせり。
1. 總説其他に於て用ゐたる略語、及び符號下の如し。

Atay. Atayal	Paiw. Paiwan
Bis. Bisaya (Philippine)	Puy. Puyuma
Bun. Bunun	Sais. Saisiyat
IN. Indonesian	Seed. Seedeq
Mal. Malay	Tag. Tagalog (Philippine)
1. 本書の編纂は、大阪外國語學校教授淺井惠倫氏と筆者と之を分擔せり。而してその範圍は、セデック、ブスン、ツォネ、カナカナブ、サアロア、下三社(ルカイの一部)及びヤミに關するものは淺井氏之を擔當し、アタヤル、サイシャット、バイソソ、ブユマ、ルカイ(大南社、タラマカウ社)アミに關するもの、及び總説は筆者之を擔當せり。
1. 本書の發行に關して、臺灣總督府、並に刀江書院に負ふ所多きは感謝する所なり。

臺北帝國大學言語學研究室に於て

昭和十年二月

教授 小 川 尙 義

目 次

<p style="text-align: center;">臺灣高砂族分布圖</p> <p>總 説…………… 1</p> <p>I. アタヤル語語法概説及び本文 ……19</p> <p>アタヤル語語法概説……………21</p> <p>1. 大勇社…………… 34</p> <p>2. タコナン社……………74</p> <p>II. サイシャット語語法概説及び本文 ……107</p> <p>サイシャット語語法概説 ……109</p> <p>1. 大隘社 ……115</p> <p>III. バイワン語語法概説及び本文 …… 129</p> <p>バイワン語語法概説 ……131</p> <p>1. カチライ社 ……141</p> <p>2. 内 文 社 ……190</p> <p>3. ヲキヲキ社 ……209</p> <p>4. クナナウ社 ……224</p> <p>5. 大島萬社 ……244</p> <p>6. 大麻里社 ……250</p> <p>7. 内 社 ……255</p> <p>8. カビヤン社 ……268</p> <p>9. 下バイワン社 ……273</p> <p>10. トクアン社 ……280</p> <p>IV. ブユマ語語法概説及び本文 ……297</p> <p>ブユマ語語法概説 ……299</p> <p>1. 卑南社 ……308</p> <p>2. 知本社 ……323</p> <p>V. ルカイ語語法概説及び本文 ……329</p> <p>A. ルカイ語語法概説 ……331</p> <p>1. 大南社 ……339</p> <p>2. タラマカウ社 ……359</p> <p>B. 下三社語語法概説 ……364</p> <p>1. マガ方言 ……370</p> <p>2. トナ方言 ……380</p> <p>3. マンタウラン方言 ……390</p>	<p>VI. アミ語語法概説及び本文 ……395</p> <p>アミ語語法概説 ……397</p> <p>1. 奇密社 ……405</p> <p>2. レンガツァイ社 ……478</p> <p>3. 大巴壠社 ……491</p> <p>4. 荳蘭社 ……532</p> <p>5. 馬蘭社 ……544</p> <p>VII. セデック語語法概説及び本文 ……557</p> <p>セデック語語法概説 ……559</p> <p>1. タロロ方言 ……565</p> <p>2. 壽社方言 ……576</p> <p>VIII. ブスン語語法概説及び本文 ……583</p> <p>ブスン語語法概説 ……585</p> <p>1. 中部方言 ……591</p> <p>1. 轉蕃(カトグラン社) ……591</p> <p>2. 丹蕃(丹大社) ……606</p> <p>3. 轉蕃(人倫社) ……633</p> <p>2. 北部方言 ……637</p> <p>1. ト社蕃(タマロワン社) ……637</p> <p>3. 南部方言 ……648</p> <p>1. 郡蕃(イバ社) ……648</p> <p>2. 郡蕃(郡大社) ……667</p> <p>IX. ツェウ語語法概説及び本文 ……669</p> <p>ツェウ語語法概説 ……671</p> <p>1. スフト方言(ヤマカバン社) ……679</p> <p>2. 阿里山方言(トフヤ社、タバン社) ……685</p> <p>X. サアロア語語法概説及び本文 ……693</p> <p>サアロア語語法概説 ……695</p> <p>XI. カナカナブ語語法概説及び本文 ……721</p> <p>カナカナブ語語法概説 ……723</p> <p>XII. ヤミ語語法概説及び本文 ……741</p> <p>ヤミ語語法概説 ……743</p> <p style="text-align: center;">單 語 表</p>
--	--

例 凡

----- 州 廳 境 界

----- 蕃 地 境 界

- / Atayal
- \ Seedeq
- \ Saisiyat
- Bunun
- | Tsou

臺灣高砂族語言分布圖

例 凡

--- 州界
 --- 廳界
 --- 地界

- | | |
|------------|---|
| Atayal | ● |
| Seedeq | ▼ |
| Saisiyat | ● |
| Bunun | ▼ |
| Tsou | ● |
| Kanakanabu | ▼ |
| Saaroa | ● |
| Rukai | ▼ |
| Paiwan | ● |
| Puyuma | ▼ |
| Ami | ● |
| Yami | ▼ |
| Kavalan | ● |
| Pazeh | ▼ |
| Sao | ● |
| Ketagalan | ▼ |
| Taokas | ○ |
| Papora | △ |
| Babuza | ▽ |
| Hoanya | △ |
| Siraya | △ |



琉球群島
 琉球群島

臺灣高砂族語言分布圖

例 凡

---	州界
---	縣界
▬	Atayal
▬	Seedeq
▬	Saisiyat
▬	Bunun
▬	Tsou
▬	Kanakanabu
▬	Saaroa
▬	Rukai
▬	Paiwan
▬	Puyuma
▬	Ami
▬	Yami
●	Kavalan
●	Pazeh
●	Sao
▽	Ketagalan
○	Taokas
△	Papora
▽	Babuza
△	Hoanya
△	Siraya



澎湖
宜蘭

澎湖
宜蘭

總 說

總 說

I 蕃語の種類

蕃語は漢人の渡來以前より臺灣に居住せる高砂族の言語なり。此等高砂族は普通、生蕃と熟蕃とに區別せらるれども、言語の上より之を見る時は此の如き區別をなす必要あることなし。若し之を區別するとせば、(1)現在固有言語として行はるゝもの、(2)或程度に於て固有言語として行はるゝもの、(3)固有言語として行はれざるものゝ三種に區別するを適當とす。本書に蒐録せる蕃語は此の内(1)に屬するものなり。

I. 固有言語として行はるゝもの、其の分布等は概説の條に述ぶ。

1. アタヤル (Atayal, 精確には atajal, 又は atajal), 又略して タイヤル (Taiyal) ともいふ。
2. セーデック (Seedeq, 精確には se²edeq), 又 Sadzeq ともいふ。アタヤルの方言と見るを得べし。
3. サイシヤット (Saisiyat), 又地方により サイシラット (Saisirat 精確には saisirat), 或は略して サイセツ (Saiset) ともいふ。
4. ブヌン (Bunun, 精確には bunun)。
5. ツオウ (Tsou)。
6. カナカナブ (Kanakanabu), 又單に カナブ (Kanabu 簡仔霧) ともいふ。ツオウの方言と見るを得べし。
7. サアロア (Saaroa, 精確には la²arooa), 普通四社蕃といふ。ツオウの方言と見るを得べし。
8. ルカイ (Rukai, 精確には dukai). 下三社及び大南社の語は其の方言なり。總稱なきを以つて暫く ルカイ と名づく。
9. パイワン (Paiwan)。
10. プユマ (Puyuma). プユマ は元來卑南社のみを表すものなれども、卑南八社蕃全體に對する總稱なきを以て、暫く從來の名稱による。

11. アミ (Ami). 自稱は Pajtsah なれども、暫く従來の名稱による。
 12. ヤミ (Yami)。
- II. 或程度に於て固有の言語として行はるゝもの。即ち、普通は臺灣語を使用すれども、家庭内に於て或程度まで使用せらるゝもの。
1. カバラン (Kavalan). 宜蘭の平地、及び花蓮港廳の平地に行はる。
 2. パゼッへ (Pazeh). 新竹州苗栗郡鯉魚潭庄、臺中州豊原郡大社庄、及び新高郡埔里等に行はる。
 3. サオ (Sao, 精確には Cao). 臺中州の日月潭附近に行はる。
- III. 固有の言語として行はれざるもの、又稀に古老の記憶に存する程度のもの。
1. ケタガラン (Ketagalan). 以前、臺北、基隆、淡水、桃園方面、及び宜蘭の一部に行はれたるものなり。
 2. タオカス (Taokas). 以前、新竹、苗栗、竹南、大甲等の方面に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。
 3. パボラ (Papura). 以前、沙轆、大肚方面に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は(2)のタオカスと(4)のバブザとの混合語ならん。
 4. バブザ (Babuza, 精確には babuza). 以前、彰化、社頭、西螺等、即ち大肚溪より濁水溪以南に至る間に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は蘭人の ファボラング (Favorang) に該當す。
 5. ホアニヤ (Hoanya). 以前、南投以南、嘉義の南部に至る間に行はれたるものにして、此の語を用ゐたる種族は一部分埔里に移住せり。此の語は總稱なきを以て暫く諸羅山社(嘉義)、及び打貓社(民雄)の自稱種族名を用ひたり。
 6. シラヤ (Siraya). 以前、大目降(新化)、新港(新市)、麻豆、蕭壠等、臺南附近の地方に行はれるものにして、蘭人の シダミア (Sideia) に該當す。尙ほ此の他、鳳山、屏東方面に行はれたる マカタオ (Makatao) 語、及び臺南の東北、礁吧啤(玉里)附近に行はれたる四社熟蕃 (Taivoan) 語は、多少方言的の差異あれども、此のシラヤに包含することを得べし。此の語を用ゐたる種族は現在多くは山地に近き方面に移住し、一部は臺東方面に移住せり。

II 蕃語とインドネシアン語

従來、蕃語とインドネシアン語とを比較せる記述は少からずと雖も、多くは單語の比較に止まり、語法の比較をなしたるものは極めて少し。Van der Vlis は *Formosaansche Woordenlijst volgen een Utrechtsche Handschrift (Verhandelingen van het Genootschap van Kunsten en Wetenschappen, 18 Deel, 1842)* に於て多少語法の比較を爲したりと雖も、根本的に語法の見地より之が比較を爲したるものは實に H. C. von der Gabelentz なりとす。氏は *Ueber die Formosanische Sprache und ihre Stellung in dem malaiischen Sprachstamm (Zeitschrift der deutschen morgenländischen Gesellschaft, XIII, 1859)* に於て ファボラング (バブザ) 語を フィリッピン の タガログ、ピサヤ、パンパンガ 語と比較し、語法の組織に於て其の間著しき類似あることを指摘せり。又 フィリッピン 大學名譽教授 Otto Scheerer 氏は昭和五年に於て角板山其他にて アタヤル の傳説を蒐集し、其本文に現はれたる單語、及び語法に關して有益なる説明を施したり (*Sagen der Atayalen auf Formosa: Zeitschrift für Eingeborenen Sprachen, XXII, Heft 2. 3, 1932*)。

言語の比較は音韻、單語、及び語法の方面より之を觀察するを要す。今左に蕃語とインドネシアン語に關し、此等の點に就きて簡短なる比較を爲すべし。

A. 音韻及び單語

下に掲げたる表は蕃語をインドネシアンの本來の語と思はるゝものと比較したるものなり。

	p ⁽¹⁾		b ⁽¹⁾		m ⁽¹⁾	
	四	七	米	月	五	父
Atayal	spajats	ma-pito	βowax	βija-tsiŋ	jima-gal	j-a/ʔa
S edeq	seppat	pitto	beras	—	[ima	t-ama
Saisiyat	spat	—	βowai	—	—	j-ama
Bunun	pe:t	pitto	kin-bjas	βuwan	himma	t-ama
T:ou	suptu	pitu	fujesa	feʔohu	[imɔ	amɔ
Kanakanabu	sopata	pitu	βura	βuwanu	[ima	ts-uma
Saaroa	pe:tu	k-pittu	ʔuβarau	βuraʔu	k-[ima	ʔamaʔa
Rukai (下三社)	patu	pito	boesu	—	[ima	m-ama
Rukai (大南社)	soʔati	ʔito	buraʔi	—	[ima	t-ama
Paiwan	spac	picu	vatt	—	[ima	k-ama
Fuyuma	pat	pito	biras	—	[ima	t-im-ama
Ami	spat	pito	viʔats, fiʔats ⁽²⁾	vo[ʔa], fo[ʔa] ⁽²⁾	[ima	w-ama
Yami	apat ³⁾	pitu ³⁾	—	βugan ³⁾	ʔimaʔ	amaʔ
Indonesian	epat ⁽²⁾	pitu ⁽²⁾	bēr,as ⁽²⁾	bulan ⁽²⁾	lima ⁽²⁾	ama ⁽²⁾

(註) (1) インドネシアンの本來の音次頁以下之に準ず。
 (2) インドネシアンの本來の語文字は普通のものによる、次頁以下之に準ず。
 (3) 馬蘭社方言。

	t ₁ (1)			t ₂ (1)		
	七	織	四	日	人	鏡
Atayal	ma-pito	t-əm-inun	spajats	ma-masa (5)	sqo-leq	s-əm-aqeis
Seedeq	pitto	t-um-inun	šepat	—	se'e-diŋ	s-um-a'is
Saisiyat	—	t-um-unun	špat	masa	—	s-um-a'is
Bunun	pitto	tinnun	pa:t	matta	—	ma-taqqaiš
Tsou	pitu	—	suptu	mtsɔ:	tsou	t-m-e'esi
Kanakanabu	pitu	t-um-atiinu	sopata	—	tsau	t-um-a-ta'is
Saaroa	k-pittu	—	pa:tu	—	tsu-tsu'ɔ	t-um-a-ta'is
Rukai (下三社)	pito	—	pate	matsa	tsuao	—
Rukai (大南社)	ʔito	oa-tinoni	so'ati	matsa	—	oa-tsa'is
Paiwan	picu, piɕu (2)	{c-im-inun, t-im-inun (2)}	spac, spaɕ (2)	matsa	tsau-tsau	ts-im-aqeis
Puyuma	pito	t-im-inon	pat	maʔa	[ao	[t-im-a'is
Ami	pito	mi-i:ino'on	spat	mata	—	mi-ta'is
Yami	pitɕ?	t-um-inun ⁸	apat ⁸	mata ⁸	tau ⁸	—
Indonesian	pitu	t-um-ənun	épat	mata	tau	t-um-ahi

	d ₁ (1)		d ₂ (1)		n ₁ (1)	
	雨	路	二	山手 (7)	母	食
Atayal	qowal-ax	ra:n-eq (5)	rusa, ruša	raja	ina (6)	maŋ-eq
Seedeq	qu:ɬuh	—	daha	daja	—	m-kan
Saisiyat	a'ceral	ra ^h -an	roša	raja	ina	—
Bunun	qoʔan	ɬaan	ɬuša	—	t-ina	ma-un
Tsou	tš-um-ojehu (4)	tšejonu	[usɔ, juɔ (6)	—	ino	ɬonu
Kanakanabu	utsanu	tsa:nu	tsu:sa	—	tš-ina	k-um-a-kaunu
Saaroa	usaʔu	sala'pa	suuwa	—	ʔina'pa	umau
Rukai (下三社)	udalu	da-daʔanu	ɬusa	ɬaza	ti-t-ina	o-kanu
Rukai (大南社)	oda'i	ka-daʔan-ani	ɬusa	ɬaɔa	t-ina	oa-kani
Paiwan	qoʔal, qoʔal (2)	ʔaʔan, ɬaʔan (2)	ɬusa	zaja	k-ina	k-im-an
Puyuma	udal	daʔan	ɬoa	ɬaja	ta-ina	mi-ʔkan
Ami	oraʔ	[aʔan	tosa	—	w-ina	k-im-a'p
Yami	—	[a-ʔagan ⁸	ɬuwa ⁸	—	ina ⁸	k-um-an ⁸
Indonesian	hudan	dalan	dua	daya	ina	k-um-an

(註) (1) t₁, t₂, d₁, d₂, n₁, n₂ はインドネシアに於て普通區別せられざれども蕃語に於ては規則的に區別せらる。蓋し本来區別ありたるものならん。(2) トクワン社方言。(3) 眼珠の意。(4) 久雨の意。(5) 汝水蕃方言。(6) タツパン社方言。(7) 蕃社の位置により西又は東の意となる。(8) 子の妻の意。

	n ₂ (1)			
	子	水	月	鱈
Atayal	ala-gei	leʔuŋ (2)	βija-tšij	tola-gei
Seedeq	la-ɕe	ɬuɬuŋ (2)	—	—
Saisiyat	—	ralum	—	tola
Bunun	—	ɬanum	ɬuwan	—
Tsou	o'ko	tsuhumu	fefohu	—
Kanakanabu	—	tsanumu	buwanu	—
Saaroa	—	saʔumu	βuraʔu	—
Rukai (下三社)	v-ala:ku	—	—	tula
Rukai (大南社)	l-alaki	—	—	tola
Paiwan	alak	zalum	—	cula
Puyuma	w-alak	zanum (3)	—	tu'a
Ami	—	nanum	voʔaʔ, voʔad (4)	toʔa, toda (4)
Yami	anak ⁸	[anum ⁸	βugan ⁸	tuna ⁸
Indonesian	anak	danum	bulan	tuna

	k			ŋ		
	虱	肘	木	松	鱈	蟹
Atayal	—	he:ko	kahu-ŋeq	hajun	jiŋ-li	ka-kagaŋ
Seedeq	—	heko-ʔ	kahu-ŋi	haʔon	—	ka-kaʔaŋ
Saisiyat	koso	htko	kahcei	ha ^h uŋ	ŋa ^h au	ka ^h aŋ
Bunun	koto	siko, tsiko (6)	—	saɕŋ	—	ka-kaʔaŋ
Tsou	tšuu	—	evi	seoŋu	—	jogo
Kanakanabu	kutsu	—	kaʔu	(h)ʔaʔu	—	—
Saaroa	kutsu'ɔ	—	kijo'ɔ	(h)ʔaʔu	—	—
Rukai (下三社)	ktso	—	—	saʔuŋu	—	—
Rukai (大南社)	kotso	piko	—	haligi	aʔaʔigi	—
Paiwan	kutsu, ʔutsu (5)	piko, pi'ɔ (5)	kasiu, ʔasiu (5)	taʔiŋ	[a-ʔaŋu	ga:ŋ
Puyuma	ktco	siko	kau	—	ŋa-ŋaʔao	garag
Ami	koʔo	tsiko	kasui (7)	tsaʔiŋ	[a-ʔaŋao	kaʔaŋ
Yami	koto ⁸	—	kaju ⁸	—	—	kaʔaŋ
Indonesian	kutu	siku	kayu	saleng (7)	langau	kar,ang (7)

(註) (1) 6頁註(1)を見よ。(2) 川の意。(3) 知本社方言。(4) 宜蘭社方言。(5) 内文社方言。(6) カツパン方言。(7) 餅の意。

	q ⁽¹⁾		s		
	南	藤	乳	一	犬
Atayal	sqowal-ax (qowal-ax ⁽²⁾)	sqowaj-ux, (qowa-ni ⁽²⁾)	—	min-xa-l ⁽⁷⁾	hu-ɣil
Sedeq	qu:duh	qowal-ox	—	ma-xa-l ⁽⁸⁾	hu-liŋ
Saisiyat	a ² æral	ʔæwai	hæhœ	aha	ahœ
Bunun	qofan, yofan ⁽⁹⁾	sqowað, (jowað ⁽⁹⁾)	soso, tsotso ⁽⁶⁾	{mu-s ² a-n ⁽⁷⁾ {mu-ts ² a-n ⁽⁶⁾ (7)	aso, atso ⁽⁶⁾
Tsou	tɕ-um-ɔjehu	u ² je	—	tso-ni	—
Kanakanabu	utsanu	uwaji	—	tsa-ni	—
Saaroa	usaju	βuβi	ususu	tɕa:ni	—
Rukai (下三社)	udaʔu	uvate	ʔuʔu	—	aʔo
Rukai (大南社)	odali	hovai	ʔoʔo	—	—
Paiwan	qoʔal, ʔoʔal ⁽⁴⁾	ʔoai, ʔoai ⁽⁴⁾	toto	ita	v-ato
Puyuma	udal	hoai	soso	isa	so-an
Ami	hɔraʔ, oraʔ ⁽⁵⁾	hoai, oai ⁽⁵⁾	tsoʔso	tɕa-tɕa-ai	w-atso
Yami	—	—	ɕuɕu	aɕa [?]	—
Indonesian	hudan	howai	susu	ɕsa	asu

	l		r ₁ ⁽¹¹⁾		
	三	路	幾	報	名
Atayal	tsu:gai	ra:n ⁽¹⁰⁾	pira	pegai	—
Sedeq	teʔu	—	piða, pija ⁽¹²⁾	paðai, pajai ⁽¹²⁾	ɣaðan, haɣan ⁽¹²⁾
Saisiyat	to ^h o	ra ^h an	piza	pazai	—
Bunun	ta:ɔ	ðaan	pija	pa:ɔ	ɣa:n
Tsou	toʔu	tɕeɔnu	pijɔ	pa:ɔ	—
Kanakanabu	to:ʔo	tsa:nu	u-pija	—	ɣanai
Saaroa	to:ʔo	sala ² a	u-pija	—	ɣa:ja
Rukai (下三社)	toʔo	da-daʔanu	pija	paɣai	—
Rukai (大南社)	toʔo	ka-daʔan-ani	pija	paɣai	naɣani
Paiwan	ciʔu, ci ^h u ⁽⁹⁾	jaʔan, ja ^h an ⁽⁹⁾	piða	paðai	ɣaðan
Puyuma	tiʔu	daʔan	piða-piða-ja ⁽¹³⁾	—	kaʔad
Ami	toʔo	laʔan	pina	panai	ɣagan
Yami	atʔu [?]	la-ʔagan	pira [?]	—	ɣaʔan [?]
Indonesian	telu	dalan	pira	par,ai	ngar,an

(註) (1) q はインドネシアに於て普通之を有せず、時として h となることあり。賽語に於ては規則的に存在す。蓋し本来の音ならん。(2) タコナン社方言。(3) シブケン方言。(4) 内文社方言。(5) 馬蘭社方言。(6) カンタパン方言。(7) 一度の意。(8) 十の意。(9) キキキ社方言。(10) 汶水賽方言。(11) r₁ はインドネシアに於て規則的に r, l, d 等となるもの、鼻を Dayak urong, Tag. ilong, Mal. hidung といふ類。(12) タロコ方言。(13) 知本社方言。

	r ₂ ⁽¹⁾			j	
	米	血管	興	鳥	山手 ⁽⁴⁾
Atayal	βowax, βogax ⁽²⁾	ugweq	βe-q	—	raja
Sedeq	beras, bgah ⁽³⁾	urats, uʔat ⁽³⁾	bagai, mgai ⁽³⁾	—	daja
Saisiyat	βowai	—	mo-βu ² ai	—	raja
Bunun	kinu-βjas	uʔat	—	ɕaðam	—
Tsou	fujesu	voʔotsu	fai-ni	ɕɔmu, ɕɔmu	—
Kanakanabu	βura	uratsa	βywa-unu	—	—
Saaroa	ʔuβurau	ʔuratsu	uwa-βuʔa	aðanu	—
Rukai (下三社)	boesu	uvatsu	o-b ² ai	aʔa-zamu	ɕaʔa
Rukai (大南社)	buraβi	oatsi	oa-baai	haða-haðami	ɕaða
Paiwan	vazt	oats	pa-vai	qaja-qajam	zaja
Puyuma	biras	oraʔ	birai	ajam	ɕaja
Ami	vijaʔs	oraʔ	pa-viai	hajam, ajam	—
Yami	—	uʔat	—	—	—
Indonesian	bêr,as	ur,at	bêr,ai	hayam	daya

	w			h ^(?)		
	八	右	左	二	汝	木
Atayal	—	—	izi-l	rusa, ruɕa	iso, iɕo	kahu-ɣeɕ
Sedeq	—	—	iri-l	daha	iɕɕo	kahu-ŋi
Saisiyat	—	ka-nal	ka-i ^h i	roɕa	ɕoo	kaheci
Bunun	vazo	na-skawan	tana-viji	ɕuɕa	ɕoo	—
Tsou	voʔu	vuhona	veina	ɕuso	su	evi
Kanakanabu	(h)a:ʔu	ananu	ili	tsu:sa	i:ka-su	kaʔu
Saaroa	k-waʔo	haʔanu	ɕili	suuwa	iʔa-u	kijo ² o
Rukai (下三社)	vaʔo	vananu	vrenu	ɕuɕa	ko:su	—
Rukai (大南社)	waʔu	wanali	wiri	ɕusa	ko-so	—
Paiwan	aʔo	ka-naval	ka-viri	ɕusa	ti-su-n	kasiu
Puyuma	waʔo	tara-walan	tara-wiri	ɕoa	jo-jo	kau
Ami	vaʔo	ka-wanan	ka-wiji	tosa	k-iso	kasui ⁽⁷⁾
Yami	wagu [?]	wanan [?]	uri [?]	ɕuwa [?]	—	kaʔu [?]
Indonesian	walo	wanan	wir,i ^(?)	duha ⁽⁸⁾	iyo ⁽⁸⁾	kahui ⁽⁸⁾

(註) (1) r₂ はインドネシアに於て規則的に r, g, h 等となるもの、鼻を Mal. urat, Tag. ugat, Dayak uhat といふ類。(2) 拳丸の意。(3) タロコ方言。(4) 賽社の位置により西又は東の意となる。(5) Bisaya 語。(6) Tagalog 語、汝のの意。(7) 鼻の意。(8) Tagalog 語。

	a		i		u	
	母	父	五	我等	石	灰
Atayal	ma-masa ⁽¹⁾	j-a ^β a	jima-gal	s-ami	βatu-nux	qaβu-li
Seedeq	—	t-ama	[ima	j-ami	batu-nux	qabu-lit
Saisiyat	masa	j-ama	—	j-ami	βato	a ^β o
Bunun	matta	t-ama	himma	ñ-ammi	βato	qabo
Tsou	mtso:	amɔ	fiɔ	a ^β mi	fatu	fuu
Kanakanabu	—	ts-uma	[ima	iki-mi	βatu	aβu
Saaroa	—	ʔamaʔa	k-[ima	—	βatoʔo	ʔa,βoʔo
Rukai (下三社)	matsa	m-ama	[ima	kna:mu	—	habo
Rukai (大南社)	matsa	t-ama	[ima	—	—	habo
Paiwan	matsa	k-ama	[ima	ti-am-in	—	qavo
Puyuma	maʔa	t-im-ama	[ima	i-mi-mi	—	abo
Ami	mata	w-ama	[ima	k-ami	—	havo, ʔavo
Yami	mataʔ	amaʔ	ʔimaʔ	—	βatɔʔ	aβuʔ
Indonesian	mata	ama	lima	k-ami ⁽²⁾	batu	habu

	ē ⁽³⁾					
	三	來	織	典	六	齒
Atayal	tsu:gal	βowax, βogax ⁽⁴⁾	t-om-inun	βe-q	—	—
Seedeq	te[u	beras, bgah ⁽⁵⁾	t-um-inun	βegai, mgai ⁽⁵⁾	—	guppun
Saisiyat	to ^β o	βowai	t-um-unun	mo-βu ^β ai	—	nupun
Bunun	tato	kinɔ-bjas	tinnun	—	no:m	—
Tsou	toʔu	fujesu	—	fai-ni	nommu	—
Kanakanabu	toʔo	βura	t-um-atinnu	βywa-una	rum	—
Saaroa	toʔo	ʔuβurau	—	uwa-βuʔa	k-numu	—
Rukai (下三社)	toʔo	boesu	—	o-β ^β ai	numu	—
Rukai (大南社)	toʔo	burabi	ca-tinoni	oa-baai	unumi	—
Paiwan	ci[u	va:t	c-im-inun	pa-vai	inim	—
Puyuma	ti[u	biras	t-im-inon	tirai	inim	—
Ami	toʔo	viʔats	mi-tinoʔon	pa-viʔi	ʔnim	—
Yami	at[u ^β	—	t-um-inun ^β	—	anem	nupun
Indonesian	telu	ber ₁ as	t-um-ēnun	ber ₁ ai	enēm	ngipēn

(註) (1) 眼珠の意。(2) Tagalog 語。(3) ē はインドネシアに於て規則的に e, a, i, u, e となるもの。
 様を Mal. beras, Pampanga abyas < *bayas. Tag. bigas, Bis. bugas, Pangasinan belas といふ類。(4) 菓
 丸の意。(5) マロコ方言。

上表に於て音韻の變化上注意すべきものを下に列記すべし。

1. p > ʔ Rukai (大南社).
2. b > β Atayal, Saisiyat, Kanakanabu, Saaroa, Yami.
3. b > β Bunun.
4. b > f Tsou, Ami (馬蘭社等).
5. b > v Paiwan, Ami.
6. t₁ > t₂ Paiwan (トクブン社等).
7. t₁ > c Paiwan (カチライ社等).
8. t₁ > ts, (ts) Atayal (語末は ts, i の前は ts, 大豹社等).
9. t₂ > t Puyuma.
10. t₂ > ts Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan.
11. t₂ > s Atayal, Seedeq, Saisiyat.
12. d₁ > d Bunun.
13. d₁ > r Atayal, Saisiyat, Ami.
14. d₁ > d Paiwan (トクブン社等).
15. d₁ > j Paiwan (カチライ社等).
16. d₁ > ts Tsou, Kanakanabu.
17. d₁ > s Saaroa.
18. d₂ > d Rukai, Puyuma, Paiwan, Yami.
19. d₂ > d Bunun.
20. d₂ > r Atayal, Saisiyat.
21. d₂ > t Tsou (ナマカパン社).
22. d₂ > j Tsou (タッパン社).
23. d₂ > ts Kanakanabu.
24. d₂ > s Saaroa.
25. d₂ > t Ami.
26. d₂ > z Paiwan.
27. n₂ > l Atayal, Seedeq, Saisiyat, Rukai, Paiwan, Puyuma.
28. n₂ > l Saaroa, Ami (奇密社等).
29. n₂ > d Ami (豈蘭社等).
30. n₂ > h Tsou.

31. k > ? Paiwan (内文社等), Tsou [例外].
32. q > ʃ Bunun (シブクン方言).
33. q > h Puyuma (知本社等), Rukai, Ami.
34. q > ? Atayal (タコナン社等), Seedeq [例外], Saisiyat, Tsou, Saaroa, Paiwan (トクブン社等).
35. q > [] Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Puyuma (卑南社), Ami (馬蘭社等).
36. s > x, h Atayal, Seedeq, Saisiyat.
37. s > ts Bunun (カントバン方言), Ami, Tsou (?), Kanakanabu (?), Saaroa (?).
38. s > θ, θ Rukai.
39. s > t Paiwan.
40. l > l Seedeq, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan, Puyuma, Ami, Yami.
41. l > f Tsou (ナマカバン社).
42. l > j Atayal, Tsou (タッバン社等).
43. l > ʃ Saisiyat, Paiwan (リキリキ社等).
44. l > g Yami.
45. l > [] Bunun.
46. r₁ > r Atayal, Yami.
47. r₁ > g Atayal, Rukai.
48. r₁ > δ Seedeq (バーラン社等), Puyuma (知本社等).
49. r₁ > z Saisiyat.
50. r₁ > l Saaroa.
51. r₁ > n Ami, Rukai (?), Kanakanabu (?).
52. r₁ > l Yami, Puyuma (?).
53. r₁ > d Paiwan.
54. r₁ > j [iの後?] Seedeq, Bunun, Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai.
55. r₁ > h Seedeq (タロコ方言)?.
56. r₁ > [] Bunun, Tsou.
57. r₂ > g Atayal, Seedeq.
58. r₂ > r Seedeq (バーラン社等), Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Puyuma.
59. r₂ > ʃ Ami.
60. r₂ > l Seedeq (タロコ方言), Saaroa.

61. r₂ > l Bunun.
62. r₂ > f Tsou (ナマカバン社).
63. r₂ > j Tsou (タッバン社等), Yami.
64. r₂ > ʃ Saisiyat.
65. r₂ > w, (gw) Atayal.
66. r₂ > [] Atayal, Saisiyat, Tsou, Kanakanabu, Saaroa, Rukai, Paiwan.
67. j > δ Bunun, Rukai.
68. j > z, (z) Tsou.
69. j > z Rukai.
70. j > θ Saaroa.
71. w > v Bunun, Tsou, Rukai, Paiwan.
72. w > [] Saisiyat, Kanakanabu, Saaroa, Atayal (?), Seedeq (?).
73. h(?) > ʃ Atayal, Seedeq, Saisiyat, Bunun, Rukai (下三社).
74. h(?) > s Atayal, Tsou, Kanakanabu, Rukai, Paiwan, Ami.
75. h(?) > [] Saaroa, Puyuma, Yami.
76. a > ɔ Tsou.
77. ē⁽¹⁾ = u, i Paiwan, Puyuma, Ami, Yami.
78. ē⁽¹⁾ > u Saisiyat, Bunun, Tsou.

(註) (1) ē = 相當スル音ハ例外多シ尙研究ヲ要ス。

B. 語法

語法ハ各語ノ條ニ於テ夫々記述セリ。此處ニハ全體トシテノ比較ヲ舉グ。

1. 冠詞

1. 人的冠詞, 主格. Sais. he; Paiw. ti; Ami tsi; Atay. i; Puy. i. 比. Tag. si; Pampanga i.
2. 同上, 屬格. Atay. 其他多くは ni. 比. Tag. ni.
3. 同上, 其他の格. Puy. kan; Sais. kanih. 比. Tag. kay; Bis. kan.
4. 一般的冠詞, 主格. Puy. Paiw. 等 a. 比. Tag. a-ng.
5. 同上, 屬格. Atay. na; Paiw. no-a 等. 比. Tag. na-ng.
6. 同上, 其他の格. Atay. sa(?); Paiw. to-a 等. 比. Tag. sa.

2. 代名詞

1. 一人稱, 單數, 主格. Atay. sa-ko (我は)等の如く主要部は多くは ko型なり。比

Tag. Bis. a-ko 等。

2. 同上除對話者複數主格. Atay. sa-mi (我等は)等の如く主要部は多くは mi 型なり。比. Tag. ka-mi; Pampanga i-ka-mi.
3. 同上含對話者複數主格. Atay. i-ta (我等お互は)等の如く多くは ta 型なり。比. Tag. k-ita 等。一人稱に二種の複數を有することは支那語其他に例なきにはあらざれども インドネシヤン語の主要なる特徴なり。
4. 二人稱單數主格. Atay. i-so 又は i-šo (汝は)等の如く主要部は多く so 型なり。此の s の音は第二次的のものにして本來は *i-ho (?) の如きものなりしならん。マントウラン語 haya-o (汝は)の主要部は o なり、又 ブユマ語 jojo (汝は)は (i-o)(i-o) より成るものにして主要部の o なることは nan-o (汝の), kan-o (汝を)の語にて知るを得べし。比. Tag. iyo <i-o (汝の), sa iyo (汝に), ta-yo 我等お互二人 <ta (我等お互) -yo (汝)= 我と汝と、即ち我等。
5. 同上複數主格. Atay. si-mo (汝等は)等の如く多くは mo 型なり。比. Tag. Bis. ka-mu.
6. 三人稱單數主格. Atay. heja (彼は) < hi-a. 比. Tag. si-a.
7. 同上複數主格. Atay. la-haga (彼等は) < *la-hi-ga, la- は複數. hi-ga 彼等 比. Sais. he-za (あれ); Tag. si-la; IN. si-r.a. 音韻の部, r₁ の條参照。
8. 疑問人代名詞主格. Atay. i-ma (誰は)等の如く多くは ma 型なり。ma は疑問詞の主要部にして i- を附して人を表はし, a- を附して物を表はす。Puy. i-ma-nai (何人, 誰) a-ma-nai (何物), 比. May. si-apa (誰), ma-na (何れ, 何處) 次項参照。
9. 疑問代名詞. Atay. i-no (何處), 等の如く多くは no 型なり。i- は位置又は其位置に在るものを表はす。比. IN. i- no は ma と同じく疑問詞の主要部なり。Seed. ma-nu (何), Atay. na-nu < *ma-nu (何), 比. Tag. si-no (誰)。
10. 單數の人代名詞が固有人名詞、又は親族名詞と共に用ゐらるゝ場合は複數の形を取る。Atay. sami ki Watan (我等一と一ワタン)= ワタンとの我等=我等、即ち我とワタン。Paiw. ti-amun a ti Kuju (我等一と 冠詞一クリウ=クリウとの我等=我等、即ち我とクリウ。比. Tag. kami ni Andres (我等一の アンドレス)= アンドレスとの我等=我等、即ち我と アンドレス。kami niya (我等一の 彼)= 彼との我等=我等、即ち我と 彼。 タゴログ語は屬格を用ゐる。

3. 數詞

1. 一, Puy. i-sa; Ami tsi-tsa-i < tsa-tsa-ai; Sais. a-ha; Paiw. i-ta 等、主要部は多くは sa,

- 又は轉化したる sa 型なり。比. Tag. i-sa; Bis. u-sa; Mal. sa-tu 等。
2. 二, Puy. ḡua Paiw. ḡusa; Seed. daha; Bun. ḡusa; Ami tosa 等、多くは dua < *ḡuha (?) 型なり。比. Tag. dalawa < *da-dua; Bis. duha; Mal. dua 等。
 3. 三, Paiw. ci|u; Seed. te|u; Puy. ti|u 等、多くは telu 型なり。比. Tag. ta-tlo; Bis. tolo 等。
 4. 四, Puy. ?pat; Bun. pat; Paiw. spac; Ami spat 等、多くは pat < *hēpat (?) 型なり。比. Tag. apat; Bis. upat; Mal. empat 等。
 5. 五, Paiw. 其他 lima; Bun. himma 等殆んど皆 lima 型なり。比. Tag. Bis. Mal. lima.
 6. 六, Paiw. inim; Puy. Ami. inim, ?nim; Bun. no:m; Yami. anum 等殆んど皆 enēm 型なり。比. Tag. anim; Bis. unum; Mal. enam.
 7. 七, Ami. Puy. pito; Atay. mā-pito 等殆んど皆 pito 型なり。比. Tag. Bis. pito.
 8. 八, Puy. walo; Ami. valo; Paiw. alo 等、多くは walo 型なり。比. Tag. Bis. walo.
 9. 九, Paiw. siwa; Bun. siwa; Ami siwa; Puy. iwa; Tsou. sio 等、多くは siwa < hiwa (?) 型なり。フィリッピンの ミンダナオ島なる Moro 語は siau にして siwa に似たり、同島の Bagobo 語は sio にして Tsou の sio に同じ。Tag. Bis. 等の siyam は同類語か。
 10. 十, Paiw. pu|oq; Ami po|o²; Yami poq² 等、多くは pulu² < puluq 型なり。比. Tag. powo² < *polo², Bis. polo, Mal. puloh.

バイワン及び アミに於ては十代、二十代等の數詞を表はすに特種の構成法を用ゐる。(1) Paiw. pu-si(k)a-ḡusa pu|oq no ita (十一), pu-si(k)a-ci|u pu|oq no ita (二十一) 等。本來 si(k)a- は順序數詞を表はす接頭辭にして si(k)a-ḡusa は第二, si(k)a-cilu は第三の意を有するを以て, pu-si(k)a-ḡusa puloq no ita (十一)は(爲一第一二一十一の一) = 第二回目にする十の一、即ち一より十までを數へて、第二回目に數へる一といふ義となる。(2) Ami. tsitsai ko saka-tosa (十一), tsitsai ko saka-tolo (二十一) 等。此等の語は バイワン語と同じく第二回目は一、第三回目は一といふ義なり。

此の種の算法は フィリッピンの タゴログ語に於ても以前は ma-ika-tolo-ng isa (二十一); ma-ika-pat sa (三十一)等の如く用ゐられたり。此の ika は ika-tolo (第三), ika-pat (第四)等の如く順序數詞を表はすこと バイワンの si k|a に同じ。

4. 形容詞

1. m 型を用ゐるもの。Atay. ma-talah (熱い); 下三社(マゴ社) ma-plit (白い)。比. Tag. ma-puti² (白い), ma-itim (黒い)。

2. m型を用ゐるもの。Paiw. dikic (短い); Bun. faqlu (新しい); Paiw. vaqo-an (新しい)。比. Bikol dikit (短い); Tag. bagu (新しい); Mal. baharu (新しい)。

5. 動詞

動詞の諸相を列挙して之を比較するは容易にあらず。今爰にはインドネシア語に於ける動詞の特色たる第一類、第二類動詞に就て簡短に比較を爲すべし。(アタヤル語法、動詞の條参照)。

第一類 働を爲す者を主格とするものにして、普通m型を用ゐる。此場合に於て、動詞は其の働を爲す者、即ち働の主體を表はす。之を主體主と名づく。Atay. h-əm-akani su βiru (捜す者—汝は—本を) = 汝は本を捜す者。比. Tag. h-um-a-hanap ikaw nang isang libro. (捜す者—汝は—を—一つの—本) = 汝は一つの本を捜す者。反覆は本來進行形か。他の例, Atay. əm-ʔimao sako qowao ki qsja (混する者—私は—酒—と—水) = 私は酒と水とを混合する者。Paiw. pa-ta-taud a(k)in toa vava a toa zalum (互に混合する者—私は—を—酒—と—を—水) = 私は酒と水とを混する者。

第二類 働を爲す者を屬格とするものにして此に三種あり。

1. 働を受くる物を主格とするものにしてm型を用ゐず、普通-un (IN. -ənを原形として-un, -in, -anに轉ず)を用ゐる。此の場合動詞は其の働を受くる物、即ち働の客體を表はす。之を客體主と名づく。Atay. hakani-un su biru (捜す物—汝の—本は) = 本は汝の捜す所の物、-unを用ゐる。比. Tag. ang libro ang hanap-in mo (冠詞—本は—冠詞—捜す物—汝の) = 本は汝の捜す所の物、-inを用ゐる。他の例, Atay. ʔəmag-un mako qowao qsja qani (混する物—私の—酒に—水は—此の) = 此水は酒に私の混する物、-unを用ゐる。バイソンにては此の語の場合-un型を用ゐざれども他の場合にてはku kan-un (私の—食ふ物)等の如く-unを用ゐる例多し。
2. 働く場所、又は働の共處に歸着し、或は其處より離去する位置を主格とするものにして、普通-anを用ゐる。此の場合動詞は其の場所、又は位置を表はす。之を位置主と名づく。Atay. hakani-an su biru pasal qani (捜す處—汝の—本を—家は—此の) = 此の家は本を汝の捜す處。比. Tag. itong silid ang hanap-an mo nang libro (此の—室は—冠詞—捜す處—汝の—を—本) = 此の室は本を汝の捜す處。他の例, Atay. ʔəmag-an mako qsja qowao qani (混する處—私の—水—を—酒は—此の) = 此の酒は水を私の

- 混する處、即ち酒を場所と見て其の處へ水を混すといふ意なり。
3. 働の爲の用具を主格とするものにして、普通反覆型を用ゐる。此の場合動詞は働に用ゐる用具を表はす。之を用具主と名づく。用具主は又材料、原因、方法等を表はすことあり。Atay. ha-hakani su biru pa-pilao qani (捜す具—汝の—本を—燈は—此の) = 此の燈は本を汝の捜す具。比. Tag. itong kandila ang i-ha-hanap mo nang libro (此の—燈は—冠詞—捜す具—汝の—を—本) = 此の燈は本を汝の捜す具。他の例, a-ʔimo mako qowao qsja qani (混する爲の材料—私の—酒に—水は—此の) = 此の水は酒に私の混する材料。以上の例によりアタヤルは反覆を、タガログはiを作ふ反覆を用ゐるを見る。アタヤルのpa-pilao (燈)も亦 milao (照す), pilao (照せ)の反覆にして、照す具の意味を有するものなり。
- 以上大略記述する所により、書語が其の音韻、單語、及び語法に於て、インドネシア語と密接の關係あることを推定するを得べし。

I

ア タ ヤ ル 語

語 法 概 説

及 び 本 文

アタヤル語語法概説

I. 分 布

アタヤル語 (Atayal, 發音的には atajal, 又は atajal) は臺北州, 新竹州, 及び臺中州管内の山地(現今多少平地に移住せるものあり)に住居するアタヤル族の用ゐる言語にして, 多少方言的の差異あれども, 理解し能はざる程度のものにあらず。其の差異は屢々單語語法の上にあらざるれども, 音韻の上に於て最も著しく感ぜらるるものは q 音の有無にあり。臺北州の宜蘭蘇澳文山方面, 新竹州の大溪方面, 臺中州の能高方面に於ては普通 q を存すれども, 新竹州の竹東, 太湖方面(汶水蕃を除く)臺中州の東勢方面, 及び能高方面の一部に於ては一般に q を有せず。本書に採録せるは大溪方面の大豹社(q を存するもの), 及び竹東方面のタコナン社(q を存せざるもの)の語なれども, 以下記述する語法は大豹社の語によれり。

II. 音 韻

- 母音, [i], [ɨ], [e], [ɛ], [a], [ɔ], [o], [ɔ̄], [u], [ʌ], [ə].
 - [i], [ɨ], [e], [ɛ] は同類音なり。[i] は [r] の前後又は [q], [h] の前に於ては普通 [i], [e] 又は [ɛ] となり, [q], [h] の後に於ては [ei] の如く聞ゆ。記載には [i], [e] 及び [ei] を用ゐたり。
 - [o], [ɔ], [ɔ̄], [u] は同類音なり。[u] は [q], [h], [r] の前後に於ては普通 [o] 又は [ɔ] となり, [a] の後に於ては弱き [u] となる。記載には [o], [u] を用ゐたり。
 - [ə], [ʌ]. 揚音の前に來る廣母音は普通弱められて [ə] 又は [ʌ] となる。記載には凡て [ə] を用ゐたり。
- 子音, 兩唇音, [p], [m], [β], [w]; 齒音, [t], [d] (複合音として), [n], [s], [l], [r]; 同, 複合音 [ts]; 硬口蓋音 [c], [j]; 硬口蓋化音 [p], [m], [β], [n], [s], [z], [l], [r], [q]; 同, 複合音 [tʃ], [dʒ]; 軟口蓋音, [k], [ŋ], [x], [g]; 懸壺垂音, [q]; 聲門音, [ʔ], [h].
 - [w] は屢々軟口蓋摩擦音を伴ひ [qw] の如く發音さる。
 - [l] は齒槽突起の後部に舌縁を廣く附着し, 發音に際して舌縁に力を入れて發する側音にして [d] の如く聞ゆ。語末に於ては無聲的 [n] の如く聞ゆることあり。タコナン社にては [l] の代りに屢々 [n] を用ゐる。此の [l] 音は インドネシア の [n] に相應するものなり。ala-qi < *alak-qi (?) (子), 比. IN. anak.

3. [ts]は常に語末に来る, IN. tに相應す。
 4. [c]は常に[i]の前に来る, 本来[x]の轉化なり。
 5. [p], [m], [β], [n], [s], [z], [l], [r], [ŋ]は普通 -eq の前に来る。
 6. [s]は -eq の外, 又他の母音の前後に来ることあり。此の場合, 大豹社等にては普通の[s]と區別せられざれども, 他の地方に於ては之を區別せり。思ふに[s]と[s]とは其の起原を異にするものゝ如し。下例に於て[s]は IN. tに, [s]は IN. h 又は []に相應するを見るべし。s-əm-aqeiš (鱧), 比. Tag. t-um-ahi, ruša (二), 比. Bis. duha; Mal. dua. išo (汝), 比. Tag. iyo<io (汝の)。(總説 9 頁参照)。
 7. [z], [dz]は同類音にして[i]又は[e]の前に来る。此の音は IN. l に相應するものにして常に[i]と轉換す。
 8. [ts]は常に[i]又は[e]の前に来る。此の tsi, tse は本来tiの轉化なり。タコナン語は ti を有し此の轉化なし。
 9. [q]はアタヤルの外, セーデック, ブスン, バイソンに存する音なれども, 南洋語に於ては普通之を有せず。之に相應する音としては屢々聲門破音[ʔ], 又は[h]を有す。此の[q]はインドネシアン本来の音ならん。(總説 8 頁参照)。
 10. [h]は時として[x]と區別し難き場合あり。精確には聲門部, 及び咽頭部の摩擦音[h]ならんか。記載には凡て h を用るたり。此の音は[x]と同じく屢々 IN. s に相應す。heiko<hiko (叶), 比. IN. siku; βowax (米, 實), 比. IN. bér, as。
3. 揚音, 普通語末より第二音節に高低揚音を有す。當該音節に中間母音ある時, 又は語末に長音或は聲門密閉音ある時は語末に揚音を存す。

III. 形 態

1. 接頭辭, 接頭辭の重なるもの下の如し。(動詞の條参照)。
- in- 客體主, 一般過去(語根の母音に始まる場合), in-agal (取つた物) ~ m-agal (取る), 比. -in-。
- ma²a- < ma-ka- 動詞化, 變成の意, ma²a-utux < ma-ka-utux (神に成る) < utux (神); ma²a-kapirai < ma-ka-kapirai (蝶に成る) < kapirai (蝶)。
- mə < ma- (1) 動詞化, mə-qowalax (雨が降る) < qowalax (雨); mə-βəliŋ (孔が開く) < βəliŋ (孔); mə-gaga (首狩, 出草 = 行事を行ふ意) < gaga (慣習, 行事), (2) 相互, mə-kajal (相談) ~ k-əm-ajal 話す。
- məkə < ma-ka- (1) 其方面に在る, 其方面からの者, məkə-raja (山手に在る), məkə-

- wəsiluŋ (海の向ふからの者, 内地人) < wəsiluŋ (海), (2) 動詞化, məkə-βowai (實が生る) < βowai (果實), (3) 欲望, məkə-mətsiŋal (遊びたがる) < mətsiŋal (遊ぶ); məkə-mənu, βu: (飲みたがる) < mənu, βu: (飲む)。
- mərə < ma-ra- 相互, mərə-kijap (互に掴合ふ) ~ k-əm-ijap (掴む)。
- məsə < ma-sa- (1) 相互, məsə-tanaq (互に出會ふ) ~ mətə-tanaq (同じ); məsə-jaqeh (互に仲が悪い) < jaqeh (悪い), (2) 動詞化, 變成の意, məsə-βaihoi (嵐になる) < βaihoi (嵐); məsə-qsjə (水に成る) < qsjə (水), (3) 動詞化, 排泄の意, məsə-qotsi (大便する) < qotsi (大便); məsə-ramo (血が出る) < ramo (血), (4) 豊富の意, məsə-pagai (穀を多く所有する) < pagai (穀); məsə-βinluŋ-an (考が深い) < βinluŋ-an (考)。
- mətə < ma-ta- (1) 動詞化, 變成の意, mətə-jaqeh (悪くなる) < jaqeh (悪い); mətə-qalaŋ (蕃社に成る) < qalaŋ (蕃社), (2) 動詞化, 意義 (?), mətə-juwao (仕事する) < juwao (間), mətə-βidzeh (往復する) < βidzeh (片方)。
- mə 反覆 (1) 相互, mə-pə-patus (銃を打合ふ) < patus (銃), (2) 強意, mə-ja-β-jaβux (汗だらけ) < jaβux (汗); mə-sun-suna (喘ぐ) < suna (呼吸)。
- mə-...-ul, (mə-...-l) < ma-...-ul, (ma-...-l), 十位の數, mə-spat-ul (四十); mə-teju-l (三十), min-...-ul, (min-...-l) 回数, min-spat-ul (四回); min-teju-l (三回)。
- pə < pa- 使役, 又は他動詞, pə-kita (見せる) ~ kita (見よ); pə-kaβalai (作らせる) < kaβalai (作る); pa-hapui (炊ぐ) < hapui (火); pə-βo: (中てる, 矢など) ~ mo: (中たる)。
- pəpə < pa-pa- (1) 主體主, 一般未來, pəpə-kajal (此の次に話す, 後で話さう) ~ k-əm-ajal (話す); pəpə-qowalax (後で雨が降るだらう) < qowalax (雨), (2) 常習者, 又は職業主, pəpə-kisijao (常に嘘を言ふ者) ~ misijao (嘘を言ふ); pəpə-hagup (占者) ~ h-əm-agup (占ふ)。
- sə < sa- (1) 生ずる, 起る, sə-βaihoi (風が吹く) < βaihoi (風); sə-βeiloq (煙が出る) < βeiloq (煙), (2) 用具, 材料, 原因, sə-sa²an (餌にする材料) ~ s-əm-a²an (餌を與へる), 比. Paiw. si-, Ami sa-。
- tə < ta- (?) (1) 自動, tə-laqeip (隠れる) ~ l-əm-aqeip (隠す); tə-kəlo: (長く伸びる) < kəlo: (引ばる), (2) 採る, 捕る, tə-qoleh (魚を捕れ) < qoleh (魚), 比. t-əm-ə-。
- t-əm-ə < t-əm-a- (?) 捕る, 採る, t-əm-ə-qoleh (魚を捕る) < qoleh (魚); t-əm-ə-qowajux (藤を採る) < qowajux (藤), 比. t-。
- ts-sə < ta-sa- (?) 意義 (?), ts-sə-βaq < ts-sə-βaq (教へる) < βaq (知る)。

2. 挿入辭, (動詞の條参照)。

-am-, (-Am-, -m-, -um-) (1)主體主,一般現在, k-am-ajal(話す者)<kajal(話せ); s-am-aʔu(包む者)<saʔu(包め), (2)形容詞, k-am-ətux(鹹い物,苦い物); q-am-upuʔ(澁い物)。

-am-in-, (-Am-in-, -m-in-) 主體主,一般過去, k-am-in-ajal(曾て話した者); s-am-in-aʔu(曾て包んだ者); t-am-in-inun(曾て織つた者), 比. -am-.

-in- (1)主體主,一般過去, m-in-hoqel(死んだ者)<ma-hoqel(死ぬ); m-in-usa(行つて来た者,曾て行つたことのある者)<m-usa(行く), (2)客體主,一般過去, s-in-iju: 縫合せた物紐)~s-am-iju: (縫る); s-in-aʔu(包んだ物,包物)~s-am-aʔu(包む), ts-in-inun(織つた物,織物)~t-am-inun(織る); p-in-hoqel(他の殺す所となつた者)<pahoqel(殺す)。

3. 接尾辭, (動詞の條参照)。

-a 主體主現實未來, maŋeq-a ta(食はう,我等お互=さあ食はう)<maŋ-eq(食ふ)。

-ai 位置主現實未來, usa-ai(行かう,共處)~m-usa(行く); kita-ai(見よう,共處,其の物)~mita<*k-am-ita(見る)。

-an (1)場所,位置, gaon-an(谷川の處)<gaon(谷川); ətux-an(靈魂の所,冥土)<utux(靈魂,神); si-j-an(置く處)~s-m-i(置く); (2)時, səlo-w-an(夜明の時,曉)<səlo(夜が明ける); ʔətsiŋ-an<*ʔətsiŋ-an(月夜)<ʔətsiŋ(月), (3)容器, kajāt-an(飼ふ爲の容器,桶など)~k-am-ijats(飼ふ); nuʔu-w-an(飲む爲の容器,杯など)~m-a-nuʔu: (飲む), (4)用具主, 命令及び否定, ʔeq-an pila(與へる材料,金)~金は)~金を與へよ(金を與へる材料,又用具と見る)~meq(與へる); ini nija ʔeq-an pila(非-彼の-與へる材料-金は)~金は彼が與へない), (5)人名,又は人代名詞の從格, jukan-an(ユカンを,ユカンに); tamo-w-an<*taimo-an(タイモを,タイモに); heja-an(彼を,彼に); kə-n-an<ku-n-an(私を,私に); su-n-an(汝を,汝に)。

-an-ai 用具主現實未來, ʔeq-an-ai mako pila heja(與へる理由になるべき者-私の-金を-彼は)~私は彼の爲に金を與へてやらう)~meq(與へる); ʔiro-w-an-ai mako heja(書く理由になるべき者-私の-彼は)~私は彼の爲に書いてやらう)~miro(書く)。

-an-i 用具主命令法, pə-haʔag-an-i heja(祈る理由になる者-彼は)~彼の爲に祈つてやれ)<h-am-agup<*h-am-aguʔ(祈る); nus-an-i sako heja-n(誘ふ理由になる人-私は-彼は)~私は彼の爲に[代りに]彼を誘つてやつてくれ)~m-a-naos(誘ふ)。此の an-i は又動詞の前に來ることあり。其の場合は sa を附す (比接頭辭 sa)。an-i sa ʔiro heja(理由の者-書く爲-彼は)~彼の爲に書いてやれ)。

-ao 客體主,現實未來, gal-ao mako pila(今取る物-私の-金は)~其の金は私が取らう)~m-agal(取る)。

-i-, (-ei) (1)客體主,命令法, pa-gəlug-i(通らせる人-ぞ)=[此人は通せ), (2)位置主,命令法, təhejuk-i qani(腰掛る所-此處は)=[此處に坐れ) ~m-a-təhejuk(腰掛る); ʔeq-ei pila heja(與へる所-金を-彼は)=[彼には金を與へよ), (3)客體主,否定, ini mako ʔaq-ei(非-私の-今知る事)=[其事は]私は知らないのだ), (4)位置主,否定, ini mako usa-i(非-私の-今行く處)=[其處は]私は行かない)。

-un 客體主,一般現在, gal-un nija(取る物-彼の)=[其物は]彼が取るのだ); ʔaq-on mako to:qei(知る物-私の-道は)=[其の道は]私が知つてゐるのだ), 比. Tag. -in; Bis. -on; Pangasinan -an; IN. -ən.

上述の外,アタヤル語には又一種の接尾辭あり。此は一定の名詞,又は動詞に固着して分離することを得ざるものにして,其の原意は未だ明確ならず。

-ax qowal-ax<*qoral-ax(?) (雨), 比. Paiw. qojal; Mal. hujan.

-dzip, (-zip) ku-dzip(我), 比. IN. ku; sa-dzip<*rusa-dzip(二), 比. Paiw. dusa, Bis. duha.

-tsiŋ ʔətsiŋ<*ʔətsiŋ(?) (月), 比. IN. bulan.

-eq ʔeq<*ʔi-ʔeq<*ʔai-ʔeq(?) (與へる), 比. IN. bər:ai; maŋ-eq<*k-am-an-eq(食ふ), 比. IN. k-um-an; inal-eq(右), 比. Tag. ka-nan.

-leq sqo-leq<*saqo-leq(人), 比. IN. tau<*taqu(?)。

-neq pu-neq<*hapui-neq(?) (火)~pa-hapui(炊ぐ), 比. Paiw. sapui; IN. apui. khau-neq<*ka-hui-neq(?) (木), 比. Paiw. kasiu; Tag. kahui.

-gal ima-gal<lima-gal(五), 比. IN. lima; tʂu:gal<*teju-gal(三)~mē-teju(六), 比. IN. tēlu.

此の -gal は m-agal(取る)の轉訛せるものか。大約社等にて十を məpox 又は malpo: といふに對し,タコナン社にては magal-pox といふなど考ふべし。

-h<ah(?) ʔaga-h(炭), 比. IN. bar:a(炭火); mə-qoma-h(高をする,高で働く), 比. Paiw. qoma(高); Mal. huma(高)。

-hoi ʔai-hoi<ʔagi-hoi(風), 比. Paiw. vaʔi; Tag. bagio(大風); k-am-i:hoi<*k-am-aji-hoi(掘る), 比. Mal. kali.

-jah qəma-jah<qoma-jah(高) ~ mə-qoma-h(高をする,高で働く), 比. Paiw. qoma(高); Mal. huma(高)。

-jas raqe-jas<raqi-jas(靛), 比. IN. dahi(靛)。

-li qaʔu-li(灰), 比. Paiw. qavu; Mal. habu. həma-li(舌), 比. Paiw. Ami sma.

-qei ala-qei <*alak-qei(子), 比. Paiw. alak; IN. anak. tala-qei <*tula-qei(雙), 比. Paiw. tula; IN. tuna.

-x <-ux(?) utu-x <*alitu-x(?) (神, 靈魂, 妖怪), タコナン方言, alutux; Bun. qanito. 比. IN. anitu. 比. -ux.

-ux qowaj-ux <qowai-ux(藤), 比. IN. howai.

-nux βətu-nux <βatu-nux(石), 比. IN. batu.

4. 反覆

a. 單純なる反覆

- (1) 複數, qəl-qoleh(多くの魚), tə-taikui(多くの小さい物) <tsikui(小さい)。
- (2) 用具, 材料, pə-pilao(照す具, 燈火) ~ milao(照す), pilao(照せ); βə-βahoq(衣を洗ふ具, 石鹼等) ~ mahoq(衣を洗ふ), βahoq(同上せよ); βə-βadzi(買ふ爲の物, 金) ~ me-βadzi(買ふ); kə-kəβalai(作る爲の材料) <kəβalai(作る)。

b. 反覆 -an

- (1) 位置主, 常に…する場所, βə-βiro-w-an(常に書く處, 桌) ~ miro(書く), βiro(書け); kə-kī²-an(常に居る處) ~ makī²(居る); tə-taheik-an(腰掛) ~ mə-təhejuk(腰を掛ける)。
- (2) 時(強意), qe-qowalax-an(雨の多い時) <qowalax(雨); mə-masoq-an(最終の時) <masoq(終る)。
- (3) 用具主, 常用の具, βə-βəhəpəl-an(常に擔ぐに用ゐる物, 天秤棒) ~ məhəpəl(擔ぐ), βəhəpəl(擔げ)。

c. 反覆 -un, (反覆 -on), 客體主, 常用の物, nə-nuβu-un(常に飲む物, 飲料) <mənuβu:(飲む); nə-neq-on(常に食ふ物, 食物) ~ məneq(食ふ); dzi-dzīpaj-un(常に遊ぶ物, 玩具) ~ dz-əm-īpai(遊ぶ)。

IV. 品詞

1. 冠詞

	1. 一般冠詞	2. 定冠詞	3. 人的冠詞	4. 人的冠詞, 複數
主格	[]	qo:	i	la-la
屬格	na	na-qo:	ni	ni-la-la
其他	sa	sa-qo:, s-qo:	[], -an	la-la

人的冠詞は普通固有人名詞, 及び親族名詞に用ゐらる。此等の冠詞は屢々省略せらるることあり。

i は極めて稀に用ゐらる, i watan (ワタンは)等, 比. IN. i. 此の i は人代名詞に於ては固着して單語を成す(人代名詞の條参照)。

na 及び na-qo: は又造格として用ゐらる。比. Tag. na-ng.

ni 比. IN. ni. ni は又盲者, 跛者等の人名詞にも用ゐらるることあり。

sa 比. IN. sa.

la-la は la-la watan (ワタン等)などの如く用ゐらる。la は IN. na に相應す。比. Tag. si-na.

-an は多數の中, 特に其の人を指定していふ場合に用ゐらる。又其人の物といふ義あり。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 ku-dzīp, -sako	isu, -su	-heja-	i-ma-
	屬格 -mako, -mo	-su	-nija, -nja	-ni-ma
	其他 -kə-nan	-su-nan	heja-an, heja-n	-əma-an
複數	主格 -sami-	-simo-	-la-haga-, la-ha ² -	-la-la-ima-
	屬格 -mi-j-an	-mamo	-na-ha ²	-ni-ima-ima-
	其他 -smi-nan	-simo-nan	-la-haga-an	-əma-ma-an
含對話者	主格 ita, -ta			
	屬格 -ta			
	其他 -ta-an			

一人稱複數に二種あり, 一は對話者を含まざるもの, 一は對話者を含むもの, 即ち我等お互の意を有するものなり。

三人稱は時としては事物を表はすことあり。

主格は普通述語の後に來れども意を強むる時は述語の前に來る。

ku-dzīp(我は) <ku(我), dzīpは接尾辭, 比. IN. ku.

sako(我は) <*si-a-ko, 比. si-mo(汝等), si-は人的冠詞の固着せるもの, 比. IN. si.

-mo(我の) <*ma²o <ma-ko.

sami(我等は) <*si-ami, 比. Tag. ka-mi.

i-ta(我等相互は), 比. IN. ta. iは人的冠詞。

i-su(汝は), 地方により iβu といふ, 語源的には此の方適當せり, <*i-ho(?) 比. Tag.

iyō <i-o (汝の), i は人的冠詞。

si-mo (汝等は), 比. Tag. ka-mo. si. は人的冠詞, 比. IN. si.

heja (彼は) <hi-a, 比. Tag. si-a.

nija, nja (彼の) <ni-a, 比. Tag. Mal. ni-a.

la-haga (彼等は), la. は複數, haga <*hi-ga, 比. Tag. si-la; IN. si-r.a.

naha? (彼等の) <*ni-haga (?) 比. Tag. ni-la, IN. ni-r.a.

固有人名詞, 又は親族名詞と共同的に用ゐらるる人代名詞は, 單數の場合に在りても尙複數の形を取る。

sami ki taimo (我等一と一タイモ = タイモとの我等, 即ち我とタイモと)。

simo ki jaja (汝等一と一父 = 父との汝等, 即ち汝と父と), la-haga ki laqei mako (彼等一と一子 = 我の子との彼等, 即ち彼と我の子と), 總説 14 頁参照。

b. 指示代名詞

	此	其
主格	qani <*qo-hani (?)	qasa <*qo-hasa (?)
屬格	na-qani	na-qasa
其他	s-qani <sa-qani	s-qasa <sa-qasa

此等の語は又, 此處, 其處, 此の, 其の, の義に用ゐらる。

c. 疑問代名詞

何 na-no <*ma-no (?) 比. Tag. a-no (何物); si-no (何人, 誰)。

何處 i-no (何處, 何處に在る物), i は場所, 又は其の場所に在る物, 比. IN. i.

何れ qa-ino <*qo-ino (?) (何處に在る, 其の物)。

何時 ka-no-w-an 過去, 未來共に用ゐる。タコナン社は ka-no-w-an (過去), so-ka-no-w-an (未來)を區別す。

3. 數詞

一 qo-tux <*qon-tux (?) 比. 汶水方言, qo:n (一); Seed. uin (一) <*qo:n (?), ken-gal (一個) <*qon-gal (?). -tux, -gal は接尾辭. IN. sa (一) はアタヤルにては min-xa-l (一度), sa-xa (獨り)などの語に於て xa となりて現はる。

二 sa-dzıp <*rusa-dzıp, アタヤルにては又 rusa を用ゐることあり, rusa kaβahol (二百), 比. Bis. duha.

三 tsu:gal <*teju-gal ~mə-teju (六), 比. IN. telu.

四 spajats <sp-aj-ats, 汶水方言 sp-a[-ats, ~mə-spats 八, 比. Tag. apat; Bis. upat; Mal,

ēm-pat.

五 ima-gal, 又は dzimagal <jima-gal. 比. IN. lima.

六 mə-teju, 三の倍數。

七 mə-pitu, 比. IN. pitu.

八 mə-spats, 四の倍數。

九 mə-qairo, qairo の qa は qo:n (一) と關係あるにあらざるか。

十 məpo: 又 məlpo: 比. タコナン方言 magal-po:, magal 取る, po: 未詳。

二十 mepo-sa-l, ~minpo-sa-l (二回), -sa-l の sa <rusa (二), mə-po は十 (?) 比. Bun. ma-po-ša-n.

三十 mə-teju-l, ~min-teju-l (三回), 比. Bun. ma-tau-n.

四十 mə-spat-ul, ~min-spat-ul (四回), 比. Bun. ma-spat-un.

五十 mi-dzima-l (五十), mi- の i は同化, 比. Bun. ma-hima-un.

六十 məteju-pagan. pag-an <*po:an. 七十以上 pagan を用ゐる

百 kaβaxol <βaxol (轉る) (?)。

回數を表はす時は普通數詞に接頭辭 min-, 接尾辭 -ul (子音に終る時), 又は -l (母音に終る時) を附す。

一回 min-xa-l <xa (一), 比. Tag. min-sa-n (一回); IN. sa (一), 二回 min-po-sa-l. sa <rusa (二); 三回 min-teju-l; 四回 min-spat-ul 等。

4. 形容詞

形容詞は精密にいへば一種の名詞にして, 其の構成に二種あり。

1. m型を用ゐるもの, ma-talah (赤い物), mə-gihoi (酸い物), k-əm-etux (鹹い物)。

2. m型を用ゐざるもの, βilāq (良い物), jaβa (大きい物)。

形容詞の否定は m型を k型に轉し, m型を用ゐざるものは k型を附加す。

ini ka-talah (赤いのでない) ~ma-talah; ini ka-βilāq (良いのでない) <βilāq.

形容詞の程度を示す場合は k-in- を附加す, k-in-βilāq (良き), k-in-talah (赤き)。

5. 動詞

動詞は精密にいへば一種の名詞なり。

A. 分類 働を爲す者の立場により動詞を分ちて二種とす。

a. 第一類 働を爲す者を主格とするもの, 此を主體主と名づく。此の場合に在りては動詞は働を爲す主體を表はす。mə-nubu: sako qowao (飲む者—私は一酒を = 私は酒を飲む), ma-usa sako βapka (行く者—私は一萬華

[臺北へ = 私は臺北へ行く)。mita (<k-am-ita) sako na kakita (見る者 - 私は - 以 - 目鏡 = 私は目鏡で見える)。

b. 第二類 働を爲す者を屬格とするもの、此に三種あり。

α. 働を受くる者を主格とするもの、之を客體主と名づく。此の場合に在りては動詞は働を受くる客體を表はす。nuβu-un mako qowao (飲む物 - 私の - 酒は = 酒は私の飲む所の物 = 私は酒は飲む)。

β. 働の行はるゝ場所、或は働の共處に歸着し、又は共處より離去する位置を主格とするもの、之を位置主と名づく。此の場合に在りては動詞は其の場所又は位置を表はす。usa-an mako βapka (行く處 - 私の - 萬華臺北)は = 臺北は私の行く處 = 私は臺北へ行く)。

γ. 働を行ふ用具を主格とするもの、之を用具主と名づく。此の場合に在りては動詞は其の用具を表はす。sə-kita mako kakita (見る具 - 私の - 目鏡は = 目鏡は私の見る具 = 私は目鏡で見える)。働の原因、理由、方法、材料等は又用具と見做され、用具主の形を以て表はさる。

B. 時相

例 原形 agal (取る)。

	第一類		第二類	
	主體主	客體主	位置主	用具主
現實現在	agal	agal	gal-i	an-sə-agal
進行現在	şux m-agal	şux gal-un	şux gal-an	şux sə-agal
一般現在	m-agal	gal-un	gal-an	sə-agal
現實過去	m-agal la	wal gal-un	wal gal-an	wal sə-agal
一般過去	m-in-agal	in-agal	in-agal-an	in-agal
現實未來	m-agal-a	gal-au	gal-ai	an-ai-sə-agal
一般未來	pa-pa-agal	ga-gal-un ⁽¹⁾	ga-gal-an ⁽¹⁾	a-agal

(註) (1) a-agal-un, aagal-an の不規則的なる變化。

現實現在 目前現實の働を表はす。されど此の形は主として命令又は否定の場合に用ゐられ、普通は一般現在の形を用ゐる。命令、否定の條参照。

進行現在 第一類は(…してゐる者、…しつゝある者、又は、…になりつゝある者)を表はす。şux (又は tsux) は本來(其處(彼處)に居る)といふ意なり。(此處に…してゐる)といふ場合には nux を用ゐる。第二類も亦此に準ず。

一般現在 第一類は時に係はらず、一般に(…する者、又は…になる者)を表はす、此の形は現在、過去、未來を通じて用ゐらる。第二類も亦此に準ず。

現實過去 第一類は(…する者であつた、…する者になつてしまつた)などの義を表はす、la は(…であつた)、wal<wajal は(…になつてしまつた [本義は其處を去る])といふ義なり。第二類も亦此に準ず。

一般過去 第一類は(…したことのある者、…になつたことのある者)を表はす。第二類も亦此に準ず。

現實未來 第一類は(今此から…しようとする者、今此から…にならうとする者)を表はす、此は(きあ…しよう、今に…になるだらう)などと譯す。第二類も亦之に準ず。

一般未來 第一類は(將來いつか…しようとする者、將來いつか…にならうとする者)を表はす、又轉じて(將來いつでも…する者)を表はすことあり。

第二類も亦之に準ず。

C. 命令 第一類と第二類の二種ありて各其の意義を異にす、而して動詞の形は現實現在を用ゐる。

第一類 主體主 agal, [汝は]今取る者ぞ = [他人ではない、汝は]取れ。

第二類 客體主, agal, [汝の]今取る物ぞ = [他物でない、其の物]取れ。

同上 位置主, gal-i, [汝の]今取る處ぞ = [他處でない、其處で又其處から]取れ。

同上 用具主, an-sə-agal [汝の]今取る具ぞ = [他の具でない、其の具で]取れ。

D. 否定

α. 現實否定 否定詞は ini を用ゐる、動詞の形は命令と同じく現實現在を用ゐるれども過去の意あり。

第一類 主體主, ini sako agal (非…私は…今取る者) = 今私は取らなかつた。

第二類 客體主, ini mako agal (非…私の…今取る物) = [其は]今私は取らなかつた。

同上 位置主, ini mako gal-i (非…私の…今取る處) = [其處では又、其處からは]今私は取らなかつた。

同上 用具主, ini mako an-sə-agal (非…私の…今取る具) = [其の具では]今私は取らなかつた。

β. 一般否定 否定詞は ijats を用ゐる、動詞の形は一般過去、一般未來を用ゐる。

第一類 主體主, ijats sako m-in-agal (非…私は…取つた者)=私は取らなかつた。

ijats sako pa-pa-agal (非…私は…取るべき者)=私は取らない。

第二類 客體主, ijats mako in-agal (非…私の…取つた物)=[其物は]私は取らなかつた。

ijats mako ga-gal-un (非…私の…取るべき物)=[其物は]私は取らない。

同上 位置主, ijats mako in-agal-an (非…私の…取つた處)=[其處では又其處からは]私は取らなかつた。

ijats mako ga-gal-an (非…私の…取るべき處)=[其處では又其處からは]私は取らない。

同上 用具主, ijats mako in-agal (非…私の…取つた具)=[其具では]私は取らなかつた。

ijats mako aagal (非…私の…取る爲の具)=[其具で]私は取らない。

γ. 禁止, laç-i を用ゐる, laç-i は malax (止める)の客體主、命令にして〔其事は〕止めよの義なり、ç<x は次に來る母音 i の同化による。

δ. 有に對する無は upats を用ゐる。

6. 副詞

a. 純粹の副詞 uzi (亦); laozī<la-uzi(?) (再び); hazi (少し、一寸); misu (直に)等。

b. 副詞、形容詞等は屢々、第二類動詞の接頭辭又は接尾辭を附して、副詞的動詞を形成することあり。

(1) 原形 lama (先に、前に), lema-on naha² mita (先にする物、一彼等の一見る)=[其物は]彼等が前以て見る, sə-lama naha² sə-m-aom (先にする材料、一彼等の一染める)=[其物で]彼等が前以て染める。

(2) 原形 βə-laj-aq (良い、巧な), si: naha² βə-laj-aq-ei mə-naga (其儘じつと一彼等の一良くする處一待つ)=[其處は]彼等の良く待つ處=其處で彼等は油斷なく注意して待伏する。

(3) 原形 saziŋ (二つ), saziŋ-un mako maŋeq (二つ…する物—私の—食ふ)=[其物は]私が二つ食ふ。

7. 接續詞

ki, (ki,ke) (…と…と)、固有人名、又は親族名詞の場合に用ゐる。taimo ki watan (タイモとワタンと); ja²a ki jaja (父と母と)。

ro:

(1) 一般名詞の場合に用ゐる、(…や…や), rə-ruma ro: khauneq (竹や木や)。

(2) 文章の連結に用ゐる、(而して…、それで…)。

la-ro: la (助辭)と ro: (接續詞)との複合、(…した、それで、…したので)。

la-ga la (助辭)と ga (結辭)との複合、(…した、其時は、…したならば、…になつたらば)。

8. 結辭 結辭は本來指示代名詞にして用法は關係代名詞に似たり。

(1) 主格と述語とを結合するもの, taimo ga miŋ biro (タイモ—其は—持つ者—本を)=タイモが本を持つ。用法は國語の…は、…がに似たり。

(2) 句と句とを結合するもの, pə-pa-kaneq qani ga ma-osa məhoqel (將來食ふ者—此を—其は—將來成る—死人)=此を食ふ者は死んでしまふ。此の ga は IN. ka に相應するものならん。

9. 助辭 (1) …-la (…した、…だ、…だよ)。

(2) …-ma (…ださうだ)。

(3) …-la-ma (…したさうだ)。

(4) …-ha (…[しなさい]よ、…[しなさい]ね)。

(5) …-pe (…か)(疑問)。

1. 大 豹 社 (pəpətseq)

1. pinsəkəin na məraho: ra:ral 發祥地の祖先昔

- nano qo: / gin'aripən pasəkə? sami ə 何は起原破出我等ア
tajal heja ga: / maki? qotux ja:pa na βət- タヤル其は有一大の石
nux ma ro: / si: patəska makəkə? ro: / さうだ而自然成半分破裂而
sazip məlikui qotux kənairil mahto: sqo: 二人男一女出へ
pinsəkə:n / kətə:n naha? mēga: / lahləhoi 破裂處所見彼等のすと深林
matəqijuwai ro: / qəsi: no nanak / nano qo: / 純粹のと獸只何は
qotux məlikui heja ga: / "məqailəg sako 一男其は俺我は
maki? βə:paə na rahejal" / mutši ro: / wa- 居上の地といふ而去
jal mizup sqo: pinsəkəin laozī ma / aki 入へ破裂處再さうだ欲

1. 昔の祖先の發祥地

抑、我々アタヤルが[石を]破つて出た起りは、其は一つの大きな石が有つたといふことだ。[それが]バツと二つに割れて、二人の男と一人の女がその破裂した處から出た。彼等が見ると[周圍は]只純粹の深林と獸類と丈であつた。そこで一人の男は、私は地上に居るのが厭になつた]といつて、其の破裂した處へ再びはひつてしまつたさうだ。

採録期：昭和六年十二月、及び同七年十月、新竹州大溪郡角板山にて調査。

口授者並説明者：大豹社の人、Iausip watan (日野三郎) 3) 予、總督府醫學專門學校出身、角板山駐在所公醫、原文の内 1. 2. 4. 5. 7. 16 に於て傳説の内容、及び文章が Otto Scheerer 氏の Sagen der Atayalen auf Formosa (Zeitschrift für Eingeborenen-Sprachen XXII, 1932) のものと類似せる所あるは同一口授者より材料を蒐集せるに因るものなり。

- 1. p-in-s-βəka?-an 破つて出た處、pas-βəka? (破つて出る) 比、mak-βəka? 破れる、-in- 過去、-an 場所、na 普通名詞(父母などの人名詞を除く)の屬格。
2. nano qo: 文の始に用ゐる語、何あの…は、抑その…は、など、nano 何、qo: 冠詞主格、…は。
g-in-'arip-an 始めて…した事、g-əm-'arip 始める。
s-ami 我等、對話者を含まず、主格、IN. mi
otajal 普通 atajal、又 tajal といふ、アクセントに前行する音節の正規母音は多く不正規母音に轉ず、精確の發音は atajal に近し。
3. heja <hi-a 彼は、其は、IN. sia.
ga 數種の用法あり、(1)…は、…が、(2)…(した)が、(3)…(した)ら、(4)…(する)と、など。
ja:pa na βətunux 石の大きな。
βətunux 石、-nux 接尾辭、IN. batu.
4. ma …(した)さうだ、…(だ)といふことだ、など。
ro: 名詞、動詞、句を結付ける接續詞、而して、それから、…と…と。
si: 自然に、其儘になどの義より轉じて種々の義に用ゐ

らる。(1)自然に、si: pata-ska 自然に半分になる <ska 半分、(2)其儘、si: əβus-an 其儘物を吞込む <əm-əβus 吞込む、(3)其儘ごととして動かぬ、si: naga-i 其儘にごととして居て人を待つ <mə-naga 待つ、(4)其儘直に、突然、si: kota ふと見ると、忽ち見る <kita 見よ、si: owah 突然来る、来るなり直に、<m-owah 来る、(5)其儘つづく、…しながら、常に、段々、si: pəso-kəmtux 常に苦い顔をしてある <kəmtux 苦い、si: βin-gə-gijuts 其儘欠から次へと、段々に <min-gə-gijuts 段々に、si: βin-zi-zuwao 其儘相變らず困つてある <βi-zi-zuwao 困てる、防げる、(6)其儘で他物を混ぜぬ、只其丈、si: ka-ramo 血だらけ <ramo 血、si: pata-βətši 各自分丈でする <βətši 各、此の si: はタコナン社、又 seedeq の asi に相當す。

- 5. sqo: <sa qo: sa…に、…を、…へ、qo: 冠詞、主格。
6. kotan <kita-an 見る、客體主、位置主 IN. kita.
naha? <na-haga, la-haga 彼等は、na…の、la- 複數、haga <higa, IN. sir, a. Atay. h <IN. a. 例 heko 肘、IN. siku. Atay. g <IN. r, 例. pagai 靛、IN. par, ai.
10. aki 精確には aki. 數種の用法あり、(1)…したいものだ、aki ta h-əm-kəpi 我等獲したいものだ、(2)…したいものだか何かしらん、aki h-əm-soa? əsa-n 彼處へ行きたいものだか何かしらん、(3)…かもしれない aki wi kali-an wi mahap-an 晝や夜が出来るかもしれない、(4)…したいと思つてしようとする、aki naha? qareq-an その人を彼等が引止めようとする。

- 1 naha? qarəqan ga: / waja lama mizup la 彼等の所引止併去先に入了
2 ma / nano jasa qo: / "maosa ta həmsowa? さらだ何其は將我等爲如何
3 laga: / maβəho: jao ta la" mutši ro: / jasa ならば曠我等はのだといふ而其
4 nanak si: naha? ləpluβi karərijax / nano 而已じつと彼等の所考常に何
5 sqo: min'arip ga: / "musa gəmaja sqo: には始は行開務へ
6 jaqori / pizup βəihoi taita kaki'an" / mu- 鞍部入風をだらう所孕と
7 tši ləməpəlup ga: / ini kaki'i ma / nano 併不所孕さうだ何
8 sqo: minxal / "ini maagal ga: / maosa には或時ではないか取合すれば成
9 maki? laqei ta" / mutši ləməpəlup ga: / 有子我等のと考併
10 ini naha? si: βəqei / təlamən nija kowara 不彼等の直ちに所知所試彼の見て
11 qo: βəliβ qətsijən / βəliβ pəho: ro: / pa- は孔尻の孔鼻の而
12 pak / naqowaq ga: / ijats jasa / nano sqo: 耳の口の併非其何に
13 minxal / si: kəta nijal mutši "uiβ" / qotux 或時忽見來たといふ、ブーン
14 juβəli / mowah təpa juwao na gaja ləmə- 蠅來止間にの將考
15 gəlup ro: / "ini jasa pintəsəβəq na utux 而あらいか其暗示の紳

彼等(他の二人)は引止めようとしたか つたが、もう已にはひつて行つてしまつたさうだ。其で「如何したら、我々は殖える様になるだらうか」といつて、彼等はその事ばかり何かにつけていつも考へてゐた。搜、始めに[女は]山の鞍部へいつて跨を廣げて風に吹かせたら、孕むだらうと考へたが、孕まなかつたさうだ。搜或時二人が關係(交接)すれば子を孕むやうになるのではないかと考へたが、彼等は直には[其の道を]了解することが出来なかつた。彼等は尻の孔、鼻の孔、それから耳、口と、凡ての孔に試みたが、それではなかつた。すると或時、一匹の蠅がブーンといつ

- 1. la …した、なつた、la ma, la-ma したさうだ、なつたさうだ。
2. nano jasa qo: …、…は其だ、…したのはその譯だ、普通それでと譯す。jasa 其れ、其の事、ma-osa 此から行く、轉じて、此からなる、又單に未來、<m-usa 行く。
h-əm-sowa? 如何する、如何なる <ha-sowa? <sowa? 何故。
3. laga <la ga …した、すると、…したら。
ta 我等、對話者を含む、我等お互、主格又屬格、IN. ta. la 此處にては、…(nə?) なあ、…(nə?) よ、比、註. 1.
4. si: naha? ləpluβ-i じつと彼等が考へてゐる、客體主、~ l-əm-əpəlup 考へる、34頁、註. 4.
ka-ra-rijax 日日、常に、rijax 一日二日と數へる II.
nano sqo: min-'arip 搜その始まる時には、<'arip 始。
5. g-əm-aja <gaja 將。
6. pizup 入れる、比、mizup 入る。
taita <ta-ai ta <kita-ai ta 我等が見よう(2)、kita 見る、-ai 現實未來、位置主の接尾辭、比、βəq-au ta 大方、大體、原意、我等が知らう、βəq 知、-au 現實未來、客體主の接尾辭。

- kaki'an 原意、居る處、maki? 居る、有る、ini kaki'i 居ない、孕まない、客體主、7行。
7. l-əm-əpəlup 考へる、<lup
8. min-xa-l 原意、一度、xa -, xa は單獨には用ゐられず、sa-xa 只一人、比、IN. sa. Tag. min-sa-n 一度。
ma-agal 互に取る、此處にては男女の關係すること、ma- 相互、比、ma-kajal 互に話す、相談。
9. maki? laqei <maki? a'əqei 子が有る、孕む、al:ei 子、比、IN. anak 子、IN. の一種の n は l となる、比、tala-qei 鱈、IN. tuna. -qei <q- 接尾辭、i は q に連る時 i ei 又は ei となる。
10. ini naha? si: βəq-ei そのまま直に[彼等の知る所]とならぬ、βəq-ei 知る、客體主。
talən-an nija 彼の試みる處、その孔、位置主、~ t-əm-alam 試みる、主體主、nija 彼の、~heja 彼は、比、Mal. nia
11. qətsi-j-an 大便の處、qətsi 大便。
12. ijats …でない、…に非ず。
13. si: kəta 偶然見た、34頁、註. 4.
15. p-in-tsəβ-βəq na utux 紳の歌へさせた事、pa-tsəβ-βəq 歌へさせる。tsəβ-βəq <ts-βəq 歌へる <βəq 知る。

- ¹ gau' mutsi mero: / talaman nija mēga: /
ええ といふそれで 所試 彼の すると
- ² maosa jasa ſalai qo: / ?inluſan maqaja-
成 其 本當 が 考 生物の
- ³ nux ma / ſiſaq haſi lēga: / nanak hei?
さうだ 久 少 すると 異様 體が
- ⁴ naqo: kōnalril ro: / nijal ſi: ?in-gēſijuts
の 女 而 来た 自然 段々
- ⁵ ja,ſa ?kātu? nija ro: / ki?a taihok qo: ſi-
大 腹 彼の 而 頃 到 が
- ⁶ jaſſij nija ga: / maki? paſal lē ma ro: /
月 彼の すると 在 家 住つた 而
- ⁷ tſijai ſalai qais ni ja,ſa nija ro: jaja ni-
多 實に 喜の 父 彼の と 母 彼
- ⁸ ja / nano jasa qo: / gin?ariſan pēs,ſēka?
の 何 其 は 起原 破裂
- ⁹ ro: maſəhojao na ſami ōtajal /
而 増殖 の 我等 アタヤル

て飛んで来て、膝の間に止るのを見た。
そこで考へて「それは神の暗示ではあ
るまいかねえ」といつて、彼等が試みる
と、生物の考(性慾)が、本當にその通りに
なつた(満足を得ること)さうだ。暫く
すると女の體が異様になつて、その腹
が段々に大きくなつて来た。月が到
来すると、家に引籠つた(子を生むこと)。
それで、その父と母との喜は、實に非常
であつた。[石が]破裂して我々アタヤ
ルが増殖する様になつた起原は、其ん
な事である。

2. ?a?ariſan mita ſileq.
起原 見る シレック島で

- ¹⁵ mēraho: raral heja ga: / upats qo: ſə-
祖先 昔 其 は 無 が 可
- ¹⁶ ſəpuſan naha? aosa / maosa ſilaq ro: ja-
決定物 彼等の 外出 成 吉 と
- ¹⁷ qeh / nano jasa qo: / mēnə?u? ro: magal
凶 何 其 は 成病 或 取
- ¹⁸ qailis karuma ga: / gəlēgan naha? mē-
惟我 或時 は 所伴 彼等の

2. シレック島で判断する起原

昔の祖先は、彼等が外出する時吉凶
を判断すべきものが無かつた。其で
病氣をしたり、怪我をしたりして、その
結果或時は彼等は死んださうだ。其

- 2. ?in-luſ-an 考へてある事、客體主、l-ſm-ſp-luſ 考へる。
mē-qajanux 生命の有る者。
- 3. nanak ...だけ、自分一人、轉じて、特別、異様。
- 4. naqo: <na-qo: na は屬格、qo: は冠詞主格。
nijal 向から此方へ来る。
ſi: ?in-gē-gijuts 自然に次から次へと。34頁、註. 4.
- 5. ki?a 人、大、方。
- 6. maki? paſal 家に居る、轉じて子を生む義となる。
- 7. ni ...の、固有人名詞、又は父母等人名詞の屬格。
- 14. ?a-?ariſ-an <ka-gariſ-an (?), ?ariſ <gariſ (?)
mita <*k-ſm-ita 見る、主體主、此處にては吉凶を見る

- こと、<kita, IN. kita.
ſileq 小鳥の名、吉凶を報する鳥と信ぜらる。
- 15. upats 無い、有るの反對。
- ſəſəpuſan <sa-supuſ-an 判断に用ゐる物、原意は量
る具 <ſ-ſm-upuſ 量る。
- 16. a-osa 行く方法、行くべき道、~m-osa 行く、a- は母音
o の反覆。
- 18. ka-ruma <ruma 或る物、他の物。
gəlēgan <gəlūg-an 伴ふ物、共に...する物、~g-ſm-
alu: 伴ふ、共に...する <gəlu: 語尾の u: 又は o: の
後に母音の來る時は -uſ-, -oſ- となる。

- ¹ hoqeil ma / jasa qo: mēkajal mutſi / "aki
死 さうだ 其 は 相談 いふ 欲
- ² ta hēmkapi ſqo: maosa junao na utux /
我等 獲 た 成者 代理 の 神
- ³ ſəməpuſ ſqo: ſilaq ro: jaqeh" /
が断者 な 善 と 惡
- ⁴ nano ſqo: minxal / mēsəſəpuſ lēmailēq
何 に 或時 競争 持上
- ⁵ ſətuſnux / kərajas lēluſ / tſijaqoſ ki ſileq
石を 横切 川を 鳥 とシレック島
- ⁶ ro: / "kija mijan qo tēhojai ga: / jasa qo: /
而 有者 我等の が 能力 が 其 は
- ⁷ maosa ſəməpuſ mita pəkəkapi mamō ka /
可成 判断者 見 往來 汝等の 其
- ⁸ maosa ſilaq ro: jaqeh" / tſijaqoſ qo:
可成 善 と 惡 鳥 は
- ⁹ qəſo ro: / ſi: paqa?qa? lēmailēq ga: / ini
初 而 ながら カーカー 持上 併 不
- ¹⁰ pələgəloa ro: / ſileq ſi: junao / ſi: paſi:
所使動 而 シレック島 直に 代 ながら シ-
- ¹¹ ſi: wajaſ naha? ſi: lələjaqei / kərajas
シ-いふ 了 彼等の 直に 所持上 横切
- ¹² lēluſ / muſa ſəmi qəſijaſ / nano jasa qo: /
川を 行 置 向岸に 何 其 は
- ¹³ ſileq waſ lēmaqox / ?ariſ kija / kija qo:
シレック島 了 勝 から 其 有 が
- ¹⁴ aasan ga: / ſileq ſəpuſan mita ſqo: /
外出 れば シレック島 所判断 見 な
- ¹⁵ maosa jaqeh ro: ſilaq la /
成 善 と 惡 了

で[彼等は]相談して「我々は神の代理に
なつて、吉凶を判断すべきものを捜し
たいものだ」といつた。
或る時鳥とシレック鳥とが、石を持
ち上げて、川を横切る競争をしたこと
があつた。而して[彼等は]、「我々の中
で[此の事に]堪へ得た者がお前等(人間)
の往來の吉凶を判断するものになら
う」といつた。[そこで]鳥が初めにカー
カーといひながら[石を]持上げたが[石
は]動かかなかつた。そこでシレック鳥
が其場で直に代つて、シ-シ-といひ
ながら[石を]そのまま持上げて、川を横
切つて向岸に置いた。其様にしてシ
レック鳥が勝つた。其からは[人が]外
出の事がある時は、シレック鳥が吉凶
を判断するやうになつた。

- 1. mēkajal <ma-kajal, ma- は相互の義、~ k-ſm-ajal
話す。
- aki ...したいな。34頁、註. 10.
- 2. h-ſm-kapi 獲す、又、h-ſm-kani ともいふ。
- 3. ſqo: <sa qo: ...を、
- 4. mēsəſəpuſ <ma-sa-supuſ 競争、原意は、互に量り合ふ、
<supuſ
l-ſm-aiſeq 持つて上げる。
- 6. kija 有る、其處に在る、又其處に在る其の物。
mi-j-an 我等の、~ſami 我等は。
- 7. pəkəkapi <pa-ka-kapi 往來、~pahkani 歩け。
mamō 汝等の、~ſimo 汝等は。

- ka 其の事、其の者、關係代名詞の如き語を爲す。
- 9. ſi: pa-qa?qa? カーカーといひながら、pa- は動詞構成
の接頭辭、ſi: ...しつづ、其のまま。
- 10. ſi: pa-ſi: ſi: シ-シ-いひながら。註. 9.
- 11. wajaſ ...してしまつた、原意は、去る、去つて行く。
ſi: lələjaqei <*ſi laileq-i そのまゝ直に持上げる。客
體主、比、註. 4.
- 12. ſ-ſm-i 置く <ſi.
- 13. waſ <wajaſ ...してしまつた。註. 11.
?ariſ kija 其から、?ariſ 始。
- 14. aasan <a-ſm-an いつも外出の時 <uſa 行け。

3 kai na makasijuts
話 の シグツツ族

- 1. nano sqo: mōraho: rāral / maki² qotux
何 時に 祖先 昔 有 一
- 2. qo: saon naha² qalaq sijuts / mutši
が 所言 彼等の 社 シグツツ 特別
- 3. nanak qaqañanux naha² ma / nano qo:
四 生活は 彼等の さうだ 何 は
- 4. sijuts qasa mega: / siqiwai maneq ja²ux
シグツツ 其の といふは 具 食 湯氣な
- 5. na pinhapui ro: / tšinahok reramats ma /
の 炊いた物 や 煮た物 菜 さうだ
- 6. musa mahto: / kija qo: sijuma ro: / kə-
行 出 有 が シユマ 而 所
- 7. tan mōga: / ana pahpui mami ro: / ta-
見 すると ても 炊 飯 又は
- 8. mahok reramats mōga: / ini naha² neqei
煮 菜 併 不 彼等の 所食
- 9. hei² nija / siqiwai pasəhop ja²ux nija ma /
實は 其の 具 吸込 湯氣を 其の さうだ
- 10. nano qo: / sijuma heja ga: wa:l nija
何 は シユマ 其の は 成了 彼の
- 11. si: ʔe:ʔəsan mami ro: reramats / kətan
其儘 所吞込 飯 や 菜は 所見
- 12. naqo: masijuts ga: / si: ʔanəkux mutši
の シグツツ等 すると 直に 驚 さう思
- 13. "pahto: ino qo: wal neqon mōro:" /
出 何處 は 成了 食物 だらう
- 14. nano jasa qo: kjalun naqo: sijuma /
何 其 は 所話 の シユマ
- 15. mutši "ʔali ja:na simo / upats ʔəliq qə-
といふ 豈 如 汝等 無 孔
- 16. tšijan / sami heja ga: ʔingəgijuts mijan
尻の 我等 其 は 段々 我々の

1. maka-sijuts シグツツに属する者、即シグツツ族、比、
maka-pijasan ヒヤサン社(角板山社)に属する人、
maka- は本来、…からの義、此處には、…から出る、…
出身などの義。
3. sa-on naha² 彼等が…とさういふもの、sa は jasa
其れ、qasa 其處などの sa、-on は客體主を表はす接
尾辭、sa-on はさうする事、さういふものなど。
4. qa-qañanux 生活の方法、~ma-qañanux 生活する。
5. maneq <*k-əm-an-əq 食ふ、~kañ-əq 食へ、<kan
比、IN. kan. -əq は特種の接尾辭。
6. p-in-hapui <p-in-a-hapui 炊いた物、<pa-hapui 炊
く、火で…する。比、IN. apui 火。
tšinahok <*t-in-ahok 煮た物、~t-əm-ahok 煮る。
ra-ramats 色々の菜、複數、ramats 菜(さい)。
9. ini naha² neq-ei 彼等が食はない、客體主、原意は其物

3. シグツツ族の話

報告の祖先の時、シグツツ族の蕃社
があつて、彼等の生活は自ら特別のも
のであつたさうだ。其のシグツツと
いふ種族は、炊いた物(飯)や煮た菜の湯
氣計りを食つてゐたさうだ。
シユマといふ人があつて、其處へ出
掛けて行つて見ると、飯を炊いても又
菜を煮ても、其の實は食はないで、只其
の湯氣を吸つて計りゐたさうだ。扱
其のシユマは飯と菜とをそのまま呑
込んだので、シグツツ等は見て驚いて、
「あの食つた物は何處から出すのであ
らう」と思つた。そこでシユマが話し
ていふには、「[我々]はお前達の様に尻
の孔の無い者などではない。我々は
次々と[食つた物を]外に排泄するのだ」。

は彼等の食ふ物でない、-ei は其の物を示す、食ふの語
は本来 k-əm-an-əq なるを普通略して maneq とい
ふにより ma を接頭辭と考へ neq を語幹として活用
するに至れるものなり。
10. nija 其の、彼の、heja の屬格、比、Mal. nia
12. si: ʔə:ʔəsan 其のまゝ吞込む、用具主、飯も菜も彼がその
まゝ吞込む物にしてしまつたといふ義、34頁、註、4。
13. ma-sijuts シグツツといふ者。
14. wa:l neq-on 食つてしまつた、食ふ物にした、neq-on
食ふ物。
15. kjal-un 話す、客體主、~k-əm-ajal 同上、主體主。
16. ʔali 豈、何で(其儘なものであらうぞ)などの意、反語。
17. mi-j-an 我等の、sami の屬格、此處には排遣が主とな
り、排遣は我等の漸次にする所の事といふ義。

- 1. mastanux² / san nija ro: / stalam nija
排遣 如其 彼の 而 所試 彼の
- 2. masqotsi ma /
放棄 さうだ
- 3. kəmajal qotux qo sijuts "kani ʔaqei
話 一人 は シグツツ 或不 所能
- 4. ka²alai ʔəliq qətsijan / aki mara²i sunan /
作 孔を 尻の 欲 見習 汝な
- 5. ini kanəq ja²ux na pinhapui² / mutši
不 食 湯氣を の 炊いた物 と
- 6. kəmajal mōro: / nano jasa qo: / "kə²alajao
いふ それで 何 其 は 所將作
- 7. mako ʔəliq qətsijan so / taita so ja:na
我の 孔は 尻の 汝の だらう 汝は 如
- 8. kuzij / maneq mami ro: reramats sa
我 食 飯 と 菜を 如其
- 9. ʔingəgijuts mastanux² / "ʔəliq ʔəlai ʔəliq
次次に 排遣 開孔せよ 是非 孔を
- 10. qətsijan mako² mutši / maqais ʔəlai ma /
尻は 我の といふ 喜 甚 さうだ
- 11. nano jasa qo: / səsulij ʔələq naqo: siju-
何 其 は 所燒 鐵を の シユ
- 12. ma ro: / matalah ʔəlai sinulij ʔələq la-
マ 而 成赤 甚 燒了物 鐵了
- 13. ga: / ʔəpəqon nija na qətsijan / si: nija
時 所使典 彼の 以て 尻を 直に 彼の
- 14. sa / "jus" maitaq sa qətsijan / wal si:
如其 シユツと 刺 へ 尻 了 其儘
- 15. gəlu: mahoqel / maki²nəheju məgijai qo:
同時に 死 竈に 逃 は
- 16. sijuma heja la /
シユマ 其 了
- 17. nano qo: riputs qasa mōga: / ja kina-
何 は シグツツ 其の といふのは 輕さ
- 18. lah²əo ʔəlai maqəz:inah / sowa² ini qo:
甚 走 何故 かといふに

彼はさういつて其場で大便をして見
せたさうだ。
[すると]一人のシグツツは「我等も、炊
いた物の湯氣を食はないお前に見習
ひたいなあ、何とか尻の孔を作ること
は出来ないものだらうか」といつたの
で、其では私がお前の尻の孔を作らう、
さうすればお前は私の様に、飯と菜と
を食つて、次々と排泄する様になる」と
いつた。シグツツは「私の尻の孔を是
非あけてくれ」といつて、大變喜んださ
うだ。そこでシユマは鐵を燒いて、そ
の燒いた鐵が非常に熱くなつた時、彼
は[シグツツ]の尻を此方へ向けさせて、
いきなり尻へ[鐵を]シユツと突刺した。
シグツツは立所に死んだ[ので]シユマ
は竈かに逃げた。

扱、其のシグツツ族といふのは體が
大變輕くて走るのが速い。其は湯氣

1. mas-tanux 排遣、原意は外に出す <tanux 外、比、註、2。
2. mas-qotsi 大便を出す、比、註、1。
s-talum <sa-talum 試して見せる、原意は彼等の爲に
試してやる、用具主、sa-…の故に、…の爲になど、原
因、理由の義を有する接頭辭。
3. kani ʔaq-ei 若しや …することは出来ない事だらう
か、ʔaq-ei 知る、客體主、此處には能ふの義。
4. ma-ra²i 見習ふ、原意、其通りにする、同化する。
su-nan 汝を、汝に、~i-so 汝は。
6. ka²alajao mako 私が作らう、客體主、-ao は現實未
來、客體主の接尾辭。

9. ʔəliq-i 孔を開けよ、命令、位置主、尻。
11. sə-sulij <sa-sulij 燒く、用具主、シグツツの爲に燒く。
sijuts が主格、s-in-ulij 燒いた物、鉄、12行。
13. na qətsi-j-an 尻を、na は…を以て、…を用ゐて、といふ
義、尻を以て此方に向けさせるといふ言あらはし方。
18. kina-lah²əo 輕さ、ja の意味不明、全體としては輕さ
の爲に大變よく走るの義。
19. sowa² ini 何故かといふに、原意は何故さうでないかと
いふにといふ義なれども、此處にては否定 ini の意味
を有せざる一種の用法なり。

- ¹ sigiwai maneꝥ jaꝥux / nano qo: sinəꝥil-
只 食 湯氣を 何 は 魂者
- ² an / hamaop sa qətsijan pahoqelun na siju-
挿入 へ 尻 所殺 の シユ
- ³ ma qasa ga: / matu:leq sasan kətan na-
マ 其 は 起 朝 所見 彼
- ⁴ haꝥ / nux mahoqel ro: / wajał məgijai qo:
等の 居 死 而 去 逃 は
- ⁵ sijuma uzi ro: / ꝥaqon nahaꝥ sa heja wal
シユマ 亦 それで 所知 彼等の を 彼 了
- ⁶ pahoqel ro: / si: nahaꝥ tapətsijai mahe:
殺 而 直に 彼等の 所追後 追掛
- ⁷ jao / kəta:n na sijuma nijal mahejao /
所見 の シユマ 來 追掛
- ⁸ maosa samhapela ro: / si: hakas maka-
將 追附 それで 直に しまつた 登
- ⁹ rao / talaqeiꝥ sa lelu: na kahəqəꝥ / ini
隠 へ 梢 の 木 不
- ¹⁰ lawa ꝥiꝥaq / nijal ja:na ꝥaihoi / nijal si:
待 久 來 如 風 來たながら
- ¹¹ paꝥəꝥəꝥoras mahe:jao / ini nahaꝥ lui qo:
カカ音立てる 追掛 不 彼等の 所見附は
- ¹² rapal pagijuwagun nahaꝥ ləro: / wal ma-
足跡 所紛失者の 彼等の それで 去
- ¹³ ꝥəzi:nah /
引返
- ¹⁴ soro: na masiquts ləga: / maꝥijaq ra-
後 の シグツツ等 そこで 下る
- ¹⁵ hejal ro: / mapəꝥo owah nahaꝥ həmkəꝥi
地に 而 恐 來 彼等の 獲
- ¹⁶ na siꝥuts laozi / saꝥal nija kamatsi / qo:
の シグツツ 又 所取 彼の 齧跡を は
- ¹⁷ ꝥəliꝥ qaom / hatulan nija ro: / saꝥilan nija
穴 穿山甲の 所詰込 彼の 而 所殘置 彼の
- ¹⁸ kamamas kamatsi / sijao na ꝥəliꝥ qaom
塗 齧跡を 縁 の 穴 穿山甲の
- ¹⁹ ro: / si: ꝥinꝥilꝥilaꝥ məgijai mowah ꝥasal
而 其儘 好都合 逃 歸 家に
- ²⁰ qo: / sijuma qasa lama / kətan ꝥalai mə-
は シユマ 其の さうだ 所見 實際

1. s-in-əꝥil-an 其まにうちやつて置いた者、客體主原意、
遺して置いた者、～s-əm-uꝥil 遺す。
2. pahoqel-un 殺す、客體主、～mahoqel 死ぬ。
4. nux mahoqel 此處に死んでゐる、nux 此處に居る、比-
tsux 其處に居る。
6. ta-putꝥij-i 人の跡をつける、客體主、<putꝥij 後方。
11. ini nahaꝥ lui-i 彼等が其を見附けない、客體主、～ma-

計り食つてゐるからだ。擬シユマが
尻へ突刺して其のまゝ打ちやつてお
いた人を[他の]シグツツが朝起きてみ
ると死んで居た。又シユマは逃げて
そこに居なかつたので彼が[シグツツ
を]殺したことを知つた。それで彼等
は直に後を追掛けた。シユマが見る
と[シグツツが]追掛けて来て追附かれ
さうになつたので直に木の梢に登つ
て隠れた。間もなく[シグツツが]風の
様に、ガサガサ音をさせて追掛けて來
たが、彼等はシユマの足跡を見附けな
かつたので、引返して行つた。

シグツツ等の[去つた]後で[シユマは]
地上に下りた。而してシグツツが再
び捜しに来るのを恐れた。[それで]齧
跡を取つて穿山甲の穴に詰込んだり、
又穴の縁に塗つたりしておいた。而
して自分はうまい工合に家に逃げて
歸つたさうだ。シユマの[歸つた]後に、

lu 見附ける、主體主。
16. saꝥal …の爲に取る、用具主、穿山甲の穴に詰込む爲
に取る義、主格は穴。
17. hatul-an 詰込む、位置主、穿山甲の穴、～h-əm-utul 詰
込む、主體主。
20. kətan ꝥalai <kita-an ꝥalai 果して、原意、實際其を見
るといふ義。

- ¹ ga: / soro: naꝥo sijuma / mowah hamkəꝥi
すると後に の シユマ 來 獲
- ² laozi qo: lələsiꝥuts / lowan nahaꝥ / ꝥəliꝥ
再 は シグツツ等 所見附 彼等の 穴は
- ³ qaom / kətan məga: / nux kamasan na
穿山甲の 所見 すると 有 塗 で
- ⁴ ramo ro: / kiꝥa wajał miꝥup ꝥəliꝥ qani /
血 のでだらう 去 入 穴 此
- ⁵ mutꝥi məro: / haꝥun nahaꝥ na ꝥatejux /
と思 それで 所稱 彼等の で 槍
- ⁶ si: kəta nijal si: karamo lelu: na
其儘 見ると 出て來る だらけ 血 先は の
- ⁷ ꝥuli ro: / nano jasa qo: kiꝥa tsux maho-
獲 それで 何 其 は だらうある 死
- ⁸ qel mutꝥi laməꝥelung ro: / wal maꝥəꝥ
と 思 而 去 引
- ⁹ zi:nah ꝥasal nahaꝥ laozi ma /
返 家に 彼等の 再 さうだ

- 4. kai na minowah səmka
話 の 歸つた人 爲半分
wagi
太陽を
- ¹³ nano sqo məraho: ra:ral məga: / qo-
何 時 祖先 昔 さうだが
- ¹⁴ tux ꝥalai qo: wagi ro: / e: qalijan ləga /
一 只 は 太陽 而 時 晝 なる
- ¹⁵ si: ka qalijan kərarijax səmka kawas / e:
斗り 其 晝 常に 爲半分 年 時
- ¹⁶ mahapan ləga: / si: ka mahapan kərarijax
夜 なる と 斗り 其 晝 常に
- ¹⁷ səmka kawas / nano jasa qo: / si: ꝥinzi-
爲半分 年 何 兵 は 常に 困

2. lələsiꝥuts <la-la-siquts シグツツ等 lala- は固有人名
詞又は父母等の人名詞に附して複数を示す、lala-ꝥuta
アタ等、lala-jaꝥa 父等。
lo-w-an 見附ける、位置主、其の穴、mə-lo 同上、主體主。
3. nux kamas-an na ramo 血を以て塗つて有つた、nux
此處に在る、kamas-an 塗つた處、即穴、na ramo 血
で、比、haꝥ-un nahaꝥ na ꝥatejux 彼等が槍で物を
刺す、比、註5。
5. haꝥ-un 刺す、客體主、-un 客體主を表はす接尾辭、h-əm-
aop 刺す、主體主、本來 h-əm-aop けれどもアタヤ
語は語末に ꝥ を許さぬ故に p に轉す、-un の語
尾を附すれば haꝥ-un <haoꝥ-un となり、ꝥ を復
活す。
6. si: ka-ramo 血だらけ、ma-ramo 血が附いてゐる、si:
な附する時は ma- が ka- となる、si: 其のままの義
より轉じて全體一面の義となる、34頁、註4。

果してシグツツ等は再び捜しに来て、
穿山甲の穴を見附けた。見ると血が
附いてゐたので、此の穴にはひつたに
違ひないと思つて槍で突いた。見る
と槍の穂先は血だらけになつて出て
來た。それでシユマは死んでゐるの
に違ひないと思つて、彼等は再び自分
の家に引返して行つたさうだ。

4. 太陽を半分にして歸つて
來た話
昔祖先の時には太陽が只一つで晝
になると半年はいつも晝ばかり、夜に
なると半年はいつも夜ばかりであつ
た。それで人々が皆困つてゐたさう
だ。彼等は有ゆる方法について考へ

7. tsux ma-hoqel 其處に死んでゐる。
11. m-in-owah 歸つて來た人、行つて來た人、<m-owah 來
る。
s-əm-ka 半分にする、～sə-ska 眞中。
14. e: qali-j-an 晝の時に、e: mahangan 夜の時に、e: <i
位置を表はす、比、IN. i。
17. si: ꝥin-zi-zuwao いつも困る、ꝥin-zi-zuwao 困る、萬事
工合が悪い、～ꝥi-zi-zuwao 間に入つて邪賢する <
zuwao 物と物との間、34頁、註4。

- ¹ zuwao kowara sqoleq ma / upats ini naha /
皆 人 さうだ 無 不 彼
- ² ha? pakamahoma?i lamapalug ro / ruma
等の 色々工面する 考 而 或者
- ³ ga: "aki hamsowa? / osan pataska wagi /
は かしらん 如何する 行處 爲 半分 太陽は
- ⁴ taita aki wi qalijan / wi mahapan" mutsi
若しやかもしん 或 晝 或 夜 といふ
- ⁵ ro / makaqilu: kai naha? zosa samka
而 決 着 話 彼等の 行く爲 爲半分
- ⁶ wagi /
太陽を
- ⁷ nano jasa qo: / sawajao naha? sqo:
何 共 は 選理由 彼等の を
- ⁸ laokah marakijas / si: pata?utsi mapapa
強 若者 共儘 各自 負
- ⁹ alaqei ha?oko? / tsu:gal hei? naha? musa /
子 芽 三 人 彼等の 行
- ¹⁰ nano sqo: maosa ga: / kija muja jutak
何 時 將行 は 共處 植 柑
- ¹¹ ma / ana si: usausa ga: / ini tahki / ketan
さうだ ても 共儘 行 行 不 到着 所見
- ¹² lama ga: / ?onokis taqorejan kowara qo: /
老人 生白髪者 皆 は
- ¹³ mamarakijas ka kahol gasal ro: / sao?eh
若者等 即 出發者 家 而 側
- ¹⁴ naha? hazi qo: wagi lega / wal mahoqel
彼等の 始 は 太陽 去 死
- ¹⁵ kowara /
皆
- ¹⁶ nano qo: pinapa naha? alaqei ha?oko? /
何 は 所負者 彼等の 子 芽
- ¹⁷ marakijas kowara ro: / lahaga qo: sami-
若者 皆 而 彼等 は
- ¹⁸ junao lama / nano qo: marakijas / sami-
代 さうだ 何 は 若者 代
- ¹⁹ junao sqo: wal mahoqel musa ro: / tahk-
に 去 死者 行 而 所到
- ²⁰ an naha? ?alai hatagan na wagi / ketan
彼等の 實に 出處 の 太陽 所見

1. upats ini naha? paka-mahoma?i lamapalug 彼等が有ゆる方法について考へた。客體主、原意、色々の方法を考へないことはない。比. maka mahoma? 何でもよく気がつく。
3. aki ... したいものだが如何かしらん。24頁、註.10. osan <usa-an 共處へ行く、行く處、位置主、太陽、~m-usa 行く。
pata-ska 半分にする。41頁、註.11。
5. maka-gilu: 話がまとまる。原意、一致する <goluz 共

た。而して或者は、行つて太陽を半分にしたらどんなものかしらん。さうしたら晝になつたり、夜になつたりするかもしれんといつた。而して彼等の話は太陽を半分にしに行くことにまとまつた。

そこで、その爲に彼等は強い若者を[三人]擇んだ。彼等三人は各自自分の赤坊を背負つて行つた。而して行く時には、道々蜜柑を植ゑたさうだ。行つても行つても到着しない。見ると、若者として家を出發した者は、皆白髪になつた。而して、殆んど太陽のそばの所まで行つて、皆死んでしまつた。

すると、彼等の背負つて行つた赤坊は、皆若者になつてゐたので、彼等が[親達]に代つたさうだ。その若者等は死んだ[親達]に代つて行つて、到頭太陽の出る處に到着した。見ると大變熱い。

に、一緒に、. aosa <a-usa 行く原因、用具主、話。
7. sa-wajao ... の爲に選ぶ、用具主、~mo-wajao 選ぶ。
8. si: pata-putsi 各自で...する、?utsi 特別、録々。
9. alaqei ha?oko? 芽の子、赤坊のこと。
11. ini tahk-i 共處に到着しない、位置主 tahk-i <taihok-i、i 位置主の接尾辭、註.19。
13. ka 其の者、關係代名詞の如し、即ちの意。
16. p-in-aga 負つた者、客體主、赤坊、~maga 負ふ。
19. tahk-an 共處に到着する、位置主、<?taihok-an。

- ¹ moga: / makilux ?alai ma / si: naha? ?ala-
すると 熱 甚 さうだ 共儘 彼等の
- ² jaqei managa qoma?ujaj / hatagan na wa-
所注意 待 潜伏 出處 の 大-
- ³ gi paos na rəgijax / ketan laga: / nijal
陽 嶺 の 山 所見 すると 來
- ⁴ mahto: wagi / makilux ?alai / maimao
出 太陽 熱 實 知
- ⁵ masajux raozeq / nano jasa qo: / si: na-
眩 目 何 共 は 共儘 所
- ⁶ gai pəspiluk pinaloq "paok" san nija
待 引絞 弓を バツ さうだ 彼の
- ⁷ mo? ro: / nijal mutsi "was" ramo nija
射 と 來 といふ サツ 血 彼の
- ⁸ ro: wal si: ?apu?i na ramo qo: / mino?
而 了 共儘全部 所被 の 血 は 射た人
- ⁹ wagi qasa la / nano qo: / thai ?inpuxan
太陽を 其の 了 何 は 生殘 所被
- ¹⁰ na ramo sqoleq heja ga / min?əzinah
の 血 人 共 は 引返了
- ¹¹ mowah ro: si: kakanəq pinəmuja naha?
來 而 ながら 食 殺た物を 彼等の
- ¹² sqo: maosa jutak / taihok gasal laga: /
時に 將往 蜜柑を 到 家 したが
- ¹³ nijal ma?u?ui / mi:q hahaoko / taqorejan
來 曲る 持 杖を 生白髪者
- ¹⁴ ?onokis ?alai la ma /
老人 非常 なつたさうだ
- ¹⁵ ?apa?ao naqo inowahan naha? mo? wagi
後 の 歸つた時 彼等の 射 太陽を
- ¹⁶ laga: ?ariq kija / wi qalijan / wi mahapan
なると から 共 或 晝 或 夜
- ¹⁷ ro: / qalijan ga wagi mahto: / mahapan
而 晝 は 太陽 出 夜
- ¹⁸ ga: ?ijatsij mahto: / ?ariq kija / min?ilaq
は 月 出 から 共 好都合

そこで彼等はよく注意して、太陽の出る處の山の峠に潜伏して待構へてゐた。見ると太陽が出て來た。非常に熱くて、目がくらみさうだ。それで其の儘じつと待構へて居たが[頃を見計つて]弓を引きしぼつて、シューと射ると、血がサツと進つて、太陽を射た人は頭から血を流して[死んだ]。血は流びたが生殘つた者は、行く時に植ゑておいた蜜柑を食べつゝ、引返して來た。家に着いた時は、腰が曲つて杖を持ち、頭は白髪になつて非常な老人であつたさうだ。

彼等が太陽を射て歸つてからは、晝になつたり、夜になつたり、晝は太陽が出て、夜は月が出る様になつた。[而して]其から、凡ての人の生活が幸福に

1. ?al-aj-aei 共處でよく注意して...する、位置主、ei <i 場所を示す、~?ilaq 善い。
2. hatag-an 出る處、~ma-hato: 出る、-o: の後に母音の來るときは -og-, 又は -eg- となる。
5. si: naga-i そのまま人を待つ、客體主、~ma-naga 待つ、主體主。
6. paok san nija mo? 彼がバツと射る、san <sa-un 其の如くする、客體主、sa は qasa 共處、jasa 其れ、の sa。
8. 9. si: ?apu?i na ramo 全部血の被ふ所となる、位置主、原意は血で押へつけられる、si: 全部、一面、?inpux-an na ramo 血で被はれた人、位置主、~am-

apux 上から押へつける。
8. m-in-o? wagi 太陽を射た人 <mo? 射る。
11. p-in-əmuja 植ゑた物、客體主、~məmuja 植ゑる。
12. sqo: ma-osa 行かうとする時に。
13. ha-haoko 杖、原意、つく具、~h-am-aoko 杖をつく、ta-qare-j-an <*ta-qori-j-an 白髪のある人 <qori 白髪。
15. ?apa?ao 後(時間)、原意、上の義、?apa?ao nja 其の後、nja は heja の屬格。
in-owah-an 歸つて來た時、-an は時を示す、~m-in-owah 歸つて來た人、主體主、比. ?atsij-an 月夜、月のある時 <?ijatsij 月。

1 maqajanux kowara sqoleq la ma /
生活 皆 人 なつたさうだ

なつたさうだ。

5. masunu?
洪水

5. 洪 水

- 4 nano sqo: ra:ral heja ga / upats zizik
何時 昔 其は 無 深
5 uru: ro: lohei / sigiwai mətapaq pa'nux
谷 と 崖 只 扁平 平地
6 rəhejal nija ma / ana maki? rəgijax nija
土地は 其のさうだ ても 有 山は 其の
7 ga: tətaikei / jasa βalai qo: pa'nux ko-
やはり 小 其 實に は 平地
8 wara / leluq uzi ga: / ini βaqei sa wal
昔 川 又 は 不 所知 を 去
9 moah kija /
行 其處
10 nano sqo: minxal / masunu? ro: / ana
何 に 或時 洪水 而 ても
11 səsəβaqei na gaon / məβahojiao kowara /
其小川 の 谷川 皆
12 kətan la ma ga: / nijal si: ʔingəgijuts
所見 了 さうだ すると 來 自然に 段々
13 məβahojiao məswasiluq ro: / məgijai tai
皆 成 海 それで 透 方に
14 papakwaqa / kowara qo: ətajal ga: / nijal
大霸尖山 皆 は アタヤル 了 來
15 si: ʔingəgijuts rəmororo / məβahojiao uzi
自然に 段々 進行 皆 又
16 qo: qəsija / kira ləga / səgintaʔto nija βaʔo
が 水 後 になつて 所押詰 其の 頂上
17 papak rəmororo ətajal la /
大霸尖山の 進行 アタヤル 了
18 nano jasa qo: / makajal kowara qo:
何 其は 相談 皆 が
19 ətajal / "sowa? mowani qəsija qani / nux
アタヤル 何故 成如此 水 此の 來
20 si: ʔingəgijuts məβahojiao / ini kija nux
自然に 段々 皆 非 其處 有
21 nija pəsənaon ga: / aki həmsowa? / βeqan
彼の 所要求 了 ば かしら 如何 所興

扱、昔は深い谷も崖もなく、土地は凸
凹のない平地ばかりであつたさうだ。
山はあつても小さくて、一般平地と同
じであつた。川も亦、その流れて行く
方向が分らなかつた。
すると或時洪水が出て、ほんの小さ
な谷川でも皆水が出て、見てゐるうち
に段々ふえて海になつた。それで蕃
人は皆大霸尖山の方に逃げたが、水は
又ふえて、段々進行して來たので、蕃人
は遂に大霸尖山の頂上まで押詰られ
てしまつた。
そこで蕃人は皆相談して、此水が段
々ふえて來るのは、一體如何した事であ
らう。何か神の要求があるのでは
あるまいか。我々が人を一人献上し

7. ta-taikui, 小さい, tsikui の複数.
11. sa-səβaqei, 泉より流れ出る細い川(səβaqei)の複数.
15. r-om-oro 進行, 人を押して進む, 原意, 物を横に押す.
16. sa-gin-taʔto <sa-gin-taʔto 押つめる材料, 用具主, sa-
...の材料. ~ pa-taʔto 押しへしやぐ.
19. sowa? mowani qəsija qani 此の水は何故こゝなのだ

らう, sowa? 何故, mowani 何だか分らない. 比. na-
no mowani so 汝は何たることぞ, tsux lux mowani
la 何だか見當がつかなくなつた.
21. βeq-an ta qotux sqoleq 我等が一人の人間を興へる.
原意, 一人の人間を用ゐて興へる事を行ふ, 人間を材
料と見なし, 用具主の接尾辭 -an を附す.

- 1 ta qotux səqoleq" mutši ro: / sawajao
我等の 一 人 といふ 而 所押理由
2 naha? qotux jaqeh na sqoleq / saβəliq na-
彼等の 一 悪者の 人 所殺 彼
3 ha? qəsija ro: / kəta:n ga: / maimao həpe-
等の 水に 而 所見 すると 如 音
4 jaŋ / nijal qəz:tnah məβahojiao / kamajal
皆 來 反對に 皆 といふ
5 kowara / "kiʔa nux taʔoqo / wal ta βeqan
皆 恐らく 居 煩 了 我等の 所興
6 jaqeh na səqoleq / aki msowa? / βeqan
悪者 の 人 かしらん 如何 所興
7 ta alaŋei kənaril na maraho: / mutši
我等の子 女 の 頭目 といふ
8 makajal ro: / kijalun naha? qo: maraho:
相談 而 所語 彼等の は 頭目
9 ga səmowajal ro: / βeqan naha? βalai ala-
すると 承諾 それで 所興 彼等の 眞子
10 qei kənaril na maraho: ga: / si: kəta
女 の 頭目 すると 忽 見る
11 wal mutši "go:r" həpejaŋ juwan wal
了 といふ ゴーッ 音 如 了
12 məslohei / maqəleh qəsija /
崩崖 潤 水が
14 kəta:n qo: rəhejal məga: / masoq məs-
所見 は 地 すると 終 崩崖
15 lohei / kiʔan na uru: zizik ro: lohei / na-
所在 の 谷 深いと 崖 何
16 no qo: / irəwahān qəsija ga: / tsijai βalai
は 通つた跡 水のは 多 實に
17 qalqoleh ro: / tatəlaŋei uzi / masoq pəqa-
多魚 而 多鱧 亦 終 掛
18 ja / ini koaʔi maneq / wal masoq məsta-
不 能 食 了 終 腐
19 maq səkinux βalai ma / ʔariŋ kija / kiʔan
臭 甚 さうだ から 其 所在
20 na lohei ro: / jaβa na rəgijax ro: / zizik
の 崖 と 大の 山 と 深
21 na uru: rəhejal qani la / mutši kai pin
の 谷 土地は 此の 了 さういふ 話は 所

たらどんなものであらう」といつた。
而して其の爲に、彼等が一人のつまら
ない(死んでも惜しくない)人間を探ん
だ。彼等が[其の人を]水に投入れると、
見てゐる中に水が音を立て、反對に
増して來た。皆が、我々がつまらない
人間を献上したので、神が怒つてゐる
のに違ひない。我々が頭目の娘を獻
上したら如何かしらん」と相談した。
而して彼等が頭目に話すと頭目は承
諾したので、彼等は頭目の娘を献上す
ると、見る見るゴ―ッ と崖の崩れる様
な音がして水が退いた。
土地を見ると、山崩がして、深い谷と
崖とが出来てゐた。扱水の通つた跡
には、魚や鱧が實に澤山[所々に]引掛つ
てゐた。それが食ひきれないで腐つ
てしまつて、大變臭かつたさうだ。此
の地に崖や大きな山や深い谷が出来
たのは、其時からだと、昔の老人等はさ
う言傳へてゐる。

12. məs-lohei 崖が崩れる <lohei 崖>.
15. kiʔan 有る處, 所在, ~maki? 有る.
16. in-owah-an 通つた跡, 原意, 來た處, m-owah 來る.
17. qal-qoleh, 魚(qoleh)の複数.
18. ini kə-koaʔi maneq 物が多くて食ひきれない, 客體主,
比, koaʔ-un so kaβalai ga 其の事汝の爲しきれる事
か, 客體主.
21. p-in-qəjuw-an 傳へた事, 物, 客體主, <qəju 繋がる, 傳
はる. 比, q-əm-iju 傳染する, 墨などしみる.

1 qəjuwan məraho: rə:ral / 傳 老人の 音

6. halus Hals

- 4 nano sqo: rə:ral / maki? qotux jaʒa 何時 音 有 一 大なの
5 ʒalai na sqoʒeq / halus lalo nija ma / kin- 實にの 人 Hals名は 彼のさうだ 大き
6 jaʒa na hei? nija ga: / kiʔa mətejuʒagan の 體 彼の は 凡そ 六十
7 qəʒa ma / inʔəʒiʒan nija ga: / qotux ato 尋 さうだ 寝た處 彼の は 一 區域
8 qəməjah məro: / si: kəkənu rahejal inʔə- 細 さうで そのまゝ 間 地は 寝
9 ʒiʒan nija / た處 彼の
10 qaiqaja nija heja ga: / tanaq kərajəs 道具 彼の 其 は 足る 横切
11 leʒup ro: / səkiʒi nija sa haoinuk e: mi- 川な 而 所登 彼の に 腰 時
12 məlux ma / e: məiʒəho: jaʒa qəsija ga: / 平常 さうだ 時 暴風雨 大 水 は
13 səpələwa naha? ro: / sahaogo nija leʒup / 呼理由 彼等の 而 架橋材料 彼の 川に
14 si: nija pəʔəgi qəʒa / təsʒaiʒan ma / kə- 同時に 彼の 所使 延 手 把持所 さうだ
15 nairil məlo: məga: / juwan su naqo: ʒa- 女 通る ときは 如 其 の
16 leq ini pələgəlo: / məlikui məlo: məga: 鐵 不 動 男 通 ときは
17 jaoʒeq jaoʒeq mutʒi mələgəlo: / kəʒu:n した した と 動く 所恐
18 ʒalai məlo: mutʒi / 實に 通行 といふ

5 kin-jaʒa 大きさ <jaʒa 大きい.
6 mə-teju-pag-an 六つ. pag-an <po: ~ ma-po: 十. -o: の後に母音の来る時は -ag となる.
7 inʔəʒiʒan 寝た處. ~ maʔəʒi 寝る.
8 qəməjah <qəma-jah. ~ ma-qəmah 辨す. 比. Paiw. qəma. IN. uma. huma.
11 sa-kizi <sa-kizi 物を以て登きつける. 用具主. ~ k-əm-izi 同上. 主體主.
13 sa-pələwa <sa-pələwa ...の爲に呼ぶ. 用具主. sa-haogo ...を以て橋にする. 用具主. haogo 橋.

6. Hals

昔或時、一人の非常に大きな人があつた。彼の名は Hals といつた。彼の體の大きさは、六十尋位あつたさうだ。彼の寝た處は、畑の一區劃丈あつて、其處の土地はそのまゝ、間んでゐた。彼の道具(陽物)は十分川に渡す丈(の長さ)があつて、平常は彼が腰に巻附けてゐたさうだ。暴風雨で大水の出た時は、人々が彼を呼んで来ると、彼は(陽物)を以て川に橋を架けた、而して同時に両手を延ばして、橋の欄杆にしたさうだ。女が通る時は鐵の様になつて動かないが、男が通るときは上下にしなしなと動いて、通るのが大變恐ろしかつたさうだ。

14. pə-ʔəgi qəʒa ...に手をそへる. 位置主 <pa-raʔo: へる. 介連にする. ~ r-əm-aʔo: 助ける.
15. su 其. 例. iso su ga ha-sowaʔ-un pe 汝が其であつたら其事は如何するか. ijats na-neq-on su loa 其は食物ではないでせうね.
17. kəʒu-un <kəʒogo-un 恐ろしい物. 客體主. 原意. 人の恐れる物. ~ mə-gogo 恐れる. 主體主.

- 1 ja:na qo: ja:na sa karərijax ga: / aki 如 其 如 其 常に なれて 或
2 ʒiləq / ʒalai ga: ini ma / nano qo: halus 宜 實に 併 非 さうだ 何 は Hals
3 qasa ga: / mizui ʒalai / e: musa qəməjah 其の は 惡戯 非常に 時 往 島に
4 məlikui / kija qo: maki? ʒasal kənaril ga: 夫が 其 は 居 家に 妻 は
5 soqon nija ʒəminaʒəos mizui / kija qo: 所逃 彼の 突通 惡戯 其 は
6 piʒiun nija ga: / wal si: pəsqəleq ʒaja 所惡戯 彼の は 了 直に 裂 將が
7 nija ro: / wal məhoqel ma / ana təqəlu? 彼の 而 了 死 さうだ ても 閉戸
8 uzi ga: / pahtagun nija tuʒup qo: qeinqa- 亦 やはり 所使出 彼の 家へ は 生殖器
9 janux nija ro: / soqon nija mizui kənaril 彼の 而 所逃 彼の 惡戯 女は
10 ma / さうだ
11 ʒali jəsa nanak / musa qəməlalup uzi 豈 其 只 行 狩 亦
12 ga: / si: usa mənəga sa owaowahan na やはり 直接 行 狩 で 通過 の
13 qəsinu ro: / si: nija pəsqəʒəaʒi qəʒa nija / 獸 而 直に 彼の 廣げる所 手は 彼の
14 qələpun nija tai nəqəwaq ro: / soqon nija 所追 彼の 方へ 口の 而 所逃 彼の
15 pəjaʔəmux məneq / aki naha? kutan ga: / 全で 食 欲 彼等の 所設 併
16 ana ʒu:n na pinəloq ga: / jana kinatan 豈 所射 で 弓 やはり 如 所咬
17 kui mutʒi ro: / ini kejup sa hei? nija ma / 蚊の といふ 而 不 貫通 に 體 彼の さうだ
18 nano jəsa qo: / si: ʔinziʒuwəo kowara / 何 其 は 自然に 困る 音
19 mutʒi "sowaʔun ta ʒalai la" / uluʒ so ʒəq といふ 所知何 我等の 實に れ 幸に 其能

常に其の様であつたならば、宜しいかもしれないが、實際はさうではなかつたさうだ。其、彼の Hals はよく女を犯した。夫が島に行つて妻が家に居ることがあれば、彼は(其を)犯してしまつた。彼に犯された者は、其の勝が裂けて死んでしまつたさうだ。戸口が閉つてゐても、彼は窓の中へ其の局部を現はして、女を犯したさうだ。

只其ばかりではない。狩に行つても、亦彼は直ちに獸の通る路に先廻りして待つてゐた。而して(獸が逃げて来ると)彼は手を廣げて(自分の)口の方へ追うて、丸呑にして食つてしまつた。人々は(彼を)殺したいと思つたが、弓で射ても蚊が刺したといふ位で、彼の體に貫通せなかつたさうだ。其で皆が困つて、一體我々は如何しようかとい

1. ja:na qo: ja:na sa ka-rə-rijax ga 常に其の通りならば. ja:na qo: ja:na sa [i ja:na qasa <ja:na qo-hasa 其の通り. の qasa を qo と sa とに兩分して用ゐるもの.
5. soq-on ...をしてしまふ. 客體主. ~ ma-soq 終る. 主體主.
6. piʒi-un 人の離れる所となる者. 客體主. ~ mizui 離れる. いたづらする. 主體主.
7. tə-qəlu? 自分で戸を閉す. ~ q-əm-alu? 閉す.
8. qə-eiq-qəjanux <q-in-qəjanux 生殖器. ~ ma-qəjanux 生きる.

11. q-əm-alup 狩する. 主體主. qələpun 獸を狩する. 獸を追ふ. 客體主. 14行.
12. owa-owah-an 常に來る處. ~ m-owah 來る.
13. pəsqəʒəaʒi 物を廣げる. 客體主. ~ ʒəlaʒəq 廣い.
15. aki naha? kut-an 彼等が其を殺したがる. 客體主. ~ k-əm-uts 斬る. 殺す. 主體主.
16. ʒu:n <ʒu-un 人を射る. 射て中てる. 客體主. ~ mu 同上. 主體主. k-in-at-an kui 蚊に咬まれた人. 原意. 蚊の咬む所となつた人. ~ k-əm-ats 虫などが咬む.
19. uluʒ so 其は幸. 幸な事には. 46頁. 註. 15.

- ¹ ləməpəluŋ qotux / "anai ta sasuliŋ βətu-
考 一人 (てい) 我等の 焼理由 石を
- ² nux ro: / təkaraŋau ta mutši / "naga qə-
而 所欺 我等の といつて 待て
- ³ sinu' ro: / pakaneqai ta sinuliŋ βətunux /
厭を 而 所使食 我等の 焼いた 石を
- ⁴ phaqaŋlao ta / mutši kamajal / "maosa
所殺 我等の 如其 といふ 可行
- ⁵ jasa βalai βilaq" mutši kowara /
其は 非常に 好い といふ 皆
- ⁶ sausa naha? samuliŋ saziŋ βətunux sa
行く理由 彼等の 焼 二つ 石は へ
- ⁷ rəŋijax ro: / makateju sinliŋan naha? ro: /
山 而 三日間 焼時 彼等の 而
- ⁸ matalah βalai ləga / əsan naha? kamajal
成赤 其 したので 所行 彼等の といふ
- ⁹ halus / mutši "hata qəmalup / tsipai βalai
ハルスは と さあ我等 狩 多 實に
- ¹⁰ qəsinu nija tsux / əsa minβilaq / mənaga
獸 其の 居 行け 注意 待
- ¹¹ rəzeq" / san naha? ro: / maqais βalai
鹿で 所言 彼等の 而 喜 實に
- ¹² halus ma / musa minβilaq βalai mənaga
ハルス さうだ 行 注意 實に 待
- ¹³ halus ləga / kjalun naha? / mutši "wal
ハルス すると 所言 彼等の といふ 行た
- ¹⁴ jaβa βalai na waqanux" / san naha? ro: /
大なの 其 の 鹿 所言 彼等 而
- ¹⁵ tərōjun naha? / qotux sinuliŋ βətunux ga: /
所轉 彼等の 一 焼いた 石は すると
- ¹⁶ wal powah βəziŋnah / "ana ga: / nux qot-
去 通 側を 併 やはり 居 一
- ¹⁷ ux laozi / βilaq βalai mənaga" / san naha?
又 好い 實に 待 所言 彼等の
- ¹⁸ mələwa ro: / tərōjun naha? qotux laozi /
呼 而 所轉 彼等の 一は 又
- ¹⁹ wal qo: βətunux matalah / wal mutši
去 は 石 赤い 去 といふ

1. an-ai-sa- …の爲に…してやらう。an-ai ta sa-suliŋ βətunux (halus) 我等が (ハルスの爲に) 石を焼いて (其で殺して)やらう。例。an-ai mako isu sa-kaβalai 私が汝に作てやらう = 汝は私が作る爲の人にしてやらう。an-ai mako iso sa-kagao 私が汝の爲に掃いて上げよう。sa-とan-aiのan-は共に理由、原因、所縁の義を示し、an-aiの-aiは未来を示す、an-aiは又語尾となることあり。kaβalaj-an-ai mako iso私が汝の爲に作つて上げよう。kjal-an-ai mako iso私が汝の爲に話して上げよう。
2. təkaraŋ-au ta (彼は)我等が欺かう、客體主、-auは其

ふと、幸に或人が考へついて、我々は石を焼いて、『獸が行くから待つてをれ』といつて欺いてやらう。而して焼石を食はせて殺してやらう』といつた。皆が其は大變よいだらう』といつた。それで彼等は山へ行つて、石を二つ焼いた。彼等は三日間焼くと(石が)赤くなつたので、彼等が行つてハルスに、『さあ我々は狩に行かう。獸は大變深山居る。麓の所へ行つてよく氣を附けて待つて居れ』といつた。彼等がさういつたので、ハルスは實に喜んだ。而してハルスは行つてよく氣を附けて待つて居ると、彼等は『大變大きな鹿が行つたぞ』といつて、焼いた石を轉かした。所が(ハルスの)側を通つていつたので、彼等は又、まだ一匹居るぞ。よく氣を附けて待つてをれ』と叫んで、又もう一つの石を轉がした。赤い石が轉

人を示す。例。neq-au ta (其物は)我等が食はう。gal-au mako (其物は)私が取らう。
3. pa-kaŋeq-ai (人に)食はせよう。位置主、pa-…させる、-ai 位置主、未来を表はす接尾辭。
4. phaqaŋlao (人を)殺さう。客體主 <paŋqel 殺す
6. sa-usa …の爲に行く、用具主、石。
7. maka-teju 三日間、原意、第三番目になる。
s-in-liŋ-an 焼いた時間、s-om-uliŋ 焼く。
8. əsan <usa-an 位置主、ハルスの處。
9. hata <ma-oha-a-ta (?) さあ行かう。原意、我等行かう。
14. tərōjun 轉がす物、客體主、t-om-oroi 轉がす者。

- ¹ "paok" sa naqowaq na halus / "zius"
バクッ へ 口 の ハルス ジュー
- ² mutsi / si: kəta si: 'ənxal həmowao halus
といふ 忽見 忽 一度 叫 ハルス
- ³ ro: / wal məhoqeil la /
而 去 死 了

げて行くと、ハルスはバクッと一呑した。するとジューといふ音がして、ハルスは一聲叫ぶと、見てゐる内に死んでしまった。

7. kai na qeipqənuŋan raŋal

- ⁷ nano qo: / qeipqənuŋan məraho: raŋal
何 は 生活状態 祖先の 音
- ⁸ heja ga: / ini məlux səma?wui məqo:mah /
其 は 不 無暗に 疲 働
- ⁹ minβilaq βalai məqajanux ma / qəmajah
安樂 實に 生活 さうだ 島
- ¹⁰ uzi ga: / si: supuŋ maosa məpo: poqeip
亦 は 其儘 計 成 十 株
- ¹¹ tərakis / sowa? ini pe / qotux nəqaju
粟 何故 非 平 一 粒は
- ¹² βowax pahpurun ləga: / qotux kəluβan
實の 所炊 したら 一 鍋
- ¹³ mami nija la ma /
飯は 其の なつたさうだ
- ¹⁴ nano kowara qo: naŋeqon uzi məga: /
何 皆 は 食物 亦 如其は
- ¹⁵ kija qo: sijaun ga: / si: owah nanak /
有 が 所成物 すれば 自然 來 自分
- ¹⁶ nano e: məsqaolu βijowak qənahejun ga: /
何 時 飲食 豚を 山野の は
- ¹⁷ si: owah nanak βijowak qənahejun ro: /
自然 來る 自分 豚が 山野の 而
- ¹⁸ haoqan qotux βukil / əmukan na βaluku /
所採取 一 毛 所殺 で 籠
- ¹⁹ lawaon tsikai / gijahan ləga: / nux qotux
所持 少 所聞 すると 有 一

7. 昔の生活状態の話
昔の祖先の生活状態は、疲れる程働く必要がなく、實に安樂な生活であつたさうだ。島も、粟が十株出来る位に見計らつて作つた。何故かといふに、實を一粒炊けば、その飯は鍋に一杯炊けたからださうだ。
攫、凡ての食物にしても、欲しい物があれば、自然と直に出て來た。山脈を食ひたい時には、山脈が自分で出て來た。而して毛を一本抜いて、籠で被うて、暫くして開けて見ると、山脈の肉が一山もあつた。鹿が欲しいときも亦、

6. qeip-qənuŋ-an <q-in-qənuŋ-an 生活状態、~ mə-qəjanux 生る、生活する、9行。
11. sowa? ini pe 何故か、原意、何故さうでないか、此處にては否定の意味なし。
12. pa-hpur-un <pa-hapui-un 炊ぐ物、客體主、pa-hapui 炊ぐ者、主體主、-i > -əとなる例、ma-βəzi 買ふ者、主體主、βəzi-un 買ふ物、客體主。
14. na-neq-on 常に食ふ物、客體主、kaŋ-eq 食へ、maneq 食ふ者。

15. sija-un 欲しい物、客體主、s-om-aoja 欲しがる、獲む、主體主。
16. məs-qaolu 食ひたい <qaolu 咽喉、qənahej-un 山野に居る物 <qənahei 山野。
18. haoq-an 毛など體から抜とる、位置主、豚 <həm-aoq 抜く、主體主、əmuk-an 物を殺ふ、位置主、~ əm-umuk 蓋する、主體主、gijah-an 物を開く、位置主、~ g-əm-ijah 開く、主體主、19行。

- ¹ utu: hei² nija la / waqanux sijaun uzi
山 向 其の 了 鹿 所欲 亦
- ² ga: / ja:na sa uzi / nano kowara qo: qa-
すると 如 其 亦 何 皆 は
- ³ qəsinu sijaun ga: / majai'a so:na sa / ka-
獣類 所欲 は 不異 如 其
- ⁴ hoŋeq uzi ga: / makajal mutsi "uŋats ka-
薪 亦 は 互に話 といふ 無
- ⁵ hoŋeq" ləga: / nijal si: pahto: nanak /
薪が すると 来 自然 出 自分
- ⁶ qəsija uzi ga: / majai'a so:na sa / nano e:
水 亦 は 不異 如 其 何 時
- ⁷ maosa qəmalup ro: / məgaga ro: / məkal
將行 狩 或 出草 或 訪問
- ⁸ lupiŋ ga: / si: si sa qaiŋai βowax ləga: /
親戚 其時は 共處 置 へ 耳飾 實を すると
- ⁹ ana mūsa βəsijaq ga: / ini 'inzizuwao
ても 行 久 やはり 不 困
- ¹⁰ naŋeqon ma /
食物 さうだ
- ¹¹ ini la / maki² qotux qo sqoleq / si: nija
非了 有 一 が 人 其儘 彼の
- ¹² si pizux βowax / pinhapui nija ro: / m-
置 多 實 炊いた物 彼の 而
- ¹³ tailoq laro: / əmukan nija / βəsijaq ha:zi /
未熟 それで 所蓋 彼の 久 少
- ¹⁴ gijahan nija ləga: / si: kəta qo: pu:zits /
所開 彼の すると 忽 見 が 雀
- ¹⁵ wal si: papitspits "βur" məlaka / təpa
去 ながら チューチュー-鳴 バタバタ 飛 止
- ¹⁶ sa apuk tanux / kəmajal pu:zits / "βaβao
に 茅の穂 外の いふ 雀は 後
- ¹⁷ nja / si: ga laokah simo məqo:mah ga: /
其の 只 其時 努力 汝等は 働 其時は
- ¹⁸ ijats simo pəpəta'uzai / ini uzi ga: / soqon
非 汝等 飢 者 非 亦 やはり 所處
- ¹⁹ mako maŋeq / kija qo: qaqələŋan ləga /
私の 食 有 が 意者等 すれば
- ²⁰ ijats pəpaolu: naŋeqon" / 'ariŋ kija si:
非 見附者 食物を から 其 只

共通りにした。扱凡ての獣も欲しい
と思ふときは、共通りで變りはない。
薪も亦「薪が無い」といつて互に話する
と、自然に出て来た。水も亦共通り變
りはない。扱狩や、出草や、親戚訪問に
行く時は、(穀物の)實をそのまま、耳飾の
竹管の中に入れて置くと、久しく滞在
しても、食物に困らなかつたさうだ。

[所が其が]さうでなくなつた。或人
が[穀物の]實を澤山入れて炊いたが、生
煮だつたので蓋をした。暫くして開
けて見ると、雀が現はれて、チュ－チュ
ー鳴きながら、バタバタ飛んでいつて、
外の茅の穂に止つた。而して雀は「此
から後は、お前等は一生懸命に働けば
飢ゑはしないが、其でも私が食つてや
るぞ。又怠る者は食物に有りつかぬ
ぞ」といつた。其後は收穫の多い時に

8. si ~ s-əm-i 置く。
11. ini la さうでなくなつた。
12. p-in-hapui 炊いた物 <p-hapui.
17. 20. si: ga 只其時は、只其時に限り si: 其のまま、其丈、
只、34頁、註、4. ga...、其は、其時は、si: ga laokah 只
努力する其時に限り <laokah 強い。 si: ga pizux
p-in-qəmah-an 只收穫の多い、其時に限り。 si: ga əsan

q-əm-alup 只狩に行く其時に限り、比、51頁、5行、14行。
18. pə-pəta'uzai 飢ゑる、未來形、飢ゑるべき者、主體主、
ijats simo pə-pəta'uzai 汝は飢ゑるべき者でない、
飢ゑることはない。~ mata'uzai 飢ゑる。
19. qa-qələŋ-an いつし怠る者。~ mə-gei:ŋ 怠る。
20. pə-pə-olu 見附けるべき者、主體主、未來。~ m-ulu 見
附ける。

- ¹ ga / pizux piŋqəmahan ga: maŋeq la /
其時 多 取獲物 其時は 食者 了
- ² nano qo: / qəsinu uzi ga: / pəsejahoqan
何 は 獸 亦 は じれつたがる所
- ³ naha² / qotux qo: jaki / si: owah həmi:ts
彼等の 一 が 老女 其儘 来 切取
- ⁴ qotux kinutan ja:pa ro: / 'ariŋ kija wal
一 片 大 それで から 其 了
- ⁵ taoqo qəsinu uzi ləro: / si: ga əsan qəma-
慣 獸は 亦したので 只其時 行時 狩
- ⁶ lup ləga: / təmalam qəsinu la /
した時は 味はふ者 獸肉を 了
- ⁸ kahoneq uzi ga: / təminun qo: kənzəril
薪 亦 は 織 が 女
- ⁹ pahpui ro: / kamajal mutsi / "uŋats kəho-
炊飯 而 いふ と 無 薪が
- ¹⁰ ŋeq" / si: kəta / nijal si: pajahto: tu:βuŋ /
忽 見 来 自然に 出 窓を
- ¹¹ mo sa tsininun ro: / mətsinzuwahom s-
的中に 織物 それで 怒
- ¹² βəliŋ nija kəhoneq / 'ariŋ kija ini owah
所投 彼の 薪は から 其 不 来
- ¹³ nanak uzi la /
自分で 再 了
- ¹⁴ nano jasa qo: / a'ariŋan si: ga laokah
何 其 は 起源 只 其時 努力
- ¹⁵ həmkəŋi naŋeqon ətajal ləgao /
獲 食物を アタヤルがあつたさうだ

限り食ふ[ことが出来る]やうになつた。
扱獣も亦[毛を一本づつ抜いて箕で
蓋するのを]、人々はじれつたがつた。
[それで或時]一人の老女が、いきなり大
きな肉片を一つ切取つたので、其から
獣も怒つて、狩に行つた時に限り、獸肉
を味はふ[ことか出来る]やうになつた。
薪も亦、[或]女が機を織つてゐた。[家
の人が飯を炊かうとして]、薪が無いと
いつた。すると[薪が]自然に窓から出
て、織物にぶつつかつた。[織つてゐた]
女は怒つて薪を投捨てた。其から薪
が自然に出て来なくなつた。
アタヤルが食物を一生懸命に捜す
様になつた譯は、其様な事であつたの
ださうだ。

8. kai na wal ma'ajupai sqoleq
話 の 了 成 猿 人

8. 猿になつた人の話

- ¹⁹ nano sqo məraho: rairal / maki² qotux
何 時 祖夫 昔 居 一
- ²⁰ qo: jaki na qaqələŋan na sqoleq ma /
が 非常者 の 獵者 の 人 さうだ

扱、昔の祖先の時、非常な懶者が一人
居たさうだ。畠に行つて[種を蒔いて]

1. piŋqəmahan <p-in-qəmah-an 鳥を作つて取つた物、
ma-qəmah 鳥を作る。
2. pə-sejahoq-an じれつたがる、客體主、(?)原意、機會を
失ふと思ふ。~ saŋjahoq 取逃す。
3. si: owah いきなり、原意、来るなり直に。
h-əm-i:ts 一部分切つて取る。
4. k-in-ut-an 片、きれ、原意、切つた物。~ k-əm-uts 切る。
5. 14. si: ga. 50頁、註、17, 20.

5. əsan <usa-an 行く時、-an 時を表はす。
8. 11. t-əm-inun 織る。ts-in-inun 織つた物。
11. sa-vəriŋ <sa-vəriŋ 投る其物、用具主、投る物を用具
と見る。
18. ma'a-jupai 猿に成る <ma-ja-jupai. <jupai 猿、比。
タコナン 本文7. ma-qa-zupai 猿になる。
20. jaki 原意、祖母の義。

- ¹ nano e: musa qəmajah / təmuβux karəri-
何 時 行 島 培 常に
- ² jax məga: / si: nija hamutan mo sa βəβə
さうださうだ 直に 彼の 所 嵐暴 打當に 石
- ³ tunnx ro: / pəsqəhejao sa gamil na kaho-
或 引掛 に 根 の 木
- ⁴ neq pazeh / nano jasa qo: / qatəqotux
小鉄は 何 其 は 度 毎
- ⁵ inowah ga: / ini jahoq məpaho: pazeh
行て来た 其時 不 漏 折 小鉄は
- ⁶ nija ma /
彼の さうだ
- ⁷ nano sqo: minxal / musa təmuβux mə-
何 時 一度 行 培 さう
- ⁸ ro: / ini lawa βisaq məga: / məpaho: laozi
だが 不待 久 さうだのに 折れる 又
- ⁹ pazeh nija ro: / si: kəta wal nija si: qarə-
小鉄が 彼の 而 忽 見 了 彼の 其他
- ¹⁰ qəran sa βəliq qətsijan / wal mutsi "puts"
所刺込 へ 孔 尻の 去 といふ スツと
- ¹¹ "təqəraq təqəraq" məkarəo kahəneq /
キヤッ キヤッ 上る 木に
- ¹² nano qo: / βəpaiḡan na pazeh / wal nija
何 は 柄 の 小鉄 了 彼の
- ¹³ səqərqor βəliq qətsijan / heja ga: / təβəkil-
所刺込 孔へ 尻の 其 は 所生毛
- ¹⁴ an ro: maʔəpuḡu na juḡai la / heiʔ nija
而 成尾 の 猿 了 體 彼の
- ¹⁵ uzi ga: / təβəkilan ləma ro: / wal maʔa-
亦 は 所生毛 了さうだ 而 了 成猿
- ¹⁶ juḡai la ma /
了さうだ
- ¹⁷ kəmajal qo: wal maʔajuḡai qasa / "ijats
いふ が 了 成猿者 其の 非
- ¹⁸ sako pətaihok maʔəʔajal / məqailəḡ sako
私は 過者 アタル出身 懶者 私は
- ¹⁹ məqo:mah / nano jasa qo: / nux sako
働 何 其 は 居此處 私は
- ²⁰ maʔajuḡai / si: sako giwai ləmaosai ma-
成猿 其儘 私は 只 往來 食

2. hamut-an 無茶苦茶に…する物、嵐暴に…する物、用具主、ma-hamuts 変りにする、主體主。
3. pəsqəhejao 引掛ける。～ qəmə-ahəjao 柄杓で引掛けて起す。
4. qatə-qotux <qotu-qotux →、一度一度、<qotux →。
5. in-owah 行つて歸つて来た。～ m-owah 来る。ini jahoq 漏れない、外れつことがない。～ z-im-ahəq

土を掛ける時は、彼はいつも、小鉄を石に打當てたり、木の根に引かけたりして、直に毀してしまつた。それで島へ行く度毎に、彼の小鉄は折れないことはなかつたさうだ。

或時、土を掛けに行つたところが、間もなく彼の小鉄は又折れた。すると彼は見る間に、其をその儘尻の孔へ刺込んだ。而してスツと飛んでキヤッキヤッといひ乍ら木に上つた。彼が尻の孔へ刺込んだ小鉄の柄は、毛が生えて猿の尾になつた。彼の體にも毛が生えて猿になつたさうだ。

その猿になつた者は、「私は怠け者で、本當のアタル(人間)となるに適しない。其で私は猿になつた。私は此のまま、只彼方此方歩きまはつて、木の實

取殘す、z-in-ahəq-an 外れた物、見落した物、漏れた物。
9. 13. qarəqor-an 物を入れて孔に刺込む、用具主、sə-qərqor 同上、一般現在。～ q-omarəqor 刺込む、主體主。
12. βə-paiḡ-an 柄、原意、持つ爲の處。～ miḡ 手、持つ。
13. tə-βəkil-an 其處に毛が生える、位置主、<βəkil 毛。

- ¹ neq βowai na kahəneq / mutsi ro: / wal
實の の 木 といふ 而 了
- ² si: βeq na soro / wajal əmalup sa ka-
其儘 與 只 背而 去 傳 へ
- ³ həneq la ma /
木 了さうだ

を食ふのだ)といつて、其のまゝ後を見せて、木を傳つて行つてしまつたさうだ。

9. kai na wal maʔəgao alaḡei
話 の 了 成青鳩 子
kənaeril
女の

9. 青鳩になつた娘の話

- ⁷ nano sqo: məraho: rəral / makiʔ qotux
何 時 先祖 昔の 居 一
- ⁸ qo: alaḡei kənaeril / uḡats mətəsəsoḡwai /
が 子 女の 無 兄弟
- ⁹ nanak jaḡa ro: jaja nija makiʔ / nano qo:
只 父 と 母 彼の 居 何 は
- ¹⁰ jaja nija ga: / si: nija pətəjuwəḡi karəri-
母 彼の は 只 彼の 所使働 常に
- ¹¹ jax / ini nija sii pəsal ijal qo: alaḡei
不 彼の 所娶 家に 餘りは 子
- ¹² kənaeril qasa /
女の 其の
- ¹³ nano sqo: minxal / minowah məgaga
何 に 或時 歸つた 出草
- ¹⁴ jaḡa nija nijal məsnəhei məqowas / paḡḡ-
父は 彼の 來 成功 話 所用
- ¹⁵ an nahaʔ nijal / aki musa məstanaq qo:
彼等の 來 欲 行 出會 は
- ¹⁶ alaḡei nija kənaeril / məsina sənəsinju:
子 彼の 女の 要求 種々の頭飾
- ¹⁷ ga: / tu:n nija mutsi "usa məpaḡa kahəḡ-
が 所遣 彼の の といふ 行け 貢 薪を
- ¹⁸ eq haʔ / taihok qo: alaḡei nija kənaeril /
一寸 到 は 子 彼の 女の
- ¹⁹ minowah məpaḡa kahəneq / "nijal saḡəh
歸つた 貢 薪を 來た 近
- ²⁰ hazi la / ita sinju: aja" mutsi kəmajal
もう よ 下さい 頭飾 母よ と いふ

扱昔の先祖の時、一人の女の子があつた。兄弟はなく、彼女の父と母と丈が有つた。彼女の母は常にその娘を働かせるばかりで、餘り家に置かなかつた。或時、父は出草に行つたが、成功して歌を誦みながら歸つて来た。母子は[父が歸るのを知つた。娘は迎へに行きたいので(盛装用の)種々の頭飾を要求したが、母は「一寸薪を取りに行け」といつて遣つた。娘は行つて、薪を負つて歸つて来た。[父さんは]もう近くへ来た。頭飾を下さい、母さん)といつた

2. si: βeq na soro 其のまま背を向ける。原意、背を與へる。na は背を用ゐて與へることをするといふ義。
5. maʔəgao 青鳩に成る <ma-ga-gao <gao 青鳩。比、タコナン 本文、8. ma-ka-kowalits 處に成る <kowalits 處。
8. mətə-sə-soḡwai 兄弟、<sə-soḡwai 年少者。
10. pətə-juwəḡ-i 人に仕事させる、客體主、mətə-juwəḡo 仕事する。
14. paḡḡ-an 其を聞く、客體主、muḡ 聞く。

16. sənə-sinju: 頭飾、複数、原意、s-in-ju: 纏つた物、紐 <s-əm-iju: 纏る。
17. tu:n <tu-un 行かせる、遣る、客體主、t-əm-u 同上、主體主。
18. haʔ <han 一寸などの義。
20. sinju: 註16。
aja 母よ、呼ぶ時に用ゐる。jaja 母 <i-aja. i- は人名詞の冠詞。

- ¹ ga: / ini nija βeqei ro: / pusaon nija paiβul
不 彼の 所興 而 所使行 彼の 渡
- ² qəsija laoz / taihok minowah maiβul /
水な 再 到 歸つた 渡
- ³ kjalun nija jaja nija / mutsi "nijal βalai
所言 彼の 母は 彼の と 来た 其
- ⁴ saoβeh jaβa la / aja haehazi ita sinju:
近 父は よ 母よ 早く 下さい 頸飾
- ⁵ mako" mutsi ga: / ini nija βeqei / təqali-
私の といふ 併 不 彼の 所興 冷淡
- ⁶ han nija βalai / pətəjuwagun nija laoz /
彼の 其 所使働 彼の 再
- ⁷ si: kəta qo: wal tanux / "βur" mutsi wal
忽 見 は 去 外に バタバタ といふ 去
- ⁸ mələka /
飛
- ⁹ əsan mita ni jaja nija ləga: / si: kəta
所行 見 の 母 彼の すると 忽 見
- ¹⁰ tsux təpa ləlu: na lowax / tsux mahəgao
居 止 槽に の 枯木 居 休
- ¹¹ la / si: ʔənəkux jaja nija / sausa nija ma-
了 突然 驚 母 彼の 行く譯 彼の 取
- ¹² gal sinju: / ana nija pəsija: mutsi "ni:
頸飾を 懸 彼の 見 此處よ
- ¹³ sinju: so haehazi owah / nijal jaβa la" san
頸飾 汝の 早く 来い 来た 父は よ 所言
- ¹⁴ nija ga: / tsux si: təməməlux "wəu wəu"
彼の 併 居 じつと 黙 ワーク ワーク
- ¹⁵ məqowas / wal maʔagao la ma /
歌 去 成 青鳩 了さうだ

10. kai na gin'aripən matas
話 の 起 原 入墨の

- ¹⁸ nano sqo: məraho: rəral makiʔ qo:
何 時 祖先 昔 居 が
- ²⁰ mətsisowai kənaeril məlikui / ana mətəra-
兄弟 女(姉) 男(弟) 懸 成熟

- 1. ini nija βeq-ei 彼が(人に)興へない。位置主。原意。彼の興へる所の人でない。
- p-usa-on 行かせる。客體主。~ m-usa 行く。
- 5. tə-qəlih-an 人に對して冷淡にする。位置主。~ mə-qəleh 水が溢れる。
- 11. sa-usa <sa-usa 人の爲に行く。用具主。m-usa 行く。
- 12. pə-si:ja-n <pə-səo:ja-an 見せびらかす。位置主。原意。

が、母は其を興へないで、又水汲みに遣つた。水を汲みに行つて歸つて来ると、娘は母に「お父さんが大變近くへ来た。母さん早く私の頸飾を下さい」といつたが、母は興へない。母は實に冷淡で、意地悪く、又娘に仕事をさせたので、娘は見てる内に外に出て、バタバタと音をさせて飛んでいつてしまった。

母が見に行つた。見ると(娘は鳥になつて)枯木の梢に止つて休んでゐた。母は驚いて頸飾を持つて来て「お前の頸飾を上げるよ。早く来い。お父さんが歸つたよ」といつて、(頸飾を)見せびらかしたが、じつと知らぬ顔してワーク、ワークと歌つてゐた。而して青鳩になつて行つてしまつたさうだ。

10. 入墨の起原の話

據昔の先祖の時、姉と弟との兄弟があつた。年頃になつても弟は貰ふべ

- 欲しがらせる。渡しがらせる。~səm-əo:ja 欲しがらる。
- ni: <qani 此、此處に在る。比。Mal. ini 此、此處。
- 20. mətsi-sowai 兄弟 <mətsə-sə-sowai <sə-sowai 年少者。
- mətsə-raho: 成熟。~ mə-raho: 顔目、祖先。

- ¹ ho: mərəkijas ga: / uqats qo: gəgalun kə-
成長 併 無 が 可取者
- ² naeril naqo: səšowai məlikui / səgalu βa-
妻に の 年少 男 所有情 其
- ³ lai na qaβəšujan nija kənaeril / saosa nija
の 年長 彼の 女 行く譯 彼の
- ⁴ həmkəpi kənaeril ga: / ini nija ansʔəlu: /
携 妻 併 不 彼の 所見附
- ⁵ ləməpəluq qo: qaβəšujan nija kənaeril
考 は 年長者 彼の 女
- ⁶ məro: / "aki həmsowaʔ / pətəʔjugun ta
而 かしらん 成如何 所使變化 我等の
- ⁷ qo: ʔinrəkijasan / aki kisjagun" /
は 姿 欲 所欺
- ⁸ nano jasa qo: / kjalun nija sqo: minxal /
何 其 は 所話 彼の 時 一度
- ⁹ səšowai nija məlikui / "tsux miso səʔəlu:
年少 彼の 男 有 我の汝 爲に 見附た
- ¹⁰ qotux kənaeril / məkaxa usa magal / pə-
一人 女 明後日 行け 併來
- ¹¹ naqa sqo: səgagai zik na poqəiβ kahəneq"
使伴 に 岐路 下 の 根本 木
- ¹² san nija ro: / məqais βalai səšowai nija /
所言 彼の それで 喜 其 弟は 彼の
- ¹³ jasa qo: rijax pinsəsaonan nahaʔ ləga: /
其 は 日 約束した時 彼等の なると
- ¹⁴ musa lama kija qaβəšujan nija ro: / pəta-
行 先に 其處 年長者は 彼の 而 所入
- ¹⁵ san nija na iloh raqəjas nija / lama məta-
墨 彼の で 墨 顔は 彼の 先に 坐
- ¹⁶ ma zik poqəiβ na kahəneq səgagai / ska
下 根本 の 木 岐路の 中央
- ¹⁷ wəgi pinsəsaonan nahaʔ / musa βalai mita
太陽 約束した時 彼等の 行 實際 見
- ¹⁸ qo: səšowai nija ro: / si: kəta jasa βalai
は 弟 彼の 而 忽 見 其 實に
- ¹⁹ kai na qaβəšujan nija mutsi / tsux mənə-
話 の 年長者 彼の 知其 居 待

き妻がない。彼の姉は大に同情して、彼の爲に妻を捜しに行つたが、見附からなかつた。彼の姉は考へて「自分の姿を變へて(弟を)欺いたらどんなものであらう」と思つた。

其處で或時、姉は弟に「私はお前の爲に一人の女を見つけておいた。明後日連れに行け。分れ路の處の木の下に待たせてある」といつたので、弟は大變喜んだ。

約束した其の日になると、彼の姉は先に其處へ行つた。而して顔には墨で入墨して、豫め分れ路の處の木の根本に腰を掛けてゐた。約束した日の正午に弟が本當に行つて見ると、果して姉が話した通り、入墨した女が其處に待つてゐた。本當に其處に居たの

- 1. gə-gal-un 取るべき物。又人。客體主。~magal 取る。
- 2. sə-galu <sa-galu 其人の爲に同情する。用具主 <galu 愛。
- 3. qaβəšuj-an 年長者。比。Tag. kapatid.
- 4. ini nija an-sʔəlu: 彼が見附けてやれなかつた。故意でなく不可能の義。弟はその妻を姉に見附けて貰へなかつたといふ義。an- …してやる。 s<sa …の爲に。ʔəlu: ~m-əlu: 見つける。
- 6. pətəʔjug-un 變化させる。客體主。姿を他の形に變へる。~ʔəm-ju: 變へる。

- 7. ʔin-rəkijas-an 姿。原意。成長した形。mə-rəkijas 成長する。
- kisjag-un 欺く。客體主。misijao 同上。主體主。
- 9. miso <mo iso <mako iso 私の一汝は。tsux miso səʔəlu: 私が汝の爲に…を見附けておいた。原意。汝は私の[女を]見附けておいた理由の人。
- 13. p-in-sə-saon-an 約束した時刻。mə-sə-sun 互に約束する。原意。互にことづける。~ səm-un ことづける。あつらへる。
- 14. potas-an 入墨する。位置主。matas 同上。主體主。

- ¹ ga kija kənaeril pətasən / tsux kija ʔaləi /
其處に 女が 入墨 居 其處 本當に
- ² ʔrasun nija ʔasal ro: məskənaeril / ʔariŋ
所作來 彼の 家に 而 成 夫婦 から
- ³ kija məʔəhojao hei? naha? la ma / nano
其 頼 人数は 彼等の 了さうだ 何
- ⁴ jasa qo: ʔaʔariŋan na / si: ga pətasən ga:
其 は 起原 の 只時のみ 入墨 その時
- ⁵ musa sqaŋəŋ /
往 人に
- ⁶ ginʔariŋan pətəlehoi heja ga: / pinskija:
起 原 頼の入墨 其 は 目印
- ⁷ ja naha? sqo: kija qo: maŋal paləmunan /
彼等の な 有 が 取 本島人
- ⁸ mutʃi qotux qo: kai ga: / qotux qo: kai
といふ 一 は 話 併 一 は 話
- ⁹ uzi ga: məsoq məpəʔo:qo / e: məsparis
向 は しまふ 誤殺 時 計敵
- ¹⁰ ro: / pinskija:ja naha? ijats pəʔo:qo / e:
それで 目印 彼等の 非 誤殺 時
- ¹¹ mətəʃi:reŋ / mutʃi qo: kai na məraho:
戦 争 さういふ は 話 の 祖先
- ¹² rəral /
昔

で、彼は家に連れて歸つて夫婦になつた。其から彼等の人数が殖えたさうだ。入墨してからでないといふ人に嫁がないといふことの起原は、其から始つたのだ。
頼の入墨の起原は、一説には、本島人の首を取つた事の有るといふ目印だといふが、尙一説には、敵と戦ふ時に誤つて味方を殺してしまつた事があつたので、戦争の時に誤ることの無い爲に、彼等の目印にしたのだと、昔の祖先はさういつてゐる。

11. pusaŋəq maagal qo
不吉 互結婚 が
mətəʃəʔəwəi
兄弟姉妹

- ¹⁶ nano sqo: rəral ha ga: / si: hamuts
何 時 昔 其 は 只 変りに
- ¹⁷ maagal ana mətəʃəʔəwəi ma / nano sqo:
取合 難 兄弟 さうだ 何 時
- ¹⁸ minxal / maki? qotux qo: mətəʃəʔəwəi
一度 居 一 が 兄弟
- ¹⁹ kənaeril ro: məlikui / nano sqo: qotux
女(姉)と 男(弟) 何 時 一
- ²⁰ kinməhaŋan məgilu: maʔaʔi / mətuleq
。 夜 一精 寝 起

11. 兄弟姉妹の結婚は
不吉

扱昔は兄弟姉妹でも、無暗に夫婦になつたものさうだ。或時姉と弟との兄弟があつた。而して或晩(二人は)一緒に寝た。女の母が朝起きて娘に、「晝になつた。飯を炊け」といふと、娘は、

2. ʔras-un 伴ふ。客體主。om-aras 同上。主體主。
6. p-in-s-kija:ja 目印。標識。印をつけた物。pəʔ-kija:ja 印をつける。手掛を作る。~k-əm-ijaja 窺ふ。探る。
9. mə-pəʔo:qo 互に誤る。mə-n-ʔo:qo 誤る。間違へる。
11. ma-to-tʃi:reŋ <ma-ta-tʃi:reŋ 戦争。原意、互に引掛ける。~t-əm-i:reŋ 釣針。良などで引掛ける。絡める。

14. ma-agal 互に取り合ふ。男女互に関係すること。~m-agal 取る。
15. ha <heja 其。
20. kin-məhaŋ-an 夜の時。məhaŋ-an 夜。mə-tuleq 起る。ini to-tuleq 起きない。57頁4行。to-tuleq-on 起す。其の人を。客體主。57頁6行。

- ¹ sasan jaja nija ro: / kja:lun nija qo: ala-
朝 母 彼の 而 所語 彼の は 子
- ² qei kənaeril / "nux qalijan la / haehazi
女の 成 晝 了 早
- ³ pahpui mami" san nija ga: / "nux maxal
炊け 飯を 所言 彼の 併 居 宿
- ⁴ tunux mako" mutʃi ro: / ini tətuleq pa-
頭 私の といふ 而 不 起
- ⁵ hapui / nano jasa qo: pahpujan ni jaja nija
炊 何 其 は 所炊 の 母 彼の
- ⁶ la / mahoqeil pinahpui laŋa: / tətuleqon
了 煮える 所炊物 そこで 所使起
- ⁷ nija mutʃi "kəneq mami" ga: / "nux sako
彼の といふ 食へ 飯を 併 居 私は
- ⁸ mənəʔu" mutʃi ro: / ini tətuleq kowara
病 といふ 而 不 起 昔は
- ⁹ naha? sazij / nano jasa qo: / məʔəŋ jaja
彼等の 二人 何 其 は 怒 母は
- ¹⁰ naha? / mutʃi "ka simo si: loheij mənə-
彼等の といふ だらう 汝等 其儘 續 病
- ¹¹ ʔu? la / kəneq tʃikai ha?" san nija ga:
よ 食へ 少 一寸 所言 彼の 併
- ¹² ini ʔaləi sowajal /
不 實に 承諾
- ¹³ kiʔa sənejaŋohom ijəl la ro: / si: nija
恐らく 立腹 餘り了それで直に 彼の
- ¹⁴ gəlaŋəi haheilaŋ la ma / kəta:n ga / nux
所割 布圍 了さうだ 所見 すると 居
- ¹⁵ si: pətəŋi:ʔa ini pəʔəʔalax / pəʔəhaotan ni
じつと 抱合 不 離 所引離 の
- ¹⁶ jaja nija qo: saxa ro: / si: kəta nux ma-
母 彼の は 一人 而 忽 見 居 關係
- ¹⁷ aŋal ro: nux pəki:kil / si: ʔənəkux jaja
而 居 引掛 忽 驚 母
- ¹⁸ nija / ana naha? kəraʔəŋan pəʔkəlu: ga:
彼の 難 彼等の 所加勢 引張 併
- ¹⁹ ini thajazi / nano jasa qo: / si: naha?
不 所能 何 其 は 其儘 彼等の
- ²⁰ hakasi hamətuŋ qəiŋqəjanux naqo: məli-
所通 切斷 生殖器は の 男

「私は頭痛がしてゐる」といつて、起きて炊かなかつた。それで母が炊いた。飯が炊けたので、母が起して「飯を食へ」といふ。「私は病氣してゐる」といつて、彼等二人は何れも起きない。そこで母が怒つて、お前等はそのまゝ續いて病氣になつてしまふではないか。少し食へよ」といつたが、どうしても承諾しない。
餘り腹が立つたものと見えて、母はいきなり布圍を割いださうだ。見ると二人はじつと抱合つてゐて離れない。母が一人を引離さうとすると、二人は關係してゐて、離脱しない。母は驚いた。人々が来て加勢して、引張つたが出来なかつた。それで彼等は[止を得ず]男の局部を切斷した。すると、

6. mahoqeil 煮える。果實など熟する。死ぬ。
10. ka 或は、恐く、<kiʔa だらう(?)
si: loheij そのまま續く。轉じて序に…する義となる。
13. sə-m-ə-ja-johom 立腹する。肝癪を起す <johom 肝。
14. gəlaŋ-ei 物を割ぐ。位置主。g-əm-ulaq 同上。主體主。
ha-heilaŋ 布圍。原意、被ふ。具かぶる具。<h-əm-ilaŋ かぶる。

15. pətəŋi:ʔa 抱合ふ。~g-əm-i:ʔa 抱く。
pəʔəʔalax 離れる。~ʔəm-alax 止める。
16. saxa 一人、一方。<su-xa 其の(一) xa, 比。IN. sa 一。
18. kə-raʔəŋ-an 人に加勢する。位置主。r-əm-aʔo: 助ける。
19. thajazi 事に堪へる。出来る。能ふ。客體主 <tohojai, 主體主。

- ¹ kui ro: / wal si: pəsgagai mahoqeil ko-
而 了 直に 離 死
- ² wara naha? /
皆は 彼等の
- ³ ləməpəlup kowara ətajal / ki'a nux
考 皆 アタヤル 恐らく 有
- ⁴ kəs'əpun na utux / nux maagal nanak
怒 の 神 居 関係 只
- ⁵ qotux tunux na βuβu məro: / nano jasa
一 頭 の 乳 それで 何 其
- ⁶ qo: / makajal / ?ariŋ kija maowajao qo:
は 相談 から 其 擇 は
- ⁷ mətəsəsowai / ?a'ariŋan naqo: pəsaneq /
兄弟姉妹 起原 の 不吉
- ⁸ maagal qo: mətəsəsowai ro: gəlu: la /
関係 が 兄弟姉妹 或 血族 了

忽ち離脱したが、同時に二人共死んで
しまった。
[そこで]蕃人等は皆此は同じ乳房か
ら乳を飲んだ者同士が関係したので、
神の怒を被つたのであらうとさう思
つた。其で皆相談して、其から兄弟姉
妹は[別に]其の配偶を選ぶことになり、
兄弟や血族が夫婦になるのは不吉の
原因といふことになった。

12. kai na wal ma'atəkara
話 の 了 成 雌鳩

- ¹¹ nano sqo: rəral / maki' qotux qo: qa-
何 時 昔 居 一人 が
- ¹² qələpan na kənaeril ma / musa qəmajah
意情者 の 女 さうだ 行 品
- ¹³ karərijax məga: / uqats ana qotux qo:
常に 併 無 も 一 に
- ¹⁴ inowahan nija maqo:mah / si: giwai musa
往つた痕跡 彼の 耕作 只 而已 往
- ¹⁵ mətšisal karərijax ma / ana βalai kəs'a-
遊 常に さうだ 雖 本當に 叱
- ¹⁶ ŋun ga: / ini galəgi ləga: / ini usa məteju-
併 不 伴行 ければ 不 往 働
- ¹⁷ wao ana tšikai /
も 少
- ¹⁸ nano sqo: minəxal / tu:n naha? mutši
何 時 一度 所遺 彼等の といふ
- ¹⁹ "usa səmilai siquts" ro: / ska waqi əsan
行け 打落 木豆を 而 中央 太陽 所行
- ²⁰ naha? təputsiŋ ga: / uqats ana tšikai tšin-
彼等の 従後 併 無 も 少 打落

12. 雌鳩になつた話
援昔或時懶者の女が一人居たさう
だ。いつも畠に行くが、彼女が行つて
仕事した痕跡が一つもない。いつも
遊にばかり行つたさうだ。如何に叱
つても[親が]連れて行かないと、少しも
仕事に行かない。
或時、父母が彼を畠へ遣つて「木豆を
打落しに行け」といつた。正午に彼等
が後から行つて見たが、彼が木豆を打

4. kəs'əp-un 叱る。客體主。mas'əg 同上。主體主。
8. gəlu: 血族。原意。一語。共同。qotux gəlu: 一族。
10. ma'atəkara 雌鳩に成る <ma-ta-təkara <təkara 雌
鳩。比。マコナン 本文 8. ma-ka-kowalits 處に成る
<kowalits 處。

14. in-owah-an 行つた痕跡 ~ m-owah 行く。
16. galəgi-i 人を伴れて行く。客體主。原意。人と共同して…
する。<gəlu: 註 8。
20. tə-putsiŋ 後に従ふ。<putsiŋ 後。
tš-in-tšij-an 叩落した跡。t-əm-tšij 離。太鼓などたた
く。

- ¹ tšijən nija siquts ro: / ana naha? haka-
した跡 彼の 木豆を 而 てし 彼等の 所獲
- ² ŋijun ga: / ini naha? lui / nano jasa qo:
やはり 不 彼等の 所見附 何 其 は
- ³ si: naha? laçi kija la / laomun naha? qo:
其儘 彼等の 所止 其處 了 所獲 彼等の は
- ⁴ ?inutu: sjup / sinalajan siquts / ?ariŋ mətə-
積んだ物 併 打落した物 木豆 始 起
- ⁵ hojai qo: punəq ləga: / si: kəta wal mutši
が 火 すると 忽見 去 といふ
- ⁶ "βur" məlaka kahol sqo: ?inutu: sjup /
バタバタ 飛 出 から 積んだ物 併
- ⁷ qotux təkara ma / kəmajal məro: / "mə-
一 雌鳩が さうだ いふ 而
- ⁸ qailəŋ sako məqo:mah ro: / jasa qo: nux
意 私 は 働 それで 其 は 居此處
- ⁹ sako ma'atəkara / si: ko giwai maneŋ
私は 成 雌鳩 其儘 私は 只 食
- ¹⁰ qairəŋ ro: βowai na kəhəŋeŋ" mutši ro: /
豆 や 實 の 木 といふ 而
- ¹¹ wal məlaka la ma /
去 飛 了 さうだ

落した形跡が少しもない。彼等が獲
しても見附からないので、彼等はその
まゝにして捜すのを止めた。而して
彼等は打落して積んである、木豆の殻
を焼いた。火が起り始めると、突然積
んだ殻から、一羽の雌鳩が出て、バタバ
タと飛んで行つたさうだ。[而して]私
は働くのを怠つたので私は雌鳩にな
つた。私は此からは只豆や木の實を
食ふ斗りだといつて、飛んで行つてし
まつたさうだ。

13. kai na maqaso: hei' ətajal
話 の 分ける 人数を アタヤル
ke skhamajun ro: ?a'ariŋan
と スカハマユン 而 起原
na məgaga
の 出草

13. スカハマユンとアタヤ
ルが人数を分けること、
及び出草の起原の話

- ¹⁶ nano qo pinsəkan na məraho: rəral /
何 は 發祥の地 の 祖先 昔
- ¹⁷ si: ?ingəŋijuts məβəho: jao hei' naha? mə-
自然に 段々 種 人数が 彼等の そ
- ¹⁸ ro: / ana naŋəqon ini taihok / si: ?inzizu-
れでも 食物 不 足 自然に 困る
- ¹⁹ wao βalai ma /
其 さうだ
- ²⁰ nano jasa qo: makajal / mutši "aki
何 其 は 相談 といふ かしらん
- ²¹ həmsowa? / musa ta hamkaŋi / maosa
如何しよう 行 我等 獲 成

援昔の祖先發祥の地は、彼等の人数
も段々と殖えたので、食物も足りなく
なり、自然と困る様になつたさうだ。
そこで相談して「如何すれば良いか
しらん。我々の一部の者の子孫が生

3. laçi-i 事を止める。客體主。əm-alax 同上。主體主。
laom-un 山など焼く。客體主。l-əm-aom 同上。主體主。
4. ?in-utu: 積置いた物。?əm-utu: 積置れる。
s-in-alaj-an 打落した物。s-əm-ilai 打落す。

9. si: ko giwai そのまゝ私は只。ko <sako 私。
14. skhamajun 本来山地に居住したる種族なるがアタヤ
ルの島に驅逐され平地に下りたるものなりといふ。

- ¹ gəlaʔaŋ qaʔənuxan na alaʔei ruma heiʔ
廣 生活する處 の 子孫 或る者 人数
- ² ta” mutʃi ro: / “ nano jasa ga məqasaga
我等のといふ而 何 共なら 分けよう
- ³ ta heiʔ ro: / hala sami hamkaŋi kakiʔan
我等人数を而 行 我等は 捜 居住地
- ⁴ tai saiŋ” mutʃi ro: / aki məqaso: heiʔ ga: /
方 前山 といふ 而 欲 分 人数 併
- ⁵ kəmajal qo: məmaosa tai saiŋ / “nowai
いふ が 將行人 方 前山 宜しい
- ⁶ ta ini pələləpuŋi ro: / həmowaga ta ro: /
我等は不 數 而 叫ばう 我等 而
- ⁷ kija qo: tsikui henowau ga: / towapaŋi ta
共 は 少 叫んだ聲 は 所可足 我等の
- ⁸ ro:” pəsəsapuŋəo ta” mutʃi / musa masəsli
而 所可比 我等のといふ 行 集
- ⁹ qəsʔap saxa nahaʔ ro: / skhamajun qo:
向ふに 一方は 彼等の 而 スカハマユン は
- ¹⁰ minʔariŋ həmowao / ʔaʔəo nja ləga: ətajal
始 叫 後 其のそこで アタヤル
- ¹¹ qo: həmowao la / kətəŋ məga: / həmiʔi:
は 叫 了 所見 すると 優
- ¹² nas henowau naqo: ətajal heja / si: kajal
叫聲 の アタヤル 其 直に いふ
- ¹³ qo: məraho: na skhamajun / “khamai
は 頭目 の スカハマユン 大勢
- ¹⁴ simo heja / towapaŋi tsikui heiʔ niʔan”
汝等 共 足せ 少 人数 我等の
- ¹⁵ mutʃi ro: / towapaŋi nahaʔ laozɪ / “ao
といふ 而 所足 彼等の 再 あ、
- ¹⁶ ʔaq” / nux ləmaʔeiŋ heiʔ qo: skhamajun
分つた 居 隠す 人数を は スカハマユン
- ¹⁷ heja / məsəpuŋ həmowao laozɪ ga: / ma-
其 比べる 叫 再 すると
- ¹⁸ imao məzui rəŋiʔax tsingətəŋan henowau
如 動 山が 所 響 叫んだ聲の
- ¹⁹ naqo: skhamajun / həmowao qo: ətajal
の スカハマユン 叫 は アタヤル
- ²⁰ heja ga: / ini ʔariŋ / nano jasa qo: kəma-
其 併 不 始 何 共 は いふ

2. mə-qəsag-a ta 我等は分けよう。 mə-qəso: 互に分ける。 -a 未来、主體主。
3. kakiʔan 居住地。 makiʔ 居る。
5. mə-maosa <ma-ma-usa 行かんとする人、行くべき人、未来、主體主。 ~m-usa 行く。
6. hə-m-owag-a ta 我等は叫ばう <həm-owao 叫ぶ。 -a 未来、主體主。 hə-en-owau 叫んだ聲。 7行、12行。

活の出来る廣い處を捜しに行かうといふ。「搜其ならば我々は人数を分けよう。而して前山方面に居住地を捜しに行かう」といつて、人数を分けようとしたが、前山方面に行く人は「我々は數へるには及ばない。[大聲で]叫んで見よう。其の叫んだ聲の少い方へ[人数を]足して、比べて見よう」といつて、彼等の一部は向ふへ行つて集つた。而してスカハマユン(前山の方の群)は始めに叫んだ。其の後にアタヤルが叫んだ。するとアタヤルの叫聲が優つてゐたので、スカハマユンの頭目は直に「お前等の方が大勢だ。我々の人数に少し足せ」といつた。それでアタヤルが又人数を足してやつた。そこで再び叫聲を比べると、スカハマユンの叫聲は山を動かす程であつた。あゝ分つた。スカハマユンは(先に)人数を隠してゐたのであつた。[次に]アタヤ

7. towapaŋi 共に足さう。 t-əm-owap 是す。 -ai 未来、位置主。
7. 11. henowau 註. 6.
8. pə-sa-spuŋ-ao 物を比べよう。 mə-sa-sapuŋ 比べる <supuŋ 量る。 -ao 未来、客體主。
14. towapaŋi 共に足せ。 位置主。 命令。 towapaŋ-an 共に足す。 位置主。 15行。

- ¹ jal qo: məraho: na ətajal / “sowaʔ simo
が 頭目 の アタヤル 何故 汝等
- ² taqəro: laqeiŋun mamə ruma heiʔ mamə”
欺 所隠 汝等の 或る 人数 汝等の
- ³ san nija kəmajal ma / si: kajal qo: məra-
如其 彼の いふ さうだ 直に いふ は 頭目
- ⁴ ho: skhamajun / “nowai ana qo: khamai
スカハマユン 宜しい 勢 が 大勢
- ⁵ sami ga: / kija qo: miʔiʔuwəo mamə ga: /
我等は 併 有 が 紛争 汝等の すれば
- ⁶ owahei sami məgaga / ʔilaq inaras mamə
來い 我等 出草 良 提出した事件 汝等の
- ⁷ ga galun sami / jaqəh inaras mamə siʔeq
ければ 所取 我等は 惡 提出した事件 汝等の 鳥判断
- ⁸ ga: / iʔats simo pəsəhoʔai / laʔi lux jaqəh
ければ 非 汝等は 成効者 勿 妄 惡
- ⁹ kəsuleq mamə” mutʃi məro: / məsgagai
心 汝等の といふ 而 互別
- ¹⁰ la / nano jasa qo: wal laheipən na mi-
了 何 共 は 來 所傳 の
- ¹¹ nʔariŋ məgaga / mutʃi kai naqo: məraho:
始 出草 如此 話 の 先祖
- ¹² raral ma /
昔 さうだ

ルの方が叫んだが、叶はない。それでアタヤルの頭目は「何故お前等は欺か。お前等是一部の人数を隠してゐた」といつたさうだ。スカハマユンの頭目はすかさず「我等は大勢でも構はないではないか。お前等に紛争事件がある時は、我等の處へ出草しに來い。お前等の伺事(鳥占)が良ければ、我々は首を取られるし、お前等の伺事が悪ければ、お前等は成効しない。お前等は[人数が少いとて]さう心配するな」といつて別れた。搜出草の起りについての言傳は其様なものだ、昔の祖先はさういつてゐる。

14. kai na kingwagan skhamajun ni ləkamaʔuta
話 の 所編述 スカハマユンの 故人 アタヤル
- ¹⁸ nano sqo: makiʔ pinsəʔkan kowara qo:
何 時 居 發祥地 皆 が
 - ¹⁹ ətajal haga: / kiʔan na skhamajun kowa-
アタヤル 其は 居處 の スカハマユン 皆
 - ²⁰ ra / qatəqotux linhogan na lejjuŋ / ʔariŋ
一つ一つ 流域 の 川 始

14. ブタがスカハマユン を追拂つた話
搜(昔)アタヤルが皆(祖先の)發祥地に居た時には、川の一つ一つの流域は皆スカハマユンの居住地であつた。即

5. mi-zi-quwəo 紛争、原意、種々の事件が起る。 <quwəo =juwəo 事。
i. owah-ei sami 我等に來い。 位置主。 命令。 原意、我等は汝の來る處ぞ。
7. in-aras 提出したもの。 客體主。 原意、持つて來た物 <əm-aras 持來る、持行く。
8. laʔ-i …するな、原意、止めよ。 客體主 命令。 ~ʔəm-alax.

10. wal laheipən 傳來になつた事 <loheip 續く。
16. k-iŋ-gwag-an 追拂つた者、掃蕩した者。 客體主。 ~k-əm-agəo 掃く。
17. ləka-ma-ʔuta 故人のアタといふ者。 ləka <laka 故人、死んだ人。 ma… といふ者。
20. l-in-hog-an 流域 l-əm-oho: 川、又は武蔵など連續して流が通る。

- ¹ leljuŋ tejuku qasa ro: / leljuŋ kalaisan /
川 タロコ蕃 あの 而 川 南澳蕃
- ² leljuŋ naʒowan / leljuŋ təranan / leljuŋ sə-
川 溪頭蕃 川 新店蕃 川
- ³ ʒətutux / leljuŋ tsinʒulan / leljuŋ linahoi /
大溪蕃 川 上坪蕃 川 大甲蕃
- ⁴ leljuŋ piʒinoh / mətəʔto haʒun təgʒiran /
川 大安溪蕃 到まで 合流點 白毛附近(?)
- ⁵ mutʒi kai na mərəho: ra:ral / nano qo:
さういふ 話は の 祖先 昔の 何 は
- ⁶ skhamajun qasa məga: / minsagəi sqo:
スカハマユン 其の といふは 分れる から
- ⁷ kinmərəhagan ra:ral na ətajal mərə: /
祖先 昔の の アタヤル といふので
- ⁸ mələlaosai uzi hama /
互往來 又 さうだ
- ⁹ nano qo: / ginʔariŋan nahaʔ məsijaqeh
何 は 起 原 彼等の 不和
- ¹⁰ ke ətajal məga: / musa məlata qo: alaqei
とアタヤル といふは 往 狩 が 蕃丁
- ¹¹ na ləkamaʒuta mərə: / kija məʒisəl sqo:
の 故人 アタ 而 其處 遊 で
- ¹² skhamajun / mutʒi nannak qo: uloh nau-
スカハマユンの處 一人 具 が ウロホ ナウ
- ¹³ wi ro: kija gəmənnao / təmriŋ ʒuʒu na
ウイ 而 其處 惡戯 觸 乳房に の
- ¹⁴ məkraki:s mərə: / masʔaŋ qo: mətəsəso-
處女 といふので 怒 は 兄弟
- ¹⁵ wai nija / wa:l nahaʔ si: ginhaju-i kəmuts
彼女の しまふ 彼等の 其處 窺に…する所 殺
- ¹⁶ la ma / nano jasa qo: / masʔaŋ qo: ləka-
了さうだ 何 其 は 怒 が 故人
- ¹⁷ maʒuta / "sowaʔ ana qo: henijapas / wajal
アタ 何故 離 だ 戯所爲 成了
- ¹⁸ nahaʔ səkuts / nux piʒaŋ təməjapeq skha-
彼等の 殺す譯 居 故意に 挑 戦 スカハ
- ¹⁹ majun qani la / anai ta saroro ro: / səna-
マユン 此の のだ といふら 我等の 所追 而 所交代

4. mə-təʔto 到るまで、原意、一々…する、一つ残らず…する。t-əm-aʔto 綿密、丁寧に…する。taʔtu-un k-əm-ajal 一々委しく話す。
7. kin-mərəhag-an 祖先の處、mərəho: 祖先。
8. mə-la-laosai 互に往來する。l-əm-aosai 得側する。
9. məsi-jaqeh 不和、原意、互に怒い、<jaqeh 怒い。
12. uloh nauwi ヤウウイの子ウロホ、nauwi <ni-jauwi
15. si: ginhaju-i k-əm-uts そのまま窺に殺す、ginhaju-i

あのタロコ蕃の川を始めとして、南澳蕃の川、溪頭蕃の川、新店溪、大崙溪、上坪溪、大甲溪、大安溪、タグピランの合流點(白毛附近?)に至るまで、皆さうであったと昔の祖先はさういふ。彼そのスカハマユンといふのはアタヤルの昔の祖先から分れたので、又互に往來してゐたさうだ。彼彼等とアタヤルと不和になつた原因といふのは、[アタヤルの頭目である]ブタの蕃丁等が[或時]狩に行つた時、スカハマユンの處で遊んだ事があつた。中に一人ウロホ、ナウウイ(ヤウウイ)の子のウロホといふ者があつて、其が戯れに[スカハマユンの]處女の乳房に觸れたといふので、彼の女の兄弟が怒つて、窺に[ウロホを]殺してしまつた。其處でブタが怒つて、戯れにしたのに、何故彼等は殺してしまつたりしたの

人々窺に…する、客體主、minheju 窺に…する、主體主。
17. h-en-ijapas 冗談にした事、h-əm-ijapas 冗談にする、wajal nahaʔ sə-kuts 彼等が殺してしまつた、原意、彼等の殺す原因となつた、用具主、k-əm-uts 主體主。
19. sa-roro 追退ける、用具主、r-əm-oro 横に押す、sənaŋai <sənao-ai <səjunao-ai 入換らう、位置主、未來、~ s-əm-junao 交代する、主體主。

- ¹ gai ta kinkiʔan nahaʔ / taita məhəreq ato
我等の 居處は 彼等の だらう 仰つたり 限界は
- ² na tuʒa na paʒeh taʔ mutʒi ro: / ma-
の 曲つた の 小畝 我等の といふ 而
- ³ səseliʔ kowara makajal aosa nahaʔ mu
集合 皆 相談 行く方法 彼等の 計
- ⁴ skhamajun /
スカハマユン
- ⁵ masoq makajal ləga: / səməxu ʒowax
遂 相談 それから 搗 米
- ⁶ ro: / si: nahaʔ usa taʔariŋ leljuŋ tejuku
而 直捷 彼等の 行 始に 川 タロコ蕃
- ⁷ ro: / soqon nahaʔ rəmororo lasa ləga: / si:
而 所過 彼等の 追退 其等 それから 其處
- ⁸ nahaʔ gətəgijutsi / ʔariŋ leljuŋ kalaisan
彼等の 段々…する所 から 川 南澳蕃
- ⁹ ro: / leljuŋ naʒowan / leljuŋ təranan /
而 川 溪頭蕃 川 新店蕃
- ¹⁰ leljuŋ səʒətunux / leljuŋ tsinʒulan ro: /
川 大溪蕃 川 上坪蕃 而
- ¹¹ si: gintaʔto nahaʔ kija ləga: / rəmaʔo qo:
其處 迄行く 彼等の 其處 そのとき 加勢 が
- ¹² maləqowan / stakujan nahaʔ kija qo: sk-
マヨコワン 所倒 彼等の 其處 は スカ
- ¹³ hamajun ro: / məsəhezi leljuŋ linahoi /
ハマユン 而 移 川 大甲蕃
- ¹⁴ tʒux mənaga kija qo: / mərəho: skhama-
居 待 其處 は 頭目 スカハマ
- ¹⁵ jun ləkamaopil mutʒi ro: / əsan ni ləka-
ユン 故人オセル といふ それで 行處 の 故人
- ¹⁶ maʒuta /
ブタ
- ¹⁷ matatʒi:reŋ ro: / nijal si: jahto: qotux
互 戦 すると 來 突然 出現 一人

1. k-in-kiʔ-an 現在居る處 <makiʔ 居る、mə-həreq 仰つたり、原意、界と界と隔りがある、həreq-ei 其處退け、ato 畠の限界、ato na tuʒa na paʒeh 曲つた小畝の限界、即ち耕作地の義、頭目の用ひる語、

か。此のスカハマユンは故意に戦を挑むものだ。我々は[彼等を]追拂つて、彼等の居る處に入替つてやろう。さうすれば我々の曲つた小畝の範圍(耕作地の事)が仰つたりする]といつた。而して皆集つてスカハマユンを討伐に行く方法を相談した。相談が終つてから、米を搗いて[糧食の準備をした]。其から彼等は直捷始めにタロコ蕃の川へ行つた。而して彼等は敵を追拂つてしまつてから、そのまゝ段々と南澳蕃の川を始めとし、溪頭蕃の川、新店蕃の川、大溪蕃の川、上坪蕃の川[へ行つた]。而して彼等が其處まで行つた時に、マヨコワン蕃が加勢に來た。彼等は其處のスカハマユンを倒して、大甲蕃方面の川へ移つた。スカハマユンの頭目のオセルが其處で迎へ討たうとして待つてゐるといふので、ブタは[其處へ]行つた。

互に戦争してゐる時[スカハマユン

10. la-sa 其等、復數、ja-sa 其。
11. gətə gijutsi-i 段々其處へ…する、位置主、gətə- (a) gijutsi の反復。
15. s-takuj-an 物を倒す、用具主、t-əm-akui 同上、主體主。
18. ləka-ma-opil 故人オセルといふ蕃。

- ¹ qo: məraho: naha? / "nano kuziŋ qo: opil
が 頭目 彼等の 何 我 は オビル
- ² βilaq" mutši ro: / si: pəspəluki ni ləkama-
ビラク といふ 而 忽 所引絞 の 故人
- ³ βuta pəna:loq ro: / βu:n nija / alai məqais
アタ 弓は 而 所射中 彼の 外れる 喜
- ⁴ mutši "nux ta βalai tahejajan qo: opil
といふ 居 我等の 實に 所成就 は オビル
- ⁵ βilaq" mutši ro: / βəlajaqon naha? mita
ビラク といふ 而 所注意 彼等の 見
- ⁶ ro: / jasa qo: opil jaqeh /
すると 共 は オビル ヤケへ
- ⁹ paonan qo: kai ga / wajal məgijai qo:
所聞 は 話 すると 去 逃 は
- ¹⁰ opil βilaq / tsux mənaga leljuŋ pižinoŋ
オビル ビラク 居 待 川 大安番
- ¹¹ mutši ro: / matatu:leq laozi qo: ləkama-
といふ それで 出發 再 は 故人
- ¹² βuta / si: pəgəlu: ke qəβsu:jan nija / musa
アタ 直に 同行 と 見 彼の 行
- ¹³ kəta:n ga / nux βalai mənaga qəməβujaj /
所見 すると 居 實に 待 潜伏
- ¹⁴ si: kajal qo ləkamaui / "kuziŋ gəlaiŋ
直に 話す が 故人マウウイ 我 先行
- ¹⁵ βuta / ana sako naha? βu:n ləga nowai
アタよ 我 彼等の 所射殺 併 宜しい
- ¹⁶ sako / musa məlu: utux na alaŋei mako"
我 行 共 魂との 子 我的
- ¹⁷ mutši ro: / heja βalai gəlaiŋ / hatəgan qo:
といふ 而 彼は 實に 先行 所出 は
- ¹⁸ qəβujaj / si: kəta nijal si: jahto: qo: opil
掩 堡 忽 見 來 忽 出現 は オビル
- ¹⁹ βilaq / s: nija pəspəluki pəna:loq / βu:n
ビラク 直様 彼の 所引絞 弓は 所射殺
- ²⁰ nija ləkamaui / si: sənagi pəspiluk pə-
彼の 故人マウウイ 直様 所交代 引絞
- ²¹ natloq ni ləkamaβuta / si: nija giŋagi kija
弓 の 故人アタ 直様 彼の 所倒 共處
- ²² qo: opil βilaq uzi la / naro jasa qo: wal
は オビル ビラク 赤了 何 共 は 成

1. ku-zig 私、獨立して用ゐる。此 IN. ku-zig は接尾辭。
2. pəspəluki 引絞る。客體主。弓。pəspiluk 主體主。
3. alai məqais 徒に喜ぶ。min-alai 無忌になる。
13. qəməβujaj 潜伏する。< qəβujaj 掩堡。18行。

の]一人の頭目が突然現はれて、我こそ
はオビル、ビラック(善人オビル)だ]とい
ふと、ブタはすかさず弓を引絞つて、共
を射殺した。それで[我々は實にオビ
ル、ビラックを殺して成效した]といつ
て喜んだが、よく見ると、共は(別の人)オ
ビル、ヤッケへ(悪人オビル)であつたの
で、その喜びはぬか喜びであつた。

話を聞くと、オビル、ビラックは逃げ
て大安溪の方面に待つてるといふ
ので、ブタは直に又起つて彼の兄(ウロ
ホの父)と同行して(共處へ)行つた。行
つて見ると、案の如く[敵は]潜伏して待
つてゐた。そこでマウウイ(ブタの兄
で殺されたウロホの父)は「ブタよ、私は
先に行かう。私は彼等に射殺されて
も構はない。私は自分の子の魂と一
緒に(冥途へ)行くのだ」といつて、彼は真
先に進んだ。掩堡から出ると突然オ
ビル、ビラックが現はれて、いきなり、弓
を引絞つて、マウウイを射殺した。時
を移さず入替つてブタが弓を引絞つ

20. sənagi 人と入換る。客體主。səm-junao 交代する。主
體主。
21. giŋagi < gajagi 人を倒す。客體主。~ pəta-gajao 倒
す。主體主。

- ¹ məkarupus kowara qo: skhamajun la
敵々 皆 は スカハマユン了
- ² ma /
さうだ
- ⁴ ga:lan tunux ni ləkamaβuta qo: opil
所取 首の の 故人アタ は オビル
- ⁵ βilaq ro: / ga:lan nija tunux uzi ni qə-
ビラク 而 所取 彼の 首 赤 の
- ⁶ βsu:jan nija ro: / spaŋa nija kowara /
見 彼の 而 所背負 彼の 皆
- ⁷ ki?an nija əməβul βa?βu qəzinan ro: /
所立寄 彼の 埋 圓頂に カジナン山 而
- ⁸ musa pinsəkan laozi ma /
歸 發祥地 再 さうだ
- ⁹ nano qo: / skhamajun maki? leljuŋ sə-
何 は スカハマユン 居 川
- ¹⁰ βətunux qani heja ga: / mapu:tsiŋ βa?nux
大溪蕃 此の 其は 成終點 平地
- ¹¹ moheij ki?an naha? / mowah qo: ləkama-
モヘン 居處 彼等の 來 は 故人
- ¹² βuta owahan nija / rəma?ra rəgjax piŋa-
アタ 來處 彼の 見渡 山 ヒヤ
- ¹³ wai ro: / kəta:n naha? tsux mapu:tsiŋ βa-
ワイ 而 所見 彼等の 居 成終點 異
- ¹⁴ lai βa?nux moheij ro: / owahan naha? mo
平地 モヘン 而 來處 彼等の 計
- ¹⁵ səlaqox naha? ro: / si: owah patəgsəli?
所勝 彼等の 而 直に 來(敵が) 集
- ¹⁶ βa?nux kin-jaopan / mənaga qəməβujaj /
平地 キンヤオパン 待 潜伏
- ¹⁷ məsasəli? kowara naha? / mali:pa uzi ro: /
集 彼等の マリパ 赤 而
- ¹⁸ owahan naha? mizup mətətsi:reŋ wal
來處 彼等の 襲入 戰 了
- ¹⁹ naha? si: ansəgintakui / pižux βalai tu-
彼等の 直様 所倒 多 甚
- ²⁰ nux ga:lan naha? ma / nano jasa qo: / sa-
首 所取 彼等の さうだ 何 共 は 理由

て、直様其のオビル、ビラックを倒して
しまった。共が爲、スカハマユンは皆
散々になつてしまつたさうだ。

ブタはオビル、ビラックの首と、兄の
首とを取つて、自分で[背負つて]行つた。
而してカジナン山の頂に立寄つて、共
處に埋めて、再び發祥の地へ歸つたさ
うだ。

扱、此の大嵯巖溪の流域に居るスカ
ハマユンは、その居處はモヘンの平地
を終點としてゐた。ブタが此處に來
て、ビヤワイ山から見渡したところが、
スカハマユンは實際モヘンの平地を
終點としてゐるのを見たので、ブタ等
は共處へ來て之を討つて勝利を得た。
所が敵は直ちにキンヤオパンの平地
に集まつて來て潜伏して待つてゐた。
[此時]マリパ蕃もブタの部下と一緒に
なつて、敵を襲撃して直様(敵を)倒して
しまった。而して彼等の取つた首は

6. spaŋa < sa-paŋa 物を背負ふ。用具主。mə-paŋa 背負
ふ。主體主。
7. ki?an 立寄る。位置主。原意。居る處。
10. ma-putsiŋ 終點になつてゐる。putsiŋ 物の末、端。
11. moheij 地名。現在のカウオ駐在所の附近。
12. piŋawai 地名。現在カウオ社とカウイラン社の間の山。
15. sə-laqox 人に勝つ。用具主。lə-m-aqox 勝つ。主體主。

16. k-in-jaop-an 地名。現在のキローパン社の山手の處。原
意。攻込んだ處。~ mi-jup 入る。襲ふ。
19. an-ə-gin-takui 倒してやる。用具主。敵。an-ə- 人な
してやる。pə-takui 倒す。主體主。
20. sa-utši naha? 彼等のさういふ理由。用具主。~ m-utši
さういふ。主體主。

¹ utši naha? kin-jaopan ro: / tarıqan lalo:
如此いふ 彼等の キンヤオパン と タレーカン 名
² na rahejal qasa ma /
の 地 共處 さうだ

³ βəkugun naha? sintənuxan naha? tunux
所並 彼等の 所並首 彼等の 首
⁴ mēga: / malıpa heja ga: / minpusal pin-
すると マリパ 共 是 二度 横
⁵ kijuts toro ro: sēmka / βəkugun naqo:
切 水筋 而 半分 所並 の
⁶ laqei na ləkamaβuta heja ga: / minxal
蕃丁 の 故人 プタ 共 是 一度
⁷ pinkijuts toro sēmka ma /
横切 水筋 半分 さうだ

¹¹ mēs-hezi qo: skhamajun ləro: / mowah
移 是 スカハマユン 而 來
¹² maki? βa?nux həmawan / sətatu:leq naha?
住 平地 ハマワン 所起 彼等の
¹³ laozi / si: naha? ansəginrupus / səpaβu
再 忽 彼等の 所打散 使打
¹⁴ naha? kija qo: o:mao lawa / nano jasa
彼等の 共處 是 オマオ ラワ 何 共
¹⁵ qo: / si: naha? lahegi mutši βa?nux həma-
は 共處 彼等の ちなむ所といふ 平地 ハマ
¹⁶ wan / mēs-həhezi laozi qo: / skhamajun
ワン 移 再 是 スカハマユン
¹⁷ mowah maki? pejasan / statu:leq naha?
來 住 ベヤサン 起つ理由 彼等の
¹⁸ laozi matatsi:reğ ro: / wal naha? səginru-
又 戰 而 了 彼等の 所打散
¹⁹ pus ro: / səpaβu: naha? kija qo: pajas
而 所使打 彼等の 共處 是 バヤス
²⁰ puğao / nano jasa qo: / sa utši naha?
プガオ 何 共 是 理由 といふ 彼等の

1. tarıq-an 地名. 現在キコーパン社ノ川に近き處. 原意. 戦つた處. ~ ma-ta-tsi:reğ 戦ふ.
5. βəkug-un 並べる. 客體主. mako: 並べル. 主體主.
s-in-tənux-an 盛首した首. s-om-tunux 首を取る.
6. min-pu-sa-l 二度. ~ rusa 二つ.
9. n-in-kijuts 切断した物. k-om-ijuts 切断する.
12. həmawan 地名. 現在のハマワンビンの地.
sə-tatu:leq ...の爲に出發する. 用具主. 敵.

大變多かつたさうだ. 其處の地名を
キンヤオパン(襲うた處)とタレーカン
(戦つた處)といふのは其から來たのだ
さうだ.

彼等の取つた首を並べたところが、
マリパの方の取つた首は、川の水筋を
横切つて二度半(川幅の二倍半の長さ)
プタの蕃丁の方の並べた首は水筋を
横切つて一度半(川幅の一倍半の長さ)
續いたさうだ.

スカハマユンは(逃げて)ハマワンの
平地に移つて住んだ. プタ等は再び
起つて、忽ち討散らしたが、其の時オー
マオ、ラワといふものを打死させた.
共で彼等は共にちなんで(其他を)ハマ
ワンの平地といつた. スカハマユン
は再び移つて來て角板山に住んだ.
プタ等は又起つて戦つて打散してし
まつた. 而して其處でバヤス、プガオ
といふ者を打死させた. それで彼等

13. an-sə-gin-rupus 打散らしてやる. 用具主. 敵. sə-gin-
rupus 打散らす. 用具主. 敵. 18行.
sə-pa-βu naha? 彼等が...を打死させた. 用具主.
原意. 彼等が...を敵に打たせる者にした. 國語の敵
に打たせると同義. sə<sa-用具主. pa- 使役の接
頭辭. βu 銃又は弓で中てる ~m.
15. lahegi 共にちなむ. 客體主. lohegi 連續する. 關係する.
17. pejas-an = pijas-an 現在の角板山の地.

¹ pejasan / musa qo: skhamajun / si: usa
ベヤサン 住 是 スカハマユン 直に 往
² maki? pəqowajan / əsan naha? laozi mē-
住 バコワヤン 往處 彼等の 又
³ tatsi:reğ ro: / slaqox naha? / məgijai kija
戰 而 所使負 彼等の 逃 共處
⁴ βa?nux panan / wal naha? səpaβu laozi
平地 バナン しまふ 彼等の 所使打 又
⁵ qo: ləkamaqəqowai / nano jasa qo: / sa-
は 故人カコワイ 何 共 是 理由
⁶ utši naha? pəqowajan / sətatu:leq naha?
といふ 彼等の バコワヤン 起つ理由 彼等の
⁷ laozi / matatsi:reğ βa?nux punan / si: na-
又 戰 平地 バナン 忽 彼
⁸ ha? ansəginrupus laozi ro: / səpaβu naha?
等の 所打散 又 而 所使打 彼等
⁹ kija qo: ləkamapu:na / si: naha? lahegi
共處 是 故人プーナ 共處 彼等の ちなむ所
¹⁰ mutši βa?nux punan / məgijai qo: skhama-
といふ 平地 バナン 逃 是 スカハマ
¹¹ jun karajas leljup / mintəz:il tsijajan /
ユン 横断 川 上陸 チヤヤン
¹² mənaga kija / matatsi:reğ kija laozi / wal
住 共處 戰 共處 又 しまふ
¹³ naha? səginrupus laozi / βu:n kija qo:
彼等の 所打散 又 所打 共處 是
¹⁴ ləkamaqətsijai / nano jasa qo: / sa utši
故人カチヤイ 何 共 是 理由 といふ
¹⁵ naha? tsijajan ma / məgijai qo: skhama-
彼等の チヤヤン さうだ 逃 是 スカハマ
¹⁶ jun / si: gəgəlugi naqo: ləkamaβuta / sa-
ユン 直に 所造 の 故人 プタ 理由
¹⁷ usa nija ginta?to goyo sli:pan / wal nija
住 彼の 迄 ゴヨ スリヤパン 了 彼の
¹⁸ tahejajan rəmoro: qo: / skhamajun mina-
所成功 驅逐 是 スカハマユン 居た
¹⁹ ki? leljup səβətatunux qani ma ro: / nano
川 大溪蕃 此のさうだ 而 何
²⁰ qo: putšij na kakai nija ləga: / si: nija
は 終點 の 足 彼の には 共處 彼の
²¹ səβili phəgo pənəloq kəhoqəq ma / nano
所遣置 突刺 矢を 木は さうだ 何

は其地をベヤサン(角板山のこ)とい
ふ. スカハマユンは其から行つて、バ
コワヤンに住んだ. プタ等は又行つ
て戦つて打散つた. [敵は]バナンの平
地へ逃げたが、プタ等は又マコワイ
を打死させた. それで彼等は其地を
バコワヤンといふ. プタ等は又起つ
てバナンの平地で戦つた. 忽にして
彼等は又[敵を]打散らした. 而して其
處でプーナを打死させたから、其のま
ゝ(彼の名に)ちなんで其處をバナンの
平地といふ. スカハマユンは川を渡
つて逃げた. 而してチヤヤンに上陸
して待つてゐた. 其處で又戦つて又
打散してしまつた. 其時カチヤイが
打死した. それで其地をチヤヤンと
いふ. スカハマユンは逃げたのでプ
タはすかさず追掛けた. 彼はゴゴ、ス
リヤパンまで行つて、大料炭溪流域に
居たスカハマユンの驅逐に成功した
さうだ. 扱プタの足の終點には、彼が

2. pəqowaj-an 地名. 現在の阿母坪の地.
5. ləka-ma-qəqowai 故人カコワイといふ人. ləka <laka
故人. ma...といふもの.
7. punan 地名. 現在阿母坪の下. 大溪坪の地.
11. tsijaj-an 地名. 現在の新橋坪の地.

16. gəgəlug-i 其の後を追ふ. 客體主. g-om-əgəlug: 後につ
いて追うて行く. 主體主. mə-gəlug: 一緒に行く.
18. m-in-aki? 居た者. maki? 居る者.
21. səβili-i 遣す. 處. 位置主. 木.

¹ jasa qo: / sa:n naha? putsij lawi na
其 は 所曾 彼等の 端 槍の石突の
² ləkamaʔuta məgao /
故人 プタ さうだよ

木に矢を突刺して残して置いたさうだ。[今日]人々がプタの槍の石突の端といつてるのは其ださうだ。

15. kinʔəʔaqan ləməpəluŋ mata-
巧妙 考 暇
tʃi:reŋ ni ləkamaʔuta
の 故人 プタ

15. プタの戦略

⁷ nano sqo: minxal / musa mijup sqo:
何 時 一度 行 襲 を
⁸ skhamajun ləkamaʔuta / ini kəkahammai
スカハマユン 故人 プタ 不 多
⁹ hei? naqo: ləkamaʔuta ro: / si: ʔaqei sa
人数 の 故人 プタ 而 直に 所知 事由
¹⁰ ijats nija tahejajun / ləməpəluŋ qo: lək-
非 彼の 所成功 考 は 故人
¹¹ maʔuta / "anai ta sənaga mənəʔu: haro:"
プタ やらう 我等の 所持 飲 酒宴
¹² mutsi ro: / kəta:n ʔalai ləga: / məsasəli?
といふ 而 所見 賞察 すると 集
¹³ mənəʔu: haro: təmraŋ mətəʔəluŋu ʔija-
飲 酒宴 丁度 満
¹⁴ tʃiŋ /
月
¹⁵ nano qo: ʔasal na skhamajun qasa ga /
何 は 家 の スカハマユン 其 は
¹⁶ jatna kaho? smagan naha? kaltsin / maʔa-
加 倉 所敷 彼等の 板は 寝
¹⁷ ʔi: ga / ʔilijan naha? qo: zik na tənuxan
その時は 所穿孔 彼等の は 下 の 枕
¹⁸ ro: / ʔəʔəlaʔun naha? sənəonux naha?
而 所垂下 彼等の 髪は 彼等の
¹⁹ maʔaʔi: ma / kizizaon ga / tʃux ini kəʔaq
寝 さうだ 所向 すると 居共處 不 知

或時、プタはスカハマユンを襲ひに行つた事があつた。プタの人数は多くなかつたので、彼は成功しない事を知つた。それでプタは熟考の上、我々は[スカハマユンが酒宴をする時を待つて襲つてやらう]といつて、實際見ると、丁度満月の時に彼等は集つて酒宴を催ふしてゐた。扱、彼のスカハマユンの家は倉の様で板が敷いてあつて、共に孔が開いてゐた。彼等が寝る時は、枕の下の[その孔から髪を下に垂らしてゐたさうだ。[プタ等が]様子を伺つてゐると、彼等は

1. putsij lawi 石突の終點、攻めて行つた終點。現在、板橋の川向ふの山の突出したる處、其處に以前は木に突刺した槍が残つてゐたといふ。
5. kin-ʔəʔaq-an 巧妙、よく出来ること。<ʔaq 知る、能ふ。
10. tahejaj-un 成功、出来る事。tohojai 出来る、能ふ。
11. an-ai ta sa-naga 我等が...を待つてやらう。48頁。註.1。
13. t-əm-raŋ 丁度極點に達する。t-əm-raŋ in-rakijas 若

盛り。t-əm-raŋ mənəʔu: qowao 酒宴ノ真最中。~mə-terəŋ 飾る。
mətəʔəluŋu 箕の様な、<ʔəluŋu 箕。
16. smag-an 其處に敷く、位置主。s-əm-amao 敷く、板なと振る。
17. ʔilij-an 其處に孔を開ける、位置主 <ʔəliŋ 孔。
tənux-an 枕、原意、頭の處 <tunux 頭。
18. ʔəʔəlaʔ-un 物を垂下する、客體主。mə-ʔəʔəʔai 垂下る
19. kiziza-on 伺見る、客體主。k-əm-ijaja. 同上、主體主。
ini kəʔaq rijax 夢中になる。原意、書を知らぬ。

¹ rijax / mənəʔu: haro: ro: / mahəŋan ʔalai
晝 飲 酒宴 而 夜 共
² ləga: maʔaʔi: kowara la ma /
とつたので 寝 皆 了 さうだ
³ nano jasa qo: / si: tətəʔleŋ qo: ləkama-
何 其 は 直様 起 が 故人
⁴ ʔuta musa məkəto:qe: / kəta:n ʔalai ga /
プタ 往 斥候になつて 所見 よくすると
⁵ nux ini kəʔaq rijax maʔaʔi: / ʔariŋ məqo-
居 不 知 晝 寝 始 暗
⁶ was ʔəta / si: tətəʔleŋ qo: ləkamaʔuta /
懸 直様 起 は 故人 プタ
⁷ si: nija əsai taʔto pamomo sənəonux ko-
直に 彼の 所往 一つ残らず 結合 髪を
⁸ wara / saoʔəh sasan ləga: / si: nija ʔinta-
皆 近 夜明 すると 直に 彼の 所上
⁹ ʔili ʔasal / tatəleŋon nija mutsi / "nux
家は 所使起 彼の といふ、 居此處
¹⁰ sako mowah kəmuts simonan" / si: nija
我 来 殺 汝等を 直に 彼の
¹¹ taʔariŋi ʔaʔariŋan qəmataqotux kəmuts
所始 始 一人一人する 殺
¹² ro: / wal nija si: takuzi kowara / jasa
而 了 彼の 直に 所倒 皆 其
¹³ soqon nija ləga / ʔaq kowara qo: skhama-
所逐 彼の そのとき 皆 は スカハマ
¹⁴ jun / məgijai qo: ləkamaʔuta / si: naha?
ユン 逃 は 故人 プタ 直に 彼等の
¹⁵ gagəluŋi mahejao /
所追跡 追
¹⁶ maki? qotux qo: zizik na gaon / haŋo-
有 一 が 深 の 谷川 所架
¹⁷ wan naha? na wabei / taihok kija lək-
橋 彼等の で 葛 到 其處 故人
¹⁸ maʔuta ləga / si: naha? kəmwə haŋəla /
プタ すると 直に 彼等の 危い事 所追附
¹⁹ minqailuŋ kərajəs haŋo qo: ləkamaʔuta
やつと 渡 橋 が 故人 プタ
²⁰ ləga: / nijal putsij na haŋo uzi la ma /
すると 来 端に の 橋 亦 了 さうだ
²¹ ləməpəluŋ qo: ləkamaʔuta / si: nija nəgai
考 は 故人 プタ じつと 彼の 所持

夢中になつて酒宴を催ふしてゐるが、夜が更けると皆寝た様子である。扱そこで、プタは直様起つて斥候になつて行つた。よく見ると、前後も知らず寝てゐる。一番雞が啼くと、直にプタは起つて、行つて彼等の[垂下つた]髪を一つも残らず皆結び合せた。夜が明かゝると、直に彼は家の床に上つて、彼等を起して、私はお前等を殺しに來たのだといふなり、一人一人片端から殺し始めた。而して其場で皆殺してしまつた。彼が其を終つた時分に、[他の]スカハマユンは皆氣附いたので、プタは逃げたが、彼等は直に其の後へ續いて追かけた。[逃げる道に]一つの深い谷川が有つて、葛の橋を架けてあつた。プタが其處へ到着すると、危い事には彼等がもう追付きさうになつた。プタが橋をやつと渡つた時には、[彼等が]又橋の際に來てゐたさうだ。プタは考へて其

4. məkə-toqe: 斥候になる <toqe: 道。
6. ʔəta 懸、又 ʔəta, ʔigəta, ともいふ。
7. pa-momo 結合せる。原意、節を作る <momomo 節。
11. taʔariŋ-i 事を始める、客體主 <ariŋ 始。
19. q-əm-ata-qotux 一人一人する <qotux 一。

18. kəmwə haŋəla 危い事、もう少しで追附く。kəmwə na qowalax aki jaqəh 危い事、雨に降られたらひどい目に會つたかもしれん。
min-qailuŋ やつと、漸く。min-qailuŋ ʔalai taihok やつと着いた。

¹ mutši / "owah mətəxala ta" / nijal βalai
 といふ 来い 一度しよう 我等 来 實に
² qo: skhamajun / məsmasoq βalai məlu:
 は スカハマユン 皆 終 丁度 通
³ haopo / saoβeh pa²intazil ləga / si: nija
 橋 近 到 此方 そのとき 直に 彼の
⁴ sa poh kəmutš qo: / putšij na haopo /
 と アツッ 断 は 端 の 橋
⁵ wal si: usa matəqsəli² / məho:tao sa gaop
 了 忽成 集團 落 へ 谷川
⁶ kowara la ma / si: ʔinβəβilaq mowah
 皆 了 さうだ 其儘 よい心持 歸
⁷ ləkamaβuta heja la ma /
 故人 アタ 共 了 さうだ

¹⁰ nano sqo: minxal uzi ga / ini kəkaham-
 何 時 一度 又 は 不 多勢
¹¹ mai he² naha² ro: / uwi naha² səsulip
 人数 彼等の 而 或は 彼等の 所點火
¹² papilao məku: pu:neq / pəsənəjuwao mu-
 松明 並べる 火 使疑 と
¹³ tši ki²a pižux he² naha² /
 だらう 多 人数が 彼等の
¹⁴ sqo: minxal uzi ga / qotux βalai qo:
 時 一度 又 は 一 只 は
¹⁵ to:qei / mowah sa βaβao na uβah puβu
 道 来 を 上 の 崖 尾
¹⁶ na rəqijax / səli nija hanəkui na pa:ra /
 の 山 所集 彼の 皮 の 小鹿
¹⁷ pəβuzun naha² smaqeis / səsamao nija
 所舖 彼等の 縫 所敷 彼の
¹⁸ to:qei βaβao na uβah ro: / mahapan ləga /
 道 上 の 崖 而 夜に なる
¹⁹ əsan naha² taβzi mu / nijal səmijuk ləga /
 所往 彼等の 挑 發射 来 應戦 すると

處でじつと待ちかまへて「さあ来い我々は一勝負しよう」といふと、スカハマユンはその通りやつて来た。皆が丁度橋に乗移つて[先頭が]將に此方に足を踏入れんとした時に、彼は時をはづさずアツッと橋の一端を切断した。すると、敵は皆一塊になつて忽ち谷川へ落ちたさうだ。するとアタは上機嫌で引上げて歸つて来たさうだ。

又或時は、アタは部下の人数が多くなかつたので、松明を點し火を[深山]並べて[敵をして]人数が多いのだらうと疑はせた。

又或時は、只一條の道が山の出鼻の崖の上を通つてゐた。彼は小鹿の皮を集めて人々に之を縫ひ續けさせて、崖の上の道に敷いた。而して夜になると、彼等は進んで銃を打かけて戦を挑んだ。[敵が]應戦して進んで来ると、

1. mətə-xal-a ta 我等一度…しよう. xa ~ min-xa-1 一度. -a 未来, 主體主の接尾辭.
 2. məs-masoq 皆の者が…し終る. masoq 終る. məs- は 反覆.
 4. sa poh アツッと. sa 共. さう, 屬語の …とに當る.
 11. sə-sulip 共に點火する, 用具主. s-əm-ulip 燒く, 燃す.
 12. pa-pilao 松明. 原意, 照す具. milao 照す. アタヤルにては語頭の音節を反覆し, ア行に轉じて, 用具, 方法, 原因, 理由等を表はす.

pa-sə-nə-juwao 疑はせる. s-əm-nə-nə-juwao 疑ふ.
 16. sə-sli 物を集める, 用具主. s-əm-oli 集める, 主體主.
 17. pəβuz-un 物を纏合せる. 客體主. pə-uβui 同上. 主體主. s-m-aqeis 縫ふ. IN. t-um-ahi.
 19. taβzi 挑む. からかふ. taβzi sako hozil 私は大にからかふ.
 s-əm-ijuk 應ずる. 原意, 返す. s-əm-ijuk kai 詞を返す. 返事する.

¹ skakusa naha² məqijai / min-a:lai mutši
 所歸 彼等の 逃 意外 といつて
² "βahejagao ta" / nijal məqəzi:nah taihok
 追掛けよう 我等 来 走 到
³ sqo: smaβan na hanəkui ləga / wal si:
 に 敷處 を 皮 すると 了 其儘
⁴ pəsgəgijuts mutši "saos saos" / təhejutsi
 續々 と つる つる 滑
⁵ pugəzəx uβah / ana wal pugəzəx ga /
 落 崖 てし 了 落 併
⁶ nijal si: pəsgəgijuts mowah / wal təhejutsi
 来此方 其儘 次々に 来 了 滑
⁷ pugəzəx / sowa² ini qo: / mahapan ini
 落 何故 不 其は 夜 不
⁸ səlui / si: naha² ga wajjal kowara / kəta:n
 明 其儘 彼等の やはり 往つた 皆 所見
⁹ naha² sqo: səlowan ləga / tsux qotux βa²
 彼等の に 夜明時 すると 有 一
¹⁰ βu² zik na uβah la ma /
 山 下 の 崖 了 さうだ

16. to:qei aosa ətuxan 道 行く爲 極樂に

¹⁴ nano sqo: rəral ga: / nannak qotux
 何 於 昔 は 只 一
¹⁵ qo: ətajal βalai ro: / kənaeril βalai qo:
 は 男子 彼の と 女 眞のは
¹⁶ βali qeiqəre na ita nux maki² βaβao
 豈 所種略物 の 我等 居 住 上
¹⁷ na rahejal qani / mutši pətsəβaq sqo:
 の 地 此の 如此 敷 を
¹⁸ qeiqəjanux ma / βali nano qo: / sa utši
 生活 さうだ 豈 何 は 理由 爲如此
¹⁹ naha² qasa pətsəβaq nju: / sowa² ini qo: /
 彼等の 共 敷 ものか 何故 不其は

彼等は偽つて逃げた。敵はさあ我々は追掛けようといつて走つて来たが、皮の敷いてある處に来ると、意外にも次から次につるつると、崖から滑落ちてしまつた。[前の者が]落ちてしまつてもやはり、次々と来て滑落ちてしまつた。何故かといふと、其は夜で明るくなかつたので、彼等は[其とは知らず]其のまゝ皆進んで行つたからであつた。夜が明けた時アタ等が見ると、崖の下に[死骸が]一山有つたさうだ。

16. 極樂に行くべき道

援昔は、眞の男子、眞の女子[であること]只此の一事が此の世に住する我々の一番大切な事だといつて、[アタヤル]は若い者に、其の心得を教へたものさうだ。彼等がその通り教へるのは他ではない、何故かといふに、其は本來

1. s-kakusa 人を歸りて…の風にする, 用具主. min-a:lai 意外にも, 目的が外れる, 無駄になる.
 2. βahejag-ao 追掛けよう, 客體主. 未来. mahejao 追掛ける, 主體主.
 4. tə-hejutsi 人が滑る. hejutsi 物がすべすべする.
 7. sowa² ini 何故かといふに. 比. 39頁 註 19. ini sa-lu-i 明るくない. 原意, 見附けない, 物が見つからない. 客體主. malu: 見附ける, 主體主. sa-low-an 物が見える時. 9行.

9. βa²βu² 堆積の意.
 13. a-osa 行く爲の物, 用具主. 道. ~ m-usa 行く. 語頭の母音を反覆す.
 ətux-an 靈魂又神の處, 極樂. utux 靈魂, 神, 妖怪.
 16. q-eiq-qəre 粗末にしてある物. βali q-eiq-qəre 如何して粗末にするものか, 大事にしてある.
 19. nju: …ものか. βali…nju 如何して…するものか. 此處にては, 其の理由は何, 他のものであるものかといふ意.

- 1. si: ga ßaq tãmãriŋ ro: ẽtajal ßalai ga: / 只のみ知(女)手技藝 而 男子 眞 は
- 2. jasa qo: / minßilaq mãlu: haõõ na utux / 其は 通者 通 橋な の 神
- 3. musa ẽtuxan ma / 行 極樂 さうだ
- 4. nano qo: / to:qei aosa ẽtuxan qasa ga: / 何は 道 行くべき 極樂 其は
- 5. kija qotux qo: haõõ na utux kãrajasun / 有 一 が 橋 の 神 所渡
- 6. ma / nano qo: / leljũp zik na haõõ qasa / さうだ何は 川 下 の 橋 其の
- 7. ga: / tsux ki?an na ßi?iŋ ro: qo:leh gãga- / は 有 居處 の 大蛇 の 魚
- 8. tainux mãgao / putsĩŋ na haõõ tai qani / 大な といふことだ 端 の 橋 方 此
- 9. tsux ki?an na ßasal / nanãga:n mita kin- / 有 在處 の 家 待處 見
- 10. ßalajaqan na kija qo: utux na minhoqeil / 善さ の 有 が 魂 の 死人
- 11. ma / kija qo: mãhoqeil ga: / nõgaon naha? / さうだ有 が 死人 は 所持 彼等の
- 12. mita ßasal poqeĩŋ na haõõ ro: / kija qo: / 見 家 根元の 橋 而 有 が
- 13. si: ßaqßaqei sa ẽtajal ßalai ro: / kãneril / 直に 所判明 な 男子 眞の や 女
- 14. ßalai ga: / ini naha? mãçi sãmaom içi / si: / 眞の すれば 不 彼等の 爲に…する所 塗 黎を 其儘
- 15. naha? pãgalãgi haõõ / kija qo: sinzuwa- / 彼等の 所使通 橋 有 が 所可疑
- 16. gun hãzi ga: / lãmaon naha? sãmaom içi / 多少 すると 掃め…する所 彼等の 塗 黎な
- 17. qãña nija ro: / tãlaman naha? qãmowax / 手 彼の 而 所試 彼等の 洗
- 18. kija qo: rezun ini pãs?ãgal ga: / ẽtajal / 有 が 所染者 不 脱 すると 男子

手藝を知る者(即眞の女子)と眞の男子
丈が、神の橋を渡つて極樂に行く資格
のある者ださうだからである。
扱其極樂へ行くべき道には、渡らな
ければならぬ神の橋が一つあるさう
だ。其の橋の下の川には、大蛇と澤山
の大きな魚が住んでゐるさうだ。橋
の此方の端には、番人の家が有つて死
人の魂を待うけて、其の善悪を検査す
る處になつてゐるさうだ。死人が有
れば、橋の袂の此の家で、番人が待うけ
て検査する。而して眞の男子や眞の
女子であることが判れば、彼等は別に
藜の汁を塗らないで、其のまま直に橋
を通す。多少疑はしい所の有る者は、
先づ其の手に藜を塗つて、其を洗つて
見る。[よく]染つて[洗つても]取れない
者は、眞の男子と眞の女子であるから

1. si: ga 只其時ばかり、只其者に限り、si: 只其だけ、si: ga ßaq t-õm-õriŋ 只手藝の出来る者に限り、si: ga laokah simo mã-qomah 只汝等力を出して働く者に限り、si: ga piŋux p-iŋ-qomah-an 只收穫物の多い時に限り、si: ga ẽsa-n q-õm-alup 只待に行く時に限り、t-õm-õriŋ 手藝、手細工、機械など女として爲すべき仕事をなす、ßaq t-õm-õriŋ la 女が一人前の仕事が出来る様になつた、t-õm-õriŋ-an 織つた物、番布 原意、觸れる、t-õm-õriŋ qãña lehoi 手を顔にあてる、5. korajas-un 其を渡す、客體主、7. gã-gotainux 覆敷、<gotainux 蜜柑、動物など大な、太い、

8. mãgao <ma gao…といふことだ、…といふ話だ、9. na-nõga-an 常設の待つ處、nõga-on 人待つ、客體主、11行、mã-naga 人が待つ、主體主、10. m-in-hoqeil 死人だ人 <mãhoqeil 死ぬ、15. pã-galãgi-i 人を通す、位置主、mãlo: 通る <g-õm-õlo: 沿うて行く、si-n-zuwag-un <sa-na-zuwag-un 疑ふ所となる人、疑ふべき人、客體主、70頁、註12、16. lãma-on 物を掃め…する、客體主、lãma 先づ、以前、17. tãlam-an 試みる處、位置主、手、q-õm-õwax 物を洗ふ、主體主、qowax-an 位置主、18. rezu-n <rezu-un 染めて色が着く、客體主、ini rezu-i 色が着かない、染まらない、客體主、73頁、3行、

- 1. ßalai ro: kãneril ßalai / pãgalãgun naha? / 眞の や 女子 眞の 所使通 彼等の
- 2. haõõ / paosa ẽtuxan sa heja ma / kija / 橋な 使行 極樂 如此 共 さうだ 有
- 3. qo: ini rezui mãs?ãgal qowaxan ga: / ja- / が 不 所染者 脱 所洗 すると
- 4. qeh na sqõleq / pãpawahun naha? ja:jaõ / 惡 の 人 所使來 彼等の 岸に
- 5. nano qo: / to:qei ja:jaõ qasa mãga: / 何は 路 岸の 其の といふのは
- 6. ßãßãqãzi nanak ro: / qãqarãgũp ro: piŋux / 刺 只 而 泥坊草 而 多
- 7. ßalai kãkamato:ro nija ma / nano kija qo: / 其 山蛇 其のさうだ 何 有 が
- 8. mowah kija mãga / soqon qãmarits na ßã- / 來者 其處 すると 所遠 引掻 の
- 9. qãzi ro: / kãmats na kamato:ro / qarãgũp / 刺 而 咬 の 山蛇 泥坊草
- 10. kowara lukus naha? ma / roma ga: / 皆 衣は 彼等のさうだ 或者 は
- 11. masoq mõtaku / ini taihok musa ẽtuxan / しまふ 倒れる 不 到 往 極樂
- 12. ana ini sowali pãgalũ: haõõ / si: qõihol / 不 所許者 橋 其儘 強ひて
- 13. mutsi "pãgalãgi sami haõõ" qo: ja:qãja- / といふ 通らせよ 我等 橋な は 惡
- 14. qeh na sqõleq ga: / kãksaon naha? ini ha- / の 人 は 所爲 彼等の 不 しつ
- 15. rãharo? / hawakan naha? ro: / ska na ha- / かり觸 所扶助 彼等の 而 中央 の
- 16. õpõ lõga / sãro:ro: hatagun naha? ro: / wal / 橋 なると 所押 所使落 彼等の 而 成り
- 17. soqon manneq na ßi?iŋ ro: qo:leh ma / 所遠 食 の 蛇 や 魚 さうだ

橋を通らせて、極樂に行かせるさうだ。
[よく]染まらないで洗つて取れる者は
悪人であるから、彼等は[橋を通らせな
いで]岸の方から行かせる。
扱其の岸の道といふのは、刺だらけ
の木や、泥坊草や[が生えてゐて]、山蛇が
大變多いさうだ。其處へ来た者は、刺
に引掻かれたり、山蛇に咬まれたりし
て、彼等の着物は皆泥坊草だらけにな
つてしまふさうだ。或者は極樂へ着
かない中に、倒れてしまふ者もある。
橋の通行を許されない者でも、強ひて
[我々に橋を通らせよ]といふ悪い人達
は、[番人が]偽つて[親切さうに]軽く手を
添へて扶けて渡らせるが、橋の中央へ
来ると、彼等が押落すから、其人は大蛇
や魚に食はれてしまふさうだ。

17. poqeĩŋ ?ã?ariŋan na ßaihoi / 根原 始 の 風

17. 風の起る原因

- 10. nanu qo: / poqeĩŋ ?ã?ariŋan na ßaihoi / 何は 根原 始 の 風

扱風の起る原因といふのは、淵に住

2. pa-õsa 行かせる、主體主、~m-õsa 行く、4. pa-pa-wah-un <pa-pa-õwah-un 人を通らせる、來させる、客體主、~m-õwah 來る、6. 7. ßã-ßãqãzi 覆敷、多くの刺、<ßãqãzi 刺、qã-qarãgũp 多くの泥坊草、kã-kamato:ro 多くの山蛇、8. 11. soq-on 物を…してしまふ、客體主、soq-on q-õm-ãrits na ßãqãzi 刺が人を引掻いてしまふ、ma-soq mã-takui 人が倒れてしまふ、主體主、

12. si: qõihol そのまま強ひて、無理に、q-õm-ihol kai 無理ないふ、13. pã-galãgi-i sami 我々を通らせよ、客體主、原意、我々は[汝の]通す人ぞ、15. hawak-an 其人の爲に手を添へて助けてやる、用具主、人、h-õm-õwak 扶助する、主體主、16. sa-ro:ro: 人を押す、用具主、r-õm-õ-ro: 横に押す、hatag-un 人を落す、客體主、mã-hotãõ 落る、

- ¹ māga: / waqanux tsux makī² sa wasilun
といふのは 鹿 居住 に 潤
- ² ma / nano qo: / nux jumup βaihoi / jui
さうだ 何 は ある 吹 風が 動
- ³ nija mima ma / paiβaho: ga / phatagun
彼の 洗體 さうだ 起暴風 は 所出
- ⁴ nija papak nija ma / nano qo: / ini kalao-
彼の 耳を 彼の さうだ 何 は 不 強
- ⁵ kah βaihoi ga: / tsikui βalai pahtagun nija
風が は 少 實に 所出 彼の
- ⁶ papak mero: / e: ʔingijutun nija pakajaβa
耳な といふ而 時 段々…する所 彼の 大きく
- ⁷ pahto: papak ga: / jasa qo: si: ʔingagijuts
出す 耳な は 其 は 自然に 段々
- ⁸ jaβa βaihoi / jaβa βalai pahtagun nija pa-
大 風 大 其 所出 彼の
- ⁹ pak ga: / nano jasa qo: maiβaho: karaho²
耳 すると 何 其 は 暴風 烈
- ¹⁰ βalai ma /
最 さうだ

んでる鹿ださうだ。風が吹いてる
るのは、彼が體を洗ふ爲に動くからだ
さうだ。暴風が起るのは、彼が自分の
耳を(水から)出すからださうだ。風が
強くないのは、彼がほんの少し耳を出
すからだといふが、彼が段々餘計に耳
を出すと、その爲段々大風になる。[而
して]彼が一番多く耳を出すと、其で暴
風が最も烈しくなるさうだ。

2. タコナン社
(takonan)

1. gumijaβ atazan
散布する アタヤル

- ¹³ rahaβan hani ga / ajats kinkijan na
地 此の は 非 居た所の
- ¹⁴ atazan / ʔasino nannak ro: kahoni² ko:
アタヤル 眼 だけ と 木 は
- ¹⁵ kija / ajats kinkijan na atazan / asi ki
有る 非 居た所の アタヤル 併
- ¹⁶ laga ʔuttux nannak ko: pinsβaka:n mijan
un² 一 だけ は 發生の處 我等の

1. アタヤルの散布

[昔]此地はアタヤルの住んでゐた所
ではなかつた。獸と木だけがあつた。
アタヤルの住所ではなかつたけれど
も、サバヤンに我々の發祥の地が只一

- 2. jui nija 彼の動くこと。 mi-jui 人が動く。
 - 3. pai-βaho: ~βaihoi 風。
 - 4. phatag-un 物を出す。客體主。 pahto: 人が出す。主體主。
 - 6. ʔingijut-un 段々…する。客體主。 ʔing-ga-gijuts 段々…なる。主體主。
- 採録期: 昭和七年十月新竹州竹東郡シバヤン社にて調査。
口授者: タコナン社。 jukan liag 48歳男。 tajot silan 18歳男。
説明者: βonai umao (榮馬雄) 26歳男。
補助者: 巡査部長、馬場藤兵衛。
14. g-um-ijag 廣がる。散ばる。 gijag-an 廣がつた處。 75頁。 5行。
atazan 大豹。 atajal. 語尾に限り普通大豹の l を n と

- する。同じタコナン社内にも l を用ゐる者もあり。大豹の l は多くさなる。
- 15. hani 此。 大豹。 qani < qo-hani (?) ajats …でない。 大豹。 ijats. k-in-kij-an 居た所。 ka-kakij-an 居る所。 75頁。 2行。 大豹。 kaki²-an 比。 75頁。 註 10。
- 16. ʔasino 眼。 大豹。 qasino. kahoni² 木。 大豹。 kahoneq. 大豹の q は此處にては普通喉頭破音。 又時としては普通の k となる。 ko: 定冠詞。 大豹。 qo:
- 17. asi ki la ga 併し。 けれど。 原意。 只其丈だつたが。 比。 79頁。 註 15。
- 18. ʔuttux 一。 大豹。 qotux.

- ¹ i saβajan / min²uttux haro: / mingaigjuts
在 サバヤン 一人 併 段々
- ² haβaβao laro: / magan²exo ko: kakakijan
船 たので 狭くなる は 居處
- ³ kija jattux laro: / mingaigjuts mataholoi
其處 奥地 それで 段々 下る
- ⁴ tai ho:gal / mingaigjuts mataholoi gaigaon
方へ 下の 段々 下る 谷川
- ⁵ laro: / gijapan nija kowara ko: rahaβal ka
而 所散布 其の 皆 は 地 其
- ⁶ nijal ta kijan hani / mingaigjuts haβaβao
今 我等の 居所 此處 段々 船
- ⁷ ro: / tatowan naha² kahoni² ko: rahaβal
而 所伐 彼等の 木な は 地
- ⁸ hani la / βali mintikoi ko: kahoni² lala²li² /
此の l 豈 少 は 木 昔
- ⁹ βali unats kinkijan / asi ki la ga / βaiβuβu
豈 無 居處 けれどし バイブユ
- ¹⁰ nannak manaki² roni / pagaβijax ko: ata-
だけ 居た 此邊に 越山 は アタ
- ¹¹ βan ro: / βon naha² kowara ko: βaiβuβu
ヤル 而 所射 彼等の 皆 は バイブユ
- ¹² laro: / nagijusun naha² sumaβu sumaβu
それで 段々…する所 彼等の 入替 入替
- ¹³ ko: rahaβan hani / nagijusun naha² su-
は 地 此の 段々…する所 彼等の
- ¹⁴ maβo ro: / patahaluβun naha² rahaβan
射 而 所使下 彼等の 地
- ¹⁵ ho:gal / paginta²to naha² haβu:n tamaro /
下の 追詰 彼等の 合流點 タマロ
- ¹⁶ paginta²to naha² i haβu:n tamaro laro: /
追詰 彼等の へ 合流點 タマロ 而
- ¹⁷ saβij ko: haraon naha² ini saβo / saβij
二人 は 所殘 彼等の 不 射 二人
- ¹⁸ kasa ga maaras paβih ro: tumuβux tikkai
其の は 持 小獸 と 鹽 少

ケ所だけあつた。[始めは]一人であつ
たが、段々殖えて奥地の場所が狭くな
つたので、段々下の方へ下つて來た。
段々と谷川を下つて、現在我々が居る
此處の土地に散ばつた。[人が]段々殖
えて、來たので此地の木を伐つてしま
つた。昔は木は少なくはなかつたが、
場所がないのではなかつた。けれど
もバイブユ(即サイシャット)だけが此
の邊に居た。アタヤルは山を越えて
來てバイブユを皆討つたので、アタヤ
ルが段々と此地に入替つて[住む様に]
なつた。アタヤルは段々攻めて[バイ
ブユを]川下へ下らせ、タマロの合流點
迄追つめた。タマロの合流點迄追つ
めたが、彼等は[バイブユを]只二人(だけ)
殺さないで殘しておいた。其の二人
は小獸と少しの鹽と火藥と銃とを持

- 1. i …に於て、…に在る。大豹になし。 IN. i-ha-ro: …ださうたが。 比。 大豹。 ma-ro:
- 2. haβaβao 船える。 大豹。 ma-βohojao. ma-gan²exo 狭い。 比。 大豹。 maka-qahots 扇風。
- 4. tai …の方、…の處。 大豹。 tai. gai-gaon 獲數 < gaon 谷川。
- 5. ka 關係代名詞の體をなす。 其は即の意。
- 7. tatow-an 伐る處。 位置主。 t-um-oto 伐る。
- 8. min-tikoi 少い。 原形 ti を存す。 大豹。 tsikui. lala²li² 昔。 大豹。 raziral.
- 9. asi ki la ga 74頁。 註 17。
- 10. m-an-aki² < m-in-aki² 居た。 ~maki² 居る。

- 12. na-gijus-un 段々…する。 客體主。 min-ga-igjuts 段々…なる。 l 行。 s-um-aβu s-um-aβu 互に入替はる。 ~ pu-saβu 入替へる。
- 13. s-um-aβo 射て中てる。 ini saβo 射ない。 17行。 大豹。 mo ~βo
- 14. pata-haluβ-un 人を下らせる。 客體主。 ~ mata-holoi 下る。 3行。
- 15. pa-gin-ta²to 追詰める。 大豹。 ma-ta²to 果まで至る。
- 17. hara-on 人を殘す。 客體主。 h-am-ara 殘す。 主體主。
- 18. tumuβux 鹽。 大豹。 tsimo. βux は一種の楯尾辭。

1. アタヤル本文

- 1 ro: ʔaʔulit ro: patos laro: / nano lowan
2 nahaʔ kija ko: ʔaʔulit ro: patos ro: paʒih
3 ro: tumuʒux / lago:n nahaʔ ko saʒiŋ kasa
4 ro: ʔaʒisan nahaʔ paʒih ro: tumuʒux /
5 nano ja:sa mas:ʔalati sami sako: ʔaiʔuʒu
6 la / nano skani laga / nijan sami asi
7 paʔimao sako ʔaiʔuʒu hani la /

つて居たので、アタヤルは火薬や銃や
小銃や鹽といふものを初めて見た。
彼等が其二人を残して小銃や鹽を交
易してもらった。其様な次第で我々
とバイブユは仲直りした。扱其時か
ら、我々は此のバイブユと其のまゝ一
緒に居るやうになった。

2. mowah ko: wasilup

- 10 ʔali sami kanakhaʔaʒao / mowah ko:
11 wasilup ro: / paʒijaran mijan jattoh ko:
12 wasilup / minta pappak laga / nannak kija
13 ko: ini tahakki na wasilup la / asi pas-
14 pottig pappak ko: wasilup laro: / asi pa-
15 ilahoi kija sako: pappak ko: ataʒan la /
16 asi kakiʔ kija / gi: paʒux ko: naniʔun /
17 saheip nahaʔ pappak ko: ʔowai tarakkis /
18 ʔuttux ko: ʒilakoŋ nija ga skaan pahapui
19 laga / ʔuttux soppeh karaho: la i: pahpu-

2. 洪水

[昔は]我々は大勢ではなかつた。海
が来た(洪水が出た)ので、我々は海を逃
げて奥地へ行つた。大覇尖山の頂上
へ行つたが、其處だけは海が来なかつ
た。海がずっと大覇尖山まで追掛け
て来たので、アタヤルはやつと(逃げて)
大覇尖山の其の頂の處に集つた。食
物が多かつたから其まゝじつとして
其處に居た。[當時は]彼等は粟の穂を
耳に挿して(旅行などした)。其一粒を

1. ʔaʔulit 火薬、大銃。 ʔaʔulit 火薬、灰。比。 Mal. habu 灰。
low-an 見つける。見出す。位置主。 molo: 同上。主體主。
3. lago:n < lago-un. 後の爲に物を残して置く。島の中の
木を全部伐らずに少し残して置くなど。客體主。 l-um-
aŋo 同上。主體主。
4. ʔaʒis-an 買ふ處。位置主。二人、二人から買ふ意。 ma-ʔaʒi
主體主。
6. nijan 今、現在。又は現在此様になつてある。大銃 nijal.
此方へ来る。
asi そのまま。大銃。 si: と同じ用法。34頁。註4。

ma-ʔahojao 離れる。
11. paʒijar-an 逃げ去る處。海が主體なれて逃げて去る處
の處にして逃げて行く處には非ず。 ma-gijai 逃げる。
主體主。
13. tahakk-i 其處へ着く。位置主。 < taihok 到着。
pas-pottig 果まで追掛ける。 putig 端。果。
16. gi: 又 i: の故。比。 IN. i- 用具を表はす接頭辭。
17. sa-heip 物を挿む。用具主。粟の實。 h-am-ip 同上。主體
主。 sa- 用具主の接頭辭。
18. ska-an 半分とる。位置主。 s-um-ka 半分にする。主體主。
19. i: pahpuʒ-un la 炊けた時は。 i: 時は。 pahpuʒ-un 炊
く。客體主。 < pa-hapui.

2. マコナシ社

- 1 ʒun la /
2 kowara ko: ʔasinu uʒi ga magijai sako:
3 pappak uʒi / o:o uʒi ga magijai sako:
4 pappak uʒi / maʔimao sako: ataʒan ro:
5 ʔasino ro: o:o / ini paʔaʔariŋ maʒasip
6 maʒalati tʒugan galoi: kasa / maʔilay ma-
7 kiʔ kija laro: / gaʒilan nahaʔ na ʔalati na
8 hoʒin ko: wasilup / ro: ini paʒui ko: wa-
9 silup / ini usa / ini sowaʒan / ʔaʒao nija la-
10 ga / gaʒilan nahaʔ na ʔalati na ataʒan la-
11 ro: / waʒan ko: wasilup la / mowah laoʒi
12 ko: ataʒan sako: nijan ta kakijan hani /
13 ʔali minəjaʔeh ko: rahaʒan kahani /
14 mowah ko: wasilup laro: / jaʔeh la ko: ra-
15 haʒan ka nijan ta kakijan hani la / sowaʔ
16 kakaʒaʔeh ko: rahaʒan hani / patahalajan
17 na talaʔi ko: rahaʒan laro: / maʔaʔaʔaʔoŋo
18 la ko: rahaʒan hani la / mowah ko: naʔa-
19 kis lalaʔiʔ laro: / mowah laoʒi sako: kin-
20 kijan nahaʔ lalaʔiʔ / ini nahaʔ asi laʒi ko:

半分にして炊くと炊けた時は大きな
鐵鍋に一杯になつたものだ。
獸も皆大覇尖山へ逃げた。蛇も亦
大覇尖山へ逃げた。而して獸と蛇と
はアタヤルと一緒になつて三つとも
仲好くして始めから喧嘩することは
なかつた。彼等は其處に居て退屈し
たので、上等な犬を[海に入れて]海を宥
めた。海は之を承諾しないで、動きも
退きもしない。其の後、彼等が立派な
アタヤル(人間)を與へて宥めたら、海水
が退いた。それでアタヤルは再び今
我々の住んでゐる此處へ来た。
此地は本來悪くはなかつた。海が
来たので我々の今居る此の地は悪く
なつてしまつた。此地が何故悪くな
つたかといふに[洪水の時]地上を鯨が
這つたので此地が凹んでしまつたの
だ(凹凸が出来た)。昔の祖先が再び彼
等の以前住んでゐる處へ来て、彼等
はやはり粟の實を捨てなかつた。

5. maʔimao 混する。まざる。 paʔimao 混する。まざる。
6. paʔaʔariŋ < pakaʔariŋ 始から。 makaʔariŋ 始から。
ini の後には paka- となる。
7. maʔilay 退屈。大銃。 ma-ʒeilay 意。 78頁。註7。
8. gaʒil-an 賠償を與へる。位置主。海。 g-am-aʒil 同上。主

體主。
17. pata-halaʒ-an 這ふ處。 mata-holui 這ふ。主體主。
18. talaʔi 鯨。大銃。 tala-ʒei. IN. tuna.
maʔaʔaʔaʔoŋo 處々凹が出来る < aʔoŋo 凹。
21. laʒ-i 捨る。廢棄する。客體主。 m-alax 止める。主體主。

- 1. βowai tarakkis /
買 業の
- 2. kamaʒan ko: pakazu:p so: ?uti maha?
話す は 入る者 に 大便 いふ
- 3. o: / "owaxan si: mamo ga / aki simo
は 所洗 我 汝等の ならば だらう 汝等は
- 4. masajehato / asi nako: asaʒux hani / ajats
脱皮 其儘の 百日紅 此の 不
- 5. simo paho?in karirijax / nano ini naha?
汝等は 死 いつも 何 不 彼等の
- 6. ?owaçi ko: pakazu:p ?uti laro: / asi pilis
所洗 は 入る者 大便に それで ながら 泣
- 7. maha ?o: / "nowai laga ka?lapun si: mamo
いふ は 構はない それで 所能 我 汝等の
- 8. ?omowax laga / ana ala?i tikkui laga /
洗 すれば ども 子供 小い やはり
- 9. ka?lapun mijan tæmoni laga: gagalun mi-
所能 我等の 保護 すれば 所取 我
- 10. jan la / kija ko: ini mijan ka?lapi tæmoni
等のぞ 其 は 不 我等の 所能 保護
- 11. ga / pa?asi mijan sai nako: kin?ainaxan
は 所放置 我等の 歸着 の 生命
- 12. nija ro: / tæmaso? laga gagalun mijan
彼の 面 終 すると 所取 我等の
- 13. la / nano jasa laga / ini su βalai kaihoi /
ぞ 何 其儘 やはり 不 其 實に 爲
- 14. ana kija ko: tikkui laga / waʒan maho?il
ども 其 は 小者 やはり 去 死
- 15. la / kija ko: ini nija ka?lapi tæmoni ga /
了 其 は 不 彼の 所能 保護 は
- 16. na?akis laga galun nija ro: / nano asi
老人 なると 所取 彼の 面 何 其儘
- 17. nako hani ko: kin?ajanux mijan la /
の 此 は 生命 我等の 了

大便の中へはいる[ことを常習とす
る神があつた。或時其]神が[アタヤル
に]お前等が私を洗ってくれるなら、お
前等は此の百日紅の様に[順々に]皮が
剥けて[いつまでも]年を取ることがな
いだらう。而してお前等はいつも死
ぬ事はないだらう[と]いつて約束した
事があつた。ところが彼等は其神を
洗はなかつたので、彼は泣きながら、お
前等は私を構はないで洗ふことを面
倒臭がるなら、小さな子供でも我々は
保護がいやになつたらその生命を取
るぞ。我々が保護を厭はない者は、成
行にまかせておいて、其の命数が盡き
た時に、我々が命を取ることにする。
援其様にいつたが[其事は]實に嘘では
なかつた。小さい者(小供)であつても
死んでしまつた。而して彼が保護を
止めなかつた者は老人になつて彼が

2. k-am-aʒan 話す、大豹 k-om-ajal.
maha ?o: <maha ko: <maha qo: (?) ...といふ。
maha は大豹の mutsi と同じ用法。
3. ?owax-an 體など洗ふ、位置主、ini に續く時は owaçi
となる、6行 q は動音化、大豹 q-om-owax.
si: 私、大豹 saho.
4. masa-jehato 剥ける、原意、皮が取れて現れ出る、jeha-
to 出る、現れる。

7. ka?lap-un 面倒臭がる、客體主 ini に續く時は ka?lap-i
となる、ma?ilay 意、退屈する、主體主、77頁、註7。
9. ga-gal-un いつも取る物、客體主、生命、magal 取る、主
體主。
11. sa-i 歸着、果、原意、行く處、位置主、~ m-usa 行く、
kin-?ainax-an 生命、大豹 q-çig-qajanux-an.
12. tæj-maso? 自分で自然に終る、大豹 ma-soq 終る。
13. kaihoi 爲、ini に續く時は kaihoi. ~ maihoi 爲る。

命を取つた。而して我々の生命は此
の様になつてゐるのである。

- 3. mowah nannak ko: nanani?un
来 自 が 種々の食物
- 4. nano na?akis mijan lala?li? ga ini βaçi
何 祖先 我等の 昔 は 不 買
- 5. so: nananano / gi: mowah nannak ko: na-
なし 何物 故 来 自 は 種
- 6. nani?un / ana ?asija uçi ga suʒun naha?
々の食物 ども 水 赤やはり 所呼 彼等の
- 7. ga mowah / nano ko: kahoni? uçi ga su-
すれば 来 何 は 爵 赤やはり
- 8. ʒun naha? ga mowah / ja?ko: βiʒuwak ko:
所呼 彼等の すれば 来 あの 豚 は
- 9. suʒun naha? ga mowah uçi / wa?anux ko:
所呼 彼等の すれば 来 赤 鹿 は
- 10. suʒun naha? ga mowah / nano ?o: suʒun
所呼 彼等の すれば 来 何 は 所呼
- 11. naha? laoçi ko: wa?anux ro: / mowah ro: /
彼等の 赤 は 鹿 と ころが 来 から
- 12. sinaja:lan naha? ?omap ro: / tao?o laro:
餘り多く... 所 彼等の そぐ(肉を) それで 怒 了 面
- 13. wajan maçijai ini owah la / nano ini ow-
去 逃 不 来 了 何 不 来
- 14. ah karirijax laro: / asi ki ?alapun laga
いつも それで 只 時 所呼 すれば
- 15. galun la / nano ko: ?asija ro: kahoni? βi-
所取 了 何 は 水 や 木
- 16. ʒuwak uçi laga tao?o kowara la / jaasa
豚 赤までも 怒 皆 了 其
- 17. ini owah kowara la / ?ariç kija ko: laokah
不 来 皆 了 始 其 は 勉
- 18. maomah ko: ataʒan la / kija ko: ini ka
仕事 は アタヤル 了 其 は 不
- 19. laokah maomah βaʒao nija laga / maho?in
勉 仕事 後 其の すると 死

3. 食物が自分で来る

昔我等の祖先は物を買ふといふこ
とはなかつた。其は種々の食物など
は自然に出て来たからである。水で
も彼等が呼べば来た。又木でも彼等
が呼べば来た。あの豚でも彼等が呼
べば又来た。鹿も彼等が呼べば来た。
或時彼等が又鹿を呼んだところが、鹿
が来たから彼等が其の肉を入用以上
にそぎ取つたら、鹿は怒つて逃げて行
つて来なくなつた。援いつも来なく
なつたので、狩をする時に限り取れる
様になつた。援水や木や豚までも亦
皆怒つた。其で皆来なくなつてしま
つた。其からアタヤルは仕事に勉め
るやうになつた。其後仕事に勉めな
いものは皆飢の爲に死んでしまうや

4. na-na-ni?un 種々の食物 ~ mani? 食ふ、大豹 na-çeq-
on 食物。
7. ?asija 水、大豹 qasija.
suʒ-un 呼ぶ、客體主、s-um-ui 同上、主體主。
11. nano ?o: = nako ko: 援、其、大豹 nano qo:
13. s-in-aja:lan-an 物に對し餘り... した、位置主、mæno-ijal
餘り... する、主體主、ijal 餘り。
?om-ap そぐ、切取る、?ap-un ちぎる、客體主。

tao?o 怒る、憤る、t-om-ao?o 同上、一般現在。
15. asi ki 併し、只... する時に限り、此、大豹 si: ga.
?alapun 狩する、客體主、?om-alijap 同上、主體主、80
頁、9行、大豹 q-om-alup.
17. ...laga <la ga ... にしてもやはりの意。
19. ma-omah 仕事する、働く、原意、盡かす、大豹 ma-
qomah.

1 na uʒai la /
爲 飢 了

4. lakamakowai
故人マコワイ

- 4 gaga mijan lalaʔiʔ ga / maiʔ sami so:
習慣 我等の 昔 は 興 我等 を
- 5 jurak / kija ko: ini ʔaiʔ jurak ga / ʔuttux
收穫祭 有 が 不 興 收穫祭を は いつも
- 6 haluʒun na luttux / nano ko: ʔuttux ka
所引張 の 神 何 は 一人 共
- 7 naʔakis lalaʔiʔ kimahalijan / ini ʔaiʔ jurak
祖先 昔の 初代 不 興 收穫祭
- 8 ro: / haluʒun na luttux / lalo: nija ga laka-
それで 所引張 の 神 名 彼の は 故
- 9 makowai / musa ʔamalijap ro: / matatiriʔ
人マコワイ 行 狩 而 戦(神と)
- 10 sako: rəgijax putots / nano matatiriʔ kija
で 山 プトツ 何 戦 其處
- 11 ro: / ana nijaʔ saʔagon ko: tunux ga / gal-
而 けれども 彼の 所割 は 頭 併 所
- 12 un ko putip ga / oʔat ko kinutan / lut-
取 は 刀 すると 無 は 斬つた跡 神
- 13 tux uʒi ga / kutan nija ko: ataʒan uʒi
亦 は 所斬 彼の は アタナル 亦
- 14 ga / oʔat ko: kinutan /
併 無 は 斬つた跡
- 16 nano ko: lakamakowai ga waʒan halu-
何 は 故人マコワイ は 去 所引
- 17 ʒun na ʔaluttux / waʒan təmgagaog / wa-
殺 の 神 去 傳 谷川 去
- 18 ʒan asi ka oʔat kija la / ʔuttux kajan ga
自然 共 無 其處 了 一 年 すると
- 19 papowahon nija laoʒi ro: / ʔuttux kama-
所返 彼の 再 而 いつも 話
- 20 ʒan maha ʔo: / "musa sami ʔamilijap /
いふ は 行 我等 狩

- 4. maiʔ < *m-ʔaiʔ 興へる, ini ʔaiʔ 興へない, 5行, 大豹, uʒeq, ini ʔeq, 比. IN. bəʔi, 收穫祭を興へるは祭をすること。
- 5. ʔuttux いつも, 原意, 一つ, 大豹, qotux.
- 6. haluʒ-un 物を引張る, 客體主, h-am-ului 同上, 主體主, luttux, ʔaluttux 神, 怪物, 大豹, utux, 比. IN. anito.
- 7. ki-mahalij-an 初代, 第一代, ~ min-ha-li -回, 大豹,

うになった。

4. 故人マコワイ

昔我々の習慣として、我々は收穫祭を行つた。收穫祭を行はなは者はいつても神が引ばつて行つた。扱昔初代の祖先の一人が、收穫祭を行はなかつたので神が引ばつて行つたことがあつた。彼の名はマコワイといつた。彼は狩に行つた時、プトツといふ山で神と戦つたことがあつた。扱其處で戦つて、彼は神の頭を割つたが、刀を取つて見ると、斬つた跡方が無かつた。神も亦、アタナル(マコワイ)を斬つたが、斬つた跡方がなかつた。

扱マコワイは神に引ばられて、谷川を傳つて、行つてしまつたので、いつの間にか其の地に居なくなつてしまつた。一年して神が再び返してくれたが、[神と共に居た間]いつも彼は「我々は

- min-xa-l.
- 11. saʔag-on 物を打割る, 客體主, s-um-aʔao 同上, 主體主.
- 12, 13. k-in-ut-an 斬つた痕, kut-an 斬る, 客體主, k-am-ut 同上, 主體主.
- 19. pa-powah-on 返す, 歸らせる, 客體主, moah 来る, 歸る, 主體主.

- 1 nanc ʔamilijap sami ro: / ʒamohak samiʔ /
何 狩 我等 而 起す 我等は
- 2 nago:n nija səmaʔo ko: hoʒin na luttux /
所待伏 彼の 射 は 犬 の 神
- 3 wahan nija mita ro: / kjalun nako ʔuttux
所來 彼の 見 而 所話 の 神
- 4 ko: lakamakowai maha ʔo: / "sowaʔ so
は 故人マコワイ いふ は 何故 汝の
- 5 ʔo:n ko: hoʒin mo / nowai ga haʔagai
所射 は 犬 我の 宜しい は 所見
- 6 mijan ko: ʔuttux ʒapuʒuxʔ / ʔalʒas heja ga
我等の は 一 牝犬 其の は
- 7 saʔaiʔ nija maha ʔo: / "tahok ro: kaniʔi
所興 彼の いふ は 煮 而 食へ
- 8 naniʔun so / ana ga ʔala:paʔo ta laoʒi ko:
食物 汝の 併 殺しよう 我等 再 は
- 9 hani ro: / paragai so na alaʔi / mowah ko:
此方 而 所附興 汝は 子 を 來 は
- 10 ʔiʒowak mijan ga / paʒaʔanai so nako
山脈 我等の すると 所殺 汝は の
- 11 alaʔiʔ / nano ʔo: ʔəlapun nahaʔ ro: / mowah
子 何 は 所狩 彼等の すると 來
- 12 ko: ʒinohak nahaʔ ro: / taxan ga takkai /
は 所遺出物 彼等の 而 所見 すると 蛙
- 13 si: paho: so: agaʔao ni lakamakowai ro: /
直に 所斬 を 枯薄 の 故人マコワイ 而
- 14 pataʔapan nija ro: alijan nija na aʔao
所挾 彼の 而 所括 彼の 只 妻
- 15 ləmiʔui / suʒun nako: alaʔi maha ʔo: /
鬼茅の 所呼 の 子 いふ は
- 16 "wahe mita / mama nijan nija tariʔun ko:
來い 見 叔父(AM) 今 彼の 嗣に:ent.物 は
- 17 ʔəʒuwak mahaʔ / nano mowah ko: jaʔa
山脈 といふ 何 來 は 父
- 18 nija ro: / wahan nahaʔ maitaʔ / nano jasa
彼の 而 所來 彼等の 突 何 其

狩に行かう。我々は狩をして(野獸を)たゝき起してやらう」といつた。彼は[狩した時に]待伏してゐて神の犬を射殺した。神が来て見てマコワイに話していふには「何故お前は私の犬を打つたか。我々は一匹の牝犬に對して咒したがよいだらう」といふ。而して其の牝犬を神が[彼に]興へていふには、「煮て食ふならばお前は煮て食へ。併し我々は又此方の處で狩しよう。而して子をお前に附けてやらう。我々の[捕へるべき]山脈が出て來たら、その子がお前に教へてくれるだらう」といつた。扱彼等が狩したところが、追出した物が出て來たので、見たら蛙であつた。[實際は山脈なれどもマコワイには其が蛙に見えた]。マコワイは枯れた薄を折つて、其を挾んで、鬼茅の葉

- 1. ʒ-am-ohak 石など起し上げる, 獸を起し追出すこと, ʒ-in-ohak 追出した物, 12行.
- 2. nago:n < naga-on 待つ, 客體主, mu-naga 主體主.
- 5. haʔag-ai < *həgaʔ-ai 物に對して咒してやらう, 位置主, ~h-am-agop, 斬る, < *h-am-agoʔ.
- 7. saʔaiʔ 物を興へる, 用具主, sa < sa- 其の物, kaniʔi 食へ, 客體主, maniʔ 食ふ.
- 8. ʔala:paʔo 狩しよう, 客體主, 此方の物 79頁, 註15.
- 9. paragai 捕へてやらう, 附けてやらう, 位置主, 汝, pa-rao 訴へる, 主體主, na alaʔi 子供を以て捕へることをする義.
- 10. pa-ʒaʔ-an-ai 教へて買へるだらう, 位置主, 汝, pa-ʒaʔ

- 教へる, pa-ʒaʔ-an 人に對して教へる, 位置主, pa-ʒaʔ-an-ai so nako alaʔi 汝は子の教を受ける人になるだらう.
- 12. tax-an < kita-an 其を見る, 位置主, mita < k-um-ita 同上, 主體主, -x- は挿入(?)
- 13. si: paho: 直ちに折る, si < asi.
- 14. pataʔapan 挾む, 客體主, pataʔap 同上, 主體主, ali-jan 括る, 客體主, um-uli 同上, 主體主.
- 16. wah-e 來い, 位置主, m-owah 來る, tari-un 嗣にかける, 客體主, t-um-ari 同上, 主體主.
- 18. maitaʔ 突く, 大豹, maitaq.

- ¹ magumo ko: ?əuttux / βakon naha? ko: 喜 は 神 所解剖 彼等の は
- ² takkai ni?un naha? / makowai heja ga 蛙 所食 彼等の マコワイ 彼 は
- ³ βakon nija ko: ho:zin na ?əuttux / "taxan 所解剖 彼の は 犬 の 神 所見
- ⁴ mu ko: sa?asa nako: ?əuttux heja ga / pa- 我の は 敷物 の 神 あれ は
- ⁵ gux heja / ku:ziŋ heja ga tikkui / nano 多 あれは 我 共 は 少 何
- ⁶ musa sali? la / 行 家 了

- ¹⁴ βaβao nija laga musa magaga / sora?ara 後 其の なつて 行 出草 所注意
- ¹⁵ naha? ro: taxan ga / asi ga ajats palmu- 彼等の 而 所見 すると 其儘は 非 本島人
- ¹⁶ kan / haβijagun naha? ga jaasa ko: zilok / 所追掛 彼等の すると 共 は 毒
- ¹⁷ ?apun naha? ko: βowai na zilok ga / jaa- 所捕 彼等の は 實 の 毒 すると 共
- ¹⁸ sa ko: tunux na palmukan / suljatan ni 是 首 の 本島人 所探 の
- ¹⁹ lakamakowai kowara ko zilok ka pakaki? 故人マコワイ 皆 は 毒 共 在
- ²⁰ rararao na leluŋ / nano ?o: mowah laga 兩側 の 川 何 は 行 そこで
- ²¹ taxxan laro: / nijan nija səpaŋa ko: tunux 所見 と ころが 今 彼の 所買物 は 首

1. βak-on <βoak-un 解剖する, 客體主, moak 同上, 主體主.
 14. ma-gaga 出草, 首狩, 原意, 慣習を行ふ, 例の事をする, gaga 慣習.
 sa-ra?ara 注意する, 用具主, r-om-?ara 同上, 主體主.
 16. haβijag-un 追掛ける, 客體主, 大豹, mahejao 同上,

で其を括つた。[神の]子が呼んで[神に]いふには「来て見なさい。今叔父さん(マコワイ)が山豚を罠にかけた」といつた。彼等の父が来た。而して[皆]が其處へ来て刀で突いた。其で神は喜んだ。彼等(神と子)は蛙(實は山豚)を料理して食つた。マコワイは神から貰つた犬を料理した。[而して]いふには「私があの子の(料理する)敷物を見ると、彼方の方は[肉が多くて私の方は少い]といつて不思議がつた。[マコワイが蛙と見たのは實は山豚であつた故分量が多かつた意]而して[彼は]家へ歸つた。其後になつて又出草に行つた。彼等が注意して見ると、様子が本島人でない。彼等が追掛けると其は毒であつた。彼等が毒の實を摘むと、其は本島人の首であつた。マコワイは川の両側に在つた毒を皆とつてしまつた。彼歸つて見ると今彼が袋に入れて負うて来たもの(毒)は本島人の首であつ

主體主.
 17. ?ap-un 切取る, 客體主, ?om-ap 比.79頁, 註.13.
 18. suljat-an 物を伐採する, 客體主, s-um-ulijat 同上, 主體主.
 21. sa-paŋa 貰ふ, 用具主, ma-paŋa 貰ふ, 主體主.

- ¹ na palmukan / saziŋ ko: ?əuttux ka nijan の 本島人 二人 は 神 共 今
- ² nija βoin kamilun nako: zilok ro: / asi ga 其の 所的中 所引獵 の 毒 それで 其儘は
- ³ βənowan na patts / mowah sami laro: 所的中了 の 銃 歸來 我等は 而
- ⁴ wahan mijan ma?owas so: tunux na pal- 所來 我等の 祭 を 首 の 本
- ⁵ mukan / "ini mo βa?i ko: nani?un mo / 島人 不 我の 所知 は 食物 我の
- ⁶ ana si: naha? saon kani? ga / ini mo βa?i ても 我 彼等の 所言 食へ やはり 不 我の 所知
- ⁷ ko: mani? si: / gi: limo? heja" / は 食 我は 故 鹽 彼は

- ¹⁰ βaβao nija laga / toon si: nija maha 後 其の なつて 所遺 我は 彼の いふ
- ¹¹ ?o: / "osa lakki / məso?on so kumo?t ko 是 歸る のだぞ 所遂 汝の 新 は
- ¹² βinka?li mijan" / "βali mo nijan βa?on aosa 所買物 我等の 豈 我の 今 所知 所行
- ¹³ mo ka to?i" / "nowai ro: / halai so mijan 我の 共 遺 構はない 而 所急 汝は 我等の
- ¹⁴ smato ro: / parasai so mijan matazo pa- 送 而 所使持 汝は 我等の 六
- ¹⁵ nailo? ro: / sitamaso? so: ko matazo kasa 矢 而 所用盡 汝のは 六 其の
- ¹⁶ laga / galun so mijan la" maha? / すると 所取 汝は 我等の ぞ といふ

2. kamil-un 引獵く, 客體主, k-am-amil 同上, 主體主.
 3. β-ən-ow-an <β-in-o-an 的射した處, 疾, mo 射中てる.
 4. ma?owas 祭る, 原意, 諸ふ, 大豹, ma-qowas 諸ふ.
 5. 6. 7. na-ni?un 食物, kani? 食へ, 主體主, mani? 食ふ, 79頁, 註4.
 6. sa-on さういふ, さうする, 客體主, sa は hasa 其處, などの sa.
 11. osa lakki <osa la ki 歸るのだぞ, 歸れよ, βa-βo-on so mijan la ki 汝は我々が銃で打つのだぞ, 打つぞよ.
 12. β-in-kazli 買つた物, makazli 買ふ.

た。[マコワイと]神と二人は毒に引撮かれて傷をうけて、丁度銃が中つた様であつた。我々(マコワイと神の二人、此處には一人稱を混じて用ゐる)は歸つて家へ来て本島人の首を祭つた。[マコワイが言ふには]、「私は私の食物が分らない。私は彼等に食へといはれても私は食ふのが分らない。神は靈であるから」といつた。(此の處意義不明)。其後になつて神が私を(一人稱を用ゐる)遣はしていふには「歸つて行け、お前は我々の買つた物(本島人)を斬殺してしまつた。[マコワイは]私は歸り路が分らないものを如何して歸れるものか[といふと神が]、「宜しい。私がお前を送つて行かう。而して[お前に]六本の矢を持たせてやらう。其の六本をお前が使用してしまつたら、直に私はお前の生命を引取るぞ」といつた。

aosa mo ka to?i 私の行くべき道, aosa <a-usa 用具主, ~m-usa 行く, to?i 道, 大豹, toqei.
 13. halai so s-m-ato さあ汝を送つて上げよう, halai <hala-i 急ぐ, せう, 客體主, 現實未來, ~hala-a ta = ha-ta さあ行かう <hailao-a ta 我等急がう?, 本文原意, 汝は我等のせいで送る人だといふ義.
 14. paras-ai so 汝に持たせて上げよう, paras-ai 持たせる, 位置主, 現實未來, maras 持つ, 汝は[矢を]我等の持たせる者といふ義.

- ¹ βali naha? βa?on so: mamagowah / mu-
登 彼等の 所知 な 時歸 行
- ² sa kaho? ko: kanaerin ni makowai ro: /
倉に は 妻 の マコワイところが
- ³ nijan asi ?aβalaβin kaho? makowai /
今 そのまま 置へる 倉で マコワイは
- ⁴ kjalun nako: kanaerin nija maha ?o: /
所話 の 妻 彼の いふ は
- ⁵ "sowa? so nijan laoβi ao? / so waβan
何故 汝 来た 再 かれ 汝は しまった
- ⁶ maho?in so: lala?li? rowa" / nano jaasa
死 に 以前 だらうに 何 其
- ⁷ ga tamaso? / ko: ?uttux kai ka pinuβan
は 終 は 一 話 其 所聞
- ⁸ mo /
私の

マコワイの家族の人々は彼の歸るのを知つてゐるやう筈がない。[折柄]マコワイの妻は倉に行つたところが、マコワイは其時[歸つて]倉でじつとして震へてゐた。彼の妻が話していふには、「お前は如何して又歸つて来たのか。お前は疾く以前に死んでしまつたと思つてゐたのに」といつた。扱私の聞いた一つの話は其で終りです。

5. mani? so: ala?i
食 な 子

- ¹² naβakis mijan so: lala?li? ga / ?uttux
祖先 我等の時 昔 は いつも
- ¹³ mani? so: ala?i / βali aki ni?un nako:
食 な 子供 登 欲 所食 の
- ¹⁴ kanaerin nija ga / musa ?amamaβah / sa-
妻 彼の 伴 行 品
- ¹⁵ peragun nako: tamaluβ nija maha ?o: /
所欺 の 夫 彼の いふ は
- ¹⁶ "ita jageh hala si: pahapoi / maho?in ko:
よこせ 女の赤坊 行 我 炊 煮える が
- ¹⁷ pinhapoi ga so:jaio miso / ka pakinaro-
飯 すると 所呼 我的汝は 勿 急
- ¹⁸ wak / naga so: sasoi" / saon nija ko:
待て を 合圖 所言 彼の は
- ¹⁹ kanaerin /
妻
- ²⁰ musa ko: tamaluβ ro: patosan nija ko:
行 は 夫 而 所銃殺 彼の は

5. 子を食べ
昔我々の祖先はいつも子供を食つた。或る妻は食ひたくはなかつたが、[欺かれて食はされた]。品に行つてゐると、夫が欺いて、その[女の]赤坊を一寸よこせ、私は行つて飯を炊くから。飯が煮えたらお前を呼ばう、早まるな、呼ぶのを待て」と彼は妻にいつた。
夫は行つて其の子を銃殺した。彼

1. ma-magowah 歸らうとする。~ maowah. aとoとの間に渡りの音 g を生ず。語頭の音節を反覆して未來を示す。
3. ?aβalaβin. ~ maβalaβin 置へる。97頁。13行。
6. rowa っだらうと思ふか。此處にては死んでしまつたと思つてゐたのといふ義。大豹。rowa。
13. aki 欲す。したがる。

15. saiPerag-un 欺く。客體主。s-um-ai?aro: 同上。主體主。比。大豹。taqaro:
17. 18. so:ja-ao 呼ばう。客體主。現實未來。sa-soi 呼ぶ爲のもの。合圖。suβ-un 客體主。85頁。3行。s-um-ai 呼ぶ。
17. pa-kina-rowak 時期より早く...する。比。大豹。ma-karowak mahoqeil 若死する。
20. patos-an 銃で打つ。客體主。matos 銃を打つ。

- ¹ ala?i nija / tahakun nija ko: ala?i nija
子 彼の 所煮 彼の は 子 彼の
- ² rarami? nako: kanaerin nija / maho?in ko:
菜 の 妻 彼の 煮えた は
- ³ tinahok nija ka ala?e laga / suβun nija la /
所煮物 彼の 其 子 そこで 所呼 彼の 了
- ⁴ mowah ko: kanaerin nija la / taihok ko:
来 は 妻 彼の 了 到着 は
- ⁵ kanaerin nija laga / kjalun nako: tamaluβ
妻 彼の すると 所話 の 夫
- ⁶ maha ?o: / "nijan si: sumaβo so: zuβai"
いふ は 今 我 打 な 猿
- ⁷ saon nija / tiβai la βumo nako: kanaerin
所言 彼の 非常だ 喜は の 妻
- ⁸ nija maha ?o: / "pakani? ta so: zuβai" / ka-
彼の いふ は 將食者我等はな 猿
- ⁹ maβan ko: kanaerin maha ?o: / "galao mo
話 は 妻 いふ は 所取 我的
- ¹⁰ ko: ala?i βaβowai mo" / maha? ko: kana-
は 子 所使飲乳 我的 といふ は 妻
- ¹¹ erin / sijan nija so: ajamai ko: saβal nako:
所入 彼のな 石 は 吊床 の
- ¹² ala?i / kjalun nako: tamaluβ maha ?o: /
子 所話 の 夫 いふ は
- ¹³ "laβi asi gali han / mosa ja?eh kōnani? so
勿 能に 所取れ 成 悪く 食つた味 汝の
- ¹⁴ so: zuβai" saon nako: tamaluβ nija / ka-
な 猿 所言 の 夫 彼の
- ¹⁵ maβan ko: kanaerin maha ?o: / "ao ha?oi /
話 は 妻 いふ は はい 2323
- ¹⁶ taβi βalati ko: kōnani? mo" maha? ko:
見よ 良い は 食つた味 我的 といふ は
- ¹⁷ kanaerin / kamaβan ko: tamaluβ / "kani?
妻 話 は 夫 食へ
- ¹⁸ isu la / mōnani? si: so: saoni kuβiβ la" /
汝よ 食了 我は に 先程 我は 了
- ¹⁹ saon nija ko: kanaerin nija / karo: sun
所言 彼の は 妻 彼の 氣持悪
- ²⁰ nako: tamaluβ / gi: mani? so: ala?i nija /
の 夫 故 食 な 子 彼の

は妻のお菜として其の子を煮た。彼の煮た、その子が煮えたので、彼は[妻を]呼んだ。彼の妻は来た。妻が其處へ来た時夫は「私は今猿を打つた」といつた。妻の喜は非常で「我々は猿を食べられる」といつた。妻は又「子供を取らう。而して乳を飲ませてやらう」といつた。夫は[子を殺した後]子のハンモックの中へは石を入れておいた。而して夫は「さう急いで取るな。お前が[折角]猿を食ふのに其の味が旨くないだらう」といふ。妻は「はい。さうしよう。すれば旨く食べられるだらう」といふ。夫は妻に「お前食へ。私は先程もう食つて済んだ」といふ。自分の子を食べるのだから夫の氣持はよくなかつた。妻が腹一杯食つた時に、夫は「お前の食器を其處へ置け。而してお前が食つた猿の頭を見よ。[頭と手の先と足の先は煮ないでおいてある]」とい

1. tahak-un 煮る。客體主。t-am-ahok 同上。主體主。
2. ra-rami? お菜。大豹。ra-ramats。
8. pa-kani? < pa-pa-kani? 食へる。主體主。未來。原意。將來食へる人。大豹。pa-pa-kaneq。
9. gal-ao 取らう。客體主。現實未來。gal-i 同上。客體主。現實現在。13行。m-agal 同上。主體主。
10. βaβow-ai < βoβo-ai 乳を飲ませよう。位置主。現實未來。比。βoβo 乳。

11. si-ja-an 置く所。位置主。s-um-i 同上。主體主。
13. k-on-ani? < k-in-ani? 食つた味。又食つた物。大豹。k-on-aneq。
16. taβ-i 見よ。位置主。果してと譯す。mita < k-um-ita 見る。tax-an 見る處。
17. kani? isu 汝食へ。主體主。比。kani?i 食へ。客體主。
18. m-on-ani? 食つた。主體主。大豹。m-in-aneq。
19. karo:s-un 氣持悪がる。客體主。maro:s 同上。主體主。

- ¹ mani? ko: kanaerin ro: matagi? laga /
食 は 妻 而 誤腹 すると
- ² kjalun nako: tamalu? maha ?o: / "sako:
所話 の 夫 いふ は 置け
- ³ kija ko: kinani?an so ro: / taçi kija ko:
其處 は 食器 汝の 而 所見 其處 は
- ⁴ tunux na zupai ka wajan so ni?un" ga: /
頭 の 猿 其 既 汝の 所食 併
- ⁵ nano ja:sa ko: tunux na ala?i ka wajan
何 其 は 頭 の 子 其 既
- ⁶ nija tahokun / taxxan nako: kanerin nija
汝の 所煮 所見 の 妻 彼の
- ⁷ ko: tunux ro: / ja:sa ko: tunux nako: ala?i
は 頭 すると 其 は 頭 の 子
- ⁸ nija / asi pilis ko: kanaerin nija ro: / asi
彼の 忽 泣 は 妻 彼の 而 忽
- ⁹ puta? laro: / ?uttux pa?po? ko: pinuta?
吐 すると 一 山 は 所吐出
- ¹⁰ nija / kama?an ko: kanaerin ro: / "pa?sisi
彼の 話 は 妻 には そのまま
- ¹¹ pilis ro: / pa?sisi pa?kaopat soko: tinla?a-
泣 而 そのまま 消失 於 坐處
- ¹² nan mo hani" maha ko: kanaerin / asi
我の 此處 といふ は 妻 は 忽
- ¹³ sa?alai pa?kaopat kija ko: kanaerin laro: /
本當 消失 其處 は 妻 而
- ¹⁴ ja:sa ko: wajan magarijai ka ?uttux ma-
其 は 既 成蟬 其 いつも
- ¹⁵ ?owas soko: a?aa?ao ?ananaxe? /
啼 於 木の葉 深林の

6. ma?pa?awak
成 山脈

- ¹⁸ na?akis mijan so: lala?li? ga wajan ma-
祖先 我等の時 昔 は しまった
- ¹⁹ pa?awak / nano musa ma?omah ro: / ka-
成 山脈 何 行 島 仕事 而
- ²⁰ karijatan wawitux laga / toon nako: ja?a
正午 太陽 すると 所遺 の 父

3. k-in-ani?an 食つた道具 <kani? 食へ。
9. puta? 吐く, p-in-uta? 吐いた物, mutaq 吐く。
11. pas-ka-opat 自然に無くなる, opat 無い。
t-in-la?ag-an 坐つて居た處, ma-tala?og 坐る。
14. ma-ga-rijai=ma-ra-rijai 蟬に成る <rijai 蟬。
15. ?ananaxe? 深林, 大豹, qonaxe

つたが、其は[實は]彼が煮た子供の頭で
あつた。彼の妻が頭を見ると、其は自
分の子の頭であつた。すると彼の妻
は泣出すが早いか[食物を]吐出したが、
その吐出したものは一山あつた。妻
は[私は]泣きながら其のまま此の座で
消失せてしまうぞ]といつたが、見る見
る其の妻は本當に消失せてしまつた。
[今日]深林の木の葉の間でいつも啼い
てるあの蟬は其の妻がなつたもの
である。

6. 山脈に成る

昔我々の祖先に山脈になつてしまつ
た[者がある]。掬[或る]親子が島に行つ
た。正午になつた時に、彼の父と母と

17. ma-ja-pa?awak 山脈(脈)に成る。 <pa?awak 脈。語
頭の音節を反覆して ma- を附す。比. 88頁, 註17。
19. ka-ka-rijax-an 正午, 原意, 眞晝の時。 <rijax 晝。
20. wawi-tux 太陽, 大豹, wagi. 比. Mal. hari. -tux は一
種の接尾辭。

- ¹ nija ro: jaja nija ko: ala?i maha ?o: / "usa
彼の と 母 彼の は 子 いふ は 行け
- ² pahapoi" saon nija / "rawato miso ro: /
炊 所言 彼の 所推定 我の 汝 而
- ³ kija maho?in ko: pinhapoi so laga / mao-
其處 煮える は 炊いた物 汝の すると 行か
- ⁴ wah sami la" saon nija ko ala?i / nago:n
う 我等はよ 所言 彼の は 子 所待
- ⁵ nako: ala?i ko: ja?a ro: jaja ro: / ini owah
の 子 は 父 と 母 而 不 來
- ⁶ ke: ja?a ro: jaja / halan mita nako ala?i
は 父 と 母 所行 見 の 子
- ⁷ ke: ja?a nija ro: jaja nija ro: / nijan ma-
は 父 彼の と 母 彼の と ころが 今
- ⁸ pa?awak maki? sijao na ?amama?ah /
成 山脈 居 處に の 島
- ⁹ ja?a nija ro: jaja nija / ha?aga?un nija
父 彼の と 母 彼の 所追掛 彼の
- ¹⁰ ko: ala?i nija maha ?o: / "nijan sami ma-
は 子 彼の いふ は 今 我等は
- ¹¹ pa?awak" saon nija ko: ala?i nija / sa-
成 山脈 所言 彼の は 子 彼の
- ¹² o?eh nija kakasun ko: ala?i nija / kjalun
殆 彼の 所咬 は 子 彼の 所話
- ¹³ nako: ala?i nija maha ?o: / "ja?a jaja laçi
の 子 彼の いふ は 父よ 母よ 勿
- ¹⁴ si: kasi: / mamohaja si: tikai so: pahe ro:
我は 所咬 將幾 我は 少 を 薯 と
- ¹⁵ saihoi ro: ?aonao ro: sa?itis ro: / waha
芋 と 落花生 と 甘蔗 それで 来い
- ¹⁶ mani? tikkai saisisjao" saon nija / ja?a nija
食 少 處の 處 所言 彼の 父 彼の
- ¹⁷ ro: jaja nija /
と 母 彼の
- ¹⁸ ?ari? kija ko: kija ko: pa?awak ?anana-
始 其 は 有 が 脈 原野
- ¹⁹ he? la / nano taçi / maomah sami laga /
了 何 見よ 耕作 我等 すると
- ²⁰ wahan mani? na pa?awak ko: sijao na
來處 食 の 山脈 は 處の

は其の子を[小屋へ]遣つて[行つて]飯を
炊け]といつた。而して又[よい時を見
計らつて、お前の飯が炊けた頃に、我々
は[食ひに]行かう]とその子にいつた。
子は[飯を炊いて]父と母とを待つてゐ
たが、父と母とは來なかつた。子は父
と母とを見に行つた。所が彼の父と
母とはもう山脈になつて島の縁に居
た。彼は其の子を追かけて来て、[今我
々は山脈になつた]と其の子にいつた。
彼はその子を殆んど咬むばかりにな
つた。彼の子は[父よ母よ。私を咬む
な。私は薯や芋や落花生や甘蔗を少
し裁よとしてゐる。それで、その
縁の處少しなら來て食つてもよい]と
その父と母とにいつた。

原野の脈(山脈)があるのは其からだ。
掬見よ[其から]我々が耕作する時、山脈
が來て我等の島の縁の處を食ふやう。

2. rawato <rawa-ao 見計らはう, 客體主, 現實未來。
r-um-awa 推定する。
6. halan <hala-an 其處へ行く, 位置主。比. 83頁, 註13。
8. ?amama?ah 島, 大豹, qamajah。
9. ha?aga?un 追掛ける, 客體主, pa?awak 同上, 主體主。
88頁, 4行。

11. sa?eh 殆んど, 近い。
12. ka-kas-un 咬まうとする, 客體主, k-um-at 咬む。
14. kas-i 咬む, 客體主, 現實現在, 註12。
mamohaja 裁よとする, 主體主, mamohaja 裁る, -a
は未來。
16. sai-sijao 縁の處, sijao 縁, 20行。

- ¹ amama:zah mijan la /
品 我等の 了
- ² kama:zan ko: pa:owak ro: / "nowai si: /
話 は 山脈 には 構はない 我は
- ³ ma:pa:owak ro: / mowah si: mani? sai-
成 山脈 而 来 我 食 縁
- ⁴ sijao mamō ga / pa:ahazao si: ro: / ja?eh
の 處 汝等の すると 追掛 我は 而 惡
- ⁵ ?eljutux mo ga / pa:oin si: mamō / ?oin
運 我の すると 所射 我は 汝等の 所的中
- ⁶ si: mamō laga / kani?i si: la / nano ja?eh
我は 汝等の すると 所食 我はぞ 何 冠
- ⁷ ?eljutux mamō / ini simo kita sēsili? / i:
運 汝等の 不 汝等は 見 占鳥 時
- ⁸ mowah simo ?amlijap laga / kakasun mo
汝等 狩 すると 所咬 我の
- ⁹ simo u:ji la" maha ko: pa:owak / maras
汝等は 又ぞ といふ は 山脈 持行
- ¹⁰ sami kina:palati ka:phani? laga / ?oin mijan
我等は 良いこと 小鳥(占) すると 所的中 我等の
- ¹¹ ko: pa:owak ?ananaxe? / maras kinaja?eh
は 縁 原野 持行 悪いこと
- ¹² sēsili? laga / kasun sami na pa:owak u:ji
占鳥 すると 所咬 我等はの 山脈 又
- ¹³ la / ma:zai sami la / gi wajan ni?un na
了 飢 我等はの 故 しまふ 所食 の
- ¹⁴ pa:owak ko: sijao na ?amama:zah mijan
山脈 は 縁 の 品 我等の
- ¹⁵ la /
だ

7. ma:za:zupai
成 猿

- ¹⁶ na:pa:kis mijan lala?i? ga wazan ma:za-
祖先 我等の 昔 は しまつた 成
- ¹⁷ zupai u:ji / ?ali aki ma:za:zupai ma?omah
猿 又 豎 欲 成 猿 作品
- ¹⁸ ro: ?uttux rijax ma?omah ga / kija min-
而 一 日 作品 と 有
- ¹⁹ zamagan mapaho: ko: tala:zay na pa:zeh
五回 折 が 柄 の 小鐵

6. kani?i 食へ、命令、客體主、我、原意。(我は汝の) 食ふ物ぞ、mani? 食ふ、主體主。
7. sa-sili? 吉凶を占ふ小鳥、大豹、sijeq。
10. kina-palati 良き、kina-ja?eh 悪き、11行。

になつたのだ。
山脈がいふには「私は山脈になつて、お前等の品の縁の處を食ひに行くが、私が[お前等を]追掛ける時私の運が悪ければお前等は私を射つ。而してお前等が私を射當てた時には私を食へ。又お前等の運が悪くて、お前等が鳥占に従はずに、狩に来た時には、私はお前等を咬むぞ」と山脈がいつた。[共から]我々が良い鳥占を持つて行けば、我々は山脈を射つし、悪い鳥占を持つて行けば、山脈が又我々を咬むやうになつた。我々が飢ゑるのは、山脈が我々の品の縁を食つてしまふからである。

7. 猿に成る

昔、我々の祖先に猿になつてしまつた[者がある]。猿になりたくはなかつたが、(或時)高仕事に出て一日働いてゐると、彼の小鐵の柄が五回も折れたの

17. ma-za-zupai 猿に成る、zupai 猿、比、86頁、註17。
20. min-zama-gan 五回、大豹、jima-gal 五つ、IN、lima。

- ¹ nija ro: / kama:zan maha ?o: / "tōma?a
彼の それで 話 いふ 削らう
- ² si: la:zi han ro: / mapaho: laga / pakosa
我は再 一寸 而 折れ たらば 能成
- ³ si: nano laisa" / nano ma?omah ro: / min-
我は 何 かなあ 何 作品 而
- ⁴ sa:zay amatok na pa:zeh nija laga / ma-
二度 つつく で 小鐵 彼の すると
- ⁵ paho: ko: pa:pa:han na pa:zeh nija / sa:pa-
折 は 持處 の 小鐵 彼の 所突
- ⁶ ita? nija pa:zux nija ko: porop na tala:zay
刺 彼の 尻に 彼の は 折口の 柄
- ⁷ ro: ja:sa ko: wazan ma:za:zupai la / na-
而 共 は しまふ 成 猿 了 何
- ⁸ no ko: tala:zay nija ga / ja:sa ko: talipoy
は 柄 其の は 其の は 尾
- ⁹ nija /
彼の
- ¹⁰ nani?un nija ga / sōma:zil kama:zan ko:
食物 彼の は 殘す 言ふ は
- ¹¹ zupai ro: / "pa:li si: pakani? so: nano
猿 には 豎 我 食 を 何
- ¹² pa?si?si mahamahamots / mani? sa:sijao na
強ひて むやみに 食 縁の處 の
- ¹³ ?amama:zah mamō" maha ko: zupai / k-
品 汝等の といふ は 猿
- ¹⁴ jalun nako: ata:zan maha ?o: / "mowah
所話 の アタヤル いふ は 来
- ¹⁵ so mani? sa:sijao mijan ga / pa:oin so
汝は 食 縁の處 我等の すれば 所打 汝は
- ¹⁶ mijan laki / gi: ?ali sami pakani? so: nano
我等の だぞ 故 豎 我等は 將食 を 何
- ¹⁷ sami la / i: ni?un so ko: pin?amahan mi-
我等はぞ 時は 所食 汝のは 農作物 我
- ¹⁸ jan la" / saon nako ata:zan / kama:zan
等の だ 所言 の アタヤル 話す
- ¹⁹ ko: zupai maha ?o: / "nowai si: mamō
は 猿 いふ は 構はない 我は 汝等の
- ²⁰ ?oin la gi ?ali si: pakosa nano / opats
所打 よ 故 豎 我は 能成 何 無
- ²¹ nani?un mo / nowai laro: / kani?i si: u:ji
食 我の 構はない それで 所食 我は 又

で、もう一度[木を]削つて[柄を作らう。共が]折れたら、私はどうしようかなあ」といつた。[柄が出来たので]仕事にかり、二度打込むと、彼の小鐵の柄は又折れた。彼は柄の折口を彼の尻に突刺すと、共々、猿になつてしまつた。扱共の柄は、彼の尾[に成つた]。

彼の食物については、猿が詞を残して、私はさう無闇に何でも彼でも食ふものか。只お前等の品の縁の處を食ふだけだ」といつた。[すると]アタヤルは「お前が我々の[品の縁の處を食ひに来れば、我々はお前を(弓又は銃で)射殺すぞ。其はお前等に我々の農作物を食はれては、我々は何を食はうぞ[食物が無いではないか]とアタヤルがいつた。猿は「お前等は私を射つても構はない。食物が無ければ、私はどうすることが出来ようぞ。構はないから、お

1. t-om-a?a 削らう、主體主、-a は未來、大豹、t-om-aq
2. pakosa <paka-usa 成ることが出来る、musa 行く、成る。
5. sa-paita? 突刺す、用具主、柄の折口、比、大豹、maitaq。
10. s-om-a:zil 殘す、主體主、s-in-a:zil 殘した物。
12. ma-hama-hamots 無闇に、変りに、ma-hamots 同上。

16. pakani? <pa-pa-kani? 食はう、主體主、未來、大豹、pa-pa-kaneq。
17. p-in-?amah-an 農作物、品で働いて作つた物、ma?omah 品で働く。
21. kani?i si: 我を食へ、比、88頁、註6。

- ¹ la / i: βo:n si: mamō na patos la / maha
よ 時 所打 我は汝等の以 銃 だ といふ
- ² ko: ʒupai / ʔariŋ kija laro: / βo:n mijan
は 猿 始 其 それで 所射 我等の
- ³ ko ʒupai laro: / niʔun mijan la /
は 猿 それで 所食 我等の了

8. makakowalits
成 慮

- ⁴ kowalits hani uʒi ga atagan / kinana-
慮 此の 又 は アタナル 祖先の
- ⁵ βakisan mijan lalaʔiʔ / βali aki kija ko:
時 我等の 昔 登 欲 其 は
- ⁶ kowalits hani ga / jako: jaʒa nija ro: jaja
慮 此の 併 共 父 彼の と 母
- ⁷ nija ko: jaʔeh uʒi / saiʔeragun nako: jaʒa
彼の は 悪人 又 所欺 の 父
- ⁸ ro: jaja nija maha ʔo: / "kowagi ko: tai
と 母 彼の いふ は 所掃 は 方
- ⁹ tanux ro: / βiʔai miso so: papataragun so"
外 すれば 所與 我の汝はな 飾物 汝の
- ¹⁰ saon ni jaʒa nija ku: jaja nija / masinaʔ
所言 の 父 彼の と 母 彼の 請求
- ¹¹ ko: alaʔi maha ʔo: / "sa: βiʔi si: lagaja so:
は 子 いふ は さあ 所與 私は 母等よ な
- ¹² papataragun mo la" / saon nija jaja nija
飾物 私の よ 所言 彼の 母 彼の
- ¹³ ku: jaʒa nija / "ini so tamasoʔ na / usa
と 父 彼の 不汝は 終 尙 行け
- ¹⁴ maiʒun han ro: / mowah so laga / βiʔai
水汲 一寸 而 歸 汝 すると 所與
- ¹⁵ miso la" / saon nako: jaja ku: jaʒa / taihok
我の汝はよ 所言 の 母 と 父 到着
- ¹⁶ laga / "ita lagaja taihok si: / minowah si:
すると 下さい 母等よ 到着 私は 行つて来 私は
- ¹⁷ maiʒun la" / saon nija ro: / kjalun nako:
水汲 了 所言 彼のところが 所話 の
- ¹⁸ jaja nija maha ʔo: / "ini so tamasoʔ na /
母 彼の いふ は 不汝 終 尙
- ¹⁹ usa makahoi han ro: / βiʔai miso so: pa-
行け 薪取 一寸 すれば 所與 我の汝はな

5. ma-ka-kowalits <kowalits 慮, 比 86頁, 註 17.
6. k-in-a-naβakis-an 祖先の時, naβakis 祖先.
10. kowag-i <*kagag-i 掃け, 位置主. k-um-agao 掃く,
主體主.
11. βiʔai 與へよう, 位置主. 現實未来, 汝. 大動. βeq-ai.

前等が銃で私を打殺した時は又私を
食へ」といった。其が始りて我々は猿
を射つて食ふやうになった。

8. 鳶になる

昔我々の祖先の時は、此の鳶も亦ア
タナルであつた。好んで此の鳶にな
つた譯ではないが、其人の父も母も悪
い人であつた。彼の父と母とが欺い
て[其の子に]、[外を掃け。さうすれば
お前に飾物を上げよう]といった。[子
は掃除を終ると]父と母とに請求して
[さあ母さん達、私の飾物を下さい]とい
つた。父と母とは[お前は未だ濟まな
い。一寸水汲に行け。さうすれば、お
前が歸つたとき、私がお前に上げよう]
といった。[水汲から歸つて家に]到着
すると、彼は[下さい、母さん達。私は水
汲に行つて歸つて来た]といった。す
ると彼の母は[お前は未だ濟まない。
一寸薪を取りに行け。さうすれば私

βiʔ-i 與へよ, 命令, 位置主. 我. 13行. 大動. βeq-ei
pa-patarag-un 飾にする物, 客體主. matarag 飾る.
13. lagaja <la-haga-aja 母等. j-aja 母. la-haga 彼等.
21. ma-kahoi 薪を探る. kahoi 薪. ~ kahoniʔ 木.

- ¹ pataragun" / mowah ko: alaʔi laga / "sa:
飾物 歸來 は 子 すると さあ
- ² βiʔi si: lagaja" / saon nija jaja nija / "ini
所與 私は 母等よ 所言 彼の 母は 彼の 不
- ³ so tamasoʔ na / kowagi ko: pa: mijan ro: /
汝は 終 尙 所掃 は 寢床 我等のすれば
- ⁴ βiʔai miso la" / saon nako: jaja / masoʔun
所與 我の汝はよ 所言 の 母 所終
- ⁵ nija laga / "sa: βiʔi si: lagaja" ro: / "ini
彼の すると さあ 所與 私は 母等よ ところが 不
- ⁶ so tamasoʔ na / kowagi ko: papasaʔetijan
汝 終 尙 所掃 は 便所
- ⁷ mijan ro: / masoʔun so laga: / βiʔai so
我等の 而 所終 汝の すれば 所與 汝
- ⁸ mijan so: papataragun so" / maha jaja
我等の な 飾物 汝の といふ 母は
- ⁹ nija ku: jaʒa nija / "ao / mo masoʔun la-
彼の と 父 彼の はい 私の 所終 だ
- ¹⁰ ro: / sa: βiʔi si: la" / maha ko: alaʔi ro: /
から さあ 所與 私はよ といふ は 子 さあが
- ¹¹ ini naha βiʔi laro: / kjalun nako: jaja nija
不 彼等の 所與 そこで 所話 の 母 彼の
- ¹² maha ʔo: / "saiʔeragun miso / taççi so lao-
いふ は 所欺 我の汝は 見よ 汝は上
- ¹³ kah matezuwao" / saon nija ko: alaʔi /
手 仕事 所言 彼の は 子
- ¹⁴ kamaʒan ko: alaʔi ro: / "ao / so saiʔeragun
話 は 子 には はい 汝の 所欺
- ¹⁵ kuʒiŋ la / nowai ga / nano musa so tax-
私は 了 宜しい よ 何 成 汝の 所
- ¹⁶ xan kuʒiŋ na" / maha ko: alaʔi / musa ko:
見 私は 尙 といふ は 子 行 は
- ¹⁷ alaʔi laro: / musa maʒo:p sako: kahōʔ /
子 而 行 入 へ 倉
- ¹⁸ magan so: papataragun nija ro: / βakagan
取 な 飾物 彼の 而 所並
- ¹⁹ nija palihoi kowara ko: heiʔ nija ro: / ta-
彼の 羽を 皆 は 體 彼の 而
- ²⁰ masoʔ laga / suʒun nija ko: jaja nija ma-
終 してから 所呼 彼の は 母 彼の い
- ²¹ ha ʔo: / "taççi nowai so sumaiʔaro: / taççi
ふ は 見よ 宜しい 汝は 欺 所見

がお前に飾物を上げよう]と話した。
子が歸つて来ると、[さあ母さん達、私に
下さい]と彼の母にいった。[お前は未
だ濟まない。我々の寢床を掃け。さ
うすれば私がお前に上げよう]と母が
いった。彼が終ると、[さあ私に下さい
母さん達(といふ)。ところが、彼の父と
母とは、[お前は未だ濟まない。我々の
便所を掃け。而してお前が終つたら、
我々は飾物をお前に上げよう]といつ
た。[彼は其を終つたので]はい、私は終
つたから、さあ私に下さい]といった。
ところが彼は與へない。而して彼の
母は子に[私はお前を欺いたのだ。見
よ、お前は仕事が上手になつたよ]とい
つた。すると子は、[はい、お前は私を欺
いた。宜しい、私はお前の目の前で何
にならうか]といった。其子は向うへ
行つて倉の中へ入つて、彼の飾物を取
つた。而して彼は[其を]並べて羽にし
て、體の全部を[被うた]。其が終ると彼

6. pa-pasaʔeti-jan 便所. ʔuti 大便. 大動. pas-qotši 大
便する.
17. ma-ʒo:p はひる. 大動. mi-jup.
18. βakag-an 物の上に並べる, 位置主. 大動. mako: 並べ

る. 同上. 主體主.
19. pali-hoi 羽. 大動. pali. -hoi は一種の接尾辭. 比
Batan pahid: Bagobo panid.

- ¹ si: la' / mahto: ßalihun jaja nija ro: jaða
私 は せよ 出 門口 母は 彼の と 父
- ² nija laga: / waðan palaka ßaþao na salí' /
彼の すると 去 飛 上に の 家
- ³ kamaðan ko: ala' maha ?o: / "ana so asi
話 は 子 いふ は 難 汝の こと
- ⁴ tapehe na rinana so kuðin laga / ajats si:
所招 で 所慰物 汝の 私は 併 非 私は
- ⁵ maowah la / nowaia: / ßali so ajats tatax-
歸者 ぞ 構は 登 汝の 非 所見者
- ⁶ xan kuðin mowah si: palaka ßaþao na
私は 來 私は 飛 上 の
- ⁷ salí' / sama'an so jauilun ga / wawahan
家 伺 汝は 難を すれば 度々來る所
- ⁸ mo kamaðap roma / bahalan mo mani'
私の 捕 或物 行處 私の 食
- ⁹ wawawi' maha ko: ala' kasa / taççi sa-
高い處は といふ は 子 其の 見よ
- ¹⁰ ßalai la / kija ko: jauilun mijan laga /
本當 了 居 が 難 我等の すると
- ¹¹ kjapun nija laro: / halan nija mani' wa-
所捕 彼の 而 行處 彼の 食 高
- ¹² wawi /
い處は

の母を呼んで「お前は私を欺いた、私を
見て見よ」といった。彼の母と父とが
門口に出て見ると「彼は鷹になって」家
の上へ飛んで行つた。子がいふには、
「お前が私をなだめるために、物を以て、
いくら私を招いても、私は歸らないよ。
[其は]構はないだらう。お前が私に會
へないといふ譯はない。私は[今後]家
の上へ飛んで來る。[而して]お前が難
を飼つて居れば時々來て其の中の一
二羽を捕へて、高い處へ行つて食べる
よ」と、其の子がいった。見よ[其の後は]、
果して其の通りであつた。我々の難
が居ると、彼は捕へて、高い處へ行つて
食ふのである。

9. ?alað na kanaerin nannak
蕃社の 女 ばかり

- ¹⁸ kanaerin ka saðan ßaðinah ga kanaerin
女 其 居者 片方 は 女
- ¹⁹ nannak ro: / kija maka'aolo pipi naha'
ばかり 而 有 満 陰部は 彼等の
- ²⁰ laga: / mosa ßaþao na rohe: ro: / sa'osa
すると 行 上 の 崖 而 行く譯
- ²¹ naha' paço:p so: ßaihoi ko: pipi naha'
彼等の 入れる を 風 は 陰部 彼等の

4. tapehe 手招する。客體主。我。 t-om-apeh 同上。主體主。
r-in-aga 慰めた物。客體主。 r-um-aga 慰める。主體主。
7. s-am-a'an 伺ふ。主體主。 sa'an 伺へ。主體主。
8. k-am-açap 捕へる。主體主。 kjap-un 同上。客體主。 11
行。大豹。 k-om-ijap。

9. 女ばかりの蕃社

[或る]餘所に女が住んでゐて[しかも]
其は女ばかりであつた。而して彼等
の局部が満した(情慾を起す)時は、崖の
上へ行つて局部に風を入れると孕む

18. saðan 居る者。在る物。大豹。 tsux, sux.
ßaðinah 片方。一方。此處にては餘處の意。
19. maka'aolo 満く。原意。喉が欲しがる。 <aolo 喉。
21. pa-ço:p 入れる。大豹。 pi-jup。

- ¹ ro: / kakijan kija la / ana na asi pagaala'
而 所孕 其處 了 ても 尙 いくら 生子
- ² ga / kanaerin nannak ko: ala' naha' /
やはり 女 ばかり は 子 彼等の
- ³ jatsa ko: kinanaðakaisan naha' / ana ka-
其 は 祖先の時 彼等の ても
- ⁴ naerin nannak ga / ßali upats ko: tahoki
女 ばかり やはり 登 無 は 頭目
- ⁵ naha' / kija ko: jaki ka tahoki naha' /
彼等の 有 が 老女 其 頭目 彼等の
- ⁶ ajats manita so: tamaluð ko: kakanae-
非 見た者 を 男 は 女等
- ⁷ rin kasa / matakari ko: ho:ðin nako: na-
その 行方不明 が 犬 の
- ⁸ ßakiis mijan ro: / halan hamaka:ni nako:
祖先 我等の それで 所行 搜 の
- ⁹ naðakiis mijan ko: ho:ðin nija ro: / mosa
祖先 我等のは 犬 彼の 而 行
- ¹⁰ taço:p sako: kakanaerin kasa / kjalun na-
入 へ 女等の處 其の 所話
- ¹¹ ko: tamaluð ko: kakanaerin maha ?o: /
の 男 は 女等 いふ は
- ¹² "opats roni ko: ho:ðin mo / waðan maha-
無 此邊 は 犬 我の 去 追
- ¹³ saon ßaðowak' / saon nako: tamaluð ko:
山脈を 所言 の 男 は
- ¹⁴ kakanaerin kasa / kamaðan ko: kanaerin
女等 その 話 は 女
- ¹⁵ maha ?o: / "opats / ini sami wahe na ho-
いふ は 無 不 我等 所來 の 犬
- ¹⁶ jin kararijax' / maha ko: kakanerin /
いつも といふ は 女等
- ¹⁷ "ha:n ha:n / nano nowai ro: / halai mo
さうか さうか 何 宜しい 而 所行 我の
- ¹⁸ hamaka:ni ßaðinah' / maha ko: tamaluð /
搜 片方 といふ は 男
- ¹⁹ kamaðan ko: kanaerin maha ?o: / "nano
話 は 女は いふ は 何
- ²⁰ lalo ko: saðan zuwao na gaða so / ajats
名 は 在る物 間に の 膝 汝の 非
- ²¹ sami manita so: asi nija sa / sowa' ma-
我等は 見た者 を 如 其の 其 何故

のであつた。幾ら子を生んでも其は
女ばかりであつた。彼等の昔の有様
はさういふ風であつた。女ばかりで
あつても、頭目が無い譯ではない。[一
人の]老女が頭目になつてゐた。

其の女達は男を見たことがなかつ
た。[或時]我々(アタヤル)の祖先の犬が
行方不明になつたので、祖先は其の犬
を捜しに行つた。而してその女達の
居る所へはひつて行つた。男がその
女達に「此の邊に私の犬は居なかつた
か。山脈を追うていつたのだからとい
つた。女は居ないよ。我々の處へは
いつも犬は來はしない」といつた。男
は「はあん、さうか。其なら宜しい。私
は餘所を捜しに行かう」といつた。女
は「お前の膝の間に在る物は何といふ
物か。我々は未だそんな物を見たこ
とがない。お前の膝の間に在る物は
何でそんなにぶらぶら下つてゐるの
か」といふ。其處で男は「我々の處にも

1. paga-ala' 子を生む <ala' 子。大豹。 pai-alaqei。
4. tahoki 頭目 <臺語。頭家 thau-ke。
6. m-an-ita <k-om-in-ita 見た。原意。見たことのある者。
主體主。過去。 ~mita 見る。

10. ta-ço:p 知らず知らずはひる。比。91頁。註。17。
21. asi nija sa 其様な物。大豹。 heja na-sa。
masa-jagu:ðis ぶら下る。垂下る。比。大豹。 mi-juðeq。

- ¹ sajaɣu:ɸis ko: saɣan zuwao na gaɣa so"/
垂下 は 在る物 間 の 勝 汝の
- ² maha ko: kanaerin / nano jasa maha ko:
といふ は 女 何 其 といふ は
- ³ tamaluɣ / "kija samu uɣi ko: asi gi simo
男 有 我等は 亦 が 如 汝等
- ⁴ ga / ao opats la ɸais mamu simo"/ maha
併 おや 無 のだ 相手 汝等の 汝等(は) といふ
- ⁵ ko: tamaluɣ / nano kamaɣan ko: kana-
は 男 何 話 は 女
- ⁶ erin maha ʔo: / "nowai ga patala:mi sa-
いふ は 宜しい すれば 所使試 我
- ⁷ mi tikai"/ maha ko: kakanaerin / kjalun
等は 一寸 といふ は 女 所話
- ⁸ nako: tamaluɣ maha ʔo: / "jasa ga / hala
の 男 といふ は 其 ならば 行かう
- ⁹ ta maʔaɸi sako: pa: so" maha ko: tama-
我等 寝 へ 寝所 汝の といふ は 男
- ¹⁰ luɣ / kamaɣan ko: kanaerin ro: / "patala:-
話 は 女 には 所使試
- ¹¹ mi samu pintikai mijan kowara"/ maha
我等は 少しづつ…する 我等の 皆 といふ
- ¹² ko: kanaerin / mosa kija pa: ro: / asi
は 女 行 其處 寝所 前 順々に
- ¹³ nahaʔ pasaisaigug: tumipoʔ ko: tamaluɣ /
彼等の 所交代 交接 は 男
- ¹⁴ ana nahaʔ asi malaɸi zumui laga ini tai-
ても 彼等の いくら 無難に…する 動かす 併 不
- ¹⁵ hok la gi: ɸali nija ogi minhasowaʔ tu-
満足 了 故 豈 彼の 陰部 如何して
- ¹⁶ mipoʔ kowara / gi: haɸaɣao ko: kanaerin /
交接 皆 故 多 は 女
- ¹⁷ tamasoʔ laga / suzun nahaʔ ko: jaki ka
終 了時 所呼 彼等の は 老女 其
- ¹⁸ tahoki nahaʔ / suzun nahaʔ maha ʔo: /
顔目 彼等の 所呼 彼等の といふ は
- ¹⁹ "jaki: jaki: / wah patalam tikai sako:
なばさん なばさん 来れ 試 一寸 で
- ²⁰ hani səsəɸiɣ"/ saon nahaʔ ko: jaki ka
此處 灯味 所言 彼等の は 老女 其
- ²¹ tahoki nahaʔ / mowah ko: jaki ro: / nijan
顔目 彼等の 来 は 老女 而 今
- ²² mapapasijaʔ ko: jaki maha ʔo: / "nano ko:
是解 は 老女 といふ は 何 は

6. pa-talam-i 試みさせよ。命令。客體主。我。 t-am-alam 試みる。
11. pin-tikai 少しづつ…する < tikai 少し。

亦お前等の様な者(女)が居るがおや扱
はお前等は相手といふ者が居ないの
かといふ。其處で女は構はないなら
ば、我々に一寸試みさせよといふ。男
は其なら我々はお前の寝所へいつて
寝ようといふ。女は我々皆の者に少
しづつ試みさせよといふ。而して其
處の寝所へ行つて彼等は順々に男と
交つた。彼等は幾ら頻りに動かして
も満足を得なかつた。其は女が多い
ので、彼の局部は如何にしても皆と交
ることが出来なかつたからだ。終つ
てから、彼等はその顔目の老女を呼ん
だ。彼等は[老女を呼んで]をばさんを
ばさん。一寸此處へ来て試して見な
さい。好い氣持だと彼等がいつた。
老女はにこにこして此方へ來ながら、
[お前等が其の好い氣持といふのは何
か]といつて其處へ來た。老女が到着
して寝所へ行つたが、男は已に多く交
つた爲に、幾ら交はらうとしても出来
ない。其處で老女は[お前等は何故私

13. pa-sai-saigug-i 交代して…する。客體主。 ~ma-saigug 代る。
22. ma-pa-pasijaʔ にこにこする。大勢。 ma-sijaq 笑ふ。

- ¹ saon namo maha ʔo: səsəɸiɣ kasa"/ maha
所言 汝等の といふ は 灯味 其の といふ
- ² ko: jaki ro: mowah la / taihok ko: jaki
は 老女 而 來 了 到書 は 老女
- ³ laga mosa pa: ro: / ana nija asi patipoʔ
それから 行 寝所 ところ ても 彼の いくら 交接
- ⁴ laga / ini kaɸaʔ tumipoʔ la gi haɸaɣao ko:
併 不 能 交接 了 故 多 は
- ⁵ waɣan nija təpoʔun la / kamaɣan ko: jaki
既 彼の 所交 了 といふ は 老女
- ⁶ ro: / "sowaʔ ini kuɣiɣ la / pagalaigi mamu
には 何故 不 我 了 所使先 汝等の
- ⁷ patipoʔ / kuɣiɣ kila tahoki mamu"/ maha
交接 我は 即 顔目 汝等の といふ
- ⁸ ko: jaki kasa / jaʔeh kasaliʔ nako: kanae-
は 老女 其の 惡 機嫌 の 女
- ⁹ rin ka: jaki kasa laro: / saagan nija so:
其 老女 其の それで 取る譯 彼の な
- ¹⁰ taorui ro: / ʔatapan nija ko: ogi nako: ta-
鈍 而 所切斷 彼の は 陰部 の
- ¹¹ maluɣ / ka: hamnakani so: ho:ɣin kasa
男 其 捜した者 な 犬 其の
- ¹² la / waɣan mahoʔin kija ko: tamaluɣ ka-
了 去 死 其處 は 男 其
- ¹³ sa la /
の 了
- ¹⁴ nago:n nago:n nako: galo mijan ro: ini
所得 所得 の 一族 我等の せざる 不
- ¹⁵ owah / po:ɣan kai laga: / waɣan kotan
歸 所聞 話 すると 既 所殺
- ¹⁶ nako: kanaerin / ka: saɣan so: ɸalai na
の 女 其 居人 に 良 の
- ¹⁷ rahagan / maha ko: po:ɣan na pappak /
地 如其 は 所聞 の 耳
- ¹⁸ kamaɣan ko: naɸəkiis mijan maha ʔo: /
話 は 祖先 我等の といふ は
- ¹⁹ "waɣan nahaʔ kotan laga / halai ta ka-
既 彼等の 所殺 そこで 行處 我等の
- ²⁰ muts"/ maha ko: naɸəkiis mijan lalaʔliʔ
殺 といふ は 祖先 我等の 音
- ²¹ la /
了

6. pa-galaig-i 先にさせる。客體主。大勢。 g-am-olain 先に…する。
7. ki-la…こそ即。 ka 其。 と同じといふ。
8. kasaliʔ 機嫌。心持。大勢。 kasuleq.
9. sa-cgan 人の爲に取る。用具主。取る理由は老女の爲の爲。
sa- 用具。理由を表はす接頭辭。 ~m-agan 取る。

を先に交らせないか。私こそお前等
の顔目であるのに]といつた。其の老
女は癪にさはつたので、彼は鈍を持つ
て、犬を捜しに來た男の局部を切斷し
た。そこで其の男は死んでしまつた。

我々(アタヤル)の一族は待てども待
てども(男は)歸つて來なかつた。話を
聞くと、良い地に住んでゐる女が殺し
てしまつた、といふ風評である。我々
の祖先は[彼等が殺してしまつたのだ
から、我々は[彼等を]殺しに行かう]とい
つた。

10. ʔatag-an 切斷する。客體主。 ʔam-atog 主體主。
11. h-am-n-akani 捜してゐた人。主體主過去。 h-am-akani 同上。現在。
15. po:ɣ-an 聞く。客體主。 moɣ 聞く。主體主。
19. halai <hala-ai 行かう。位置主。未來。 hala-n <hala-an 同上。現在。95頁1行。

- 1 matato:li? ko: naβəkis mijan ro: / halan
起 は 祖先 我等の 而 所行
- 2 naha? malipai ko: kakotan naha? / gi:
彼等の 関心 は 可殺者 彼等の 故
- 3 matijapi ko: kakanaerin kasa / patosan
先下手 は 女等 其の 所發銃
- 4 naha? ko: sali? maro: / opats la mahto: /
彼等の は 家 ところが 無了 出者
- 5 ini pagui ko: sali? / βapa nannak ko: ma-
不 動 は 家 蜂 只 は 出
- 6 hto: sagaŋan nako: βapa makahaŋuti ko:
何 所使散 の 蜂 熊蜂 は
- 7 naβəkis mijan ro: / opat ko: kotan ko:
祖先 我等の 而 無 は 可殺者 は
- 8 kakanaerin / mowah ko: naβəkis mijan
女等 歸 は 祖先 我等の
- 9 laga takapah lukus naha? ko: haheo?
たが 附着 衣に 彼等の が 赤蟻
- 10 ro: / βapa ro: βapa na haŋip / βapa na ma-
や 蜂 や 蜂 の 窟 蜂 の
- 11 kahaŋuti / nano ja:sa ko: ?uttux təmuni
熊蜂 何 其 は 常 作巢
- 12 sako: kakhahon? / ka: nijan ta kakijan
に 木木 其 今 我等の 居處
- 13 hani təmuni ko: βapa kasa ga / laomun
此處 作巢 は 蜂 其の すると 所燒
- 14 mijan ro: / ni?un mijan / βala:ij mijan ni-
我等の 而 所食 我等の 良 我等の
- 15 ?un / haheo? ro: ta?ato ga minopats so:
食均 赤蟻 や 黒蟻 は 無かつた には
- 16 lala?li? uŋi mina?lo sako: tatama:lup /
昔 又 共に來 と 男等
- 17 ka: mənawah malipai sako: kakanaerin /
其 行者者 團に を 女等
- 18 nano ja:sa giŋapan nija kowaira ko: raba-
何 其 所散布 其の 皆 は 地
- 19 ŋan la /
了
- 20 kamaŋan ko: kanaerin maha ?o: "aŋat
話 は 女 いふ は 不
- 21 ta naha? tatahajaŋun kamot:s la / asi
我等 彼等の 所成功 殺 了 其儘

我々の祖先は出發して行つて、彼等の殺さうとする女を圍んだ。それはその女達が先に手を下したからである。彼等は銃を以て家を打つたが、出て來る者も無く、家も騒ぐこともなかつた。只蜂が出て來て、我々の祖先は熊蜂に散々にやられたが、殺すべき女は出て來なかつた。我々の祖先は歸つたが、其の着物には赤蟻や、蜂や、蜜蜂や、熊蜂などが附着してゐた。其が、我々が今居る此地の樹木に巢を作る様になつたのだ。其の蜂が巢を作る時は、我々は焼いて之を食ふが、其の味は旨いものだ。又[小さな]赤蟻や[大きな]黒蟻は何れも昔は無かつたが、女達を圍みに行つた男達と一緒に來たもので、其が皆地上に散布したのだ。

女達は、「彼等は我々を殺さうとしたが成功しなかつた。彼等がそのまま

3. patos-an 鉄で打つ、客體主、matos 同上、主體主。
6. sa-gaŋan 散す、用具主、g-un-aŋan 同上、主體主、比、註. 18.
9. ta-kapah 自分で附着する、k-am-apah 人が附ける。
15. m-in-a?lo 一緒に來た、<ma?lo、大豹、m-a-galo 一緒に

になる。
17. m-on-owah 行つて歸つた人、mowah 行く。
18. giŋapan 散布する、位置主、比、註. 6.
21. ta-tahajaŋ-un 成功すべき事、客體主、tahojai 出来る、能く堪へる。

- 1 naha? laçi kija / gi: kaiŋun naha? ko:
彼等の 所中止 其處 故 所恐 彼等の は
- 2 βapa" maha ko: kanaerin kasa / "asi ta
蜂 といふ は 女 其の 其儘 我等の
- 3 pakasalasali?i kija" / maha ko: naβəkis
油断させる所 其は といふ は 祖先
- 4 mijan / βaβao nija laga / halan naha? ma-
我等の 後 其の なつて 所行 彼等の
- 5 lipai laoji ro: / asi naha? laoma:ni ko:
團に 再 而 忽 彼等の 所燒 は
- 6 βapati? / ka: maki? lalipai na sali? naha? /
鬼子 其 在 周圍に の 家 彼等の
- 7 nano kowara ko: βapa ro: haheo? kaka-
何 皆 は 蜂 や 赤蟻 女
- 8 naerin uŋi ga waŋan laomun kowara la /
等 又 は 去 所燒 皆 了
- 9 waŋan mataka:lux kowara ana sali? uŋi
去 黒黒 皆 も 家 亦
- 10 la /
了
- 11 halan naha? mita ko: sali? ka: linaoman
所行 彼等の 見には 家 其 燒いた跡
- 12 naha? ro: / ?uttux ko: liβo? na βigowak
彼等の ところが 一つ は 小屋 の 豚
- 13 nija / maβalaβin kija ?uttux ala?i ka:
其の 震へる 其處 一人 子供 其
- 14 tikui / kamaŋan ko: tamaluŋ maha ?o: /
小 話 は 男 いふ は
- 15 "tijalagai ka: aogats ta so: ala?i" / maha
非常 其 見附 我等 を 子 といふ
- 16 ko: tamaluŋ / sapaŋa naha? ro: / rasun
は 男 所負 彼等の 而 所作
- 17 naha? sali? ko: ala?i kasa / jako: mataha-
彼等の 家には 子 其の 其 タイヤカン
- 18 jakan ko: waŋan maras malahaŋ sako:
社人 は 去 作者 保護 を
- 19 ala?i kasa ro: / ka?jasan naha? ro: / raho?
子 その 而 所育 彼等の 而 成長
- 20 laga: sijaŋ naha? so: tamaluŋ ro: / kijan
したとき 所置 彼等の を 夫 而 所生
- 21 na ?uttux ala?i / ?ariŋ kija ko: / kija ko:
の 一人 子 から 其は 有 は

[攻撃を]止めたのは、彼等が蜂を恐れたからだ]といった。[併し]我々の祖先は「それはやはり我々が[敵を]油断させたのだ」といった。其後、彼等は再び行つて[敵を]圍んでいきなり彼等の家の周圍にある鬼茅を焼いた。而して蜂も蟻も女達も全部焼けてしまつた。家も亦皆黒くなつて焼けてしまつた。

彼等が家の燒跡に行つて見ると、豚小屋が一つ有つて、其處に小さな子供(女)が一人震へてゐた。男は「我々は子供を見附けたのは非常に幸だ」といつた。彼等は其の子を背負つて、家へ連れて來た。其の子を連れて來て保護した者は、タイヤカン社の者であつた。彼等は[其子を]育て、其が成長した時に夫を持たせた。すると子が一人生まれられた。其の後、彼は[何でも]欲しい物があれば、魔法を使つて得る様になつ

1. kaiŋun <kajuŋu-un 恐れる、客體主、maŋuŋu 同上、主體主。
5. laom-an-i 焼くに用ゐる物、用具主、l-am-aom 家、山など焼く、主體主、比、註. 11.
9. mata-ka:lux 黒くなる、ma-ka:lux 黒い。

11. l-in-aom-an 焼いた跡、比、註. 5.
19. ka?jas-an 動物などを育てる、客體主、k-um-aŋats 主體主。
20. sijaŋ-an <si-jaŋ-an 置く、位置主、s-am-i 同上、主體主。

- ¹ saogalan nija laga / haoniun nija la / ala?
所談物 彼の すれば 所行魔法 彼の 了 子
- ² nija ugi ga pasu²an nija so: hahoni
彼の 又は 所教 彼の を 魔法
- ³ ugi / nano ko: matahajakan hani ga / uli
亦 何 は タイヤカン社人 此の は 系統
- ⁴ nako: mahahoni hani ro: / misa na opats
の 魔法使 此の 而 今 最早 無
- ⁵ ko: mahahoni na matahajakan / gi: wa-
は 魔法使 の タイヤカン社人 故 去
- ⁶ gan naha? maso²un kamots / kija ana
彼等の 所盡 殺 其處 誰
- ⁷ ka²aa ko: mahahoni naha? ²ali ²on /
有たらう が 魔法使 彼等の 登 所能

10. matsaka? ko: na²okits
別れる が 祖先

- ¹⁰ na²okits mijan lala²i? ga / matsaka? sa-
祖先 我等の 昔 は 別れる と
- ¹¹ ko: palmukan ro: / kama²an ko: ata²an
本島人 其時 話 は アタヤル
- ¹² maha ²o: / "nano a: matsaka²a ta ro: /
いふ は 何 エー 別れよう 我等 ²で
- ¹³ osa hogan simo ga / makija samu ragijax
行け 下に 汝等は すれば 居よう 我等は 山に
- ¹⁴ samu / maha ko: ata²an / "ana ko: patsa-
我等は といふ は アタヤル 誰 別れる
- ¹⁵ ka² ta ga / min²alala²a ta i: maka²an / gi:
我等 ²は ²しよう 我等 時 相談 爲に
- ¹⁶ ta²ci matana² ko: hei² ta" ro: / mailahoi
見よ 同 は 人数 我等の 而 集
- ¹⁷ sa²alal ro: / malalapo: so: hei² kija ro: /
本當 而 数へる を 人数 其處 而
- ¹⁸ matsa²ka² laro: / kama²an ko: palmukan
成分 それで 話 は 本島人
- ¹⁹ maha ²o: / "sa: howao simo han" / maha
いふ は さあ 叫べ 汝等 一寸 といふ
- ²⁰ ko: palmukan / nano hamowao ko: ata²an
は 本島人 何 叫ぶ は アタヤル
- ²¹ heja ro: / wa:s maha mahoo² ko: a²ao na
其のと サアッ といふ 落 は 葉の
- ²² raroma / "howao simo" / maha ko: ata²an
竹 叫べ 汝等 といふ は アタヤル

1.2.4. haoni-un < hahoni-un 魔法を使ふ、客體主、ma-ha-
honi 魔法を使ふ人 < hahoni 魔法。

7. ka²a-a 有るであらう、-a は未來、大約、kija-a.

た。彼の子にも亦彼が魔法を教へた。
扱此のタイヤカン社の者は、魔法使の
系統であるが現在は最早タイヤカン
社の魔法使は無くなってしまった。
其は彼等が殺してしまつたからだ。
よし其處に彼等の魔法使が有るにし
ても[彼等に何か出来るものか。

10. 祖先が別れる

昔我々の祖先が本島人と別れた時、
アタヤルは[本島人の祖先に]、[扱我々
は別れよう。お前等は下(平地)へ行け、
我々は山に居よう]とアタヤルがいつ
た。[我々は別れるにしても、我々の人
数を丁度同じにする爲に、適宜に相談
しよう]といつて、實際集つて其處で人
数を数へた。すると半分に成つたの
で、本島人は「さあお前等皆大聲で叫ん
で見よ」といつた。扱アタヤルの方が
叫ぶと、サアッといつて竹の葉が落ち
た。[お前等叫べ]とアタヤルがいつた
ので、本島人が叫んだ所が、竹の葉が動

9. 12. ma-tsaka? 互に別れる。ma-tsaka²a 別れよう、主
體主、未來、大約、ma-tsaka?

13. ma-ki-a 居よう、未來、maki? 居る。

21. mahoo? ぼろつと落ちる。ini kahoo? 落ちぬ。99頁、2行。

- ¹ ro: / hamowao ko: palmukan ro: / ini
而 叫 は 本島人 ところが 不
- ² paipagui la a²ao na raroma ro: / ini ka-
動 了 葉 の 竹 而 不
- ³ hoo² / kama²an ko: palmukan maha ²o:
落 話 は 本島人 いふ は
- ⁴ "towapi samu tikai / gi: ha²a²ao simo /
所足 我等は 少 故 多 汝等
- ⁵ ka ata²an maki² ragijax" / maha ko:
其 アタヤル 居着 山 といふ は
- ⁶ palmukan /
本島人
- ⁷ nano towapan nako: ata²an ko: hei²?
何 所足 の アタヤル は 人数
- ⁸ nako: palmukan ro: / kama²an ko: palmu-
の 本島人 而 話 は 本島人
- ⁹ kan maha ²o: / "hamagawa ta laoji" ma-
いふ は 叫ばう 我等 再 とい
- ¹⁰ ha ko: palmukan / hamowao ko: palmu-
ふ は 本島人 叫 は 本島
- ¹¹ kan heja laro: / wa:s maha / mahoo² ko:
人 其のところが サアッ といふ 落 は
- ¹² a²ao na raroma / hamowao ko: ata²an
葉 の 竹 叫 は アタヤル
- ¹³ heja laro / ini pa²ui ana tikui ko: a²ao na
其のところが 不 動 も 少 は 葉の
- ¹⁴ raroma / tikui ko: hei² nako: ata²an heja
竹 少 は 人数 の アタヤル 其の
- ¹⁵ laga / ha²a²ao ko: palmukan heja la / ka-
なつたが 多 は 本島人 其の 了
- ¹⁶ ma²an ko: ata²an maha ²o: / "ao simo
話 は アタヤル いふ は おや 汝等は
- ¹⁷ lamuna²ig so: hei² / towapi samu laoji
囉 な 人数 所足 我等は 再
- ¹⁸ tikai han" / maha ko: ata²an / nano ²o:
少 一寸 といふ は アタヤル 何 は
- ¹⁹ ini sowapan ko: palmukan maha ²o: /
不 承諾 は 本島人 いふ は
- ²⁰ "ajats samu patawag" / maha ko: palmu-
非 我等は 將足者 といふ は 本島
- ²¹ kan / wagan mipgaigjuts magijai tai ho:
人 去 段々 逃 方 下
- ²² gan ko: palmukan /
は 本島人

きもしない、落ちもしなかつた。本島
人は[我々の方に少し足せ。お前等山
に居るアタヤルの方が多から]とい
つた。
扱アタヤルが本島人の方へ人数を
足したところが、本島人は我々は一
度叫ばう]といふ。[而して]本島人の方
が叫んだところが、サアッといつて竹
の葉が落ちた。[次に]アタヤルの方が
叫んだところが竹の葉は少しも動か
なかつた。アタヤルの方の人数は少
くなつたが、本島人の方は多くなつた。
アタヤルは、[扱お前等は人数を隠した
のだな。再び我々に少し足せ]とアタ
ヤルがいつた。扱本島人は之を承知
しないで、[我等は足すのはいやだ]とい
つた。[而して]本島人は段々と、下手の
方へ逃げていつてしまつた。

4. towapi- 足せ、命令、位置主、towapi-an 一般現在、位置
主。7行。pa-tawag < pa-pa-towag 足す、未來、主體
主。20行。

9. h-am-²agawa 叫ばう、未來。< h-am-awag-a, ~ h-am-
owau 叫ぶ。

17. l-am-un-a²ig. 隠した、主體主、l-am-a²ig 隠す。

- 1 asi saβin kamaβan ko: tahoki? naha?

同時 残 話 は 頭目 彼等の
- 2 maha ?o: / "nowai sami haβaβao ro: / kija

いふ は 構はない 我等は 多 而 有
- 3 ko: pasinaβuwagan mamo ga / kita? sasi-

が 係争事件 汝等の 時は 見よ シシ
- 4 li? ro: / βalaci kaβhani? mamo ga / nowai

リ鳥 而 良 鳥が 汝等の すれば 宜しい
- 5 simo mowah kamots so: ?uttux hei? mi-

汝等 来 殺 な 一 人 我
- 6 jan? / maha ko: palmukan / asi kajan ma-

等の といふ は 本島人 同時 所話 い
- 7 ha ?o: / "maras simo kinaja?eh sasili? ga /

ふ は 持来 汝等は 悪さを シシリ鳥 持来
- 8 pakuts sami so: ?uttux hei? mamo ugi? /

殺 我等はな 一 人 汝等の 又
- 9 maha ko: palmukan / ?ariβ kija ko: ma-

といふ は 本島人 始 共 は 互
- 10 kuits sami sako: palmukan la /

に殺 我等 と 本島人 了
- 11 kamaβan ko: palmukan maha ?o: / "asi

話 は 本島人 いふ は 同時に
- 12 mijan kara?agui nannak ko: saiho? ka

我等の 所古領 自分 は 職人 共
- 13 patotiβ so: ?ai?aga? / maha ko: palmukan /

鍛人 を 器具 といふ は 本島人
- 14 nano taβci maβoti? kowara ko: atagan

何 見よ 愚 皆 は アタナル
- 15 heja / opats la βaa? tumotiβ so: ?ai?aga /

其 無 了 知者 鍛 を 器具
- 16 gi: waβan naha? asi: βa?anai sako: pal-

故 既 彼等の 其儘皆 所興 に 本
- 17 mukan nannak ko: / βaa? tumotiβ so:

島人 斗りに は 知者 鍛 を
- 18 ?ai?aga la / taβci sami ka atagan ga ini

器具 了 見よ 我等 其 アタナル は 不
- 19 kaβa? tumotiβ so: ?ai?aga laga / maβaβi

知 鍛 を 器具 それで 買
- 20 sami sako: palmukan so: ?ai?aga mijan

我等は から 本島人 を 器具 我等の
- 21 la / gi: waβan asi: kinaosaβi nako: palmu-

のだ 故 既 其儘皆 所横領 の 本島人
- 22 kan soβi ko: βaa? tumotiβ so: ?ai?aga /

たうとうは 知者 鍛 を 器具

8. pa-kuits <pa-pa-kuits 殺す, 未来, 主體主, k-um-urts 同上, 現在.
13. ?ai?aga 器具, 大約, qaiqaja 品物, 器具.

本島人の頭目が詞を残して、構はな
いよ、我々は大勢だから。お前等若し
係争事件があつた時には、シシル鳥を
見て、其の鳥占が良ければ、お前等は我
々の一人を殺しに来ても構はないと
いつた。尙本島人は、お前等がシシル
鳥の悪い鳥占を持つてやつて来れば、
我々は又お前等の一人を殺すぞとい
つた。我々が本島人と互に殺す様に
なつたのは其が始まりだ。
本島人は又我々は[別れると]同時に、
鍛冶屋を自分の方へ取つた]といふ。
現、見よ、アタナルの方は皆馬鹿で鍛冶
を知る者はない。鍛冶を知る者は[別
れる時に]其まゝ本島人の方丈に與へ
てしまつたからだ。見よ、我々アタヤ
ルは鍛冶を知らない。それで我々の
道具は本島人から買ふ様になつた。
鍛冶を知る者はたうとう其のまゝ皆、
本島人の爲に横取されてしまつたか
ら。我々が本島人から買物をし、又之
を殺すのは其から始まつたのだ。

15. βaa? <βaga? 知る, 知る者, 大約, βaq.
16. βa?an-ai 興へる, 用具主, 興へる爲の物, 大約, βeq-an-ai.

- 1 ?ariβ kija ko: βaβisan mijan ko: palmukan

始 共 は 所買 我等のは 本島人
- 2 ro: kotan mijan ugi /

而 所殺 我等の 又
- 3 βali hamahamutun kamots ugi ko: pal-

豈 妄りに…する所 殺 又 は
- 4 mukan / ?uttux leβuβ ga / βali ?i saβui /

本島人 一 川 は 豈 所使動
- 5 roma leβuβ ga jaβa ko: kotan ko: pal-

他 川 は 宜しいは 所殺 は 本
- 6 mukan / jako: sami ko: lamago: so: leβuβ

島人 如共 我等 は 庇ふ を 川
- 7 mijan nannak / sa?uli? ka minkahon βa-

我等の 自分 他人 共 来た者
- 8 βi:nah ga / mowah kamots sako: linago:

他所 は 来 殺 を 所庇者
- 9 mijan palmukan / nano ko: leβuβ βaiβaβi-

我等の 本島人 何 は 川 他所
- 10 nah ugi ga / jaβa ko: halan mijan ka-

又 は 宜しいは 所行 我等の
- 11 moits sami /

殺 我等は
- 12 "nano ko: aβino? mijan ugi ga / minka-

何 は 珠裙 我等の 又 は 来た物
- 13 hon sako: palmukan / βinaβi mijan sako:

から 本島人 所買 我等の から
- 14 palmukan / βali nano ko: aβino kasa ki /

本島人 豈 何 は 珠裙 其の 手
- 15 ?uttux mijan sapatarap so: lokkos ro: /

いつも 我等の 飾具 を 衣 而
- 16 ?aβoβiβ ugi ko: ?uttux mijan patarapan

帽 亦 は いつも 我等の 所飾
- 17 nako: aβino? / ?uttux mijan sjo:gun ugi /

で 珠裙 いつも 我等の 所飾頭 亦
- 18 hamβinas mijan βalaci taxxan / kija ko:

一層 我等の 美 所見 其 は
- 19 hamβinas pakalo? ga / paβux ko: aβino?

優 金持 は 多 が 珠裙
- 20 naha? / kija ko: ini pakalo? heja ga / ?utt-

彼等の 其 は 不 金持 其 は いつ
- 21 ux tikui ko: aβino? naha? / aβino? kasa

も 少 が 珠裙 彼等の 珠裙 其の

[我々が]本島人を殺すにしても、無茶
苦茶に殺すのではない。同一の流域
の者は殺すことをしない。他の川の
流域では本島人を殺しても宜しい。
其様にして我々は自分の川の流域[の
者]を庇つてゐる。餘所から来た他人
は、我々の庇つてゐる本島人を殺しに
来る。現、又餘所の川へは我々がいつ
て、殺しても宜しい[ことになつてゐる]。
現、我々の珠裙(貝を南京玉の如く作
り苧麻布に織り付けたもの)も亦本島
人から来たもので[矢張り]我々が本島人
から買つたものだ。あの珠裙は何に
もならないといふことが有るものか。
我々はいつも其を以て着物を飾る。
帽子も亦いつも我々が珠裙で飾る。
我々は又いつも頭に飾るので、我々は
一層美しく見える。金持といふのは
彼等の珠裙が多いので、金持でないと

1. βaβis-an 其から買ふ, 位置主, ma-βaβi 買ふ, 主體主, 比, 註. 13.
4. sa-βui 動かす, 此處にては殺す義, 用具主, s-um-ui 同上, 主體主.
6. l-am-ago: 庇ふ, l-in-ago: 庇つてゐる者, 客體主, 8 行.

7. sa?uli? 他人, 大約, saqoβeq.
m-in-kahon 向から此方へ来た者, 主體主.
13. β-in-aβi 買つた物, 客體主, 比, 註. 1.
17. sjo:gun 頭に飾る, 客體主, s-am-ijo: 同上, 主體主.
18. βalaci taxx-an 美しい, 原意, 見た所が立派な.

- ¹ ga ?uttux mijan lapagon / ?uttux sin?ala-
は いつも 我等の 所勘定 一 條
- ² ho?gan ga ?uttux mijan saoki? / ma?alapo:
は 一 我等の 鎌 十
- ³ sin?aho?gan laga ma?alapo: saoki? / ?ali
條 ならば 十 鎌 壹
- ⁴ ma?azi nako: pila ta sakani / ?uttux sin-
其 の 銀貨 我等の 現在 一
- ⁵ ?aho?gan saon mijan ga ?uttux sa?iun /
條 所言 我等の は 一 十錢銀貨
- ⁶ ma?alapo: sin?aho?gan laga ?uttux pila
十 條 ならば 一 圓
- ⁷ la / asi nijasa u?i ko: a?i: no? nako: ata-
だ やはり 如其 又 は 珠紺 の アタ
- ⁸ ?an / ma?alapo: sin?aho?gan ga / ?uttux
ヤル 十 條 は 一
- ⁹ tunux saon mijan / ?ali ma?azi nako: pila
頭 所言 我等の 壹 其 の 銀貨
- ¹⁰ mijan sakani / ?uttux pila saon mijan ga /
我等の 現在 一 圓 所言 我等の は
- ¹¹ ?uttux tunux saon nako: na?okis /
一 頭 所言 の 老人

11. mattas
入墨

- ¹⁴ sami ka atagan ga / ?arari?an mattas
我等 其 アタヤル は 起原 入墨の
- ¹⁵ ga kalijanai miso / ?ali pintasan u?i ko:
は 所話 我の汝は 壹 所入墨 又 は
- ¹⁶ ?arari?an na na?okis mijan lala?li? / pa-
始 の 祖先 我等の 昔 所
- ¹⁷ ka?aga?an naha? ko: kaku?eh mattas ro:
練習 彼等の は 脚 入墨 ころが
- ¹⁸ ?alaci? naha? taxxan laro: ro: / ləməpəlup
良 彼等の 所見 たので 而 考
- ¹⁹ maha ?o: / "mowa? ta / ana asi sii sako:
いふ は 試 一 我等 若 其儘 所置 に

1. lapag-on 敷へる, 客體主. l-am-apo: 同上, 主體主.
3. sin-?aho?g-an 珠紺の具, 一厘錢などを糸に通した一聯.
4. ma?azi 異る, 大約, mas-mijai.
sa-kani 此處に, 現在此處に, 大約, sa-gani.
5. sa?iun=sipiun 十錢銀貨, < 客人語, 一個銀 git-ko-
gjun.
7. nijasa < naja-sa 其の通, 大約, ja-na-sa.
14. ?ar-ari?an 起原, 大約, ?a-?ari?an.

いふのはいつも彼等の珠紺が少いの
だ。その珠紺はいつも我々が勘定に
使ふ。其の一條は我々の鎌一挺に當
り,十條は鎌十挺に當る。現在の我々
の金と異つたことはない。我々が一
條といふのは,十錢銀貨一つに當り,十
條は一圓に當る。アタヤルの珠紺も
亦やはり其の通りで,十條を我々は一
頭といつてゐるが,現在の金と何の變
りもない。我々が一圓といふのを老
人達は一頭といつてゐる。

11. 入 墨

我々アタヤルは[入墨をしてゐる。
其の]入墨の起源を私はお前に話さう。
昔我々の祖先の始りには,入墨も有り
はしなかつたものだ。[或時]彼等が練
習の爲に,脚に入墨して見たところが,
美しく見えたので,其で考へて,我々が

15. kalij-an-ai < kajal-an-ai 話して上げよう, 用具主, 原
意, 汝は此から話してもらふ人ぞといふ義. kalij- <
kajal. ~k-am-ajal 話す.
p-in-ta-s-an 已に施された入墨, 又その度, pata:s-an
入墨を施す處, 顔など, 103頁, 3行, mattas 入墨をする,
13行, pattas 入墨, 103頁, 1行.
16. paka-?aga?an 練習を行ふ處, maka-?aga?an 稽古する,
大約, mak-?aq.
17. kaku?eh < kakai-eh 脚, 大約, kakai.
19. sii < si-i 置く, 客體主, s-am-i 同上, 主體主.

- ¹ ra?ijas ta ko: pattas hani / tijalagai kina-
顔 我等のは 入墨 此の 非常 良
- ² ?alaci? taxxan? / maha ko: ?onakis lala?
さ 所見 といふ は 祖先 昔の
- ³ li? / ?ari? kija laro: pata:san naha? ko:
始 其 それで 所入墨 彼等の は
- ⁴ ra?ijas la /
顔 了
- ⁵ ?ali asi nako: pattas mijan sakani ko:
壹 其儘 の 入墨 我等の 現在 は
- ⁶ pattas lala?li? / ?uttux naha? asi maso?
入墨 昔の いつも 彼等の 同時に 所終
- ⁷ mattas ko: ra?ijas naha? / asi ?akalux ko-
入墨 は 顔 彼等の 其儘 墨
- ⁸ wara ko: ra?ijas nako: na?okis lala?li? /
全部 は 顔 の 祖先 昔の
- ⁹ ?apa?o nija laga / mingaijuts ja?arin ko:
後 其 なる と 段々 狭 は
- ¹⁰ pattas naha? la /
入墨 彼等の 了
- ¹¹ pattas kasa ga ?ali mowah nannak /
入墨 其の は 壹 來 自分
- ¹² asi ki: a?owan ko: mowah mattas ga / pa-
やはり 時 所報酬 は 來る人 入墨に それで 所
- ¹³ ta:san naha? ko: ra?ijas / kanaerin heja ga
入墨 彼等の は 顔 女 其 は
- ¹⁴ pata:san naha? ga / min?ari? solowan ga /
所入墨 彼等の ときは 始まる 曉 すると
- ¹⁵ tari?un naha? mattas ro: / sao?eh paka-
所始 彼等の 入墨は 而 近 誤
- ¹⁶ ?up wawitox ga / maso?un naha? mattas
太陽 其時 所終 彼等の 入墨を
- ¹⁷ ko: kanaerin heja / mowah mattas kasa
は 女 其人 來る人 入墨に 其の
- ¹⁸ ga / paka?ala?alaci?an naha? pakani? ko:
は 所餐過 彼等の 使食 は
- ¹⁹ mowah mattas / gi: ?aa? ləməpəlup ro: /
來る人は 入墨に 爲に 上手 考 而
- ²⁰ lowan nija ko: mattas / aa?owan nako:
所考出 彼の は 入墨 報酬 の
- ²¹ mowah mattas kasa ga / kija ko: maha-
來る人 入墨 其の は 其 は 安價な

試に,此の入墨をそのまま我々の顔に
入れたら,非常に美しく見えるだらう。
と昔の祖先がいつた。其が始りで彼
等が顔に入墨する様になつた。
昔の入墨は現在の我々の入墨の様
なものではなかつた。いつも彼等が
其の顔に入墨をしてしまふと同時に,
昔の祖先の顔は其のまま全部眞黒に
なつた。其後になつてから,彼等の入
墨は段々と狭くなつた。

其の入墨は自分をするのではない。
やはり入墨しに來る人に報酬を與へ
ると,彼等が顔に入墨をしてくれるの
だ。彼等が女に入墨するときは,夜が
明けると,彼等が入墨を始めて,日没頃
になつて,彼等は其の女に入墨してし
まふ。入墨に來る人には,彼等が御馳
走を食はせる。それは入墨師に,旨く
考へて,良い模様を工夫してもらふ爲
である。其の入墨師の報酬は,安い
は七東(鎌鉾など五つづゝ東にしたも

1. kina-?alaci? 良さ, 美しさ. ~?alaci? 良い.
6. maso?-i ...してしまふ, 客體主, maso? 同上, 主體主.
12. a?ow-an 人に賃銀を與へる, 位置主, in-a?o 與へた賃
銀, a-a?ow-an 與へるべき報酬, 20行.

14. solow-an 明るい時, 曉, s-am-lo はつきりする.
15. tari?un 始める, 客體主, ?ari?un 始.

- ¹ nuk ga mapito βaniig / sakani ga mapito
の は 七 束 今 は 七
- ² pila saon ta / kija ko: laokah ga masapats
四 所言 我等の 共 は 高價なのは 八
- ³ βaniig / sakani ga masapats pila saon ta /
束 今 は 八 四 所言 我等の
- ⁴ mowah ko: gippun skani laga / tsugan
来 が 日本人 今 それから 三
- ⁵ pila ko: aa?owan la gi: saogalan naha?
四 は 報酬 了 故 所欲 彼等の
- ⁶ ko: pila / lahegan ma'laax sako: tsugan
は 金 結果 止める な 三
- ⁷ pila ko: aa?owan mijan / gi: ma'gan sami
四 は 報酬 我等の 故 取 我等
- ⁸ so: gaga? na gippun la /
な 習慣 の 日本人 了
- ⁹ sami ka tamalug ga / minowah kamo:ts
我等 共 男 は 行つて来る 殺
- ¹⁰ palmukan laga: / patalahogan ko: tamalug
本島人 それから 所入墨 は 男
- ¹¹ la / ana ?uttux ko: kottan nako: na?aki:is
のたでも 一人 は 所殺者 の 祖先
- ¹² laga / ana ha?agao ko: lala?i mosa malo:
併 ても 大勢 は 子供等 行 同件
- ¹³ magaga? laga / asogan nija so: papina ?ut-
出草 すると 所分配 彼の な づつ 一
- ¹⁴ tux saino:nux / mowah laga / patalahogan
本 髪も 歸 それから 所入墨
- ¹⁵ kowara ko: manowah kamo:ts palmokan
皆 は 行つて来た者 殺 本島人を
- ¹⁶ kasa la / lamoheig marakijas kija ko:
其の のた 生結果 成長 共 は
- ¹⁷ lala?i / asi ga βaihoi kinainikijaga maraki-
子供等 共儘 風 速いこと 成長
- ¹⁸ jas / nano ko: ata:zan ga / kija ko: pa?ux
何 は アタヤル は 共 は 多
- ¹⁹ wa?an naha? kottan ga / pata:san naha?
既 彼等の 所殺 すると 所入墨 彼等の
- ²⁰ ko: βaskutao naha? / kija ko: tikui la
は 胸 彼等の 共 は 少かつた

の、即ち今日我々の七圓といふの〔に當る〕。又高いのは八束、即ち今日我々の八圓といふの〔に當る〕。日本人が来てからは、入墨師は金を欲しがつて報酬は三圓になつたが、我々が日本の習慣をとる様になつた故(入墨を廢止)其の結果として、我々の報酬の三圓も止めてしまった。

我々男子は本島人を殺しに行つて歸つてから、額と頸とに入墨することになつてゐる。一人殺す時でも、祖先は子供等まで大勢連れて出草に出掛ける。而して〔臍首した首の〕髪のを一本づつ彼が〔子供に〕分配してやる。

歸つてから、その本島人を殺しに行つた者は皆入墨することになつてゐる。其の結果として、其の子供等は、風の様な速さで成長する。擬、アタヤル〔の習慣〕では〔人を〕澤山殺したものは、其の胸に入墨する。殺すのが少かつた者は、

1. βaniig 蛇、鎌などを五つしづつ束。
6. laheg-an 結果、原意後に續いて来る物、事、I-am-obeig 結果を生ずる。16行。loheig …の續き。
10. pata-lahog-an 顔に入墨する < lehoi 額、本来は顔なれども顔の入墨ないふ。
13. asog-an 分配する、位置主、um-aso: 同上、主體主。
17. kina-ini-kijaga 速さ、kina-…さ、ini 不、ini ki-jaga

<ini ka-jaga 原意は速くない、速さの義なれども反對に速さの義となる。比、jaga so 汝早かつたね、ini ki-jaga 早かつた、否定の有無に關せず同義を有する特例なり。
19. pata-an, patas-i 胸を主體とし何れも入墨する處の義なれども否定の場合は必ず-iを附して patas-iとなる。他の動詞も皆此に準ず。比、105頁、1行。

- ¹ wa?an kottan ga / ini patasi ko: βaskutao
既 所殺 すると 不 所入墨 は 胸
- ² naha? /
彼等の
- ³ minowah sami kamo:ts palmo:kan ga /
行つて来る 我等は 殺 本島人を 其時
- ⁴ mahahowao sami ta?to?i / taihok sami sa-
叫 我等は 道々 到着 我等は 家
- ⁵ li? laga wahan mijan kowara ma?owas
に すると 所來 我等の 皆 諸
- ⁶ ko: tunnux na palmo:kan la / kinsa:san
は 首の處 の 本島人 のた 翌日
- ⁷ nija laga / maslala:mo? sami laro: / pasta-
其の なる と 集 我等 而 所歸
- ⁸ jil'an mijan ro: / siun mijan alappao ko:
我等の 而 所置 我等の 首に は
- ⁹ tunnux na palmo:kan / kija ko: sinaho?
首 の 本島人 有 は 搦いた物
- ¹⁰ amo? nako: kanaerin mijan laga / ?uttux
粉餅 の 妻 我等の ば いつも
- ¹¹ mijan siun sako: pa?owa? nako: tunnux /
我等の 所置 に 口 の 首
- ¹² ka?agehan mijan laogi ro: / sapaka:ni?
所取出 我等の 再 而 所使食
- ¹³ mijan sako: lala?i mijan / ka: manowah
我等の に 子供等 我等の 共 行つて来た者
- ¹⁴ magaga? kasa / sapa?owao mijan laro: /
出草 其の 酒を作る譯 我等の 而
- ¹⁵ sa?lijap mijan ro: / maho'in ko: ?owao
持する譯 我等の 而 熟 が 酒
- ¹⁶ mijan laga: / ?uttux mijan sakawahok
我等の すると いつも 我等の 所招待
- ¹⁷ sako: ?uttux ?alag ro: / ja:sa ko: mowah
を 一 社 而 共 は 來
- ¹⁸ mano?o: sako: ?owao mijan /
飲 を 酒 我等の

其の胸に入墨しない。

我々が本島人を殺して歸る時は、我々は道々喊聲を擧げつゝ歸つて来る。我々が家へ歸ると、我々は皆本島人の首の處に来て謠ふ。其の翌日になると、我々は集つて踊つて、本島人の首を首欄におく。我々の妻の搦いた粉餅を、我等はいつも首の口に入れる。〔而して〕再び其を取出して、我々は、その出草から歸つた我々の子供に食はせる。我々は〔祝ふ爲に〕酒を作り、又狩に出かける。而して我々の酒が熟すると、我々はいつても全社の者を招待する。其で皆が来て我等の酒を飲むことになつてゐる。

7. pas-tajil-an 踊る時、mas-tajil 飛越る、転飛、踊る。
9. s-in-aho? 搦いた物、s-am-aho? 搦く。
11. pa?owa? 口、大豹、naqowaq。
12. ka?ageh-an 取出す處、li. ka?ageh 土中の物など掘り出す。

sa-pa-ka:ni? 食はせる物、材料、用具主、mani? 食ふ。
14. 15. sa-pa-?owao 〔酒宴の〕爲に酒を作る、sa-?ilijap 〔酒宴の〕爲に狩する、用具主、sa- 〔は用具、理由を表はす接頭辭、pa-?owao 酒を作る、?am-?ilijap 狩する。〕

II

サイシャット語

語法概説

及び本文

サイシャット語語法概説

I. 分 布

サイシャット語は新竹州竹東郡、竹南郡、大湖郡管内の山地に居住せるサイシャット族(Saisijat, 又 Saisiat ともいふ、人口約一千三百)の用ゐる言語にして、音韻上二種の方言に區別することを得べし。竹東郡方面のものはエ又は弱きエを有するに對し、竹南郡方面のものは之を弱きκに轉するか、又は之を失ふ。以下記述する所は竹東郡大隘社の言語によれり。

II. 音 韻

1. 母音, [i], [ɪ], [e], [a], [o], [ɔ], [u], [ɯ], [œ], [æ].
 1. [i], [ɪ], [e] は同類音なり, [h], [ʔ], [r] の前後に於て [i] は [e] となるを普通とす。
 2. [o], [ɔ], [u] は同類音なり, [h], [ʔ], [r] の前後に於て [o], [u] は [œ] となり, 又 [a] の後に於て [u] は弱き [ɔ] となる。記載には [o] 又は [u] を用ゐたり。
 3. [a] は [ʔ] の前に於て [æ] となる。
2. 子音, 兩唇音, [p], [m], [β], [w]. 齒音, [t], [n], [s], [z], [l], [r], [ɹ]. 硬口蓋音, [j]. 硬口蓋化音, [ʃ], [ʒ]. 軟口蓋音, [k], [ŋ]. 懸壅垂音, [x]. 聲門音, [ʔ], [h].
 1. [s] は舌尖に力を入れずして發音す。
 2. [l] は アタヤル の l に似たり。
 3. [r] は舌尖に力を入れて發音するにより 'r の如く開ゆ。
 4. [ɹ] は摩擦の程度弱き爲め、竹南郡方面にては弱き [x] 音に轉じ或は之を失ふ。
 5. [ʃ] は アタヤル に同じ。
 6. [x] は懸壅垂部の有聲摩擦音なり。語末に来るエは大隘社に於ても之を弱き [κ] に發音す。本文に於ては [x] を小書せり。
3. 揚音, 普通語末の音節に高低揚音を有す。

III. 形 態

1. 接頭辭及び接頭辭と挿入辭接尾辭との結合。
a-...-om-, am- 主體主, 現實未來, a-om-ural 雨が降るだらう, 此から降る雨, am-rima

行かう、此から行く者, am-lobueh 歸るだらう、此から歸る者。

am-...-om-(-m-) 主體主、一般未來, am-r-om-a²œ 將來飲む者, am-s-m-i²al 將來食ふ者。

in- 客體主、一般過去, in-sawi 破つた物, ~ma-sawi 破る。

ja- ja-ulugeh 黒, ja-pajilah 赤, ja-lowai 圓, 満月, ja-saumsum 夕方, ja-wazwaz 夜半。

ka- (1) 過去, ka-heja 昨日, ka-ino-an 何時(過去), (2) 方, ka²nal 右, ka-li 左, (3) 物 (?)

ka-hma 舌, ka-oxas 筋, ka-ti²is 甘蔗, ka-h²o² 小便。

ka-ma- 常に...する者, 常職, kama-tal²omah 農夫, kama-te²paji 商人, kama-maruma 盜賊。

ka-pai- ...する物, 飾物, ka-pai-iima 腕飾, ka-pai-a²ai 脚の飾。

ka-pasu- ka-pasu taai タアイ(昔の矮人種)の祭。

ka-po- ka-po-masa 日鏡(目に用ひる物?) < masa 目。

ka-su- kasu-lata² 外に出る, kasu-asap 蕃社を移す。

ki- 採る, ki-oai 藤を採る, ki-pazai 稻刈。

kin- 甚だ, kin-lehpeh 甚だ薄い, kin-akoi 餘り多い, kin-hoepai 甚だ疲れる。

kis- 行ふ, kis-tomal 実際に行ふ, am-kis-rinaol-an 招待を行ふ歌。

m- 主體主、一般現在, m-oai 來る, m-ainaa 待つ。

ma- 主體主、一般現在, ma-ruma 盗む, ma-lurai 下る, ma-skis 寒い, ma-poliq 聾。

maja- 主體主、一般現在, maja-kai 話する, maja-rawa 番する。

ma-ku- 主體主、一般現在, maku-hahewa 履物をはく, ~Atay. maki-ejamil 同上。

m-in- 主體主、一般過去, m-in-ahoek 沸いた物, 湯など, m-in-ai 行つて來た者。

min-...-an min-pazaj-an 蕪 < pazai 稻, min-kuriq-an 女, ~kur-kuriq 子, min-ta-tini-an 百步蛇 < ta-tini 年長, 百步蛇は蛇の長者なりといふ。

na-...-om- 主體主、一般過去, na-i-om-upas 鳴いた[雞が]。

pa- 使役, 又は他動, pa-orai 雨を降らせる, pa-kita 見せる, pa-hela² 日に干す。

pasu- 作る, ...する, pasu-kaizah 良く作る, pasu-taai タアイを祭る。

ja- ...になる, 變ずる, ja-²pai 風になる, 吹く, ja-kowau 蔭に成る。

sai- sai-siat サイシャット, sai-papa²s 前山蕃, sai-tenhakos 後山蕃, sai-rakis 大陸社。

si- 用具主、一般現在, ...の爲の物, si-rimi² 染る爲の物, si-taæ² 削つてやる爲の者, si-ra²o 飲む具, 茶碗など。

ti- ti-iima 手を洗ふ, ti-a²ai 脚を洗ふ。

2. 挿入辭及び挿入辭と接尾辭との結合。

-in- 客體主、一般過去, t-in-u²o² 挿込んだ物, s-in-u²il 遺した物。

-in-...-an 位置主、一般過去, s-in-ako²-an 葺いた處, 屋根, s-in-awi²-an 破つた處, 破つた物, 破れ目, p-in-atas-an 入墨した痕。

-um-, (-œm-) 主體主、一般現在, k-um-ita 見る, s-um-a²es 縫ふ, h-œm-œhoe 乳を飲む。

-um-in- 主體主、一般過去, k-um-in-ita 見た, s-um-in-i²al 食つた。

3. 接尾辭及び、接尾辭と接頭辭挿入辭との結合。

-ai 位置主、現實未來, pasu-taaj-ai タアイの祭をしよう[此の時]。

-an (1) 場所, kaja-rawa-an 番する處, s-in-i-ksik-an 開墾した處, ka-saop-an 坐る處。

(2) 時, haro-an 日暮, ka-helar-an 晝, (3) 物, lehpeh-an 薄い物, walis-an 牙の物, 山脈,

(4) 用具, ka-lalohaj-an 玩具, ka-si-iima-an 腕輪。

-an-ai 用具主、現實未來, parei-an-ai 塗つてやらう[人の爲に], aras-an-ai 持つて行つてやらう[その人に]。

-an-i (1) 用具主、命令, ²oaj-an-i 與へてやれ[其人の爲に], sumil-an-i 集めてやれ[其人の爲に], sahoe-an-i 焼いてやれ[其物を以て], ta-²zeh-an-i 代へてやれ[其物を以て], (2) 用具主、否定, oka²i taja-an-i 作つてやらない[其人の爲に]。

-au (1) 客體主、現實未來, si²al-au 食はう[其物], ki-pazaj-au 稻刈りしよう[其稻], (2) 位置主、現實未來, kita-au 見よう[其處], ²oaj-au 與へよう[其人に]。

-i, (-e) (1) 客體主、命令, si²al-i 食へ[其物], (2) 客體主、現實現在, aras-i 今伴ふ者, (3) 位置主、命令, kita-e 見よ[其處], ²œlo²-e 閉めよ[其處]。

-in < -in (狭母音を有する音節の次に來る時) 客體主、一般現在, sawi-in 破る[其物], kai-in 掘る[其穴], sael-in 隠す[其物], azep-in 削る[其物]。

-on < -in (母音 o の次に來る時) 客體主、一般現在, rao-on 飲む[其物]。

-œn < -in (聲門破音²の次に來る時) 客體主、一般現在, ²œlo²-œn 縛る[其物]。

-in 客體主、一般現在, si²al-in 食ふ[其物], rakip-in 捕へる[其物]。

4. 反覆

a. 單純なる反覆

(1) 複數, aha-ahal 友達。

(2) 強意, ra-rahœ 大きい, 全部, kit-kita よく見よ, heki-hekil 小指。

(3) 相互, ka-kuriq 互に喧嘩する, ka-kita 互に見る, 面會, ka-karas 咬合ふ。

(4) 用具, ha-hœwal はさむ具, 箸, sa-sapœh 掃く具, 箒, ²œ-²pai 與へる爲の物, ka-kai 話す爲の事話の種, 用事。

b. 反覆と -an

(1) 強意, 位置主, β ato- β ato-an 石の多い處, 石原, β on- β onaz-an 砂の多い處, 砂原, 川原
ri-rim²an-an 丁度明日になつた時, 朝, 比. rima²an 明日。

(2) 強意, 形容詞, al²alih-an 甚近い, ol²ola-an 甚小さい, li-lowaj-an 甚圓い。

c. 反覆と -in, 強意, 客體主, kit-kita-in よく見る[其物], hip-hipha-in 丁度半分にする[其物] <hipha 同じ。

IV. 品 詞

1. 冠 詞

1. 一般冠詞 2. 人的冠詞 3. 人的冠詞複數

主格	ka	he	la
屬格	no-ka, no	ni	ni-la
其他	ka, i	kah	kah-la

ka, Paiwan 等に於ける a に相應す。

no-ka, Paiwan の no-a に相應す。

i, …の處に……の處へ, 比. IN. i.

he < *hi, 比. IN. si. ni 比. IN. ni.

la, Tagalog に於ける人的冠辭複數 si-na の na に相應す。

造格は屬格に同じ。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 j-ako, j-au	ʃoo	he-za	heja
	屬格 maan, in-man-a	-ni-ʃoo, in-ʃo-a	-ni-sea, in-sea-	-ni-heja, in-heja-
	其他 -ini-maan, j-ak-in	-ini-ʃo, iʃo-on	he-sea	?
複數	主格 j-ami	mojo	he-za saʔuh	
	屬格 -ni-ja ² um, in-njami	-ni-mon, im-mojo-	-ni-sea saʔuh	
	其他 ini-ja ² um	ini-mon	he-sea saʔuh	
含複對話者數	主格 i-ta			
	屬格 -m-ita, -im-mita-			
	其他 ini-mita			

固有人名詞, 又は親族名詞と共同的に用ゐらるゝ人代名詞は單數の場合に在りても, 尙複數の形を取る。jami ke ʃoŋ 我等一と一ボン=ボンとの我等, 即ち我とボンと, jami ke jama 我等一と一父=父との我等, 即ち我と父と, mojo ke tamah 汝等一と一汝の父=汝の父との汝等, 即ち汝と汝の父と。

b. 指示代名詞

此れ, hi-ni	其れ, isa-za	あれ, he-za
此の, hi-ni	其の, isa-za	あの, he-za
此處, isa-ni	其處, isa-za	彼處, isa-sun

c. 疑問代名詞

何	何處	何時(過去)	何時(未來)
ka-no	i-no	ka-ino-an	ino-an

3. 數 詞, (單語集參照)

一より四に至るまでは IN. と同語に屬すれども, 五以上の數は全く別語を用ゐる。殊に七は六と一との結合したるものなることは注意すべし。八は四の倍數なる事 アタヤル に同じ。九の語 aha の ha は一(aha)の語と同語ならん。sam²eah (二十)は未詳。ma-toxo-l (三十)は アタヤル と同じ構造なり。mun-spat (四十), mun-iasu² (五十)等九十に至るまで皆 mun- を冠す, アタヤル の min-xa-l (一度), Tagalog の min-sa-n (一度)の min- に相應するものなるべし。

4. 形容詞

a. 單純なるもの, akui 多い, kaizah 善い等。

b. ma- を用ゐるもの, ma-skis 寒い等。

5. 動 詞

a. 分類, 第一類, 第二類(總説, 動詞の條參照)。

b. 時相, (アタヤル 時相の條參照)。

	第一類		第二類	
	主體主	客體主	位置主	用具主
現實現在	si ² al (食)	si ² al-i (食)	ʔilu ² -i (閉)	taja-an-i (作)
一般現在	s-um-i ² al (")	si ² al-in (")	?	si-si ² al (食)
現實過去	s-um-i ² al ila (")	?	?	?
一般過去	s-um-in-i ² al (")	s-in-i ² al (")	s-in-opan-an (詞)	s-in-i-kira-an (目標)
現實未來	a-s-um-i ² al (")	si ² al-au (")	pasu-taaj-ai (ヌアイ祭)	aras-an-ai (持行)

一般未来 am-s-um-i²al (食) ka-si²al-in (食) ka-sopan-an (飼) ka-si²al-an (食)

(註) s-in-opan-an 前に何つてゐた處, ka-sopan-an 飼ふべき處, 飼ふ處, pasu-taaj-ai 夕アいの祭をし
よう(其の時), taja-an-i 其人の爲に作つてやる, 作つてやる理由(其人), s-in-i-kira-an 知ること
の出来る爲にした物, 目標, aras-an-ai 其人の爲に持つて行つてやらう, 持つて行つてやる
理由(其人), ka-si²al-an 食ふ道具, 食器。

本表は材料不備の爲め未詳の部分あり, 尙研究を要す。

- c. 命令 前に出せる表中, 第一列, 現實現在はそのまゝ命令として用ゐらる。
d. 否定 全部, 第一類現實現在の形を用ゐる。

- α. 現實否定, oka²i si²al 食はない, 今食する者でない, oka²i oai 来ない, 今来る者でない。
β. 一般否定, okek rajam 知らない, okek ka-kita 面會しない。
γ. 禁止, ize si²al 食ふな, ize kita 見るな, izek tikot 恐れるな。
δ. 有に對する無は oka を用ゐる。

6. 副詞

- a. 純粹の副詞, san 真に, kin 甚だ, nahan 最早, 尙もつと, 亦, 再, atomal 本當に等。
b. 形容詞に am- を附して副詞的動詞を形成することあり, 原形, ²amoeh 早い, am-²amoeh raxio 早く…する一逃げる = 早く逃げる, 原形 kin-kaizah 甚だ良い, am-kin-kaizah 甚だ良くなる。

7. 接續詞

- ki …と…と, アタヤルに同じ。
o: それで, 而して, それからなど, アタヤルの ro: に相應す。

8. 結 辭, 結辭に ka と a と i の三種あり。

ka の例, t-in-u²o² ka kiko² 挿入した物一即一尾 = 挿入した物で出來た尾, 115頁, 14行參照。

a の例, ni-jama a malat 父の物一即一刀 = 父の刀, in-²soa a raro 汝の物一即一名 = 汝の名, βai² a t-um-inun 怠る者一即一織る者 = 織ることを怠る者。

i の例, nini i no-ka walisán a kiko² 此一其物一之—山脈一即一尾 = 此は山脈の尾。

9. 助辭 (1) …ila, …した。
(2) …ilah, …しよう。
(3) …ai,, …nai, …か(疑問)等。

1. 大 隘 社
(Sairakis)

1. rusup
猿

1. 猿

- ² kakhaizaan oka² ka rusup / ka korko-
大昔 無 は 猿は が 子供
³ ri² rusup o: haiza ila ka rusup / rima
成猿 而 有 了 は 猿 行
⁴ rara²o² ka tatini / oka²i arasi noka ta-
共に飲 は 老人 不 所作 の 老
⁵ tini ka korkori² o: / βi²o² ila ka korkori²
人 は 子供 それで 怒 了 は 子供
⁶ o: komosa / "jami si²uloe² noka tatini o:
而 いふ 我等は 所捨 の 老人 而
⁷ jami amrima ila rusup" o: / komosa
我等は 行 の 成猿 而 いふ
⁸ ila / "tapaitata ka roe²o² o: / tatao²un ila
了 搗かう を 糯米 而 餅を作らうよ
⁹ o: / porejanai mita ka mininuthag o:
而 所捨 我等の を 孔處 而
¹⁰ kamnakhezaan rai kinroeh / palia kati-
彼處 處 梁 つける 出
¹¹ sninan ka paizizaan mita" komosa o:
入口 即 通る處 我等の といふ 而
¹² tumao²un / tumao²un sezah ela / maha-
搗餅 搗餅 出來 了 相
¹³ jahazag komosa "ta tu²o² noka βaja² am-
談 いふ 我等 挿入 以 帶
¹⁴ kakiko² mita" / sezah ela ka tinu²o² ka
可爲尾 我等の 出來 了 は 所挿入物 即

大昔は猿が居なかつた。子供が猿
になつたので, 其で猿が有るやうにな
つた。[或時]老人が一緒に酒を飲み
行つた。ところが老人達は子供達を
作れて行かなかつたので, 子供達は怒
つて, [我々は老人に捨てられたのだから,
我々は行つて猿に成らう]といつた。
[而して又]我々は糯米を搗いて餅を作
らう, そして[家の中の]孔のある處を登
りつぶしてやらう, 只梁のある彼處丈
残して, 我々の通る出入口にしよう]と
さういつて, しきりに餅を搗いた。餅
が出來上ると, 彼等は相談して[我々は

採録期: 昭和六年十二月新竹州竹東郡シマジー社にて調査。
口授者: 大隘社(sairakis)の, atau taja², 53歳, 男, taja:
juma², 61歳, 男。

- 説明者: 同上, iβan taja²: 35歳, 男。
2. ka 冠詞, 主格, 目的格等, 即ち屬格, 連格以外の格。
3. ja-rusup 猿に成る。rusup 猿。Mal. lutong. ja 成る。
o: 而して, それで, それから等。比. Atay. ro:
ila …になつた, …した, …(する)のだ, …(しよう)よ,
…ぞ。比. Ataj. la.
4. ra-ra²o² 共に飲む。r-um-a²o² 飲む。
aras-i 伴ふ者, 客體主, 子供, om-aras 主體主。
no-ka 冠詞, 屬格。
6. k-om-osa さう言ふ。主體主, kosa-in 客體主。
si-βuloe² 見捨る所となる者, 用具主。βuloe² 見捨る。si-
用具主の接續辭。比. Atay. sa-, Paiw. si-, IN. i-。
7. am-rima 此から行く。主體主。am-現實未来の接續辭。

8. ta-pai-tata 搗かう。未来, 主體主 (?) ta- は未来, 原意は
我等の義 (?) mai-tata 現在, 118頁, 註 16。
ta-tao²un 餅を作らう。未来, 主體主 (?) t-um-ao²un
現在, 12行。
9. porej-an-ai 誰りつぶしてやらう。現實未来, 用具主。
老人, pore² 誰る。
m-in-in-uthag 孔の開いてある物, 主體主, muthag 孔。
10. kam-nak-heza-an ああいふ處, nak-heza あゝの通り。
heza-an 彼處。
11. pai-ziza-an 通る處, mai-ziza 通る, 主體主。
12. ma-haza-hazag 互に相談する。ma-hazag 話す。
13. tu²o² 挿込む。t-in-u²o² 挿込である物, 14行。
am-ka-kiko² 尾の材料にしようとする者, 主體主。
kiko² 尾。比. IN. ikor². ka- は反覆にして用具, 材料
を表はす。

- ¹ kiko^o / "tailaila" sa o: / marai ki-
尾 そこで 行かう といふ 而 から
- ² nroeh kasulata^k o: / kapokpok ila jarusup
梁 出外 而 噂ながら 了 成猿に
- ³ ila / aroma rima ila / aha ila nanao / okik
了 他人 行 了 一人あつた 只 非
- ⁴ wa²isan / loehapurin noka tatini o: ra-
強者 所追附 の 老人 而
- ⁵ kipin ila o: / raraetin ila o: / pa²jakaiin
所捕 了 而 所止 了 而 所話
- ⁶ kosain / "ize ila osa soo / soo aha ila
所言 勿 よ 行 汝は 汝は 一人 なつた
- ⁷ nanao / numpama ka korkorig^o / pa-
只 負 ぬ 子供 而
- ⁸ pamain ka korkorig ila / rima ila taro²e-
所使負 は 子供 了 行 了 上る
- ⁹ tul rai kahoei o: / toma²æ:s ka korkorig
處に 木の 而 放 ぬ 子供
- ¹⁰ o: / paksahæ²in o: / komosa "heson ila
而 所使落 而 いふ 行 其處 了
- ¹¹ korkorig o: / jako sisila ila / pil²awan
子供 而 我 分れる よ きよなら
- ¹² oja² /
母よ

2. kamahe:los
カマヘーロス

- ¹⁷ komosa tatini / kakhaizaan sin kosain
いふ 老人は 大昔 者 所言
- ¹⁸ kamahe:losun o: / su²aroe: ka pa²as o: /
カマヘーロスと 而 大 は 口 而
- ¹⁹ so: rima ²umalup ka ma²uah / so: haiza
時 行 狩 が 人々 時 有
- ²⁰ pinasozau ila / helosin noka kamahe:los
所追出物 了 所吸込 の カマヘーロス

2. kasu-lata^k 外に出る。lata^k 外。
4. loehapurin 追附く者、客體主。
4. rakip-in 捕へる者、客體主。
5. raraet-in 止める者、客體主。r-um-araet 主體主。
pa²ja-kai-in 話す者、客體主。kai 話、語。
7. num-pama 負ふ者、主體主。pa-pama-in 負はせる者、客體主。pa- 使役。

帯を[尻に]挿込んで尾にしようといつた。挿込んだ尾が出来上ると、[さあ]行かうといつて、梁の處から外へ出て、啼きながら猿になつた。[子供の内]他の者は皆行つたが、只一人残つた。其は強くなかつたので、老人に追つかれて捕へられて引止められた。すると老人は汝只一人になつた。汝行くな、汝は子供を負ふのだといつた。而して彼は子供を負はせられたが、彼は木に登つて[負つてゐる]子供を放して落した。そこで子供は其處へ行つたよ、私はお別れする。左様ならお母さんといつて[行つてしまつた]。

2. カマヘーロス

老人の話に、大昔カマヘーロスといふ人が居つたさうだ。口が大きくて、狩に行つた時、人々が獸を追出すと、彼はその追出した山豚と犬とを、自分丈

10. pak-sahæ²in 落す物、客體主。比。119頁、註4。

19. ²um-alup 狩する。Atay. q-om-alup.

20. p-in-a-souau 追出した物、客體主。s-um-ouau 追ふ、主體主。

helos-in 吸込む物、客體主。kama-he:los 人名。常に吸込む者の義、16行。<he:los 吸込む。

- ¹ nonak ka pinasozau walisan o: ahoe /
自分 は 所追出物 山豚 と 犬
- ² isaza imahowes ka rin²az²azum noka
それで 惡 が 機嫌 の
- ³ sa²oeh o: / sipahazaharap komosa / "ta
昔 而 相談の譯 いふ 我等の
- ⁴ sahoani ka ²ato o: / ta papasazi ila^o /
所燒 は 石 而 我等の 所殺者 ぞ 而
- ⁵ sisahoe ila sa²eraz o: / ta²ta²oin ila ka
所燒 了 本當に 而 所轉 了 は
- ⁶ ²ato o: / komosa "hason ila walisan^o /
石 而 いふ 行 其處 了 山豚が 而
- ⁷ kosain o: / si²alin ila o: masaz ila /
所言 すると 所食 了 而 死 了

3. ahoe
犬

3. 犬

- ¹⁰ kakhaizaan aka ka ahoe / mahazaharap
大昔 無 は 犬 相談
- ¹¹ ila ka tatini o: / "taila ta mare ka ahoe /
了 は 昔老人 而 行かう 我等 取 ぬ 犬
- ¹² poaao mita ihan / oka²e arasanai mita ka
可如何 我等の かしらん いやあつた 所持行 我等の ぬ
- ¹³ tinao²un / oka²e ta²uehani ka rokol / ka-
餅 いや 所代 は 里芋
- ¹⁴ izah zomipas ka pa²as noka ahoe / isaza
良 粘着 に 口 の 犬 それが
- ¹⁵ amkinkaizah / taila ila tatalam ta mare
其良いだらう 行かう ね 試みよう 我等 取
- ¹⁶ ka ahoe² / komosa o: rima ila / "kino-
を 犬 といふ 而 往 了 見風
- ¹⁷ ²areani / imahowes sumazik ka ahoe /
向 惡 嗅 が 犬
- ¹⁸ osazao noka ²inleh ila² / komosa ka tatini
所投 以 團子 よ といふ は 昔人

1. ahoe 犬。IN. asu. h<IN. s. h を伴ふとき、u>æ。
3. si-pa-haza-hazap 相談する原因、用具主。比。115頁、註12。
4. saho-an-i 其の爲に焼く物、現實現在、用具主。si-sahoe 同上。一般現在、用具主。5行。
pa-pasaz-i<pa-pasai-i 殺者、現實未來、客體主。masaz ila <masai ila 死んだ。々は次のiの爲の轉化。IN. matai。
5. ta²tr-²o-in 轉がす、客體主。t-um-a²-ta²o 主體主。
7. si²al-in 食ふ物、客體主。s-um-i²al 主體主。
12. aras-an-ai [犬の爲に]持つて行つてやらう。用具主、現

で吸込んだ。それで他の人は皆面白く思はない。彼等は相談して、我々は石を焼いて、彼を殺さうといつた。而して本當に石を焼いて轉がした。而して[山豚が其處へ行つたぞ]といつた。すると[彼は]その石を食べたので死んでしまつた。

大昔は犬がなかつた。老人達は相談して、我々は犬を捕りに行かう。如何いふ風にしようか。いや判つた、餅を持つて行つてやらう。いや里芋にかへよ。里芋はよく犬の口に粘り着くから其がよからう。行つて犬が取れるか試して見よう。といつて出掛けて行つた。[風の方向を見てくれ、犬が嗅付けるといけない、團子を投げよ]

實未來、犬 um-aras 主體主。
13. t-in-ao²un 作つた餅。t-um-ao²un 餅を作る。主體主。ta-²ueh-an-i 取替る物にせよ、用具主、命令、里芋。~ lobueh 歸る。
15. am-kin-kaizah 大變良いだらう。kaizah 良い、13行。
16. kino-²aze-an-i [我の爲]風の方向を見てくれ。命令、用具主。我。am-kino-²aze 風の方向を見ようとする。主體主。vae 風。
18. osaz-²au 投げよう、現實未來、客體主。um-osa² 投げる。主體主。si-osa² 投げる爲の物、用具主。118頁、1行。

- ¹ ila o: / siosa^u ila e: jahoer / nakisaza ila
了而投了へ下如其了
- ² o: / kakaras ila ka ahoe / zipasin ila noka
而咬合了は犬所粘着了の
- ³ pinleh ila o: / simare ila ka kilkilu o:
圍子了而所取了は小犬而
- ⁴ somorau ila ka ahoe o: / si²as²asukan ka
追掛了は犬而方々に置く所は
- ⁵ pinleh o: / maipol ila ka pinleh oka² ila
圍子而邪魔物了は圍子不了
- ⁶ sakil / oka²i karas ila / isaza ila o: tomi
追附不咬了其了而
- ⁷ hoeroi ila ka ahoe / haiza ila ahoe jami /
得了な犬有了犬が我等は
- ⁸ isaza o: ?umalup ila ka walisn / haisia
共而狩了な山豚尙有
- ⁹ ila haisani / nak isaza ka kari noka tatini
了現在如其は話の昔の人
- ¹⁰ ka sinu²il jami /
其所遺物我等

4. saipaharaharan
サイバハラハラン

- ¹⁴ saipaharaharan pilpazai sumi²al ka ap-
サイバハラハラン 炊飯 食な
- ¹⁵ hal / kitain ni kalo²upluz / kalo²upluz
湯氣 所見のカロヴンルズ カロヴンルズ
- ¹⁶ komosa / "ta² jako tasi²al / kitkita jakin
いふ 所興 我は 食はう よく見よ 我な
- ¹⁷ insa²an" o: / rima ila sumi²al ka pazai /
後で 而 行 了 食 な 飯
- ¹⁸ san hiphipha²in imasiza kin²akoi o: / "kit-
真に 所半分 此位 大變多 而 よく

1. e: <1 場所を表はす. IN. i.
jahoer 下. 比. Atay. jaho² 道の下の方. Mal. laut 海
の方. IN. *laud.
nak-isaza 其の通り.
2. ka-karas 咬合ふ. k-um-aras 咬む. 主體主. 比. Atay.
k-um-atts.
zipas-in 粘着する物. 客體主. z-um-igas 主體主.
3. si-mare 取去る爲の物. 用具主. 小犬. mare 取る. 117
頁. 15行.
4. si²-as²-asukan 方々に置く爲の物. 用具主. 圍子. asu-
kan 置く.
10. s-in-u²il 遺した物. 過去. 客體主. s-um-u²il 遺す. 主
體主.

う。といつて[老人達が下へ投げた。
すると犬が咬合を始めた。圍子が口
に粘り着いた。[その間に]子犬を捉ま
へると[他の]犬が追かけて来たが、圍子
が方々に置いてあつたので、邪魔にな
つて追附けない。又咬む事も出来な
かつた。それで犬をとることが出来
た。我々は犬が出来たので、共で山豚
を狩する。今日[犬が]有る事について、
昔の人が我々に傳へた話は其の通り
である。

4. サイバハラハラン

サイバハラハラン[の種族]は飯を炊く
と湯氣を食つてゐた。カロヴンルズ
[といふ人]がそれを見た。而してカ
ロヴンルズは、[飯を]私に呉れ、私が食は
う、後でよく私を見よ]といつて、行つて

14. pil-pazai 飯を炊く. pazai 飯. 又は穂のままの米. IN.
parjai.
15. kita-in 見る物. 客體主. k-um-ita 主體主. IN. k-um-ita.
ni 人名. 又は父母等人名詞の冠詞. 屬格. IN. ni.
16. ta² jako 私に呉れ. 比. Atay. ita 呉れ.
ta-si²al 食はう. 未來. 主體主. s-um-i²al 現在. ta- 比.
115頁. 註8.
kit-kita <kita-kita よく見よ. 主體主. kit-kita-in よ
く見る物. 客體主. 比. 註15.
17. hip-hipha-in 牛分にする物. 客體主. 飯. hipha 同じ.
kin-akoi 大變多い. 餘り多い. akoi 多い. 比. kin-
kaizah 甚良い.

- ¹ kita ila jakin² / amrima ila kamto²alu²
見よ 我を 行 了 橋
- ² sumæ²e rai kahoei / rima ila o: / kitkitain
大便する 處 木の 行 了 而 よく見る所
- ³ ila noka saipaharaharan / kitain ila saoe-
了 の サイバハラハラン 所見 了 實に
- ⁴ jaz ka sae² / was was was ila ka imasa-
は 大便 ワス ワス ワス 了 は 落ちる
- ⁵ huzæ² / saipaharaharan komosa / "pinowa
物 サイバハラハラン いふ 所如何
- ⁶ niso / kinkaizah ka katozukan / nau jami
汝の 甚良 は 肛門 若 我等
- ⁷ nak isaza amkinkaizah / pinowa niso² /
如 其 甚良だらう 所如何 汝の
- ⁸ kalo²upluz komosa / "sahoe²ani ka pa-
カロヴンルズ いふ 所焼 は
- ⁹ tonai wawœwœ² o: / jako ila tawœwœ²
鎖線 穿孔具 而 我は 我 孔を開かう
- ¹⁰ inimon / amkaizah amnak jako² o: / ka-
汝等に 成良 成如 我 而 カ
- ¹¹ lo²upluz komosa / "wœwœ²in mina am-
ロヴンルズ いふ 所穿孔 すると
- ¹² a²rum nahan mojo / siosa ila maan rai
可談眼 賢 汝等は 行く譯 ぞ 我の 處
- ¹³ koi²kor o: / paz²aza ela jakin / so: jako
山の 而 よく開けよ 我を 時 我
- ¹⁴ omœ²œ² ila itol ela o: amin²itol ela² /
呼 了起せよ 而 起るだらう ぞ
- ¹⁵ wœwœ²in ha²arian ila / kitain masaz
所穿孔 大勢の人 了 所見 死
- ¹⁶ ila / haiza aroma kaini ila komosa /
了 有 他の人々 否む 了 いふ
- ¹⁷ "la²oz ila / nahan takitkita nahan ka
十分だよ 賢 見よう 賢 を
- ¹⁸ hui ka winœwœ² / so: kaizah maihal
此 を 所穿孔 時 良 後に
- ¹⁹ ela jami pawœwœ² ila nahan² / "jako
了 我等 使穿孔 ぞ 又 我
- ²⁰ amrima ila o: / so: pazain jako omœ²œ²
行かう よ 而 時 所開 我は 呼

1. kamto-zalu² 橋に渡した木. 橋の様なもの. zalu² 橋.
2. s-um-æ²e 大便する. sae²e 大便. Paiw. tsaei. IN.
tai. a >æ は 聖門 喉音の影響.
kahoei 木. IN. kayu. o >œ は h の影響.
4. i-ma-sahuzæ² 落ちる其の物. 其の物. 比. 116頁. 註10.
5. p-in-owa niso 汝の如何に爲して出来た結果か. 過去.
客體主. powa 如何する. 主體主.

飯を食つた。本當に[鍋に]半分位大變
澤山食つた。それから私をよく見よ]
といつて、横に渡した木の處へ行つて、
[其の上から]大便をした。サイバハラ
ハランは[そこへ]行つてよく見てゐた。
見ると大便がワス、ワスと音をして落
ちた。サイバハラハランは[肛門]のな
い人だから驚いて[汝は如何してそん
なのか、肛門[といふものは]大變よい物
だ。若し我々もあの様になつたら大
變よからう。汝は如何してそん
か]といつた。カロヴンルズは[鐵の針
金を焼く]孔を開ける道具だ、そして私
は汝等に孔を開けてやらう、すると私
の様によくなる]といつた。そしてカ
ロヴンルズは又[孔を開けると、汝等は
暫く眠たくなる、私はあの山の處へ行
くが、私が[あそこで]叫んだら、睡つてゐ
るのを起せ、すると起きて来る]といつ
た。孔を開けてもらった大勢の人は

9. wa-wœwœ² 孔を穿ける具. 錐など. ta-wœwœ² 孔を
穿けよう. wœwœ²-in 孔を穿ける物. 客體主. 11行. 母
音の前に來るときは >æ. w-in-œwœ² 穿けても
らつた者. 18行. pawœwœ² 孔を穿けさせる. 19行.
11. a-ma²rim 眠るだらう. 未來. ma²rim 眠る.
12. si-osa 行く理由. 原因. 用具主. 汝. ize usa 行くな.
13. paz-aza よく開け. 主體主. aza 開く.

- 1. ela rai ko'ko'or / itol ela / rima o: / 了 處で 山の 起こせよ 行 前
- 2. putopor rai ko'ko'or / kalo'upluz omoe² / 到着 處に 山の カロヴンルズ 呼
- 3. oei ela / itolin ila noka saipaharahajan / 了 所使起 了 の サイバハラハン
- 4. kitain himi kaiin itol masaz ila / sai- / 所見 此は 不 起 死 了 サイ
- 5. paharahajan mare ka vochoe³ o: siwa⁴ o: / バハラハン 取 を 弓 と 矢 と
- 6. malat o: ro'ak o: / rima ila romolrol o: / 刀 と 鎗 而 行 了 從行 而
- 7. somo'au he kalu'upluz / so'au so'au / 追掛 は カロヴンルズ 所追掛 所追掛
- 8. o: al'alian ila saipaharahajan ka kama- / 而 所近 了 サイバハラハン 共 追ふ
- 9. so'au o: / kalu'upluz kumita ka kamuti / 人 而 カロヴンルズ 見 を 魯郎
- 10. marein o: azepin o: tastasin sirimi⁵ ka / 所取 而 所削皮 而 所細切 染料 を
- 11. kini'aruman / a'aja ramoin ila ka taroe'an / 穿山甲の穴 有 染血 了 は 家
- 12. noka 'arum / saipaharahajan kumita ka / の 穿山甲 サイバハラハン 見 を
- 13. taroe'an noka 'arum / a'aja ramoin ila o: / 家 の 穿山甲 有 染血 了 而
- 14. komosa / "hani ila he kalu'upluz" o: / いふ 此處 だ は カロヴンルズ 而
- 15. siwae kumu'arah nahan ka tatawa / 来る譯 引返 再 は 鎗
- 16. kaiin ila / sakulin ila kitain 'arum ila / 所明 了 所追附 了 所見 穿山甲 了
- 17. "hison kalu'upluz rajamun himi ha'on / あの カロヴンルズ 必 此 神
- 18. ampapara'aha inimita ka pasajan mita / 可決定 我等に を 死命 我等の
- 19. okik rajami nisija he kalu'upluz "komosa / 非 所知 彼の は カロヴンルズ といふ

7. he<hi 人名の冠詞。主格。IN. si.
 8. kama-so'au 追ふ人。~ kama-tal-'omah 農夫 < 'omah 畝。~s-om-ou'au 追掛ける。7行。so'au-n 同上。客體主。7行。
 10. mare-in 取る物。azep-in 削る物。tastasin 小さく切る物。何れも客體主。
 si-rimi⁵ 染める爲の物。染料。用具主。r-um-imi⁵ 染める。主體主。
 11. k-in-i-'arum-an 穿山甲の掘つた處。'arum 穿山甲。

實は死んだのだ。孔を開けない他の人々は「もう宜しい、十分だ。此の孔を開けてもらった人を暫く見てるよう。若し[此等の人が]よくなれば、我々も亦後で開けてもらはう」といった。[カロヴンルズは]私は[山へ]行くが、若し山の處で私が叫ぶのが聞えたら[彼等を]起せ」といつて、山の處へ行つてそこへ到着した。カロヴンルズが叫んだ、サイバハラハンが起した。見ると此等の人々は起きない、死んでゐる。サイバハラハンは弓や矢や刀や槍を持って後からあのカロヴンルズを追掛けた。段々追かけて来て追手のサイバハラハンが近づいて来た。カロヴンルズは薯蕷を見つけたので、取つて皮をさいで、小さくきざんだ。而して其處に在つた穿山甲の穴に其を塗りつけた。すると穿山甲の家は血が附いて

Paiw. qaom. IN. qarum (?).
 15. si-wae 来る理由、原因、用具主。鎗。[鎗を取る]爲に来るといふ意。wae 来る。
 ta-tawa 鐵。原意。掘る具。t-um-awa 土を掘る。
 16. kai-in 掘る物。客體主。穴。k-um-aii 主體主。IN. k-um-aii。
 19. rajam-i 知る所の事。物。現實現在。客體主。否定詞の後には-iを用ゐる。

- 1. "okik ma'ejah" / kalu'upluz kinasiæ² / 非 人 カロヴンルズ 喜
- 2. raiiu ila / 逃 了

る様になつた。サイバハラハン は穿山甲の家に血が附いてゐるのを見て、カロヴンルズは其處へはひつたのだ」といつた。そして又引返して鎗を持って来て掘つた。而して穴の中にはひると穿山甲[が居るの]を見た、あのカロヴンルズはきつと我々の死の運命を決定する神にちがひない。穿山甲はカロヴンルズを知らないのだ。彼は人でない[神だ]といつた。それでカロヴンルズは喜んで逃げた。

5. ka'inaio o: wae'a / 處女 と 鹿

5. 處女と鹿

- 14. rima tamah jumatas ka kajarawaan / 行 父 作 を 番する處
- 15. ka tata o: / korkorin ka'inaio nisija rima / を 粟 而 子供 處女 彼の 行
- 16. mijarawa maras ka paopao / maras spat / 番 持行 を 鳴琴 持行 四
- 17. ka paopao / mo'ae taroe'an ro'oehanan / を 鳴琴 歸來 家に 鳴
- 18. oka' ela ka paopao / pa'jakaiin he tamah / 無 了 は 鳴琴 所話 は 父
- 19. komosa / "taræ'ani nahan ka paopao" / といふ 作つて下さい 再 を 鳴琴
- 20. sitaræ' ni tamah o: / pa'in ila tamah no / 作る譯 の 父 而 罷了 父は 爲
- 21. tomæ' ka paopao / isaza o: pa'jakaiin / 作 を 鳴琴 共 而 所話

父は粟の番小屋を作りに行つた、彼の娘は嘴琴を持って番しに行つた。嘴琴を四つ持つて行つたが、晩に内へ歸つたときは、嘴琴がなかつた。[嘴琴をもつと作つて下さい]と父に話したので、父は削つてやつた。[すると次の日も赤いふので]父は嘴琴を削るのが厭になつて、今度は私が交代して粟の

2. raiiu 逃る。IN. riarziu
 13. wae'a 鹿。Atay. waqa-nux.
 14. ka-jarawa-an 番する處。mi-jarawa 番する。16行。Atay. ma-irawa.
 18. pa'ja-kai-in 話す。客體主。ma'ja-kaii 主體主。kaii

話。語。Atay. kai.
 19. taræ'-an-i 作つて下さい。命令。用具主。我。si-taræ' 作る理由。用具主。鉄。20行。t-om-aiæ' 作る。主體主。21行。
 20. no 冠詞。造格。…の爲に。…の故に。…を以て等。no は又屬格を表はす。

- 1 ni tamah kosain / "jako tasesoehoeleh
の 父 所言 我 交代しよう
2 mijarawa ka tata" / kaini korkorij o: /
番 を 業 否む 子供 而
3 aha ila kinririm'anan / isaza he tamah
つ了 翌日 それで は 父
4 mai'az'azim komosa / "tasa kita jako" /
考 いふ 行かう 見 我
5 ma'jakai ka minkorijan nisija komosa
話 は 妻 彼の いふ
6 "ai sa ila kita" / maras ka voehoe' o:
一寸行けよ 見 持行 を 弓 と
7 siwa' rima ila / ja' hebejeme rai ratas /
矢 行 了する 靜に 處 小屋
8 soehoe'oen ka korkorij o: / nila lalahla-
引張 を 案山子 而 来た カサカサ
9 has rai 'oeso kitain wae'a / paopao tinil-
處 芒の 所見 鹿は 鳴琴 所吊
10 pul rai kah'oen moai / pana'un ila ni
下 處 角 來 所射 了の
11 tamah o: / moai ila ka korkorij ka'ina-
父 而 來 了は 子供 處女
12 jo / hewain ila ni tamah ka wae'a o: /
所斬裂 了の 父 は 鹿 而
13 hoemapeh ela ka ka'inao / isaza pouajun
泣 了は 處女 それで 所興
14 ka pure' kaini / pouajun ka ra'al kaini /
は 肉 否む 所興 は 肝 否む
15 sa'osa'oeh kaini / sitoroe ila ka toa'oe o: /
皆悉 否む 所指 了は 陰囊 而
16 some'ewa ila o: saulin ila / rigrij hao-
承諾 了而 所隠 了 常 夜
17 wan ila laloehajun ila / sitilpul rai pinuro-
了 所弄 了 所吊下 處 髪の
18 pan' o: / rima ila pauala lomamlam o: /
而 行 了 川 散步 而
19 siunhaxe' ila o: kiimin nahan / kitain
所落 了而 所搜 暫 所見
20 rai ralum rai toa'oenoe' / mare'in noka
處 水の 處 水溜の 所取 以

番をしよう]といった。すると娘はい
やだといった。一日過ぎて翌日にな
つた。父は考へた末「私が見に行かう」
といった。彼の妻(母)も一寸見に行け]
といふので、(父は)弓と矢とを持って出
掛けて行つた。小屋の處へこつそり
行つて、案山子を引張ると、芒の處がカ
サカサと音がして鹿が現れて来た。
其の角には鳴琴がぶら下つてゐた。
父は弓で射た。すると其處へ娘が來
た。父は鹿を斬つて腹を裂いた。娘
は泣いた。それで(娘に)肉を興へると
(娘は)否だといった。肝臓を興へると
否だといった。皆悉く否んだが(鹿の)
陽物を指すと承諾した。(娘は其を取
つて隠した。而して夜になると其を
弄んでゐた。(或時)其を髪にぶら下げ
て、川へ遊びに行つたが(途中で)其を落
した。暫く搜すと水溜の水の中にあ
るのが見えた。手で取らうとしたが

1. ta-sa-oe-hoeleh 互に交代しよう、未來、punu-hoeleh-en
代理、ta- は未來、
3. kin-ri-rim'anan 翌日、rim'anan 明日、
9. t-in-ilpul 吊下げた物、過去、客體主、si-tilpul 吊下げる
爲の物、用具主、17行、
10. pana'un 射る、客體主、mana' 主體主、pana' 射れ、

Paiw. panaq; Mal. panah. 弓、
13. h-oen-apeh <*t-um-apeh 泣く、IN. t-um-aji.
pouaj-un 興へる、客體主、pouai 主體主、IN. perai.
15. si-toroe 指す、用具主、t-um-oroe 主體主、
19. si-un-haxe' 過つて落す、用具主、pak-sa-haxe'-in 故
意に落す、客體主、116頁、10行、

- 1 jima oka' i putopur / simare ka sasa'e'
手 不 到 取る譯 を 学撰具
2 haza'pun o: / marein kitain kaxag atoma-
所刺 而 所取 所見 蟹 誤
3 lan ila / ta'aesun rai ralum o: / mai'sisi-
了 所放 處に 水 而 生蟹
4 jap ila ka kaxag / isaza o: isane ila kitain
子 了から 蟹 其 而 今 了 所見
5 ila ka henaza'pan noka sasa'e' / isaza ila
了 は 刺した蟹 以 学撰具 如其 了
6 o: / so'aoeh ila ka tial noka ka'inao
而 大 了は 腹 の 處女
7 o: / imahoe'wes ila kitain / pakasikar ka
而 惡 了 所見 耻 は
8 ahal / isaza o: arasun ila ni oja rai ina-
一家 其 而 所作 了の 母 處 橋
9 lu' noka ha'pun masaiij o: / ni oja ko-
の 神 坐 而 の 母
10 sain / "takosoe isoon" komosoe he oja ka
所言 虱を取らう汝から 取虱 は 母 から
11 ka'inao / pouajose' he oja kitain noka
娘 泣涙 は 母 所見 の
12 ma'eah / isaza sikon'pior ela o: / putopur
人々 如此 所突落 了而 到
13 rai pauala o: / punlakai ila ka tial kin-
處 川 而 破裂 了は 腹
14 sumpao / kitain kas'oehael ila / ka sa-
大なる音する 所見 出 了は
15 oeh / ka walisian o: / mintatinian o: /
皆 は 山脈 と 百歩蛇 と
16 hoerol o: / wae'a o: / alao o: / tataag o: /
蚯蚓 と 鹿 と 魚 と 蟻 と
17 papao kanokano sa'oeh kas'oehael /
蟻 何れも 皆 出

届かない。それでササエル(学の皮を
抜く具)を取つて刺した。取つて見る
と眞の蟹であつたので、水の處へ放す
と、其の蟹は子を生んだ。蟹の(背に)サ
サエルで刺した痕(二ツ目の様なもの)
が今でも残つてゐるのはその爲だ。
娘の腹は段々大きくなつた。見つと
もないので、一家の者が恥かしかつた。
それで母が神の橋(虹)の處へ連れて行
つて坐つた。而して母が汝の虱を取
つてやらう]といつて娘の虱をとつた。
その時母が涙を流したのを人が見た。
すると(母は娘を下へ)突落した。(娘が)
川底へ落ちると大きな音を立て、腹
が破裂した。見ると山脈や、百歩蛇や
蚯蚓や、鹿や、魚や、蟻や、蟻やが出來
た。何もかも皆出て來た。

6. kowau

- 1 kakhaizaan jin'asuran noka tatini / ka
大昔 起源の時 の 祖先 は

6. 處

大昔祖先の始りの時に、子供が處に

1. sa-sa'e' 学を抜く具、s-um-a'e' 同上抜く、主體主、
2. haza'pun 突刺す、客體主、h-en-aza'pan 突刺した處、
位置主、5行、
8. aha-l 一家の者、一同、aha 一、
j-in-alu' 橋、架けた橋、j-um-alu' 橋を架ける、
j-in-alo' 汝から虱を取らう、汝に取つてやらう、
k-om-ose 虱を取る、kosoe 虱、IN. kutu.
10. ta-kosoe isoon 汝から虱を取らう、汝に取つてやらう、
k-om-ose 虱を取る、kosoe 虱、IN. kutu.
11. po-ia-jose' 涙をボロボロ流す、jose' 涙、Paiw [usaeq;

Tag. luha'. po- は他動、反覆は連續を表はす、
12. si-kon'pior 押落す、押される人、用具主、k-um-un'pior
押す人、主體主、
15. min-tatini-an 百歩蛇、tatini 老人、年長者、百歩蛇は
蛇の長老と見らる、
20. j-in-βasur-an 發生した處、又時、過去、位置主、j-um-
βasur 現在、主體主、

- ¹ kosain am¹akowau ka korkorip / aha
所言 成鷹 が 子供
- ² kinro²oehan²an pata²ae² ka β²oehoe² he
晩 使作 な 弓 は
- ³ tamah / oka³i taze³ani korkorip / komosa
父 不 所作 子供は いふ
- ⁴ korkorip "numpowaa ila jako tamah /
子供 可爲如何 ね 我は 父よ
- ⁵ jako am¹akap¹i¹uluk ila jako / amrima ila
我は 將成鷹 ぞ 我は 將行 ぞ
- ⁶ rai kawas β⁶a⁶au / hini maan silo⁶ ka
處 天 上 此は 我の 珠裙 は
- ⁷ arasin⁷ o⁷ / arasin ila ka silo⁷ lappuz
持行物 而 持行物 了は 珠裙 十
- ⁸ karireh / min⁸alai risaza rima ila ka
聯 始める 其處で 行 了は
- ⁹ korkorip amajap ila / kitain akowau
子供 飛 了 所見 成鷹
- ¹⁰ ila / komosa "jako amrima ila tamah /
了 いふ 我は 將行 ぞ 父よ
- ¹¹ hini ka silo¹¹ maan / ka arasin rai β¹¹alala
此は 珠裙 我の 其 持行物 處 川の
- ¹² kaβ¹²ueh / kita ila jakin / so: rima ila jako
向側 見 よ 我を 時 行 了 我
- ¹³ amugas / risaza am¹³omoral ila riprip /
暗 其處で 可雨降 ぞ 常に
- ¹⁴ so: omoral ila riprip o¹⁴ / sikuβ¹⁴ain ila
時 雨降 了 常に 而 所厭 了
- ¹⁵ nimon sumilani ka pazai kinasaβ¹⁵oehan
汝等の 集めてくれ を 糧 皆
- ¹⁶ ka lasasinsinrahoe o¹⁶ / taoβ¹⁶un ila o¹⁶ mare
から 朱姓の人々 而 搗餅 せよ 而 取
- ¹⁷ ka silo¹⁷ owar ila ka kawas o¹⁷ / so: jako
な 珠裙 罷 せよに 天 而 時 我
- ¹⁸ rima ila rai k¹⁸ok¹⁸otor amugas ila / am-
行 了 處に 山の 晴 了
- ¹⁹ kaizah ela ka kawas o¹⁹ / amh¹⁹xmila¹⁹ ka
成好 ぞ は 天氣 而 可晴 は

なつたといはれてゐる。[それは]或晩
[子供が]父に弓を作つて貰はうとした
が、作つてもらへなかつた。それで子
供は[父よ、私は如何して呉れよう、私は
鷹になる、私は天上へ行く、此は私の珠
裙だから持つて行く]といつて珠裙十
本を持つたまふ、子供は其處らか飛ん
で行つた。見ると鷹になつてしまつ
た。[子供は]父よ私は行く、此は私の珠
裙だから向ふの川の處へ持つて行く。
私を見よ。私が行つて暗いたら、それ
から何時も雨が降るだらう。若しい
つも雨が降つて、汝達がいやになつた
ら、朱姓の人々から皆糧を集めよ。而
して其で餅を搗いて珠裙を持つて天
に祈れ。若し私が山の處へ行つて暗
いたら、天氣がよくなる。而して空が
晴れて汝達の鳥の仕事がよく出来る。
開墾地の雜木がよく乾くから、焼くと

1. am-a-kowau 處に成らうとする。am- 未來、ja- 成る。
3. taze³-an-i 作つてやる爲の者、現實現在、用具主、子供。
pa-taze³ 作らざる。主體主。2行。比。121頁。註19。
4. num-powa-a 如何しよう。比。am-powa 如何だらう。
何故だらう。-a 現實未來。
8. ri-saza 其處で。ri-に於て。…で。比。Mal. di.
14. om-oral 雨が降る。am-om-oral 雨が降るだらう。13
行。a¹⁴oral 雨。比。Mal. hujan.

si-ku-βain 厭になる。用具主。βain 倦む。あきる。
15. sumil-an-i 集めてくれ。命令。用具主。我。s-um-umil
集める。主體主。
kina-saβoeh-an 皆の人。saβoeh 皆。
16. la-sa-sin-sinrahoe 朱姓の人々。sinrahoe 朱姓。la- 復
數。反覆は復數。
19. am-h-cem-ila¹⁹ 天氣になるだらう。h-cem-ila¹⁹ 照す。
ha-hela¹⁹ 照す具。太陽。IN. sinare 輝く。照る。

- ¹ tala¹omahan nimon / kaizah a¹aiu ka
鳥仕事時 汝等の 良 乾 は
- ² siniksikan / β²asoe²in kaizah suloch² / isani
開墾地 所燒 良 燃 現在
- ³ niaum haisia ila kalokaloto³on ila noka
我等の 如其 了 所連續 了 の
- ⁴ minazahal /
次の代

よく燃える]といつた。[此の鳥のいつ
たことは變ることなく]代々續いて、現
在の我等の時代にも其の通りになつ
てゐる。

7. taai
タアイ

- ⁷ kakhaizaan β⁷azain ma⁷atol rai kaluheβ⁷ /
大音 所聞 語 處 岩窟
- ⁸ komosa "kano isa so: / ai taila takita"
いふ 何 在 其處 さあ 可行 可見
- ⁹ sa kitain / hene kaksiza korkorip ir⁹ira-
行 所見 此 此位 子供 矮
- ¹⁰ jian / ma¹⁰jakari ka taai komosa / "ai ja-
話 は タアイ いふ あい 我
- ¹¹ mi minataai / minkorijan maan toai o¹¹ /
等 タアイといふもの 妻 我の タアイ 而
- ¹² kaizah ita kakita ila / ai tap¹²atol ka
良 我等 會見 了 さあ 可語 な
- ¹³ kap¹³atol noka kapastai¹³ / isaza toroto-
歌 の バスタアイ祭 それで 所歌
- ¹⁴ roin ila jami ka tautawazai o¹⁴ / te¹⁴tejun
了 我等 其 豆姓 と 朱姓
- ¹⁵ o¹⁵ / torotoroin jami tautawazai / okik ra-
而 所歌 我等 豆姓 不
- ¹⁶ jam / te¹⁶tejun ila torotoroin rajam / ka-
能 朱姓 了 所歌 能 故
- ¹⁷ no isaza askanun ila ka la te¹⁷tejun ka
其處 所委任 了 は 等 朱姓 な
- ¹⁸ kapastaa¹⁸jan /
バスタアイの祭式

7. タアイ
大昔岩窟の處で語ふ聲が聞えた。
人々が其處に何かあるのにならひな
い、行つて見よう]といつて行つて見る
と、此の位の矮い子供(矮人)であつた。
タアイ(その矮人)が私等はタアイとい
ふ者だ。私の妻はトアイといふ、我々
が出會つたのは幸だ、さあバスタアイ
(タアイ祭典)の歌を語はう]といつた。
それで我々豆姓と朱姓の者はタアイ
から[祭典の事を]教へてもらつた。我
々豆姓の者は教へてもらつたが、出来
なかつた。朱姓の者は教へてもらふ
とよく出来たので、バスタアイの祭典
は朱姓の方で司ることになつた。

1. tala¹-omah-an 鳥の仕事をする時。IN. oma 鳥。
2. s-in-iksik-an 開墾した處。過去。位置主。s-um-iksik 現
在。主體主。
β²asoe²-in (山など)燒く。客體主。
3. kalo-kaloto³-on 連續してゐる物。事。~!-um-oto³ 聚
ぐ。繼ぐ。

6. taai 音呂たといふ矮人種族の名。
11. m-in-a-taai タアイといふ名をもつてゐるもの。
12. ka-kita 互に見る。出會ふ。k-um-ita 見る。
13. ka-pas-taai タアイの祭典。taai, ka-pas-taaj-an 同上
の祭式等。18行。pas-taai 同上を行ふ。126頁。17行。
pas-taaj-a 同上しよう。現實未來。主體主。126頁。2行。
15. toro-toro-in 教へる。客體主。t-um-oro-toro 主體主。

- ¹ isaza o: ma'jakai ka taai komosa /
其 而 話 は タアイ いふ
- ² ita pastaaja ila / so: kipazai ila ka tata
我等 バスタアイ祭はよ 時 準備 了を 粟
- ³ jami tapoe'sa / poe'sain niaum noka taai
我等は 可行刈始式 所行刈始式 我等の 爲に タアイ
- ⁴ am'akoi ka tata mariin o: / tapastaaz ila
成多 は 粟 所採 而 可行バスタアイ祭だ
- ⁵ tapae'oe' ila ita / sai'pusi ila habela¹¹ pa-
可結縛約束 だ 我等は 六 了 日
- ⁶ kusa'ioa ila / so: apakusaro komosa / "ri-
始祭式はよ 時 可行始祭式 といふ
- ⁷ m'an waii ila / pana' noka aze / pana'in
明日 来れよ 射よ で 雉のない矢 所射
- ⁸ ila jami amrima ila / mohaha'io rai ta-
了 我等は 行 のだ 準備 處
- ⁹ roe'an nimon / ririm'anan ila ita ampa-
家 汝等の 翌日 了 我等は 行始
- ¹⁰ kusa'io ila o: / ita ammatol ila am' aha
祭式 のだ 而 我等 話 のだ 爲
- ¹¹ habela¹¹ amkisirinaolan / aha habela¹¹ kis-
日 話招待歌 一 日
- ¹² tomal / aha habela¹¹ ampapatonawasak /
實行 一 日 爲假送別
- ¹³ aha habela¹¹ ampapaosa ila /
一 日 爲送別 のだ
- ¹⁷ kinkaizah jami ki lataai pastaai o: /
非常に睦 我等 と タアイ等 バスタアイ祭 而
- ¹⁸ imahoe'wis ka taai kuma'io / so: am-
那 は タアイ 無禮 時
- ¹⁹ mazatol kitain ka taai imaitiri rai
話 所見 は タアイ 取縛 處
- ²⁰ minkoripan / isaza pe'e' ela ka saisi'rat
女の それで 怒 了 は サイシャット
- ²¹ o: / si sa tapa ila ka rinalo³ heson rai
而 其故行 傷つる 了 に 縛 彼 處

それでタアイが話していふには「汝等バスタアイの祭をするには、粟の收穫の時は汝等は刈始の式をするのだ。汝等がタアイの爲に刈始の式をすれば粟が多く採れる。それからバスタアイの祭をして結縛して約束する。六日目は始祭式だ。始祭式の時は[その前日に]我々に明日来いといへ。而して、雉のない矢で[我々の方を]射て合圖をせよ。我々は合圖せられたら行く。汝等の家は前日から準備をせよ。翌日になれば汝等は始祭式をして、そして汝等は話ふのだ。一日は招待の歌を話ひ、一日は本當の祭をする。一日は假送別(神送)をして、一日は本送別をするのだ。我々はタアイと非常に睦じくしてバスタアイの祭をしてゐたが、或時タアイが無禮なところをした。其は[我々が]話つてゐた時、タアイが女の處へ行つて女に取縛る(ふざける)のを見つけ

2. ita 我等相互。此の一章は一人稱と二人稱が混用して使用せられ意味了解し難き故、譯文に於て便宜變更を加へたり。
ki-pazai 穀物の實を取る。 pazai 原意、穂の養なれども粟にも用ゐる。 ki- 取る。比。 ki-aupe¹¹ 寄附。

11. kis-tomal 實際に行ふ。 tomal 本當。 kis-…する。行ふ。比。 am-kis-rinaolan 招待の歌を話ふ。 11行。
13. am-pa-pa-osa 送別をする。神送する。 pa-osa 行かせる。
17. la-taai タアイ等。 la- 復數。比。 Atay. la-

- ¹ rito' rai kamlazom / rima ila ri saso:
山根杷 處 交技處 行 了へ 其處
- ² rinalo³ o: / rima pakulohe:he:ri / rima
橋 而 行 爲遊 行
- ³ raroton isaza / amkakosoe aroma o: / ko-
業 其處 互に風取 他人 而 と
- ⁴ mosa "hason kano toanai" / "oka'?"
いふ あれば 何か 娘さん 何でもない
- ⁵ toanai "oe'oe' pu'oe" o: / isaza min'otoeh
娘は ギイといふ 膝頭 而 そこで 折
- ⁶ ela ka rinalo³ / sahræ' ila βarala o: /
了 は 橋 落 了 川に 而
- ⁷ masaz'ila sa'oe'h taai o: / taai ke toai
死 了 皆 タアイ 而 タアイと トアイ
- ⁸ rosa ila 'e'erah o: / taai tamokare ka
二人 だつた 生 而 タアイ 昔違 に
- ⁹ saisi'rat komosa / "jami amrima ila e
サイシャット いふ 我等 將行 のだ へ
- ¹⁰ mase'or / so: ampastaai aha tinal'cemah
濁水 時 爲バスタアイ祭 一 年
- ¹¹ βuloe'ani / aha ila tinal'cemah pastaaz-
休め 一 了 年 爲バスタアイ祭
- ¹² ila o: / jami am'oka' ela pakita inimon /
の だ 而 我等は 可不 だぞ 使見 汝等に
- ¹³ so: haiza soite imahoe'wis nimon / mojo
時 有 少 惡事 汝等の 汝等は
- ¹⁴ niaum kaβilis in o: / mojo ammasai nahan
我等の 所打 而 汝等 可死 費
- ¹⁵ o: / isigun ila noka te'etun / am'e'erah
而 所持芒葉 了 の 朱姓 可生返
- ¹⁶ ela nahan o: / jami amrima ila o: / heni
ぞ 又 而 我等 將行 のだ 而 此
- ¹⁷ ka βanβan ka sawiin ila niaum" / kakhai-
は 山棕櫚 共 所破 だ 我等の 大音
- ¹⁸ zaan nak βera noka taumo oka'e insau /
如 葉 の 芭蕉 非 破物
- ¹⁹ noka taai ila sawiin ila ka βanβan / ko-
の タアイ 了 所破 了 は 山棕櫚 と
- ²⁰ mosa "heni aha ka sinawian / walisin
いふ 此 一 枝 は 所破物 山脈
- ²¹ amsumi'al ka tinal'cemahan nimon / heni
可食 な 農作物 汝等の 此

た。サイシャットは非常に怒つた、而して、あの山枇杷の木の枝が両方からより合つて橋になつてゐる所に、傷をつけに行つた。[其處はタアイが常に來る處で]タアイは其の橋の處に行つて納涼しながら、大勢集つて互に風をとつてゐた。[ミシッといふ音がしたので]弟が「娘さん、あれば何か」と尋ねると、娘は「何でもない、膝頭がキクッといつたのだ」といつた。すると橋が折れて川に落ちて、皆死んだ。タアイとトアイと二人丈生残つた。タアイがサイシャットに言遣していふには、「我々は濁水(東方にありといふ)に行く。[今後]バスタアイの祭をするなら、一年休んで次の一年にバスタアイの祭をせよ。我々は將來、汝等に[自分を]見せることはしない。若し汝等に少しでも悪いことがあれば、我々は汝等を捕へて打つぞ。すると汝等は死んで暫く氣絶する。その時、朱姓の人が芒の葉

2. paku-loheze-he:ri 大勢集つて遊ぶ。 lohezi 遊ぶ。
3. am-ka-kosoe 互に風を取合つてゐる。 kosoe 風。 IN. kutu.
10. t-in-al'cemah 年。比。 tal'cemah 島を作る。 t-in-al'cemah-an 農作物。 21 行。

11. βuloe'ani 止めてくれ。命令。用具主。我。
17. sawi-in 破る。客體主。 s-um-ai 主體主。 in-sau 破れた物。 18行。 ma-sau 破れる。 s-in-aw-an 破つた物。客體主。 20 行。

2. サ イ シ ャ ッ ト 本 文

- ¹ aha nahan sinawian / poeros amsumi²al
一枚 尙 所破物 番人雀 可食
- ² ka tinal²oemahan nimon / heni aha nahan
な 農作物 汝等の 此 一枚 尙
- ³ sinawian / si²si²ai ampaja²oehai ka ti-
所破物 害蟲 可來害 な
- ⁴ nal²oemahan nimon / mintatinian amko-
作物 汝等の 百歩蛇 可
- ⁵ maras inimon ka sa²oeh / heni sa²oeh
咬 汝等を な 皆 此 皆
- ⁶ ka ima²oehai / ampaja²oehai ila inimon
は 有害 可來害 のだ 汝等を
- ⁷ ka sa²oeh / isaza o: am²oka²i ila mojo
な 皆 其 而 可無 のだ 汝等は
- ⁸ ikreja²o ila atomal o: / isaso ka ka²e
成豐年 ぞ 本當に 而 如此 は 話
- ⁹ maan o: / pil²awan ila / amrima ila e
我の 而 左様なら だ 將行 のだ へ
- ¹⁰ mase²or² / komosa o: rima ila /
濁水 といふ 而 行 了

を挿すと、又よくなつて生返る。我々
はもう行く、そして此の山棕櫚は我々
が破つておく。昔は山棕櫚の葉は芭
蕉の葉の様で、破れてゐなかつたのだ
が、タアイが次の様に言ひながら、山棕
櫚を破つた。「此の一枚破つたのは、山
豚が汝等の農作物を食ひ荒す印だ。
此のもう一枚破つたのは、番人雀が汝
等の農作物を食荒す印だ。此のもう
一枚破つたのは、害虫が汝等の作物を
害する印だ。百歩蛇は汝等を皆咬む
だらう。此等は皆悪いもので、汝等に
害を加へるものだ。其から、汝等は本
當に豊年になることはない。私の話
は此様なことだ。それでは左様なら。
此から濁水へ行くのだ」といつて行つ
てしまつた。

3. am-paja²oehai 害をすだらう。pa-ja 爲る ~ mara 成る、i-ma²oehai 害のある其物、6行 ~ i-ma-akoi

多く有する其人。

III

パ イ ワ ン 語

語 法 概 説
及 び 本 文

バイワン語語法概説

I. 分 布

バイワン語は高雄州及び臺東廳管内の山地に住居するバイワン族(人口約三・萬五千)の用ゐる言語にして、多少の方言的差異あれども相互に理解し能はざる程度のものにあらず。其の差異は屢々單語の上にあらざるれども、音韻の上にて各々著しく其の特徴を有す。其の主要なるものとして (1)[q]の轉化, (2)[k]の轉化, (3)[t]の轉化, (4)[d]の轉化の四種を擧ぐるを得べし。

		(1) [q]ノ轉化			(2) [k]ノ轉化		
		(語頭)	(語中)	(語末)	(語頭)	(語中)	(語末)
		頭	頭	梢	木	烟草	子
高雄州	トクアブ	ʔo o	[eʔo	vo oʔ	kasiu	tamako	alak
	下バイワン	qo o	[eqo	vo oq	kasiu	tamako	alak
	カヒヤン	ʔo o	[eʔo	vo oʔ	kasiu	tamako	alak
	内社	ʔo o	[eʔo ^h	vo oʔ	ʔasiv	camaʔo	alaʔ
	クナナウ	qo o	[eqo ^h	vu oq	kasiu	ʔamaku	alak
	ヲキヲキ	qo ^h o	^h eqo	vu ^h oq	kasiu	camaku	alak
臺東廳	内文	qo o	[eqo	vu oq	ʔasiu	camaʔo	alaʔ
	カチライ	qo o	[eqe	vu oq	kasiu	camaku	alak
	大馬里	qo o	[eqo	vu oq	ʔasiu	camaʔo	alaʔ
	大島萬	qo ^h o	^h eqo	vu ^h oq	kasiu	camako	alak

		(3) [t]ノ轉化			(4) [d]ノ轉化		
		(語頭)	(語中)	(語末)	(語頭)	(語中)	(語末)
		腹	七	四	路	雨	坐
高雄州	トクアブ	ʔial	piʔo	spat	dʒa an	ʔodal	ʔcemij ad
	下バイワン	ʔial	piʔo	spat	da an	qodal	qcemij ad
	カヒヤン	ʔial	piʔo	spat	da an	ʔodal	ʔcemij ad
	内社	ciad	picu	spac	ja an	ʔojad	ʔcemij aj
	クナナウ	ʔial	piʔu	spaʔ	dʒa an	qoʔal	qcemij ad
	ヲキヲキ	cial	pico	spac	ja ^h an	qoʔal	qcemij ^h aj
臺東廳	内文	cial	picu	spac	ja an	qoʔal	qcemij aj
	カチライ	cial	pico	spac	ja an	qoʔal	qcemij aj
	大馬里	cial	pico	spac	ja an	qoʔal	qcemij aj
	大島萬	cial	pico	spac	ja ^h an	qoʔal	qcemij ^h aj

上表の蕃社は各州廳内夫々北部より南部へ順次に記載せり。

[q]はトクブン、カビヤン、内社を除く外、他は全部之を有す。北部に於て下バイワンが孤立してqを有することは注意すべし。

[k]は内社、内文、大麻里を除く外、他は全部之を有す。トクブン、カビヤンはkを有すれどもqを有せず、内文、大麻里はqを有すれどもkを有せず、内社はq, k共に之を有せず。

[t]クナナウ以北は内社を除く外、他は皆t若くはtを有し、以南は皆cを有す。

[d]クナナウ以北は内社を除く外、他は皆d若くはdを有し、以南は皆jを有す。以下記述する所はカチライ社の言語による。

II. 音 韻

1. 母音, [i], [ɪ], [e], [a], [o], [ɔ], [u], [ɨ], [œ].

1. [i], [ɪ], [e]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[i]は[e]となる。

2. [o], [ɔ], [u]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[u]は[o]となり、又[a]の後に於て[u]は弱き[ɔ]となる。記載には[o]又は[u]を用るたり。

3. [ɨ], [œ]は同類音なり。[q], [r]の前後に於て[ɨ]は[œ]となる。記載には[œ]又は[ɨ]を用るたり。

2. 子音, 兩唇音, [p], [m]; 唇齒音, [v]; 齒音, [t], [d], [n], [s], [z], [r]; 同上複合音, [ts]; 反轉音, [d], [l]; 硬口蓋音, [c], [j], [ɟ], [l]; 硬口蓋化音, [y], [s], [z]; 同上複合音, [ts]; 軟口蓋音, [k], [g], [ŋ]; 懸垂壅音, [q]; 聲門音, [ʔ].

1. [t]はIN. [s]に相應するものにして、各方言凡て[t]を有す。

2. [d]はIN. [r]に相應するものにして、リキリキを除く外、他の各方言凡て[d]を有す。

3. [r]はリキリキ方面に於てはR又はRに轉ず。

4. [d]は北部方言に於ては、舌尖に力を入れて發音する爲[d]の如く聞ゆることあり。

5. [l]はリキリキ方面に於ては、摩擦の極めて少きRに轉じ、時としては全く省略せらるゝことあり。

6. [c], [j]はIN. [t], [d]に相應するものにして、北部に於ては[t], [d]の音を有す。分布の條參照。

7. [l]は北部方言に於ては、舌尖に力を入れ發音する齒的側音なれども、南部殊にカチライ、クスクス方面に於ては、舌面中部を接觸して發する硬口蓋的

側音なり。記載には暫く[l]を用るたり。此の音はインドネシアンの一種の[n]に相應す。總説、音韻の條參照。

8. 硬口蓋化音は普通狭母音の前に現はるる音なり。

9. [ʔ]は北部方言に於て、[q], [k]の省略の爲に屢々現はるゝ音にして、[q], [k]を有する南部方言には普通之を有せず。但しカチライ等に於て、不規則的に[k]を省略する場合には之を有す。

3. 揚音, 普通、語末より第二音節に高低揚音を有す。

III. 形 態

1. 接頭辭、及び接頭辭と接尾辭との結合。

?a...-an <ka...-an, 眞の物, ?a-goŋ-an 眞の牛, 黄牛 <goŋ 水牛, ?a-tapav-an 本家 <tapav 家。比. ka...-an.

?a-la...-an <ka-la...-an 其物の多い時, ?ala-vasa-an 芋の多い時節 <vasa 芋。

ca... 〃より尙, ca-vo[ŋ]... 〃より老人, 年長, ca-lalak... 〃より若い, 年少, ca-ciŋ[ai]... 〃より...を好む。

ca... の方, cai-zaja 上手の方, 川上, cai-maza こちらの方。

ca-la...-an 最, 一番の物, cala-laŋoq-an 最長の物, 中指。

ca-la-反覆...-an 同上, cala-qatsa-qatsa-an 最大の物。

coa(=i-coa)... の有る處, coa-qatsilai 石の有る處, 又カチライ社。

?i-(?e-) <ki- 取る, ?i-vasa 芋掘り, ?i-padai 稻刈, ?e-qo[ŋ] 首狩。

?i- <ki- 自分, ?i-paiz 自分を扇ぐ, 比. p-in-aiz 人を扇ぐ, ?i-siqas 自分を斬る, 自殺。

i... の處へ, ...に, i-zoa 彼處に, 彼處へ, i-yere 左に, 左へ。此のiは本來位置を示す獨立語なり。i kuskus クスクス社に, 同上へ, IN. i.

i-coa... の處, 又は時, i-coa-zaqo 木櫛子の處, i-coa-maqo[ŋ] a qelas 月が消る時, 月末。

?i-pa- <ki-pa- 自分で行つて...させる, 又...する, ?i-pa-?eqoenic 自分行つて見せる, 見てもらふ(醫者などに), ?i-pa-tsiwup 自分で行つて出會ふ。

?i-sa- <ki-sa- 自分で...する, ?i-sa-qezip 力を込める, 力む, ?i-sa-patsai 死を賭する, 必死。

?i-san- <ki-san- 常に...をする者, ?i-san-paviji 賣る職, 商人 ?i-san-t-im-o[ŋ] 教職, 教師。

in- 客體主, 一般過去, (語根の母音に始る場合に用ゐる), in-a[ap] 持つた物。取つた物, in-ijaja 採つた物。比. 挿入辭 -in-.

ʔin-a- <k-in-a- (1)抽象, ʔina-ɬiau 多さ, ʔina-napaɬq 良さ, (2)物, ʔina-ciŋlai 好きな物, ʔina-saliŋa 欲しい物。

ʔin-a-...-an 處,時, ʔin-a-tsulu-an 火傷の痕 ~ma-tsulu 焼ける, ʔin-a-qati-an 生れついた處,性質,又誕生日 ~ma-qati 生れる, ʔin-a-piloq-an 一杯になった處,満ちた處 ~ma-piloq 満ちる, 比. Mal. penuh.

ka- 方, ka-naval 右手, ka-yere 左手, ka-tsudas 東方,東手。

ka-...-an 處,物,時, ka-tsasav-an 屋外,外庭 <tsasau 外, ka-izoa-an, 居所, ka-tsaɬisi-an 崖の處,又ツァリセン蕃, ka-kiɬi-an 小さな者,子供, ka-qatsa-an 大きな者,大人, ka-jama-an 朝の時。

ka-la-...-an =ʔa-la-...-an kala-qoɬal-an 雨季。

la- (1)本来複數 (?), la suɬipau スリガウ家の一族, la kuskus クスクス社の人々, la-tsakau 赤と黒との點ある蟻の名,又盗人等 ~ts-im-akau 盗む, (2)形容詞, la-vavau 高い, la-tsaja 遠い。

li- 動詞構成, li-zaja 川上へ上る, li-ɬauz 川下へ下る。

ma- (1)形容詞, ma-ɬucuk 悪い, ma-ikau 啞 <臺灣語, 啞口 (e-kau) (2)自動詞,又受身動詞, ma-kiɬu 集まる ~k-im-ipu 集める, ma-civiŋ 濡れる ~c-im-iviŋ 濡らす, ma-jamaq 中る,矢など ~j-im-amaq 中てる, ma-jaɬim 勝たれる,負ける ~j-im-aɬim 勝つ, (3)相互, ma-lavar 互に話す,相談, ma-revu 相争ふ。

maʔa- <ma-ka- ...から, latsup maʔa-jipun 日本から傳來した野菜, maʔa-kan-aŋa 食つてから,食後 ~k-im-an 食ふ。

ma-ka- (1)可能, maka-kan 食ふことが出来る[其物は], (2)...の方に在るもの(北部方言), maka-ɬauz 川上,又西方に在るもの(蕃社など), 比. maʔa-.

ma-ka-...-l 度數,回数. maka-ta-l 一度 ~i-ta, maka-ciɬu-l 三度 <ciɬu.

ma-li- (1)mali-ɬima 五人, mali-pida 幾人, (2)mali-paɬq 良い(天気など)。

ma-pa- ma-pa-valit 改まる, ma-pa-saqcu 恠我する。

ma-pu- ma-pu-varoŋ 心が置かれる,心配になる <varoŋ 心, ma-pu-ʔitseqau 漁に氣を取られる <ʔitseqau 魚を捕る。

maro- ...と見まがふもの, maro-zaqo 木櫛子と見まがふもの,黒目, maro-kama 父と見なすもの,伯叔父, maro-poɬa とんぼ球と見まがふもの,贖の珠。

mari- 相互, mari-valau 夫婦同士, mari-kaka 兄弟同士。

ma-su- 消極否定, masu-vuguc 結目が解ける, masu-sidaŋ 刃がなくなる,切れなく

なる, maso-qoeliv 戸締りがなくなる,戸が自然に開く。

ma-ta- ma-tu- に同じ。

ma-tu- (=mata-) 類似, matu-vavajan 女の様, matu-vato 犬の様。

ma-反覆, (1)相互, ma-sa-siqas 斬合ふ, ma-va-vikas 競走, (2)進行 ma-lia-lia 夜が明けかゝる, ma-ta-taviɬak 續いて行く。

mi- 動詞化, ...する, mi-nasi 呼吸する, mi-spi 夢を見る。

mu- 動詞化, ...になる, mu-ɬiau 多くなる, mu-napaɬq 良くなる,快復する。

na- 一般過去, na-vaik 行つた[者], na-si-virets 紛失した[物]。

na-ma- 一般過去, na-ma-viroŋ 孔のあいた[物], na-ma-kilaŋ 人に知られた[物]。

na-sa- ...らしい, na-sa-vavajan 女らしい。

na-...-im- 一般過去, na-k-im-an 食つた[者]。

nu- 未來, nu-teau 明日, nu-ɬida 何時(未來), nu-saoni 後刻。 比. ta-.

pa- (1)使役,他動, pa-toto 乳を飲ませる, pa-kan 食はせる,飼ふ, pa-sijam 貸す, (2)用具, pa-zaɬŋ 樂器 ~z-im-aɬŋ 歌ふ。

paʔa- (=paka-) 可能, ini paʔa-supuŋ 數へることが出来ない。 比. maka-.

paka- 可能, ini paka-juɬu 切れない(刀など)。 比. maka-.

pa-sa- 共處へ...する, pa-sa-taɬaɬ 中へ入れる, pa-sa-maza 此處へ持來る。

pa-反覆, 相互,交互, pa-tsa-tɬikiɬ 往復する, pa-va-valit 互に交換する。

pi- 他動, pi-ɬima 手を洗ふ, pi-kuɬa 脚を洗ふ, pi-zoa 其處へおく,入れる。

po- 他動, po-alak 子を生む, po-valau 配偶を得る,縁組, po-tapau 家を有する[者]家主。

pu-...-an ...を置く處, pu-goŋ-an 水牛を放つ處,牧場, pu-qatsaŋ-an 豚を入れる處, 豚小舎。

ro- 多い,常習, ro-qeiziŋ 力が強い, ro-kai-kai 詞が多い,よくしやべる, ro-tsakau よく泥坊する。

si- (ɬe-) 用具主, ɬe-qono 剃る具,剃刀 ~q-œm-ono 剃る, si-pavai 與へる物,與へる爲の材料(用具と見做す), si-virets 投棄る物(同上), si-ʔi-patsai 自殺の原因。

si- 過去, si-tiau 昨日, si-ɬida 何時(過去)。 比. si-...-an.

si-...-an (1)用具 si-paiz-an 扇ぐ具,團扇, si-tiqets-an 刺す針, si-aɬaŋ-an 作り方(方法をも用具と見なす), (2)時(過去), si-tsoaj-an 久しい前の時,昔, si-ɬida-n 何時の時(過去)。 比. si-.

si-反覆, 用具, si-a[al]aq 手藝に用ゐる物, 縫物又刺繍用の糸 ~m-alap 手藝をする, si-vitsi-vitsik 書く具, 筆など, se-qalo-qalop 狩獵用のもの, 銃, 犬など。

si-…に屬する者, si-paiwan バイワン人, si-kuskus クスクス社の人, si-pairaq 平地の人, 本島人。

ta- 過去, ta-tiau 昨日, ta-pida 何時(過去), ta-saoni 先刻。 比. nu-.

2. 挿入辭, 及び挿入辭と接尾辭との結合。

-in- 客體主, 一般過去, k-in-atsu 携帶した物 ~k-im-atsu, c-in-inun 織つた物 ~c-im-inun, ts-in-avu 包んだ物 ~ts-im-avu.

-in-…-an 位置主, 一般過去, l-in-ama-an 燒跡 ~ma-lama 火事, ts-in-aqes-an 縫つた處, 縫目 ~ts-im-aqes, l-in-avik-an 流木など 打上げた海岸 <lavik 海, p-in-atagil-an 始めた處, 起源 ~patagil 始める。

-im- (1)他動, k-im-an 食ふ, t-im-oto 乳を飲む, ma- の條参照, (2)自動, q-œm-ujal 雨が降る。

-in- 唇音の後に來る場合は -im- が -in- となる, p-in-ajil 打つ, 殴く, v-in-aji 風が吹く <vali 風。

3. 接尾辭

-ai 位置主, 現實未來, kan-ai 食はう, 其物の一部分の處, pa-kan-ai 食はさう, 其人に。

-an (1)處, qomaq-an 奥の間, (2)時, palisi-an 禁忌の時, alia-(a)n 曉 ~malia 夜が明ける, (3)用具, soap-an 掃く具, 箒, vaqavaq-an 玩具, qailuq-an 映す具, 鏡, sukaol-an 使用する爲の者, 使用人, (4)用具主, 命令, pavai-an 與へよ[其物を以て], [ivits-an 汲んでやれ[其人の爲に]。

-au 客體主, 現實未來, kan-au 食はう[其物], siqas-au 伐らう[其物]。

-i (1)位置主, 現實現在, 又命令, joas-i 今拭ふ處, 拭へ[其處], eqœnic-i 今見る處, 見よ, [其處], ?i-vadaq-e 今問はれる人, 問へ[其人に], (2)客體主, 現實現在, kan-i 今食ふ物, siqas-i 今伐る物。

-in <-in 母音の後, 又は狭母音を有する音節の後に來る場合は -in が -in となる, 客體主, 一般現在, vuta-in 追ひつく[其人に]。

-u (1)客體主, 命令, katsu-u 伴つて來い[其人], 持つて來い[其物], kitsi-u 殺せ[其人], kan-u 食へ[其物], (2)轉じて又主體主, 命令の場合に用ゐる, kan-u 食へ[汝], vaik-u 行け[汝], qaog-u 泣け[汝]。

-in 客體主, 一般現在, kan-in 食ふ[物], siqas-in 伐る[物]。

4. 反覆

a. 單純なる反覆

(1)多數, tsim-tsimil 草原, kavaja-vajan 荊竹の藪 <kavajan, garavaga-vagav 蠢動 <garavagav。

(2)進行, valu-alut 生きて居る <valut。

(3)強度, kiqi-kiqi 甚小さい, tsoa-tsoai 甚久しい, tai-tail 片一方。

(4)用具, qeva-qev 櫛 ~q-im-iv 漕ぐ。

(5)小型, tapa-tapau 小屋, koa-koag 玩具の銃, vuki-vukud 眉 ~vukid 深林。

b. 反覆-an

(1)常に…する處, ca-culu-an 徒渉點 ~c-im-ulu, ka-kisa-an 炊事場 ~k-im-isa。

(2)甚だ…の時, vu[u-vu]uq-an 甚だ古い人の時, 古代 ~ca-vu[u]q 年長者。

(3)用具, ka-kilaq-an 知る爲の物, 目標 ~k-im-ilag 知る, ra-ragul-an 旅行用の物, 辨當 ~r-im-agul 旅行, va-vaivaj-an 物干竿 ~v-in-aivai 竿にかけて干す。

c. 反覆-in, 比. -in.

(1)…してゐる物, kisa-kisa-in 炊いてゐる物 ~k-im-isa 炊く。

(2)…の多數ある處, qao-qao-in 竹藪, qatsila-tsilai-(i)n 石原 <qatsilai 石。

d. 反覆-in

(1)常用の物, ka-kan-in 食物, ta-tiki[-in] 飲料, ka-koag-in 常に銃で打つ物, 射的の的。

(2)常用の處, qa-qalup-in 狩場 ~q-œm-alup 狩する。

(3)多數ある處, kasi-kasiv-in 森 <kasiu 木。

IV. 品詞

1. 冠詞

	1. 一般冠詞	2. 人的冠詞	3. 人的冠詞複數
主格	?a, a	ti	ti-a
屬格	no-a, na	ni	ni-a
其他	to-a, ta	ca-i	ca-i-a

人的冠詞は又屢觀族名詞及び人代名詞にも用ゐらる。

?a, no-a は本來 ka, no-ka の轉化ならん。サイシャット概説, 冠詞の條参照。

ta, ti は IN. sa, si に相應す。

2. 代名詞

a. 人代名詞

	一人稱	二人稱	三人稱	疑問人代名詞
單數	主格 ti-a'in, -a'in	ti-sun, -sun	ti-maju	t-ima
	屬格 ni-a'in, ?u-	ni-sun, su-	ni-maju	n-ima
	其他 cano-a'in	canu-sun	cai-maju	ca-ima
複數	主格 ti-amin, -amin	ti-mun, -mun	ti-a-maju	
	屬格 ni-a-min, ni-a-	ni-mun, nu-	ni-a-maju	
	其他 cano-amin	canu-mun	cai-a-maju	
含複對話者	主格 ti-mica, -icin			
	屬格 ni-mica, ca-			
	其他 cano-icin			

一人稱單數 a'in <akin, u- <ku-. 北部方言に於ては多く akin, ku- を用ゐる。南部の カチライ 等に於て k を省くは例外なり。比. Tag. akin 私を、私に。一人稱含對話者複數は北部方言に於ては t-icin, n-icin, can-icin を用ゐる。三人稱は又, azoa tsautsau 彼の人は, no azoa tsautsau 彼の人の, to azoa tsautsau 彼の人を, 彼の人に, を用ゐる。

三人稱複數及び人的冠詞複數に -a を用ゐるは アミ語 に似たり。

單數の代名詞が固有人名, 又は親族名詞と結合して複數を作る一種の方法あり。總説, 代名詞の條參照。

b. 指示代名詞

	此	共	あれ
主 格	aitsu-, -tsu	azoa	azo:a
屬 格	no-tsu	no-azoa, n-azoa	no-azo:a, n-azo:a
其 他	to-tsu	to-azoa, t-azoa	to-azo:a, t-azo:a
	此處	共處	彼處
	i-maza	i-zoa	i-zo:a

c. 疑問代名詞

何	何處	何れ	何時(過去)	何時(未來)
anima	i-nu, ch-i-nu <*ca-i-nu	a-i-nu	ta-pida, si-pida	nu-pida

3. 數 詞

單語集, 及び總説數詞の條參照。

1 より 10迄の數詞は大體 インドネシアン の語形を有し, 十一以上の數詞は アミ語 と同じく特種の言表はし方を用ゐる。

4. 形容詞

a. 語形

α. m型を用ゐるもの, ma-tsulu 熱い, ts-im-aja 遠い。

β. m型を用ゐるもの, [iau 多い, kiqi 少い, vaqoan 新しい。

b. 比較, バイワン語 には形容詞の比較を表はす語あり。

α. ca-...より, ca-qatsa...より大きい, ca-vavau...より高い。

β. ca-la-...-an 最, ca-la-vavav-an 最も高い <vavau 上, ca-la-[a]oq-an 最も長い。

5. 動 詞

a. 分類, 第一類, 第二類。總説動詞の條參照。

b. 時相, アタヤル 時相の條參照。

	第一類	第二類		
	主 體 主	客 體 主	位 置 主	用 具 主
現實現在	kan (食)	kan-i	kan-i	kan-an
進行現在	k-im-a-kan			
一般現在	k-im-an	kan-in	kan-an	si-kan
現實過去	k-im-an-apa	k-in-an-apa	kan-an-apa	si-kan-apa
一般過去	na-k-im-an	k-in-an	k-in-an-an	s-in-i-kan
現實未來	more k-im-an	kan-au	kan-ai	si-kan-apa
一般未來	k-im-akan (?)	ka-kan-in	ka-kan-an	si-kan-an

c. 命 令

	第一類	第二類		
	主 體 主	客 體 主	位 置 主	用 具 主
	kan-u	kan-u	kan-i	kan-an

主體主は本來 kan なるべきを, 客體主と同じく kan-u を用ゐる。 プユマ 命令の條參照。

d. 否 定

α. 現實否定

- 主體主 ini kan 今食はない[其人は]。
- 客體主 ini kan-i 今食はない[其物は]。
- 位置主 ini kan-i 今食はない[其物の一部分は]。
- 用具主 ini kan-an 今食はない[其の用具では]。

β. 一般否定

ini ?a k-im-an 食ふ者でない[其人は]。

γ. 禁止, maja …するな。

有に對する無は uika を用ゐる。

6. 副詞

- a. 純粹の副詞, aravats 甚だ, uta 又,再, anan 尙,等。
- b. 名詞又は形容詞等を變形して副詞的動詞を形成することあり。原形, sa[aj 仲間, pu-sa[aj ?a q-œm-aop 共にする一冠詞一泣くは=共に泣く。原形, ma-pulat 皆, pulat-in-apa ?a jamai 皆した一冠詞一馳走=馳走は皆たひらげた。原形, tiku 下, pa-li-tiku-tiku-in 下に…する=下ろす,客體主。

7. 接續詞

?a-ti …と…と(人名,親族名詞,又は人代名詞)。

?a-toa …と…と(普通名詞)。

nu 若し…ならば, …でも, nu ini qo[al 若し雨が降らなければ, nu ?a ini qo[al 若し雨が降らないでも。

qao そこで,それで,すると,等。

la?oa <lakoa 併し。

sa 而して(句を連結する)。

8. 結辭

?a 冠詞 ?a (a) と同じ。又關係代名詞とも見るべし。napa[? ?a tsautsau 良い者一其は一人=人は良い, tsautsau ?a napa[? 人一其は一人=良い者=良い人。ti-a?in ?a vaik 私一其は一行く者=行くのは私。tapau ?a qatšilai 家一其は一石=石の家。

9. 助辭, -apa …した, …だつた, …だよ, …せよ。

1. カチライ社
(qatšilai)

1. ti sapulalujalujan
サブラルヤルヤン

- ² ti sapulalujalujan tsug ?a marevo atoa
はサブラルヤルヤン よく其 争 と
- ³ valau / nu kiman ini pakani / mar?a
妻 時 食 不 使食 或
- ⁴ vulacin / qau limutsig azoa valau / vaik
所 打 そこで 怒 其 妻 行
- ⁵ a lita[aj toa viro[noa tsoqo / qau
其 入 に 孔 の 茹萇 そこで
- ⁶ tsoatsoaj-apa ma[ap ti sapulalujalujan toa
暫 了 持 は サブラルヤルヤン を
- ⁷ pucau / sa pucavi ?a tsoqo / ?a more pa-
芥 而 所伐 は 茹萇 其 思
- ⁸ likatsawan toa valau / manu tig aja /
使出現 な 妻 突然 トンといふ
- ⁹ mi[ajap ?a sma cai [ikuz toa lavik /
飛 其 赴 方 向 の 海
- ¹⁰ tsoatsoaj-apa mapovaro[ti sapulaluja-
暫 了 心配 は サブラルヤ
- ¹¹ lujan / qœmaqeivu toa si?ataqalan to vaik
ルヤン 呼 な 番丁 爲に行
- ¹² a qœmalup / qau ?ilavaran ti sapulaluja-
其 狩 そこで 言 は サブラルヤ

1. サブラルヤルヤン

サブラルヤルヤンはよく妻と喧嘩した。食事の時も食はさないで、殴つたりした。それで其妻は怒つて、茹萇の木の孔の中へはひつてしまった。暫くしてサブラルヤルヤンは芥を持つて茹萇を伐つて、妻を出さうとした。するとトンといふ音がして、[妻は]海の向うへ飛んだ。

とサブラルヤルヤンは心配して、狩に行く爲に番丁を呼んだ。そこでサブラルヤルヤンが言ふには、私は海岸

採録期: 昭和七年八月高雄州恒春郡カチライ社にて調査。
口授被験者: kavak ?a [osiazan (楠一郎) 28歳, 男, 臺南師範學校出身, 高士佛公學校訓導。

- 1. ti 人名,及び人名詞の冠詞,主格, IN. si.
- 2. ?a 普通名詞(人名詞を除く),動詞名詞の主格,又關係代名詞の如く用ゐられ同格を表はすことあり,此處にてはサブラルヤルヤンは即ち争ふ者の義, IN. ka.
- 3. k-im-an 食ふ,主體主, ini pa-kan-i 食はさぬ,客體主, IN. kan.
- 4. vulac-in 打つ,客體主, v-in-ulac 主體主, qau 接續詞,そこで,それで,すると,などの義,トクア 其他北部バイロン ?au.
- 5. li-ta[aj 中にはひる, ta[aj 内, li- 進む,行く, to-a …を, …に, …で, などの義,又略して ta, no-a …の,又略して na.
- 6. tsoa-tsoaj-apa <tsoai 久しい, -apa に續くととき tsoaj-apa, -apa 過去, …だ, …だよ, など。
- 7. pucau <泰濁語, 芥類, 'pho-thau), pucav-i <pucav-i 芥で伐る, 客體主, 茹萇, sa 而して, ?a more 此處にては, サブラルヤルヤンは即ち…しようと思ふ者といふ意, 比, 註. 2.

- 8. pa-li-katsaw-an 出ず者, 主體主, katsau 外, katsaw-an 外の處, pa-li- 行かせる, 比, 註. 5.
- manu 原意, 何, Seed. mano 何, Atay. nano 何, バイロンにては何の意味に使用されず, 或事を豫期してゐたところが意外, これは何だといふかき驚く意, 又轉じて, ところが, ふと, 突然, 或時, 丁度などの意となる。
- aja さういふ, さうする。
- 9. sma <s-m-a. 其方へ行く, 赴く, sa …へ, cai <ca-i. ca <ta 處の意, 比, Tag. taga. i 場所, 又はその場所にいる人, 物, [ikuz 背後, 海の向ふに在る處の方へ行く意, Tag. likod.
- toa 位置の關係を示す場合は noa を用ゐず, toa を用ゐる。
- 10. ma-po-varo[心配する, 心が置かるゝ意, varo[心。
- 11. q-œm-aqeivu 呼ぶ。
- to …の爲に, to-a の to に同じ, 比, 註. 5.
- 12. q-œm-alup 狩する, Atay. q-œm-alup. ?i-lavar-an <*ki-lavar-an 自分でいふ, ma-lavar 互に話す, ?e-revo <ki-rivo 不平, 比, 142頁, 4行, ~ma-revo 互に争ふ, 2行。

- ¹ lujan / "tia'in ma'amaza'in idupdun
ルヤン 我 通 此處 我は 近處
- ² toa lavik / timun pa'azoau icuapupajan"/
の 海 汝等 通つてゆけ 險坂
- ³ mano nika no satsimi / nu pa'uku
何だ 無 も 獲物 ても 出来
- ⁴ qacurvi mar'a padi sa'amaja / qau 'erevo
蛇 や 狸 只 そこで 不平
- ⁵ 'a si'ataqalan / "aqo nika no satsimi"/
は 蕃丁 何故 無 も 獲物
- ⁶ aja 'ivadaq cai sapulalujalujan / qau 'ila-
といふ 問 に サブラルヤルヤン すると
- ⁷ varan ti sapulalujalujan / "no 'a: qacurvi
言 は サブラルヤルヤン ても 其 蛇
- ⁸ no 'a: padi koapu" aja 'ilavaran / qau
でも 其 狸 打て と 言 そこで
- ⁹ timaju izoa i lavik / 'a qarauqauqau
自分 居 に 海 其 呼んである
- ¹⁰ sa'amaja /
只
- ¹¹ qau 'a si'ataqalan / "anima kudakuda-
そこでは 蕃丁 何 所如何
- ¹² in nazoa tsautsau" / aja kinimnim qau
彼 人の と 考 そこで
- ¹³ vaikin 'a 'eqoenic / minto? "laulaulavu
所行 其 見 見ると 伸びよ伸びよ
- ¹⁴ 'a jaralap" ajaja simnasinai / qau tsoaj-
は 榕樹 といふ 語つてある すると 暫して
- ¹⁵ apa limaulau 'a jaralap 'a sma cai [ikuz
伸 は 榕樹 共赴 方 後
- ¹⁶ toa lavik / qau azoa ti sapulalujalujan
の 海 そこで 彼 は サブラルヤルヤン
- ¹⁷ simusu 'a vaik toa jaralap / minto?
傳 其 行 を 榕樹 忽

の此處を通つて行く。汝等は坂の處の方を通つて行け。ところが(蕃丁の方)は獲物もない。追出して見ると蛇や狸ばかりであつた。そこで蕃丁等は不平をいつて、何故獲物がないのだらう、とサブラルヤルヤンに問うた。そこでサブラルヤルヤンは、蛇でも狸でも打て、といつて話した。ところが自分は海の處に居て、獸を追出す聲ばかり出してゐた。而して實際追出さうとしなかつた。

そこで蕃丁はあのサブラルヤルヤンは如何してゐるのだらうと考へて行つて見た。見ると[サブラルヤルヤンは]榕樹よ、伸びよ、伸びよ、といつて語つてゐた。暫くすると榕樹が海の向ふの方へ伸びて行つた。するとサブラルヤルヤンは榕樹を傳つて行つて、

1. ti-a'i-n <*ti-aku-in 我は、主格、説明語の前に用ゐる。ti 冠詞。IN. aku 我は、si 冠詞。比. Ilok, si-ak, Tag. ak-in 我の、Panay, ak-on 我は、カチライ語は普通 k,q の音を有すれども稀に k を省くことあり。
ma'amaza'in <*maka-maza-a'in 我は此處から、maka ...から、maza 此處、-a'in 我は、説明語に續くときは ti を省く。
2. ti-mu-n <*ti-mu-in 汝等は、説明語の前に用ゐる。IN. ka-mu.
pa'azoau <pa'a-azoa-u <*paka-azoa-u 其處から行つ、paka ...から、azoa 其處、-u 命令、主體主。比. 註. 1.
6. cai <ta-i ...に、...を、(人名、人名詞の場合) 又略し

て ci.
8. koap-u 銃で打て、koap 銃、-u 命令、客體主。
9. izoa i lavik 海の處に居る、i-zoa 其處に居る、i lavik 海に居る。
12. kuda-kuda-in 如何なる事をしてゐる、客體主。kuda 如何、-in 客體主の接尾辭、普通 -in なれども母音の後には -in となる。ma-kuda 如何である。144 頁、15 行。
13. nazoa <no azoa その...の、あの...の。tsau-tsau 人。比. IN. tau.
14. vaik-in 行く、客體主。
15. ajaja <aja-aja さういひつ。比. 141 頁註. 8. s-im-na-sinai 語ひつづける。s-im-nai 語ふ、sinai 歌。

- ¹ tsa[uman toa qenalivan noa tapau noa
到着 に 屋根 の 家の
- ² valau / qau soa[apin 'a 'itop / sa vuloqan
妻 そこで 所脱 は 衣 而 所投
- ³ 'a palitiko /
は 下方
- ⁴ mano jumakin noa alak noa valau /
ふと 所見附 の 子 の 妻
- ⁵ "aqo uzai tsu a 'itop ina / matu su
何故 有 此 其 衣 母よ 様 汝の
- ⁶ ina[apan" / "ma'a inu ti cama toa lavik" /
所刺繡 白 何處 は我等の父を 海
- ⁷ qau soa[apin ni sapulalujalujan 'a dapi-
そこで 所脱 の サブラルヤルヤン は 前掛
- ⁸ lan sa vuloqan uta / qau jumakin noa
而 所投 又 そこで 所見附 の
- ⁹ kakidjan / "aqo uzai tsu a dapilan / matu
子供 何故 有 此 其 前掛 様
- ¹⁰ su ina[apan" / qau litsasau 'a kina / sa
汝の 所刺繡 そこで 外出 は 母 而
- ¹¹ eqoenici 'a pasa qenalivan / minto? ji-
所見 は 方 屋根 見ると
- ¹² mu[iju:ji ti sapulalujalujan / i vavau toa
笑つてゐる は サブラルヤルヤン 居上 の
- ¹³ qenalivan / qaqevuin-apa noa valau 'a
屋根 所呼 了 の 妻 共
- ¹⁴ pasa qomaqan /
方 屋内
- ¹⁵ qau masu[uman-apa kiman to kaivin/
そこで 暮 了 食 を 夕飯
- ¹⁶ manu ini kan ti sapulalujalujan / qau
ところが 不 食 は サブラルヤルヤン そこで
- ¹⁷ 'ivadaqan noa valau / "anima su cig[ajan
所問 の 妻 何 汝の 好物

忽ち妻の屋根の上に下りた。そこで着物を脱いで下の方に投げた。
すると妻の子が見附けて、お母さん、此の衣は如何して此處にあるだらう。あなたが刺繡した[お父さん]のに似てゐる。[母は]お父さんが海を(越えて)何處から來るものか。サブラルヤルヤンが又前掛を脱いで投げた。すると子供が見つけて、[此の前掛は如何して此處にあるのだらう。あなたが刺繡したのに似てゐる]。そこで母が外へ出て、屋根の方を見た。見るとサブラルヤルヤンが屋根の上で笑つてゐたので、母が家の中へ呼び入れた。
晩になつて夕飯を食つた。ところがサブラルヤルヤンは食はない。妻が問うて、汝の食べたい物は何か、とい

1. q-en-aliv-an 暮い、處、屋根、q-cem-aliv 暮く。
2. so-a[ap-in 取去る、客體主。衣、a[ap 取る、so-[は除く、又は開放の意を有す、so-qeliv 戸を開く <qeliv 閉す、so-qajai 縛を解く <qajai 縛る、-in 客體主の接尾辭。
vuloq-an 投る、位置主。v-in-loq 主體主。
4. jumak-in 見附る、客體主。衣、j-im-umak 主體主。
5. cu- 汝の、名詞及び第二類動詞の前に用ゐる。
6. in-a[ap-an 丹精なこめて作つた物、客體主。m-a[ap 同上する、主體主。
ma'a-inu <*maka-inu 何處から、maka ...から。

cama <ca-ama 我等の父。
7. ni 固有人名詞、人名詞の冠詞、屬格。
9. ka-ki-di-an 子供 <ki-di-kidi 小い。
11. j-im-uj-i-ju:ji <j-im-uj-i 笑ふ。
13. qaqevu-in-apa 呼んだ、客體主、父。
14. qomaq-an 家の内。比. Mal. rumah 家。
16. ma-su[um-an-apa 暮れる時になつた。ma-su[um 暮れる。
18. 'i-vadaq-an <ki-vadaq-an 問はれる人、位置主。夫、'i-vadaq 主體主。142 頁、6 行。

- ¹ ?a kiman" ajain / "avan a valicuk sa?a-
其 食 所言 彼物 共 蜜柑 只
- ² maja ?a ciŋlajan ?a kiman" / qau sijaja
は 所好 共 食 そこで 所取
- ³ toa valicuk sa pakani / qau more qoc-
な 蜜柑 而 所使食 そこで 將
- ⁴ miŋiŋ-apa / ?ilavaran ti sapulalujalujan /
寝 了 言 は サブラルヤルヤン
- ⁵ "qoemiŋiŋ-a'in i kuŋakuŋa" / aja ?ilava-
寝 我は に 足の處 と 言
- ⁶ ran toa valau / ?a valau "maja qoemiŋiŋ
に 妻 は 妻 物 寝
- ⁷ i kuŋakuŋa makuŋakuŋa sun" / "qoemiŋiŋ
に 足の處 有足處 汝は 寝
- ⁸ a'in i laviŋ" aja ti sapulalujalujan /
我は に 端 といふ は サブラルヤルヤン
- ⁹ ?ilavaran ?a valau / "maja qoemiŋiŋ i
言 は 妻 物 寝 に
- ¹⁰ lavilaviŋ / malavilaviŋ sun / qoēiŋu izoa
端 有端の端 汝は 寝よ 其處に
- ¹¹ icoa qoēuz" aja ?a valau / qau vaik a
處 柱 といふ は 妻 そこで 行 共
- ¹² qoemiŋiŋ sma coa qoēuz ti sapulalujalu-
寝 赴 處 柱 は サブラルヤル
- ¹³ jan / ita viŋin ini ?a taqoed qarecqeŋic /
ヤン 一 晩 不 共 眠 ギーギーいふ
- ¹⁴ ?ivadaqan noa valau ti sapulalujalujan /
所問 の 妻 は サブラルヤルヤン
- ¹⁵ "makuda sun / aqo ini su ?a taqoed / aqo
如何 汝 何故 不汝のは 眠 何故
- ¹⁶ qarecqeŋic sun" / "maitazoa-pata no
ギーギーいふ 汝は 如彼 やはり 時
- ¹⁷ kiman a'in toa valicuk" / aja ti sapula-
食 我は な 蜜柑 といふ は サブラ
- ¹⁸ lujalujan / manu pincopicoq toa qoēuz
ルヤルヤン ところが 抜 な 柱
- ¹⁹ noa tapau / qau sa pasusui toa nalimau-
の 家 そこで 而 所使傳 に 既伸

1. aja-in さういふ、客體主。
avan あれ、それ、多くの中から特に指定していふ。
2. si-jaja …の爲にもし取る、用具主。夫、jaja もぎとる。
si- 用具主の接頭辭、si-vitsi 書く爲の物、筆、si-pavai
興へる爲の物、贈物、se-qono 剃る爲の物、剃刀、小刀。
比、Atay, Ami sa-。
5. kuŋa-kuŋa 脚の處、kuŋa 脚、ma-kuŋakuŋa 脚の處の
爲に…される、ma-lavi-laviŋ 端の爲に…される。laviŋ
端、8行。比、ma-qojal 雨にふられる。
7. -su-n <*su-in 汝は、説明語の後に用ゐる。~ ti-sun
汝は、説明語の前に用ゐる。比、Atay, isu, 等、IN. は

ふと、[サブラルヤルヤンは]私の食ひた
いものはあの蜜柑だけだ。そこで蜜
柑を取つて食はせた。寝るときにサ
ブラルヤルヤンは「私は[寝臺の]足の方
に寝る」と妻にいつた。妻は「足の方に
寝るな、汝は足に祟られる」。すると「私
は端の方に寝よう」とサブラルヤルヤ
ンがいつた。妻は「端の方に寝るな、汝
は端に祟られる、柱の處に寝よ」といふ。
そこでサブラルヤルヤンは柱の處へ
行つて寝た。一晩眠らずギーギーい
つてゐるので、妻がサブラルヤルヤン
に問うた。「汝は如何したのか、何故汝
は眠らないのか、何故に汝はギーギー
いふのか」。私は蜜柑を食ふと、どうも
あゝいふ風になる」とサブラルヤルヤ
ンが偽つていつたが、[實は]家の柱を抜
いてゐたのだ。而して其の家をば伸
びた榕樹の上を傳はせて向う岸へ運

多く ka, mo 型を用ゐる su を用ゐる、只 Ilok, isu 彼
あるのみ、アタナル撤説参照。
16. mai-ta-zoa-ŋa-ta やはり彼の通りだ、ta-zoa 其に、pata
やはり、元の通り、實になどの義、ŋa <apa…した、…
だ、-ta <ita -(?) buŋai-apa-ta 依然元の通り美し
い。
1 pa-susu-i 傳つて行かせる、客體主、家、s-im-usu 傳つ
て行く、主體主、142頁、18行。
na-l-im-aulau 伸びた物、榕樹、na-過去、l-im-aulau 伸
る、112頁、16行、lau-laulav-u 伸びよ、142頁、14行。

- ¹ lau ?a ŋaralap ?a tapau /
共 榕樹 は 家
- ² qau malia-ŋa patsigid-apa tiamaju ?a
すると 夜明了 目覺 了 彼等は 共
- ³ mapulat / minto? i lavilaviŋ-apa toa
皆 見ると 居 岸 了 の
- ⁴ lavik / qau miŋcus-apa azoa valau / "aqo
海 そこで 驚 了 其の 妻は 何故
- ⁵ imaza-ŋa icin" aja ?ilavaran / qau
居此處 了 我等は と 言 すると
- ⁶ ?ilavaran ti sapulalujalujan / "tia?in ?a
言 は サブラルヤルヤン 我は
- ⁷ nakimatsu ?a pasa maza / ini-apa nakuja
既携來 共 方 此處 不よ 惡
- ⁸ a'in / maja-ŋa mavilad / ?a par?anapa-
我は 物 よ 逃 共 互に 睡じく
- ⁹ paqej-apa icin mapulat" /
しようれ 我等 皆

ん)だったのであつた。
夜が明けて彼等は皆目を醒した。
見ると[いつの間にか]海の岸に居た。
そこで妻が驚いて、「我々は何故此處に
居るのだらう」といつた。するとサ
ブラルヤルヤンは「私が此處へつれて來
たのだ。[此からは]私は悪くしないか
ら逃るな、皆互に伸よく暮さう」といつ
た。

2. valau noa qacuvi
妻の蛇

2. 蛇の妻

- ¹² uzai ?a vuŋuvuŋuŋ ?a tsautsau / ?a
有 が 老若 共 人 其
- ¹³ navaik ?a qoemalup / manu jimumak toa
既行 共 狩 と ところが 見附 な
- ¹⁴ vitsiar ?a buŋabuŋai / ?ijajain to sipavai
花 共 美 所採 爲 所興
- ¹⁵ toa mar?aalak ?a vavajavajan / mano noa
に 子等 共 女 ところが 物
- ¹⁶ qacuvi ?a vitsiar ?a ?inijaja / qau maŋciz
蛇 は 花 共 所採 すると 來
- ¹⁷ ?a qacuvi / "aqo su ?ijajain ?a ?u vitsiar /
は 蛇 何故 汝の 所採 は 我の 花
- ¹⁸ patsikiŋu / nu ini su patsikiŋi / ?u katŋi
返せ 若不 汝の 所返 我の 所咬
- ¹⁹ sun" / ajain noa qacuvi ?a vuŋuvuŋuŋ /
汝は 所言 の 蛇 は 老人

[或]老人があつて狩に行つた。す
ると美しい花を見つけたので、女の子
等に興へる爲に[花を]採つた。ところ
が、その採つた花は蛇の所有であつた。
そこで蛇が來て、「何故汝は私の花を採
るか。返せ。汝が返さないなら、私は
汝を咬むぞ」と蛇が老人に言つた。す
ると[老人は花を]元の處へ返したが、併

2. ti-a-maju 彼等、自分等、ti-maju 彼、自分、142頁、9行。
ti-a- 人的冠詞、複數。
5. icin <*ita-in 我等互、IN. ita。
7. ini apa nakuja a'in 私に悪くしないよ、apa …だよ、
だその義、maja-ŋa …するなよ、8行。
8. par'a-napa-ŋaq-e-j-apa <*par-ka-napa-ŋaq-i, 互に伸
よくしようよ、par- 互に…する、mar 互に…になる、
ka-napa-ŋaq-i 相手をよくする、客體主、napaq 良い。
14. ?i-jaja-in <*ki-jaja-in 自分で其物を探る、客體主。

?in-i-jaja <*k-in-i-jaja 自分で採つた物、16行。
15. mar?a-alak 互に親子の關係にあるもの、mar- 相互、
a-alak 子等。
vavaja-vajan 複數、<vavajan 女。
17. ?u <ku 私の名詞又は第二類動詞の前に用ゐる、IN.
ku。
18. pa-tŋikiŋ-u 返せ、命令、主體主、ts-im-ikiŋ 歸る、pa-
tŋikiŋ-i 返す、客體主。
katŋ-i 咬む、客體主、汝は私の咬む物ぞといふ義。

- 1 qau patšiki[in] pasa coa qapu[u] azoa
そこで 所返 方 處 元の 其の
- 2 vitšiar / la²oa ini-apa² ?a patšiki[/ nu
花 併 不 了 共 返 時
- 3 patšiki[in] macanica:ni / ?ivadaq² ?a qa-
所返 幾度も落 問 は
- 4 cuvi / "uzai² ?a nisun² ?a alak² ?a vavajan
蛇 有 は 汝の 其子は 其女
- 5 kimoda" / "uzai² aja vu[uvu]u[up] / "no
如何 有 といふ 老人 若
- 6 maitazoa katsuu azoa vitšiar / sa pavajan
如其 持行け 其の 花は 而 所興
- 7 toa su alak / ?a ci[ŋ]ai tazoa vitšiar /
に 汝の子 は 好む者 其の 花を
- 8 nia²in apa² ?a valau / nu ini su papovalau
我の だ 其妻 若 不汝の 所使嫁
- 9 van canoa²in / ?u katsi sun" / ajain² ?a
我に 我の 所咬 汝は 所言 は
- 10 vu[uvu]u[up] /
老人
- 11 qau katsuin noa vu[uvu]u[up] azoa vitšiar
そこで 所持行 の 老人 其の 花は
- 12 ar² ?a pasa cuma² / sa ?ivadaqe² ?a alak
共方 家 而 所問 は 子
- 13 tu tima² ?a ci[ŋ]ai tazoa vitšiar / mano
な 誰か は 好者 其の 花を ところが
- 14 masipats² ?a calavu[uvu]u[up]an² ?a vavajan /
嫁 は 最年長 其女
- 15 qo: qoemaŋ azoa vu[uvu]u[up] / "no ma-
そこで 泣 其の 老人は 若
- 16 sipats mun / more katsin a²in noa
嫁 汝等は 將 所咬 我は の
- 17 qacuvi" / aja cimumal toa mar²aalak /
蛇 といふ 告 に 子等
- 18 qau pinao[la] ?a sipulalakan² ?a vavajan /
すると 同情 は 末子 其女
- 19 "nu maitazoa idan azoa vitšiar canoa²in
若 如其 所興 其の 花は 我に
- 20 apa / povalau a²in toa qacuvi" aja /
れ 嫁 我は に 蛇 といふ

3. ma-cani-cani 反覆は回数が多いこと、ma-cani 落る。
6. katsuu-azoa vitšiar 其花は持つて行け、客體主命令。
-uは主體主にも客體主にも用ゐる。145頁、註、18。
pavaj-an 興へよ、用具主、花、花を用ゐて興へることを
せよといふ義。
8. pa-po-valav-an 配偶にする爲の者、用具主、<valau

し[元の通りに]返らない。返すと幾度
も落ちた。蛇が問うた、[汝は女の子が
有るかどうか]。「有る」と老人が言った。
[其なら、その花を持つて行つて、汝の子
に興へよ。その花を好む者を、私の妻
にしよう。若し汝が[女を]私の妻にし
ない時には、私は汝を咬むぞ]と老人に
言った。

老人はその花を家へ持歸つて、「誰が
その花を好むか」と子に問うた。とこ
ろが長女は嫌つたので、老人は泣いた。
[若し汝等が嫌ふなら、私は蛇に咬まれ
ることになる]といつて子供等に告げ
た。ところが末の娘が氣の毒に思つ
て、「其なら、その花を私に下さい。蛇の
處に嫁入しよう」といつたので、老人は
[花を]興へた。

配偶。
14. ca-la-vulu-vulu-an 最も年長者、vuluŋ 年長、cala- 最
も、一番。
15. qo: <qau, 141頁、註4。
19. id-an <*ido-an 興へよ、用具主、よこせといふ義。~
ido 來い、-an 比。pavaj-an 註、6。

- sipavai noa vu[uvu]u[up] /
所興 の 老人
- qau kac[i]uci[uan] maŋciz² ?a qacuvi /
すると 丁度三日目 來 は 蛇
- 3 "ino-apa² nia²in² ?a valau" aja² ?a qacuvi /
何處 だ 我のは 其妻 といふ は 蛇
- 4 qau situ[ŋ]ik noa kama / qau katsuin azoa
そこで 所指示 の 父 すると 所作行 其の
- 5 vavajan noa qacuvi² ?a sma coa tapau
女は の 蛇 共赴 處 家
- 6 nimaju / manu vaivaik tiamaju² ?a ma[ŋ]-
自分の ところが 行行 彼等は 共 二人
- 7 sa i ja[an] / minto² mapavalit to tsautsau
を 道 ふと 變 に 人
- 8 azoa qacuvi / to vapsaŋsar / qau masa[ŋ]-
其の 蛇は に 甚美男 そこで 喜
- 9 aravats azoa vavajan / jimalun tiamaju
甚 其の 女は 到着 彼等は
- 10 ?a ma[ŋ]usa i coa tapau noa qacuvi / mi-
其 二人 へ 處 家の 蛇 見
- 11 nto² bu[ai] aravats azoa tapau / qailu[an]
ると 立派 甚 其の 家は 硝子
- 12 ?a patsatsiki[/ nu² ?ijikits² ?a la[ŋ]au /
は 彼方此方 若 止 が 蝮
- 13 si[ŋ]ilas toa inabu[ai] noa tapau / qau
滑 爲 美しさ の 家 すると
- 14 azoa qacuvi ini palitsasatsasavi azoa
其の 蛇は 不 所使外出 其の
- 15 valau / marikuc to maqonivulan /
妻は 恐 を 被理
- 16 mano vaik azoa qacuvi² ?a sma kavoa-
ところが 行 其の 蛇は 共赴 島
- 17 voan / maŋciz² azoa kaka² ?a calavu[uvu]-
來 其の 兄弟 共 最年長
- 18 [u]pan² ?a vavajan / "aqo bu[ai] aravats² ?a
其女 何故 立派 甚 は
- 19 tsua tapau / ?a natia²in² ?a napovalau" /
此の 家 共 以前の我 は 嫁した者
- 20 aja timaju² ?a salipa / qau "napaq a² ?u
と思ふ 彼は 共 喪 そこで よい 其我の
- 21 qoetsiin tsua valau noa qacuvi" aja timaju
所殺 此の 妻は の 蛇 と 彼は

すると三日目に蛇が来て、「私の妻は
何處に居るのか」と蛇がいつた。父が
指して示した。そこで蛇はその女を
自分の家へつれて行つた。彼等二人
が道を歩いてゐる中に、その蛇は忽ち、
人に變つた[しかも]美しい男に。そこ
でその女は大變喜んだ。彼等二人は
蛇の家に到着した。見ると、その家は
硝子が彼處此處に[用ゐて]あつて、蝮が
止ると、家が美しいので滑り落ちる位
大變立派であつた。その蛇は妻を外
に出さない。[外出すると]塵が掛るの
を心配したからだ。

ところが[或時]その蛇が島へ行つた
[留守に]一番上の姉が來た。[この家は
何といふ立派な家だらう。[此なら]私
は妻になつてゐたものを]と、彼女は羨
しがつてさう思つた。それで、「蛇の妻
は私が殺してやらう」と考へた。姉が

1. si-pavai 興へる爲の物、用具主、花、146頁、註、6。
2. ka-ci[ŋ]u-ci[ŋ]u-an 第三日目の時、citu 三。
10. ma-ŋusa 二人、人の時は ma- を用ゐる、ŋusa 二。
14. pali-tsasa-tsasavi 外に出ず、客體主、反覆は意味を強

め決しての意、tsasau 外。
19. na-tia²in² ?a na-po-valau 嫁した者が私であつた、以前
私が嫁してゐたらと悔む意、na-tia²in² 以前の私、na-
po-valau 既に夫に嫁してゐる者、na- は何れも過去。

- ¹ azoa jorekuku / nu jimamai ?a oqalai /
其の 難は 時 撮 が 男
- ² siti / no jimamai ?a vavajan / tsoqoal /
内 時 撮 が 女 骨
- ³ qau [imutsij azoa vavajan / sivrirts azoa
そこで 怒 其の 女は 所捨 其の
- ⁴ jamai / minto? tsimuvoq ?a sirai i coa
お柔は 見ると 發生 が 松に 處
- ⁵ vinritsan / qo: miqatsa azoa sirai san-
捨てた處 すると 成長 其の 松は 作
- ⁶ sapil'in / no qoemi'aj ?a oqalai mipsig /
腰掛 時 坐 が 男 安定
- ⁷ no qoemi'aj ?a vavajan maleqaleqad /
時 坐 が 女 ぐらぐらする
- ⁸ [imutsij azoa vavajan / sipitsupu-aga
怒 其の 女は 爲薪材 了
- ⁹ azoa sapil /
其の 腰掛は

3. ma'uc'ucuk ?a oqalai
愚 其 夫

- ¹² uzai ?a marvalau ?a sitsoajan / uzai ?a
有 が 夫婦 其 昔 有 が
- ¹³ oqalai ?a alak / sa nasimval azoa kina /
男 其 子 而 既負 其の 母は
- ¹⁴ qau azoa kina "vaiku ?a ?ikasiu" ajain
そこで 其の 母は 行け 其 探薪 所言
- ¹⁵ ?a kama / qau "ui vaik a'in ?ikasiu"
は 父 すると よし 行 我は 探薪
- ¹⁶ aja ?a kama / qau kimatsu ta tsajis ?a
といふは 父 そこで 持行 な 繩 其
- ¹⁷ [a'oa'oaq / sa vaik ?a ?ikasiu / manu uzai
甚長 而 行 其 探薪 ところが 有
- ¹⁸ a qanivup ?a dusa qapu'oan / ini siqasi /
が 棟樑 其 二 株 不 所伐

- 2. tsoqoal 骨, Mal. tulang, Kawi tahulan.
- 3. si-virits 其物を捨てる, 用具主, v-in-rits-an 捨てた處, 5 行. -in- 過去, -an 場合.
- 5. qo: <qau それで, そこで, 而して, すると, mi-qatsa 大きくなる, qatsa 大きい, san-sapil-in 腰掛を作るものにする, 客體主, san 作る, sapil 尻の下に敷く小さな座, 尻すけ, 9 行.
- 8. si-pitsupu 燃す爲の物, 用具主, 薪.
- 12. mar-valau 互に配偶者となつてゐる者, valau 配偶者.

骨であつた。それでその女は怒つて、お菜を捨てた。見ると、其の捨てた處に松の木が生えた。松の木は大きくなつたので、腰掛に作つた。夫が腰を掛けると、安定して動かない。女が腰をかけると、ぐらぐら動いたので、女は怒つて、その腰掛を薪にして焚いた。

3. 愚 夫

昔夫婦の者がゐて、男の子があつた。而して、その母は[子を]負つてゐた。母は[薪を採りに行け]と父にいつた。「よし、私は薪を採りに行かう」と父が言つて、長い繩を持つて、薪を採りに行つた。すると、棟樑の木が二株あつた。[父は]伐らないで、繩で縛つて擔いだが、併し

- si-tsoaj-an 久しい以前の時, tsoai 久しい, si- 過去 ~ si-pida 何時頃, 過去, -an 時 ~ qoal-an 雨の時, 雨天.
- 14. ?ikasiu <*ki-kasiu 木を採る, ?in-i-kasiu <*k-in-i-kasiu 採つた木, 151頁, 4 行. kasiu 木, IN. kayu <*kahi (2).
- 16. ta <toa ...を.
- tsajis 繩, IN. tali <*talih (?).
- 17. [a'oa'oaq <*[a'oa-a'oaq 甚長い, [a'oaq 長い.
- 18. qapu'o-an 根元の處, qapu'u 根元, siqas-i 其物を伐る, 客體主, -s-im-iqas 主體主.

- ¹ vijicin toa tsajis sa vatsaqei / la'oa ini
所縛 以 繩 而 所縛 併 不
- ² pakakatsu / qau ini katsui ?a kasiu / vaik
能持行 そこで 不 所持行 は 薪 行
- ³ a cumaq / qau sa cumal toa valau / "liau
其家 そこで 而 告に 妻 多
- aravats ?a ?u ?inikasiu / ini pakakatsu
其 が 我の 所採之薪 不 能持來
- ⁵ a'in / vaiku ?a ma'ap' / ajain ?a valau ?a
我は 行け 其 取 所言 は 配偶 其
- ⁶ vavajan /
女
- ⁷ qau pazazikazikacin noa vavajan /
そこで 繰返し置置く所 の 女
- ⁸ "aitsu a kidikidi / [alau-aga toa zalum /
此の 其 子供 沸せよ な 水
- ⁹ sa papavanavi-aga / sa supui-aga ?a
而 所使浴 ぞ 而 所敷 ぞ は
- ¹⁰ jorekuku" ajain na valau ?a oqalai / qau
難 所言の 妻 は 夫 そこで
- ¹¹ ?a valau ?a vavajan sa vaik ?ikasiu / qau
は 配偶 其 女 而 行 探薪 すると
- ¹² ?a oqalai ?a valau [alain ?a zalum ?a
は 男 其 配偶 所沸 は 水 其
- ¹³ papinatuk / sa pata'ajain ?a kidikidi /
使沸騰 而 所使人 は 子供
- ¹⁴ navunisir-aga ?a azoa kidikidi ?a na-
既に出齒 了 は 其の 子供 其
- ¹⁵ matsaj-aga / qau azoa valau ?a oqalai /
既死 了 すると 其の 配偶は 其 男
- ¹⁶ "masajusa[u ?a kidikidi ?a ?u papavana-
甚喜 は 子供 其 我の 所使浴者
- ¹⁷ van" ajaja / ma'uvauva toa namatsaj-aga
といひつつ 甚喜 を 既死 了
- ¹⁸ ?a kidikidi / qau pakanan ?a jorekuku
其 子供 そこで 使食餌 は 難
- ¹⁹ uta / sa jamoeqei / sa pinipinidi ?a [eqoe: /
又 而 所捕 而 所扱 は 頸

[重いので]持つて行けない。それで木は持つて行かないで、家に歸つた。而して妻に「私の採つた木は大變多くて、持ちきれないから、取りに行け」といつた。そこで妻は[出がけに]此の子供は、湯を沸して、洗つてやれ。而して難を敷へておけ」と繰返し繰返し夫に言置いて、妻は薪を採りに行つた。そこで夫は熱湯を沸した。而して子供を中に入れると、その子供は齒をむき出して死んでしまつた。すると夫は、「私が滯せてやつたので、子供は喜んでゐる」といひつゝ、死んだ子供の爲めに喜んでゐた。それから又、難に餌をやると、捕へて頸を扱つて、壁に掛けた。

- 1. vijic-in 客體主, v-in-igic 主體主, vatsaq-ei 材木など一人で擔ぐ, 客體主, v-in-atsaq 主體主.
- 4. paka-katsu 持運ぶことが出来る, paka-出来る, 能ふ.
- 7. pa-za-zika-zikac-in 注意する様に繰返し置置く, 客體主, 夫, pa-za-zikac 指圖する, 注意する.
- 8. [ala-u 沸せ, 主體主, 汝, [-im-ala 沸す, 主體主, [-in-ala 沸した物, [ala-in 沸す, 客體主, 12 行.
- 9. pa-pavanav-i 浴せてやれ, 命令, 位置主, pa-pavanav-an 浴せる, 位置主, 16 行, p-in-a-pavanav-an 浴せた物, 位置主, 152 頁, 10 行, ma-vanau 浴る, 主體主, supui-i 其物を敷へよ, 客體主, s-im-upu 敷へる, 主體主, s-in-upu 敷へた物, 客體主, 152 頁, 5 行.
- 13. pa-pinatuk 沸騰させる, minatuk 沸騰する, pa-ta'aj-in 其物の中に入れる, 客體主, ta'aj 中.
- 18. pa-kan-an 其物に食はせる, 位置主, pa-kan 主體主, IN. pa-kan.
- 19. [eqoe: <*[eqoe 頸, Mal. liher.

- 1 qau sa kiłajan pi coa jilip /
そこで面 所掛 に 處 壁
- 2 qau azoa vavajan vaik ʔa małap toa
そこで其の 女は 行 其 取 な
- 3 ʔinikasiu / manu ini ʔa kasiu / qapu u noa
採つた薪 ところが非 其 薪 根 の
- 4 qanivug / qau tsimikił ʔa cumaq azoa
棲郷 そこで 歸 其 内 其の
- 5 vavajan / "su sinupu-apa ʔa jorekuku"
女は 汝の 所敷 了は 雞
- 6 ajain ʔa ʔivadaq ʔa valau ʔa oqalai /
所言 其 問 は 配偶 其 男
- 7 "sinupu-apa azoa / ʔu sinikiłai" ajain /
所敷 了 あれた 我の 所掛 所言
- 8 qoencan noa vavajan / namatsaj-apa ʔa
所見 の 女 既死 了は
- 9 jorekuku ʔa pinulat / [imutsiŋ aravats
雞 其 皆 怒 甚
- 10 ʔa vavajan / qau ʔivadaqan uta / "pina-
は 女 そこで 所問 又 所
- 11 pavanavan-apa ʔa kiłikiłi" ajain ʔa
使浴 了 は 子供 所言 其
- 12 ʔivadaq / "ui ʔu pinapavanavan-apa / ma-
問 然 我の 所使浴 了
- 13 saju aravats jimilijili ʔa naqoemiriŋ /
喜 甚 笑ひながら 其 既寝
- 14 aja toa namatsaj-apa / vaikin ʔa ʔeqoenic
といふな 既死 了 所行 其 見
- 15 noa vavajan / mintu? namatsaj-apa /
の 女 見ると 既死 了
- 16 povaroŋ aravats azoa vavajan qoemaŋ-
悲 甚 其の 女は 泣
- 17 apa / qau ʔilavaran ʔa oqalai / "aqo qoe-
了 そこで 言 は 男 何故
- 18 maŋ sun ʔa paqtiłin / ʔa jimilijili
泣 汝は 其 無間に 其 笑つてゐる
- 19 ʔa kiłikiłi / ʔilavaran ʔa vavajan / "aja
は 子供 言 は 女 泣
- 20 icin toa namatsaj-apa" aja / qau sa qaŋ-
我等 を 既死 了といふそこで面 泣
- 21 apa azoa vavajan /
了 其の 女は

1. kiłaj-an 其物を持って行つて掛ける、其物を用ゐて掛けることとする、用具主、s-in-i-kiłai 同上掛けた物、7行、-an、si- 用具を表はす、
pi coa …の處に…する、他動詞の時 pi を用ゐる、自動

妻は[夫の]採つた薪を取りに行つた。
ところが薪ではなくて棲郷の根であつた。そこで、その妻は家へ歸つた。
「お前は雞を敷へたか」といつて、夫に問うた。[夫は]敷へたよ。それは私が掛けておいた。あそこに、あれだ」といふ。
妻が見ると、雞は皆死んでゐるので、大變に怒つた。そこで又、子供に湯を浴させたか」といつて問うた。「おい、私が浴せてやつた。[子供は]大變喜んで、笑ひながら寝てゐるよ」と死んでゐるのをさういつた。妻は行つて見た。見ると死んでしまつてゐる。妻は大變悲んで泣いた。そこで夫は妻に、「汝は、何故無間に泣くのか、子供は笑つてゐるではないか」といつた。妻は、「そんな事があるものか、死んでしまつてゐるの」といつて泣いた。

詞の時 i を用ゐる。
8. qoenc-an 其物、又其處を見る、位置主、ʔe-qoenic <ki-qoenic 見る、自分で見る、主體主、
14. vaik-in 其物に向つて行く、客體主、

- 1 qau tsoaj-apa / "ałapu toa titau atoa
そこで 久 了 取れ な 鐵 と
- 2 puŋki" / ajain ʔa oqalai / qau vaik ʔa
塵取 所言 は 男 すると 行 共
- 3 małap toa titau atoa piŋki / sa vaik
取 な 鐵 と 塵取 面 行
- 4 tiamaju ʔa sma tsimtsimil / qau "kałiu
彼等は 其 赴 雞木林 すると 掘れ
- 5 tsua imaza" ajain / kałiin noa oqalai / qau
此の 此處 所言 所掘 の 男 そこで
- 6 sa more tsivilin azoa kiłikiłi / manu
面 將 所埋 其の 子供は ところが
- 7 magaraŋ ʔa oqalai / "aqo tsivilin ʔa
怒 は 男 何故 所埋 其
- 8 paqtiłin / ʔa masałusaļu ʔa jimilijili ʔa
妾に 其 喜んでゐる 其 笑つてゐる は
- 9 kiłikiłi" / "namatsaj-apa" ajain noa
子供 既死 了 所言 の
- 10 vavajan / qau tsivilin-apa nimaju /
女 そこで 所埋 了 彼の
- 11 qau sa tułui-apa azoa oqalai / "no
そこで面 所敷 了 其 男は 時
- 12 mapuvarovarŋ ʔa ca sałasałaj / no qoe-
心配してゐる が我等の 仲間 時
- 13 maŋqaŋ / ca pušałajan ʔa mapuvarŋ /
泣いてゐる 我等の 所共同 其 悲
- 14 ʔa qoemaŋ / sa ʔanapa:q" / qau tsoatsoaj-
其 泣 而 良 そこで 久
- 15 apa mano uzaj-a pakaikaiv / qau vaik a
了 或時 有 が 結婚式 そこで 行 共
- 16 ʔeqoepu tiamaju / mano qoemaŋ azoa pi-
集會 彼等は ところが 泣 其の
- 17 nakaivan ʔa vavajan / mintu? qoemaŋ
所嫁了 其 女 見ると 泣
- 18 uta azoa oqalai / qau ʔerevoan noa valau
又 其の 男は そこで 所叱 の 配偶
- 19 ʔa vavajan / "aqo qoemaŋ sun ʔa pa-
其 女 何故 泣 汝は 其
- 20 qtiłin" ajain / "no qoemaŋqaŋ ʔa
妾に 所言 時 泣いてゐる が

暫くして[妻は]鐵と塵取を取りに行け」と夫にいつたので[夫は]鐵と塵取を取りに行つた。而して、彼等は雞木林へ行つた。すると妻が、「此處を掘れ」といふので、夫が掘つた。そこで妻は、その子供を葬らうとした。男は忽ち怒つて、「喜んで笑つてゐる子供を、何故無間に葬るか」といふと、妻は、「死んでしまつたのだもの」といつて葬つた。

或時[妻は]、その夫に敷へて、「我々の仲間が心配してゐる時[又は]泣いてゐる時などは、我々は同情して、共に悲しみ、[又]泣くのが好いのだ」といつた。すると其後、丁度結婚式があつた。彼等は行つて、集りに加はつた。その時花嫁が[親に別れるのを悲んで]泣いた。すると、その男も亦泣いた。それで妻は、「何故汝は無間に泣くか」といつて叱つた。「他の人が泣いてゐる時は、我々も

1. titau 鐵、<臺灣語、鐵頭 (thi-thau)、156頁、註2。
2. puŋki 塵取、<臺灣語、糞箕 (puŋ-ki)。
4. tsim-tsimil 山、雞木林、原意、草の多い處、tsimil 草、kałi-u 掘れ、主體主、命令、kałi-in 物を掘る、客體主、5行、si-kałi 掘る具、155頁、17行、Mal. meng-gali 掘る、Dok. kali-en. 物を掘る、客體主。
11. tułui-i 其人に敷へる、位置主、t-im-ułui 主體主。
12. ca- 我等お互の、IN. ta.

13. pu-sałaj-an 其人の爲に共同する、用具主、pu-sałaj 共同する、主體主、154頁、1行、sałasałaj 仲間の人々、12行。
16. ʔe-qoepu <*ki-qoepu 自分で集る ~q-œm-ipu 集める。
15. pakaikaiv 互に結婚する、p-in-akaiv-an 結婚した者、16行 <pakaiv 結婚。
18. ʔe-revo-an 叱を被る者、位置主、ʔe-revo <*ki-revo 怒る、叱る、154頁、2行。

- 1 qa[eqa]i / qoemaon icin ?a pusa[aj aja
他人 泣 我等は其 共同 といふ
- 2 sun / aqo ?erevo sun ?a paqti[in] ajain
汝は 何故 叱 汝は 其 妻に 所言
- 3 ?a vavajan / qau kiman ta tsipil / no
は 妻 そこで 食 な 午食 時
- 4 palitikutikuin / pulapulat-in ?a jimamai
所置下 悉皆…する所 其 撮
- 5 noa oqalai / qau masiaq azoa vavajan
の 男 そこで 駈 其の 妻は
- 6 "maja jimamai aravats / ?u qajajai ?a
物 撮 甚 我の 所結紐 は
- 7 su [ima / no ?u tsid[tsid]in jamaju" ajain /
汝の手 時 我の 所引 撮め 所言
- 8 nu tsoaj-apa ini tsid[tsid]i / "aqo ini-apa
ても 久 了 不 所引 何故 不のた
- 9 su tsid[tsid]tsid[i] ?a oqalai / mano
汝の 所引 といふ は 男 丁度
- 10 cima[ja tidiq / sa paqaoqoluts ?a vato /
入 間 面 互に喧嘩 が 犬
- 11 qau matsid[tsid] ?a [ima / calaulau anan
そこで 所引 は 手 より早 向
- 12 ?a jimamai / qau pulat-in-apa ?a jamai /
其 撮 すると 所盡 了 は 馳走
- 13 nika-pa no sijamai noa qa[eqa]i /
無 了も 馳走 の 他人

4. mar?kaka
兄弟

- 18 uzai a ma[usa ?a mar?kaka ?a sitsoaj-
有 が 二人 其 兄弟 其 昔
- 19 an / ?ilavaran ?a kaka calalak / "uzai a
昔 が 兄弟 年少 有 が
- 20 ja[alalap i katsasavan / ?u [ilij / no ca
榕樹 に 庭 我の 庭 時 我等の

1. qa[eqa]i <qa[i-q[i] 他人, 人々, qai] 男の友人。
4. pali-tiku-tiku-in 其物を下し置く, 客體主, tiku 下, 反覆は, 下に置くや否や直ちにの意あり。
pula-pulat-in 悉皆…する, 客體主, 反覆は意強し, pulat-in 同上, 12行, ma-pulat 皆の者。
6. qajaj-ai 結附ける處にしよう, 位置主, 手, -ai 現實未來, 位置主。
7. tsid[tsid]-in 其物なちくりちくりと引張る, 一般現在。

一緒に泣くものだと、汝はいつたちや
ないか。汝は何故無闇に叱るかと女
にいった。その時[又]午食を食った。
馳走が出て、下に置かれるや否や、夫は
撮んで、皆食ってしまった。そこで妻
は耻ぢて、「餘りさう馳走を撮むな、私が
汝の手に紐を括りつけておく[から]私
が引ばつた時に、馳走を撮め」といった。
暫くしても引ばらないから、「何故汝は
引ばらないかと男がいった。丁度そ
の時、犬が二人の間にはひつて、咬合し
た。すると[其の爲]手[の紐]が引ばられ
たので、[男は合圖だと思つて]早速馳走
を撮んで、食ってしまった。それで、他
の客の分までも無くなつてしまった。

4. 兄弟

昔二人の兄弟があつた。弟が兄に
向つて、庭に榕樹がある。[その木蔭は]
私の涼む處だ。我々が[木を]動かすと、

客體主, tsid[tsid]-i 同上, 現實現在, 客體主, 8 行, ma-tsid[tsid] 自然に引張られる, 11 行。
13. si-jamai お菜として用ゐる物, jamai お菜, si- 用具主の接頭辭, 材料。
19. calalak <ca-ala-alak 年少, ca- …より, 尙, alak 子。
20. ka-tsasav-an 庭, tsatsau 外。

- 1 rigrigin macani ?a valicoq / ?asi vavau
所播 落 が 銀 から 上
- 2 toa ja[alalap / kaka" / ajain ?a cavu[uj /
の 榕樹 兄よ 所言 は 兄
- 3 qau no maitazoa vaik-apa-?in ?ilij / sa
そこで若 如其 行よ 我は 自涼 面
- 4 ?u rigrigi apa / ula a?in povalicoq" / aja
我の 所播 了 或 我は 得銀 といふ
- 5 ?a kaka ?a cavu[uj / qau ini ?a tsoatsoai /
が 兄弟 其 年長 そこで不 其 久
- 6 vaik azoa kaka ?a cavu[uj, ?a ?ilij / sa
行 其の 兄弟は 其 年長 其 自涼 面
- 7 rigrigi / mano macani ?a mar?a qacuvi
所播 ところが 落 が や 蛇
- 8 mar?a qacu[al mar?a qatsilai / qau [imu-
や 蚯蚓 や 石 そこで 怒
- 9 tsip azoa kaka ?a cavu[uj / more siqasin
其の 兄弟は 其 年長 野 所斬
- 10 ?a kaka ?a calalak / qau ?ilavaran ?a kaka
は 兄弟 其 年少 すると 言 は 兄弟
- 11 ?a calalak / "no ini su ?asa[u / tia?in-aj-
其 年少 若 不 汝の 所信 我こそ
- 12 a rimigrig" / qau rigrigin nimaju / min-
其 播 そこで 所播 彼の 見る
- 13 to? macani ?a valicoq mar?a sitopan / qau
と 落 が 銀 や 反物 そこで
- 14 masa[u apa ?a kaka ?a cavu[uj /
信 了 は 兄弟 其 年長
- 15 ?ilavaran anan uta azoa kaka ?a cala-
尙 又 其の 兄弟は 其 年
- 16 lak / "uzai a nia?in ?a titau ?a bu[abu]ai /
少 有 が 我の物 其 銀 其 上等
- 17 nu ca sikaji toa qeipo / likatsawan ?a
若 我等の 器具 な 土 所出現 は
- 18 sauzajan" / ajain ?a kaka cavu[uj / ?ila-
寶 所言 は 兄弟 年長
- 19 varan ?a kaka ?a cavu[uj / "nu maitazoa
言 は 兄弟 其 年長 若 如其
- 20 pasijami a?in toa nisun a titau" / aja ?a
所食 我は な 汝の物 其 銀 といふが

榕樹の上から、お金が落ちて来るよ、兄
さんと兄にいった。すると兄は、「其な
ら、私も涼みに行つて動かさう。した
ら、私は金持になるにちがひない」とい
ふ。間もなく、兄は涼みに行つて、[木を]
動かした。すると、蛇や蚯蚓や、石など
が落ちて来たので、兄は怒つて弟を斬
らうとした。すると弟は、「汝が信じな
いなら、私が動かさう」といつて動かし
た。見ると、お金や、反物やが落ちて来
たので、兄は信じた。

弟は又兄に「私によい銀がある。我
々が此で土を掘つたら、寶物が出る」と
いった。兄は、「其なら、汝の銀を私に貸
せ」といふ。兄は貸してもらつて、其の
銀で土を掘つた。併し掘つてみたら、
石と木ばかりだつた。兄は怒つて、そ

1. rigrig-in 其物を播り動かす, 一般現在, 客體主, rigrig-i 同上, 現實現在, 客體主, 4 行, r-im-igrig 主體主, 12 行。
3. ?i-lij <*ki-lij 自分で既に休む, [lij] 既, 154 頁, 20 行。
4. po-valicoq 銀を得る, valicoq 銀, 寶幣。
11. ti-a?in ai ?a r-im-igrig 私か動かす, 私こそ動かす者。

ai 比, Tag, ai.
13. sitopan <*si-itop-an 衣を作る爲の物, 反物, itop 衣。
16. ni-a?in 私の物, ni-sun 汝の物, 20 行。
20. pa-sijam-i a?in 私は貸してもらふ, 用具主, 156 頁, 1 行, pa-sijam-an 其物を貸してもらふ, 用具主, 156 頁, 1 行, pa-sijam 貸す ~ ?i-sijam <*ki-sijam 借りる。

- ¹ kaka ?a cavu[uj/ qau pasijaman/ sa
兄弟 其 年長 そこで 所食 而
- ² titavan noa kaka ?a cavu[uj toa qeipo /
所捕 の 兄弟 其 年長 を 土
- ³ la'oa nu timitau qatsilai atoa kasiu
併 時 捕 石 と 木
- ⁴ sa'amaja / qau [imutsij azoa kaka /
只 そこで 怒 が 其の 兄弟は
- ⁵ sivrirts azoa titau / qau [imutsij azoa
所捨 其の 罽は すると 怒 其の
- ⁶ kaka ?a calalak uta / ini apa parqaqei-
兄弟は 其 年少 亦 不 了 互に
- ⁷ vuivu tiamaju /
話 彼等は
- ⁸ uzaj-a qadau ma[ap azoa kaka ?a
有 が 日 取 其の 兄弟は 其
- ⁹ calalak toa laugiu sa kani / sa vaik a
年少 を 糞 而 所食 而 行 其
- ¹⁰ sma coa mazazapilan sa qocuc / manu
赴 處 頭目 而 放屁 ところが
- ¹¹ simqo azoa mazazapilan / manu pa'a-
嗅 其の 頭目は ところが 感
- ¹² nuliqul aravats ?a mazazapilan / qau pa-
芳 其 は 頭目 そこで
- ¹³ vajan toa valicoq mar?a [ami / mano
所興 を 糞 や 食料 ところが
- ¹⁴ [imadipa ?a kaka ?a cavu[uj / to naki-
聞 が 兄弟 其 年長 其な 既
- ¹⁵ man toa laugiu sa qocuc / qau ?ipavajan
食 を 糞 而 放屁 そこで 所食
- ¹⁶ apa timaju toa valicoq / aja [inadipan /
了 彼は を 糞 如此 所聞
- ¹⁷ "napaq a vaik a'in ?a tsimakau toa
好 は 行 我は 其 糞 を
- ¹⁸ laugiu sa ?u kani / sa ?u vaik ?a qoc-
糞 而 我の 所食 而 我の 行 其
- ¹⁹ micuc toa mazazapilan / ?in ?a pavai
放屁 於 頭目家 或は…する所 其 興
- ²⁰ apa toa valicoq noa mazazapilan / aja
だらうを 糞 の 頭目 と思

の罽を捨てた。すると弟も亦怒つて、
彼等は互に話をしないやうになつ
た。
或日、其弟は糞を取つて食つた。而
して、頭目の處へ行つて屁を放つた。
ところが、頭目は其を嗅ぐや否や、大變
芳しく感じたので、それでお金や食料
などを興へた。すると、彼が糞を食つ
て屁を放つたので、お金を貰つたこと
を、兄が聞いた。そこで[兄は]私は糞を
盗みに行つて、食つてやらう。而して、
頭目の處へいつて、放屁しよう。[した
ら]頭目が金を呉れるかも知れぬ、と彼
は思つた。そこで、糞を盗んで食つた。
而して、頭目の内へいつて、屁を放つた。
すると、大變臭かつたので、頭目は怒つ

2. titav-an 罽で囲る。用具主。實。 t-im-itaui 同上。主體主。3行。titau 罽。153頁。註1。
6. par-qaqei-ivu 互に呼びあふ。q-cem-qaqei-ivu 呼ぶ。
9. laugiu 糞。<臺灣語。糞。lo-gio>。
10. qocuc 屁。q-cem-icuc 放屁する。18行。比。Mal. tēr-kentut 放屁。

12. pavai-an 其人に興へる。貰ふ人。位置主。?i-pavai-an 自分が貰ふ人になる。15行
16. [-in-adipa-n <[-in-adipa-an 聞いた事。客體主。[-im-adipa 聞く。主體主。14行。
17. ts-im-akau 糞む。主體主。IN. t-um-akau。

- ¹ timaju / qau vaik a tsimakau toa laugiu
彼は そこで 行 其 糞 を 糞
- ² sa kani / sa vaik a qocmicuc toa ma-
而 所食 而 行 其 放屁 に
- ³ zaza[ilan / manu qapsij aravats / qau
頭目 ところが 臭 甚 そこで
- ⁴ [imutsij ?a mazazapilan / siqasin-apa
怒 が 頭目 所斬殺了
- ⁵ azoa kaka ?a cavu[uj /
其の 兄弟は 其 年長

て、その兄を斬殺した。

5. ti sapulalujalujan ati
サブラルヤルヤン と
sasimida[uj
サシミダ

5. サブラルヤルヤンと
サシミダ

- ⁹ uzai a sitsoajan ti sapulalujalujan /
有 其 昔 は サブラルヤルヤン
- ¹⁰ navaik a ?isiqas to sicoavudat / nakuja
既行 其 攻 を チョアグダス社人 怒
- ¹¹ aravats ?a sikudan noa sicoavudat ?a
其 は 行爲 の チョアグダス 其
- ¹² tsautsau / tsug ?a tsimakau / mar?a si-
人 よく 其 糞 或
- ¹³ miqas toa tsautsau / qau [imutsij ti
斬 を 人 そこで 怒 は
- ¹⁴ sapulalujalujan mirava / sa vaik ?a ?isi-
サブラルヤルヤン 準備 而 行 其 攻
- ¹⁵ qas toa sicoavudat / qau jimalun i coa
を チョアグダス そこで 到 へ 處
- ¹⁶ qenalan noa sicoavudat / ?isiqasan ni
社 の チョアグダス 所攻 の
- ¹⁷ sapulalujalujan ?a sicoavudat ?a [ima ?a
サブラルヤルヤン は チョアグダス 其 五 は
- ¹⁸ qadau / la'oa matsijil ti sapulalujalujan /
日 一人 は サブラルヤルヤン
- ¹⁹ corovo ?a sicoavudat / qau ini va[ia ti
大勢 は チョアグダス そこで 不 勝 は
- ²⁰ sapulalujalujan / qoc[isjin apa noa sicoa-
サブラルヤルヤン 所殺 了 の チョア
- ²¹ vudas / qau sa tsi[ujui apa toa kavajan
グダス そこで 而 所突刺 了 に 刺竹

昔サブラルヤルヤンといふ人が居
て、チョアグダス社へ行つて、社の人を
攻めた。チョアグダス社の人の風習
は大へん悪くて、よく盗をしたり、人を
殺したりした。それでサブラルヤル
ヤンは怒つて、支度をして、チョアグダ
ス社の人を攻めに行つた。するとチ
ョアグダスの番社へ着いた。チョア
グダス社の人は、五日間サブラルヤル
ヤンに攻められた。併しサブラルヤ
ルヤンは一人、チョアグダス社の人は
大勢であつたので、サブラルヤルヤン
は負けて、チョアグダス社の人に殺さ

7. ti 固有人名。及び人名詞の冠詞。…といふ者などの意。
IN. si.
10. ?isiqas 自分から斬かかる。攻撃する。?i-siqas-an 攻
める所。位置主。16行。?i-koan 此方から銃を打かける。
158頁。9行。?i-koan-i 同上。客體主。158頁。18行。
si-coavudat si- は社名。種族名に冠して所属の人を示

す。si-paiwan バイワン人。si-kuskus クスクス社の
人。
11. sikudan <*si-kuda-an 行。習慣用具主。原意。如何す
るか其の方法といふ意。<kuda 如何。
17. qadau 大馬。Tag. arau。
21. tsi[ujui-i 客體主。ts-im-i[ujui 主體主。159頁。註2。

- ¹ ?a qo[u] atoa tsoqo[al] / は首と骨
- ² manu uzai a alak ni sapulalujalujan / ところが有が子のサブラルヤルヤン
- ⁴ ti sasimida[u] ?a padan / qau miqatsa / サシミダール 其名 すると 成長
- ⁵ azoa ?ivadaq toa kina / "tima ?u kama / 彼は 間に 母 誰 我の 父
- ⁶ ina / aqo nika ?u kama i cumaq" ajain / 母よ 何故 不在 我の 父に 内 所言
- ⁷ ?a kina / la?oa marikuc ?a kina ?a / は 母 併 恐 は 母 其
- ⁸ cimumal to qeintsi noa sicoavudas / 告 な 所殺了 の チョアヴダス
- ⁹ marikuc to vaik anan ?a ?ikoap toa / 恐 な 行 再 其 打銃 な
- ¹⁰ sicoavudas / la?oa mano vaik a ?ivadaq / チョアヴダス 併 ところが 行 其 間
- ¹¹ toa qa[eqa]i ti sasimida[u] / manu cumaq / に 他人 は サシミダール ところが 所
- ¹² lan noa qa[eqa]i / qau kimila[an] a[pa] ti / 告 の 他人 そこで 知 了 は
- ¹³ sasimida[u] / to qeintsi ?a kama noa / サシミダール な 所殺了 は 父 の
- ¹⁴ sicoavudas / "nu maitazoa vaik a?in ?a / チョアヴダス 若 如其 行 我は 其
- ¹⁵ ?eqolis toa sicoavudas" aja kinimnim / 復仇 に チョアヴダス と 考
- ¹⁶ qau ini cumal toa kina / vaik timaju ?a / そこで 不 告 に 母 行 自分 其
- ¹⁷ sma coa qenalan noa sicoavudas / sa / 社 處 社 の チョアヴダス 而
- ¹⁸ ?ikoapni ?a sicoavudas / 所打銃 は チョアヴダス
- ²⁰ azoa ti sasimida[u] saigu aravats ?a / 其 は サシミダール 巧 其 其
- ²¹ ?isiqas / qau ini-apa va[la] ?a sicoavudas / 或 そこで 不 了 勝 は チョアヴダス

れた。而してその首と骨とは、荊竹の先に突刺された。

ところが、サブラルヤルヤンの子に、サシミダールといふ名の者があつた。

其の者が成長して、母に向つて、「私の父さんは誰ですか、母さん、私の父さんは、何故家に居ないのですか」と問うた。

併し母は、「父が」チョコアヴダス社の人に殺されたことを告げるのを恐れた。

母はその子が、チョコアヴダスを再び銃で打ちに行くのを恐れたのだ。併し

サシミダールは、他の人の處へ聞に行つた。すると、他の人が[事實を]告げたの

で、サシミダールは、父がチョコアヴダス社の人に殺されたことを知つた。[其な

ら私は行つて、チョコアヴダスに復讐してやらう]と考へた。そこで、母には告

げず、自分でチョコアヴダス社へ行つて、銃をうちかけた。

サシミダールは、攻めのるが上手だつたので、チョコアヴダス社の人には勝たな

- 1. qo[u] 頸, IN. ulu. Mal. hulu 上流, 山手, 柄頭.
- 4. padan 名, IN. ngaran.
- 8. q-ein-tsi <q-in-itsi 人の殺す所となつた者, 客體主, q-icem-itsi 殺す, 主體主.
- 11. cumal-an 其人に告げる, 位置主, c-im-umal 主體主.

- 8行.
- 15. ?e-qolis <*ki-qolis 自分で仕返しする, ?e-qolis ?a q-cem-itsi 復讐して殺す, ma-qolis 逆になつてゐる.
- 20. saigu 巧な, <臺海語, 司阜 (sai-hu), 職人の意.

- ¹ qau jumakin ?a tsoqo[al] atoa qo[o] noa / そこで 所見附 は 骨 と 首 の
- ² kama / ?a sinipatsi[uju] toa kavajan / qau / 父 其 所突刺物 に 荊竹 そこで
- ³ a[lapin] nimaju sa palitiko[i] / sa qoepoi / 所取 彼の 而 所下 而 所集
- ⁴ ?a tsoqo[al] / qau sa ?isinai nimaju / "ku- / は 骨 そこで 而 所語 彼の 如
- ⁵ da mapatsatsaitsain ?a tsoqo[al] ni ama" / 何 連續 が 骨 の 父さん
- ⁶ qau mapatsatsaitsain ?a tsoqo[al] noa / すると 連續 が 骨 の
- ⁷ kama / "kuda pusiti ti ama" / pusiti ?a / 父 如何 生肉 が 父さん 生肉 が
- ⁸ kama / "kuda ?ilavaran ti ama" / ?ilavaran / 父 如何 發言 が 父さん 發言
- ⁹ ?a kama / qau mivalut-apa ?a kama / が 父 そこで 再生 了 は 父
- ¹⁰ qau mirava-apa tiamaju / qau sa vaik-apa / そこで 準備 了 彼等は そこで 而 行 了
- ¹¹ cumaq / 家
- ¹² qau jimalun i gadigadi / pinanap ti / そこで 到着 に 山頂 勝鬨 は
- ¹³ sapulalujalujan / qau [imadi]pa ?a icu- / サブラルヤルヤン すると 間 が 在
- ¹⁴ maq / "aqo uzai azoa pinanap / mato: ti / 家人 何故 有 彼の 勝鬨 様
- ¹⁵ sapulalujalujan" / aja ?a qa[eqa]i / pina- / サブラルヤルヤン といふ が 他人 勝
- ¹⁶ nap uta ti sasimida[u] / qau [adigan] noa / 間 又は サシミダール すると 所聞 の
- ¹⁷ qa[eqa]i / "aqo uzai azoa sinipinanap / 他人 何故 有 彼の 勝鬨の合圖
- ¹⁸ mato: ti sasimida[u] / aja ?a qa[eqa]i / qau / 様 サシミダール といふ が 他人 すると
- ¹⁹ vi[iv]i[il]an-apa pinanap-apa tiamaju ?a / 最後時 了 勝鬨 了 彼等は 其
- ²⁰ ma[du]sa / minto² sa [ipulan] noa qoliva[n] / 二人 見ると 而 所圖 の 虹

かつた。[サシミダールは]父の骨と首とが、荊竹に突きしてあるのを見附けた。そこで、彼は[其を]取下して、骨を集めた。而して自分で、父さんの骨が接合はされたらよいのに、といつて語つた。すると、父の骨は接合はされた。[父さんの肉が出来たらよいのに]といふと、父の肉が出来た。[父さんが物を言へば]よいのに[といふと]、父が物を言つた。そこで父は生返つた。而して彼等は支度をして、家へ歸つた。

山の絶頂へ着くと、サブラルヤルヤンは勝鬨を擧げた。すると家の人が聞附けて、「あの勝鬨は如何したのだから、サブラルヤルヤンの様だ」と人々がいつた。サシミダールが又叫んだ。すると社の人々が聞いて、「あの勝鬨は如何したのだから、サシミダールの様だ」と人々がいつた。そこで最後に、彼等二人が叫んだ。見ると虹が五重になつ

- 2. s-in-i-patsi[uju] 持つて行つて突刺したもの, 用具主, tsai[uju]-i 其物を突刺す, 客體主, 157頁, 21行.
- 4. kuda 如何, 此處にては…したら如何だらう, …したらよいのに, などの意.
- 5. ma-patsai-tsain 連續する様になる, patsain 糸など連絡する.
- 7. ama 自分の父, 父さん, 主格 ti, 屬格 ni 5行, kama 他

- 人の父, 一般の父, 第三者よりいふ, 主格 ?a 7行, 屬格 no-a 1行.
- pu-siti 肉を得る, 肉を生ずる, siti 肉.
- 13. i-cumaq 家に居る人, cumaq 家内.
- 19. vi[i]-vi[il]-an 最後の時, vi[il] 行列又時間の最後.
- 20. [ipul]-an 圖む處, 位置主, 二人, [i]-m-igul 圖む, 主體主.

- ¹ rau to masani:mal / qau vaik tiamaju
の 五重 そこで 行 彼等は
- ² ?a cumaq / jimalun tiamaju kamajan
其 家 到着 彼等は 共儘
- ³ anan ?a qoliva:rau / qau mapciz ?a qa-
向 は 虹 そこで 来 が
- ⁴ [eqa]i ?a ?eqoenic / sa paka:uvai apa
他人 其 見 而 所歓迎 了
- ⁵ tiamaju ?a ma:usa / qau zimian ?a qa-
彼等は 其 二人 そこで 踊 は
- ⁶ [eqa]i ?a tapu:loq ?a qadau / mar?a
他人 其 一十 は 日 或
- ⁷ kivava / qau sa sanmazazajilani apa ti
飲酒 そこで 而 所成頭目 了 は
- ⁸ sapulalujalujan ati sasimida:u /
サブラルヤルヤン と サシミダ

て[彼等を]関んでゐた。彼等(二人)は家へ歸つた。彼等は着いたが、虹はまだ其の儘だつた。そこで、人々が来て見て、彼等二人を歓迎した。そこで、人々は十日間、踊つたり、酒を飲んだりした。而してサブラルヤルヤンとサシミダルとは頭目になつた。

6. cug:ui atoa

チュグルイ鳥と

pa:pai

ガーガイ鳥

- ¹² izoa sitsoajan mar?alaalak ?a maci:u /
居 昔 親子 共 三人
- ¹³ uzai a alak noa kina ?a [umamad anan /
有 が 子 の 母 共 赤坊 尙
- ¹⁴ qau sipasival toa alak ?a calavu:uvu:u:u
そこで 所使負 を 子 は 最年長者
- ¹⁵ an ?a vavajan / qau sa vaik a kina ?a
其 女 そこで 而 行 は 母 共
- ¹⁶ ?ivorasi /
探薯
- ¹⁷ manu tsoaj-apa aravats qoemaop ?a
ところが 久 了 其 泣 が
- ¹⁸ ki:iki:idi / qau katsuin nazoa cavu:u:u ?a
子供 そこで 所伴行 其の 年長者の 共
- ¹⁹ kaka pasa coa kina / qau ?ilavaran ?a
姉妹 方 處 母の そこで 言 は
- ²⁰ alak ?a calavu:uvu:u:u:u / "soa[apu ti
子 其 最年長者 所取去 は

6. チュグルイ鳥と

ガーガイ鳥

昔、母一人、子二人の親子があつた。一人の子はまだ赤坊であつた。それを長女に負はせて、母は薯を探りに行つた。ところが、しばらくすると、子供が泣き出したので、姉は母の處へつれて行つた。而して姉は、[坊やを取つて下さい。[坊やが]泣く]と母にいつた。併し

1. ma-san-i-ima-1 五重になつてゐる。[ima 五、ma-san 成る、ma-san-i-ta-1 一重になつてゐる、ita 一、i-ima-1 の i は i-ta の i と同じか。
4. pa-ka:uva-i 歓迎をうける人、客體主、ma:uva 喜ぶ。
6. ta-puroq 一十、Mal. sa-puloh.
7. ki-vava 酒を飲む、vava 酒。
san-mazazajilan-i 頭目になる其人、mazazajilan 頭目、san 成る、-i 客體主。

12. mar?ala-alak 親子同士、alak 子、mar? 相互。
14. si-pa-sival 負はせる爲の者、用具主、sa-im-ival 負ふ、主體主。
20. so-a[ap-u 取除け、命令、客體主、so-a[ap-i 現實現在、客體主、161頁、5行、s-im-o-a[ap 取除く、主體主、m-a[ap 取る、持つて来る。

- ¹ a:di:n ?a qoemaop" ajain ?a kina / la?oa
坊や 共 泣 所言 は 母 併
- ² "galu anan / ?ivorasi anan-a:in" aja
待て 尙 探薯 尙 我は といふ
- ³ kina / qoemaop aravats ?a ki:iki:idi / "so-
母は 泣 共 は 子供
- ⁴ a[apu ti a:di:n" ajain anan uta ?a kina /
所取去 は 坊や 所言 尙 再 は 母
- ⁵ la?oa ini soa[api apata / qau kiman to
併 不 所取去 やはり そこで 食 を
- ⁶ tsinil / ini pakani / qau ?isankuja azoa
午食 不 所使食 そこで 怒 其の
- ⁷ kaki:idian / vaik a sma qapaz / qau sa
子供は 行 共 赴 島縁 そこで 而
- ⁸ pidii ?a siala atoa calikuval / to sanpa-
所製 は 負帯 と 方布 爲に 所作
- ⁹ [alin niamaju ?a ma:usa / qau ?itsaqoan
翼 彼等の 共 二人 そこで 練習
- ¹⁰ tiamaju ?a mi:ajap /
彼等は 共 飛
- ¹¹ qau tsoaj-apa aravats / vaikin ?a ka-
すると 久 了 甚 所行 共
- ¹² rem noa kina / minto? ?itsaqo:qoan ?a
去 の 母 見ると 頻練習 共
- ¹³ mi:ajap / "aqo maitazo:zoa mun" / ajain
飛 何故 類如其 汝等は 所言
- ¹⁴ noa kina ?a ?ilavaran ?a kaki:idian / "vaik-
の 母 共 話 は 子供 歸
- ¹⁵ u ?a cumaq" / ajain azoa kaki:idian /
れ 共 内 所言 其の 子供は
- ¹⁶ la?oa ini ?isa:u ?a vaik / "more masan
併 不 承諾 共 行 欲 成
- ¹⁷ qajaqajam amin" / aja ?ilavaran toa kina /
鳥 我等は と 言 に 母
- ¹⁸ qau ?agarapan noa kina / mi:ajap ?a
そこで 所叱 の 母 飛 共
- ¹⁹ mavilad ?a sma tsimtsimil /
逃 共 赴 雜木林
- ²⁰ qau azoa kaki:idian malavar tiamaju /
そこで 其の 子供は 相談 彼等は

母は、[も少し待て。私はもつと薯を探るから]といつた。子供は大へん泣いた。[坊やを取つて下さい]と、又母にいつた。併し、やはり取らない。それから[母は]午食を食つたが[子供には]食はせないから、その子供はむつとして、島の縁へ行つた。そして、二人の羽を作る爲に、子を負ふ帯と方布(風呂敷の如きもの)とを引裂いて、飛ぶ稽古をした。

暫くして、母が様子を見に行くと、[彼等は頻りに飛ぶ稽古をしてゐる。[何故お前等はそんな真似をするか]と、母が子供にいつた。[而して]子供に、[家へ歸れ]と言つた。併し[子供は]歸るのを承知しない。[我々は鳥にならうとしてゐるのだ]と、母に言つた。すると、母が叱つたので、[彼等は]飛んで山へ逃げて行つた。

そこで、その子供たちは相談して、見

2. galu 待つくりせよ、g-im-alu 待つくりする。
6. ?i-san kuja 自分で悪くする、機嫌を悪くする、s-im-an 作る。
7. ka-ki:idi-an 小さいもの、子供、ki:idi 小さい。
8. pi:ii-i 裂く、客體主、p-in-di 主體主、san-pa[al-in 其物を羽に作る、客體主、pa[al 翼、san 作る。
9. ?i-tsaqo-an 自分で巧な者にする、練習する、?i-tsaqo-

aqo-an 同上してゐる、12行、ma-tsaqo 巧な。
16. ?i-sa:u 承諾、自分で許す、s-im-a:u 人が許す。
17. qaja-qajam 小鳥、IN. ayam.
-amin 我等は(對話者を除く)、比、Tag. amin 我等の、IN. ami.
18. ?agarap-an <*kagarap-an 其人に怒を及ぼす、位置主、magarap 叱る、主體主。

- 1 "tisun ?a [ajapu ?a ma?a kalidip/ tia?in
汝は 其 飛べ 其 通過 西方 我は
- 2 ?a ma?a maza a?in i katsudas"/ ajain noa
其 通過 此處 我はへ 東 所言 の
- 3 cavu?un ?a calalak/ qau more mavadai
年長者 は 年少者 そこで 將 分離
- 4 apa tiamaju / macacukuk / qau sa ?alavar
了 彼等は 聯合 そこで 而 相談
- 5 "nu mitsivun icin ula qo?aqo?asan apa"
時 出會 我等は 或は 生白髪者 了
- 6 aja tiamaju / qau mi?ajap apa tiamaju
といふ 彼等は そこで 飛 了 彼等は
- 7 ?a mavadai ?a ma?usa /
其 分離 は 二人
- 8 qau mitsivun tiamaju / ?a qo?aqo?as-
そこで 出會 彼等は 其 生白髪者
- 9 an apa tiamaju ?a qajaqajam / qau ma-
了 彼等は 其 鳥 そこで
- 10 lavar anan tiamaju uta / "tisun pa:pai
相談 尙 彼等は 又 汝は ガーガイ
- 11 ajaw-apa / tia?in cug?ui aja-pa a?in nu
といへよ 我は チュグルーイといふよ 我は 時
- 12 zimaip"/ ajain ?a calalak / avan si?a
略 所言 は 年少者 其 理由
- 13 uzaj-apa noa cug?ui atoa papai totsui /
有 了 の チュグルーイ鳥と ガーガイ鳥 今日

7. maqenatsap ?a sqa?u
出草 が 猪勝東人

- 17 ?a sitsoajan masipats ?a sipu?udan ?a
其 昔 誰 が 外加芝來人 其
- 18 vaik a paikinoril toa sqa?u / manu
行 其 典乾肉 へ 猪勝東人 ところが
- 19 [imutsig ?a sqa?u mirava / sa vaik a sma
怒 が 猪勝東人 準備 而行 其 赴
- 20 pu?udan ?a maqenatsap /
外加芝來社 其 出草

1. kalidip 日の入る方, 西. ma?idip 日が入る.
2. katsudas 日の出る方, 東. ts-im-udas 日が出る.
3. ma-vadai 互に別れる, ?i-vadai 自分で別れる, 一方が
別れ去る.
5. qo?a-qo?as-an 白髪が多く有る者, qo?as 白髪.

が汝は西の方を通つて飛べ,私は東の
方の此方を通る,と弟に言つた。而し
て,彼等は分れようとする時,互に嘴を
啄きあつて,我々が[此の次]出會ふとき
は,白髪になつてゐるだらう,と彼等は
話合つた。而して,二人は分れて,飛ん
で行つてしまつた。

[其の後]彼等が出會つた時には,彼等
二匹の鳥は,もう白髪になつてゐた。

そこで彼等は,もう一度話し合つて,汝
はガーガイといつて嗜け,私が嗜く時
はチュグルーイといはう,と[兄が]弟にい
つた。今日チュグルーイと,ガーガイと
いふ鳥のあるのは,さういふ譯である。

7. 猪勝東社人の出草

昔,外加芝來社の人[番租として納
めるべき山脈の]乾肉を,猪勝東社へ納
めに行くのを怠つた[事があつた]。そ
こで猪勝東は怒つて,準備して,外加芝
來へ出草に出掛けた。

11. ajaw-apa <aja-u apa ...といへよ, aja ...といふ, -u
命令, 主體主。
18. pai-k-in-oril k-in-oril 乾した物, 客體主. k-im-oril 乾
す, 主體主。

- 1 jimalun tiamaju / ?e?eila i pasu?au-
到着 彼等は 隱 に 下方
- 2 [auz / ?a narimaon toa sipu?udan / manu
處 其 既待伏 を 外加芝來人 ところが
- 3 lip?ipjan ?a bu?abu?ai ?a vavajan / qau
所見 は 美人 其 女 すると
- 4 macacumacumal tiamaju / to uzai a bu?a-
互に告 彼等は ことを 居 が 美
- 5 bu?ai ?a vavajan / qau malavar tiamaju /
人 其 女 そこで 相談 彼等は
- 6 "ja?i maja-pa qoemtsi ?a sipu?udan /
もう宜しい 物よ 殺 は 外加芝來人
- 7 na?aq a vaik icin ?a ?ivavavav tazoa
良 が 行 我等は 其 遊 彼の
- 8 bu?abu?ai ?a vavajan" aja tiamaju / qau
美人と 其 女 といふ 彼等は そこで
- 9 soa?apin ?a cakit / sa ki?ajan toa ja?alal
所取去 は 刀 而 所掛 に 榕樹
- 10 i tsasau / mavukuts ?a ja?alal / toa
在 外 曲 は 榕樹 爲
- 11 ina?iau noa cakit / qau sa vaik tiamaju
多き の 刀 そこで 而 行 彼等は
- 12 ?a ?ivavavav ?a sma coa bu?abu?ai ?a
其 遊 其 赴 處 美人 其
- 13 vavajan / qau sa pakaivi apa azoa bu?a-
女 そこで 而 所娶 了 其の 美
- 14 bu?ai ?a vavajan /
人は 其 女
- 15 manu jimalun i qau sa more ?isu-
ところが 到 へ 猪勝東 而 將 交
- 16 juan / manu nika no nimaju uzai a
時 ところが 無 の 彼の物 有 が
- 17 iku: / qau "kudain apa tsu / ?a nika no
尾 そこで 所知何 だらう 此は 其 無 の
- 18 nimaju" aja sqa?u / manu jimalun toa
彼の物 といふ 猪勝東人 ところが 到 に
- 19 si?apu?uan noa vato / minto? uzaj-apa ?a
交尾期 の 犬 見ると 有 了 が
- 20 nimaju / sa ?ivadaqe apa azoa vavajan /
彼の物 而 所問 了 其の 女は
- 21 to tima kama / to tima kina / qau
ことを 誰 父は ことを 誰 母は すると

彼等が[社へ]着くと,家の前庭の下の
處に隠れて,外加芝來人[の出て来るの]
を待伏せしてゐた。すると,[一人の]美
しい女が目についたので,彼等は美し
い女の居ることを,互に知らせた。而
して,彼等は相談して,もうよい,外加芝
來人を殺すな。我々は,彼の美人の處
へ遊びに行かうではないかといつた。
そこで,刀をはづして,外庭の榕樹に掛
けると,刀の多きで榕樹[の枝が]曲つた。
それから,彼等は美人の處へ遊びに行
つた。而して,[一人が]その美しい女を
妻にした。

[男は]猪勝東へ歸つて,[女と]交はらう
としたが,彼女の物(女陰)は無くて,尾が
有つた。そこで,[此は如何したの]だら
う,彼女の物が無い]と猪勝東の人がい
つた。丁度,犬の交尾期になると,突然
彼女の物が出来たので,女に向つて,[汝
の]父は誰か,母は誰かと問うた。する

1. ?e-?eila 自分で隠れる, q-?em-ila 隠す, 主體主.
pasu?au-[auz 下の處, ~i-[auz 下流, 下手. IN. laud.
Mal. laut 海.
3. lip?ipjan-an 見る處, 見付ける物, 位置主, l-im-iplin 主體
主.
9. ki?aj-an 物を持って行つて掛ける, 用具主, k-im-?jai
掛ける, 主體主.

15. ?i-suju-an 女と交る, 位置主, ?i-suju <*ki-suju 原意
は青年が思ふ女の處へ遊びに行く, -an 時を表はす
17. iku: <*iku? 尾, IN. ikur.
19. si?apu?uan 或る理由の爲に[尻の]膨脹する時,
?apu?u <*kapu?u, mapu?u 腫物などはれる, si-
理由.

- ¹ cimupal azoa vavajan / "tsautsau ?a ?u
告 其の 女は 人 は 我の
- ² kina / vato ?a ?u-kama" aja cimupal /
母 犬 は 我の 父 といふ 告
- ³ qau nu poalak azoa vavajan / qusaqusa
そこで 時 生子 其の 女は 二人づつ
- ⁴ no poalak ?a kintal /
時 生 其 一回

8. marqava ati sakidadau
女友 と サキダダウ

- ⁷ uzai a marqava / ?a maisuisu i vavau
有 が 女友 其 粟搦いてゐるで 上
- ⁸ toa qeinalivan / mano latiko aravats ?a
の 屋根 と ころが 低 甚 は
- ⁹ kaluvlavan / saqcu aravats ?a qadau /
天 痛 其 は 太陽
- ¹⁰ qau malavar azoa marqava / "aqo saqcu
そこで 相談 其の 女友は 何故 痛
- ¹¹ aravats ?a qadau / paoan to ca tsiktsik-
甚 は 太陽 所遠慮 其を 我等の 所突
- ¹² an toa qasi?u" aja matsijil / minto?
で 杵 といふ 一人 忽
- ¹³ sipa?ut ?a tsimiktsik / qau mavutsa-pa
所断行 其 突 すると 成育 了
- ¹⁴ ?a qadau ?a ita / avan-apa azoa qeilas /
は 太陽 共 一 其物だ 彼の 月は
- ¹⁵ qau tsa?ugsug apa ?a kaluvlavan ?a
すると ゴロゴロといふ 了 は 天 其
- ¹⁶ livavau /
上昇
- ¹⁷ manu zimai? ti sakidadau / qau ma-
或時 暗 が サキダダウ すると
- ¹⁸ rikuc ?a marqava / qau mavi?ad ?a mar-
恐 は 女友 そこで 逃 は
- ¹⁹ dava ?a sma pasa ?ikuz toa vaqo / la?oa
女友 共 赴 方 後の 粟 併
- ²⁰ ?aipin ni sakidadau / sa jamiqei sa
所追掛 の サキダダウ 而 所捕 而

3. po-alak 子を生む, alak 子。
4. k-in-ta-l 一回に…したものを, ma-ka-ta-l 一回になる, 一度目, ta 一。
6. mar-dava 女の友達同士。
8. la-tiko 低い, tiko 下。
11. pao[a-n <pao[a-an 残念, 惜しい, 氣の毒, 原意突くの 是惜しい氣の毒だが, 杵で突く物にしよう, pao[a-n

とその女は、私の母は人で、私の父は犬
だ」と告げた。而してその女が子を生
む時は、一回に二人づつ生んだ。

8. 女友とサキダダウ

女の仲間が居て、屋根の上で、粟を搦
いてゐた。折柄、天が大變低くて、太陽
が大變熱かつた。そこで、女の仲間は
話し合つて、「何故太陽が大變熱いのだ
らう。我々が、杵で突いたらどうであ
らう」と、一人がいつた。さういふなり、
本當に突いた。すると、一つの太陽は
盲になつた。あの月は即ち其だ。す
ると、天がゴロゴロと鳴つて上に上つ
た。

[暗くなつたので]サキダダウ(體に刺
のある人といふ)が鳴いた。すると、女
の仲間は怖れて、粟倉の後へ逃げた。
併しサキダダウは追掛けて行つて、捕

to maqiz to tsua qadau ?a ?o-qai 今日私の友人
が來ればよいのに、そのままに過すのは惜しいものだ。
比. p-in-ao[a 憐れむ, 可愛相に思ふ, 氣の毒に思ふ。
tsiktsik-an 突く, 客體主, ts-im-iktsik 主體主, 13 行。
12. qasi?u 杵, Tag. halo, Mal. alu。
13. si-pa?ut 其物を用ゐて断行する, 用具主, 杵, p-in-a?ut
主體主。

- ¹ patsasavi / qau ?ilavaran ti sakidadau /
所使出 そこで 言 は サキダダウ
- ² "qe?aju toa tataqan / ?u tsavujidau sun"
腰掛けよ に 砥石 我の 所擧 汝は
- ³ aja ti sakidadau / "ini: markuc a?in toa
といふ は サキダダウ 否 恐 我は 恠
- ⁴ su jui" aja azoa vavajan / la?oa pitsi-
汝の 刺 といふ 其の 女は 併 所
- ⁵ pitsin sa paqe?aji ni sakidadau / sa
抱 而 所使腰掛 の サキダダウ 而
- ⁶ tsavujidi ?a pasa cumaq toa tapau ni
所擧 其方 内の 家の の
- ⁷ sakidadau / sa puvalavi apa /
サキダダウ 而 所爲妻 了
- ⁸ qau tsoatsoaj-apa vaik a vinatoeq /
そこで 久 了 行 其 洗濯
- ⁹ mano jumaqoen ?a tseqau ?a ?ia?iau / qau
ところが 所見附 は 魚 其 甚多 そこで
- ¹⁰ jamiqoen nimaju sa katsui ?a cumaq /
所捕 彼の 而 所持行 其 家
- ¹¹ qau sa san jamai / qau ma?a kan tiama-
そこで 而 作 馳走 そこで 後 食 彼等
- ¹² ju / minto? saqcu ?a cial / qau nusaoni
は 忽 痛 が 腹 そこで 其後
- ¹³ "pusa?aji a?in ?a putsaqei" / ini a tsoai
所助 我は 其 放尿 不 共 久
- ¹⁴ uta / "pusa?aji a?in ?a putsaqei" aja azoa
又 所助 我は 其 放尿 といふ 其の
- ¹⁵ valau / manu masupil apa ti sakidadau /
妻は と ころが 倦 了 は サキダダウ
- ¹⁶ "matsi?aqot apa a?in ?a vaik" aja ti
たいぎ だよ 我は 其 行 といふ は
- ¹⁷ sakidadau / qau vaik azoa vavajan ?a
サキダダウ そこで 行 其 女は 其
- ¹⁸ matsijil sa?amaja putsaqei / manu ma?a
一人 只 放尿 と ころが 後
- ¹⁹ putsaqei azoa vavajan / qau ?ilavaranan
放尿 其の 女は そこで 所言
- ²⁰ ?a tsaqei nimaju / "nu qoemaqei?u ti
は 尿 彼の 時 呼 が
- ²¹ sakidadau / a: ajaw-apa" ajain ?a tsaqei /
サキダダウ アー といへよ 所言 は 尿

へて外へ出した。その時サキダダウ
が、砥石に腰を掛けよ、私が汝を擧いで
やらう」といふと、女は「いやだ、私は汝の
刺が恐ろしい」といつた。併しサキダ
ダウは抱へて、腰を掛けさせた。さう
して、自分の家へ擧いで行つて、妻にし
てしまった。

其後暫くして、[女は]洗濯に行つた。
ところが魚を澤山見つけたので、彼女
は捕へて、家へ持つて來てお菜にした。
彼女が食ひ終ると、急に腹が痛くなつ
た。それから[女は]私は大便する[恐い
から]連れていつてくれ[といふ。サキ
ダダウが連れてゆくと]、又問もなく、私
は大便する[恐いから]連れていつてく
れ]と、妻がいつた。[何度もいふので]サ
キダダウは厭になつて、私は行くのは
御免蒙らう」といつた。それで女は、只
一人で大便に行つた。女は大便を終
ると、その大便に向つて、「若しサキダダ
ウが呼んだら、アーといへ」といつて、自

2. tsavujid-au 擧がう, 客體主, 汝, ts-im-avujid 材木な
ど屑にのせて運ぶ。
4. jui 刺, IN. dur, i 長音は恐怖の感を表はす。
8. v-in-atœq 衣を洗ふ, Tag. basa?, Mal. mem-basoh-
kan. 滌す。

12. cial 腹, IN. tian.
nu-saoni 後刻, nu- 未來, ~nu-tiau 明日, 比. ta-saoni
其前, 先程, ta-tiau 昨日, ta- 過去。
14. pu-tsaqei 放尿, tsaqei 大便, IN. tahi.

- ¹ qau timaju mavi[ad a]pa sma cumaq /
そこで自分 逃 了 赴 家
- ² qau no qoemaqeuvi ti sakidadau / a:
すると時 呼 が サキダダウ アー
- ³ aja azoa tsaqei / no qaqeuvin uta a: aja
といふ 其の 屎が 時 所呼 又アーといふ
- ⁴ azoa tsaqei / qaqeuvin anan uta a: aja
其の 屎が 所呼 再 又アーといふ
- ⁵ uta ?a tsaqei / qau samali ti sakidadau /
又 が 屎 そこで 佐しむ は サキダダウ
- ⁶ "makuda azoa tsautsau / aqo tsoai a]pa
成如何 彼の 人は 何故 久 了
- ⁷ aravats / ?a ini pa]cipiz" aja timaju /
其 共 不 歸來 といふ 彼は
- ⁸ qau vaikin ?a ?eqoenc / minto? avan
そこで 所行 共 見 見ると 其物
- ⁹ a]pa tsaqei sa?amaja / qau [imutsi]p ti
だ 屎 具 そこで 怒 は
- ¹⁰ sakidadau siqaqo]du toa nimaju / sa
サキダダウ 所勃起 を 自分の物 而
- ¹¹ pusapui ?a qatsilai / ?a tsiktsikan toa
發火 が 石 其 所突 で
- ¹² nimaju /
自分の物

9. qa:m atoa ga:ŋ
穿山甲と蟹

- ¹⁵ uzai a qa:m atoa ga:ŋ ?a sitsoajan / ?a
有 が 穿山甲と蟹 共 昔 は
- ¹⁶ ga:ŋ katsuin na qa:m ?a i ka]ujil / qau
蟹 所伴行 の 穿山甲 其處 カルヂェル木 そこで
- ¹⁷ ?ilavaran ?a ga:ŋ / "imazau i tiko / vaik
言 が 蟹 此處に居れに 下 行
- ¹⁸ a?in ?a livavau / ?a jaja toa ka]ujil ?a
我は 共 登 共 採 を カルヂェルの實 共
- ¹⁹ sma vavau" / ajain ?a qa:m / sa vaik
赴 上 所言 は 穿山甲 而 行
- ²⁰ timaju ?a livavau / qau jajajain sa vu-
彼は 共 登 すると 所採所採 而
- ²¹ luvuloqan / ?a palitiko / qau ?a qa:m i
所投所投 共 使落 そこで は 穿山甲 居
- ²² tiko / lulululuin sa pi]ipi]eqei toa na-
下 所捨所捨 而 所擇所擇 を

10. si-qaqo]du si- 彼女の爲に、用具主。
11. pu-sapui 火を出す、sapui 火、IN. apui。
21. pa-li-tiko 下らせる、落す、li-tiko 下へ行く、下る。

分は家へ逃げて歸つた。
そこでサキダダウが呼ぶと、その大
便がアーといふ。又呼ぶと、大便がア
ーといふ。又も一度呼ぶと大便が又
アーといふ。それで、サキダダウは
不思議に思つて、「あの人は如何したの
だらう。大變久しくなつたのに、何故
出て來ないのだらう」といつて、行つて
見た。見ると、それは大便ばかりであ
つた。そこでサキダダウは怒つて、自
分の物を物起させて[石を]突くと、石が
火を發した。

9. 穿山甲と蟹

昔穿山甲と蟹とが居た。穿山甲は
蟹をカルヂェルといふ木の處へ連れ
て行つた。そこで蟹は穿山甲に、「お前
は]下に居れ、私は上へ登つてカルヂェ
ルの實を採らう」といつて、彼は登つて
行つた。而して下の方へ、實を採つて
は投げ、採つては投げた。すると、穿
山甲は下に居て、熟したのを擇つては

167 頁 3行 tiko 下。
22. pi]i-pi]eq-ei 其物を幾つも擇ぶ、客體主、pi]eq 擇ぶ、
Mal. pilih.

- ¹ ma]um / azoa nama]um pata]ata]a]jin toa
熟したの 其の 熟したの 所入所入 に
- ² umaq nimaju / qau avan a]pa macaq sa-
巢 彼の すると 其物 だ 未熟
- ³ ?amaja / ?a qenpo noa qa:m / qau litiko
具 は 所集 の 穿山甲 そこで 降
- ⁴ a]pa azoa ga:ŋ / qau sa qoenci ?a qenpo
了 其の 蟹は そこで 而 所見 は 所集
- ⁵ noa qa:m / minto? avan a macaq sa?ama-
の 穿山甲 見ると 其物 共 未熟 具
- ⁶ ja / qau "sma ino a]pa ?a nama]um" aja
すると 赴 何處 了 は 熟したの と思
- ⁷ azoa ga:ŋ / qau vaik azoa ga:ŋ / qau ?a
其の 蟹は そこで 行 其の 蟹は すると は
- ⁸ qa:m izoa-nan i coa qapu]u noa ka]ujil /
穿山甲 居其處 尙に 處 根元 の カルヂェル木
- ⁹ qau lala]pin noa ga:ŋ / minto? pinalita]aj
そこで 所何 の 蟹 見ると 既所入
- ¹⁰ a]pa toa umaq noa qa:m / ?a nama]um /
了 に 巢 の 穿山甲 は 熟したの
- ¹¹ qau vaikin ?a sma-zoa noa ga:ŋ / minto?
そこで 所行 共 赴 其處 の 蟹 見ると
- ¹² [ia]iau ?a tinpisan i ta]aj toa qeina:m-
甚多 は いたもの に 中 の 穿山甲の穴
- ¹³ an / qau "aqo maitazoa ti ca qali" aja
そこで 何故 如彼 は 我等の 友 と思
- ¹⁴ timaju / qau ?isan kuja timaju sa vaik
彼は そこで 成 雇 彼は 而 行
- ¹⁵ cumaq /
家
- ¹⁷ qau tsoatsoaj-a]pa mitsivun] anan tiam-
すると 久 了 出會 又 彼等
- ¹⁸ ju ?a ma]usa / qau malavar tiamaju /
は 共 二人 そこで 相談 彼等は
- ¹⁹ "nanaq ?a qoemalup icin" aja tiamaju /
良 共 時 我等はといふ 彼等は
- ²⁰ "tia?in aj-anan ?a tima]au / tisun aj-
我 こそは一寸 共 待伏者 汝 こそは
- ²¹ anan limama toa laviavia" aja ?a qa:m /
一寸 燒者 を 鬼茅の原 といふが 穿山甲

拾ひ、擇つては拾ひした。而して熟し
たのは自分の巢に入れて、未熟なの計
り集めておいた。すると、その蟹は下
りて來て、穿山甲の集めたのを見た。
見ると、其は未熟なの計りであつた。
蟹は「熟したのは何處へ行つたかしら
ん」と思つて、「向うへ」行つた。ところが
穿山甲は、まだカルヂェルの木の根元
の處に居たので、蟹はひそかに様子を
伺つてゐた。見ると、熟したのは、穿山
甲が[自分の]巢の中に入れてゐた。そ
こで、蟹が[そこへ]行つて見ると、穿山甲
の穴の中には、實を取去つた小枝が深
山あつた。そこで、彼は「此の奴は何故
此様なことをするか」と思つた。彼は
癩に障つて家へ歸つた。

其後暫くたつて、彼等二人は又再び
出會つた。そこで、彼等は相談して、「我
々は狩に行かうではないか」といつた。
穿山甲は、「私は先に待伏するから、お前
は[山脈を追出す爲]鬼茅を燒け」といつ

2. macaq 未熟、Mal. mantah 未煮。
3. q-en-po <*q-in-ipo 集めたもの、客體主、q-]em-ipo、
主體主。
12. t-in-pis-an もいだもの、枝、位置主、t-im-pis もぐ、主
體主。

q-ein-a:m-an < q-in-a:m-an 穿山甲の掘つた處、穴
< qa:m 穿山甲。
14. ?i-san ku]a 自分で雇くする、機嫌を悪くする。
21. l-im-ama 山、原など焼く、主體主、lama-in 客體主、茅
原、168頁、10行、母音の後は -in >-in。

- ¹ qau vaik 'a qam 'a sma talaj toa
そこで 行 は 穿山甲 共 赴 甲 の
- ² laviavia / qau qoemaqao 'a ga:ŋ / "ino
鬼茅の原 すると 叫 は 蟹 居何處
- ³ apa sun" / ajain noa ga:ŋ 'a qam / "imaza-
のだ 汝は 所言 の 蟹 は 穿山甲 居此處
- ⁴ 'in" aja 'a qam / "paj-apa" ajain anan
我は といふ は 穿山甲 宜しいぞ 所言 再
- ⁵ noa ga:ŋ 'a qoemaqao / "maja-nan" ajain
の 蟹 共 叫 待て 尙 所言
- ⁶ noa qam / mano simoasoad toa umaq
の 穿山甲 と ころが 掘つてある な 巢
- ⁷ azoa qam / qau ma'a soad azoa qam toa
其の 穿山甲 そこから 掘 其の 穿山甲 は な
- ⁸ umaq / litalaj timaju / qau qoemaqao
巢 入内 彼は そこで 叫
- ⁹ toa ga:ŋ / "paj-apa ma'a talaw-apa'in"
に 蟹 宜しいぞ 已に 待伏 了 我は
- ¹⁰ aja azoa qam / qau lamain apa azoa
といふ 其の 穿山甲 は そこで 所焼 了 其の
- ¹¹ laviavia noa ga:ŋ / qau qaoqaoan noa
鬼茅の原 は の 蟹 そこで 所叫 の
- ¹² ga:ŋ "ino apa sun" ajain / "imaza'in"
蟹 居何處のだ 汝は 所言 居此處 我は
- ¹³ aja qam / "ino apa sun" ajain noa ga:ŋ
といふ 穿山甲 は 居何處のだ 汝は 所言 の 蟹
- ¹⁴ uta / "imaza'in" ajain noa qam uta /
又 居此處 我は 所言 の 穿山甲 又
- ¹⁵ qau tsimalivat 'a sapui / "ino apa sun"
すると 通過 は 火 居何處のだ 汝は
- ¹⁶ ajain uta noa ga:ŋ / "imaza'in" aja 'a
所言 又 の 蟹 居此處 我は といふが
- ¹⁷ qam / sa likatsawan toa umaq nimaju /
穿山甲 而 出現 から 巢 彼の
- ²⁰ qau sa "tisun aj-apa 'a timajau"
そこで 而 汝 こそこだ 共 待番
- ²¹ ajain a ga:ŋ / qau "more 'a sma ino
所言 は 蟹 すると 可爲 共 赴 何處
- ²² a'in" aja-zoa ga:ŋ / cumalan noa qam
我は といふ 其の 蟹は 所言 の 穿山甲

5. maja-nan <maja anan ...するな、一寸、maja ...するな、anan 尙。

た。而して、穿山甲は茅原の中へ行つた。すると蟹は穿山甲に、「お前は何處に居るのか」と大聲で叫んだ。「私は此處に居る」と穿山甲がいつた。「もう宜しいか」と再び蟹が大聲で、穿山甲にいつた。穿山甲は「一寸待て」といつたが、その間に穿山甲は、土を掘つて巢を作つてゐた。穿山甲は巢を掘つてしまふと、その中へはひつて、大聲で蟹に、「宜しい、私はもう待伏してゐる」といつた。そこで蟹は其茅原を焼いた。而して蟹が大聲で、「お前は何處に居るか」といふと、穿山甲は「私は此處に居る」といふ。蟹が又「お前は何處に居るか」といふと、穿山甲は又「私は此處に居る」といふ。すると火が通過した。蟹が又「汝は何處に居るか」といふと、穿山甲は「私は此處に居る」といつて、彼の穴から外に出て來た。

すると「今度は汝が待伏するのだ」と[穿山甲が]蟹にいつた。そこで、その蟹は「私は何處へ行くのだ」といつた。穿

6. umaq 巢、原意、屋内の奥の間、即ち死體を埋めてある處。Mal. rumah 家。

- ¹ "sa-zoau i coa namaqoripug 'a lavia" aja-
行彼處よに 處 既交錯 共 鬼茅 所
- ² in / qau azoa ga:ŋ vaik / 'a 'ipata[uvtuv
言 そこで 其の 蟹は 行 共 自縮小
- ³ toa namaqoripug 'a laviaviain / qau "paj-
に 既交錯 共 鬼茅の原 そこで 宜しい
- ⁴ apa" ajain noa qam / "paj-apa" aja 'a
かれ 所言 の 穿山甲 宜しいよ といふが
- ⁵ ga:ŋ / qau lamain noa qam / "ino apa
蟹 そこで 所焼 の 穿山甲 居何處のだ
- ⁶ sun" ajain noa qam / "imaza'in" aja
汝は 所言 の 穿山甲 居此處 我は といふ
- ⁷ 'a ga:ŋ / qau tsimalivat 'a sapui / "ino
が 蟹 すると 通過 は 火 居何處
- ⁸ apa sun" ajain noa qam / minto' nika-
のだ 汝は 所言 の 穿山甲 見ると 無
- ⁹ pa / "ino apa sun" ajain anan uta /
了 居何處のだ 汝は 所言 尙 再
- ¹⁰ minto' nika-pa / qau. vaikin sa 'eqoenci
見ると 無了 そこで 所行 而 所見
- ¹¹ noa qam 'a sma-zoa / minto' nakudjisi
の 穿山甲 共 赴其處 見ると 既成硬
- ¹² apa namatsaj-apa / qau tsiyeqan 'a qa-
了 既死 了 そこで 所切取 は
- ¹³ [itsi / qau sa 'isinai 'a papovalut / qau
男根 そこで 而 自語 共 使蘇生 そこで
- ¹⁴ katsuin 'a qalitsi 'a cumaq /
所持來 は 男根 共 家
- ¹⁸ qau kajamajaman apa / qau sipakan
すると 朝 了 そこで 所使食
- ¹⁹ apa 'a qalitsi nimaju noa qam / qau
了 は 男根 彼の の 穿山甲 すると
- ²⁰ "ha ha kanin 'a qalitsi nimaju" aja 'a
ハハ 所食 は 男根 自分の といふが
- ²¹ qam / qau kimilap azoa ga:ŋ / to qalitsi
穿山甲 そこで 知 其の 蟹は ことを 男根

山甲が彼處の茅の交錯してゐる處へ行け」と告げた。それで蟹は其處へ行つて、交錯してゐる茅原の中で、小さくなつてゐた。その時穿山甲が「もう宜しいか」といふと、蟹は「もう宜しい」といふ。すると、穿山甲が茅原を焼いた。穿山甲が「汝は何處に居るか」といふと、蟹は「私は此處に居る」といふ。すると火が通過した。「汝は何處に居るか」と、穿山甲がいつたが、一向[返事が]無い。又再び「汝は何處に居るか」といつたが又返事が無い。穿山甲が其處へ行つて見た。見ると[蟹は]硬くなつて、死んでしまつてゐた。そこで、[穿山甲が]蟹の男根を切り取つて、誂ふと[其蟹は]生返つた。それから[穿山甲は]男根を家へ持つて歸つた。

翌朝になつて、穿山甲がその男根を[蟹に]食はせると蟹は食つた。そこで穿山甲は「ハハ、自分の男根を食つてゐる」といつた。そこで蟹は、その食つた

1. sa-zoa-u < sa-azoa-u 彼處へ行け、~s-m-a ...へ赴く、azoa 彼方、-u 命令、主體主。
3. lavia-via-in 鬼茅の原、lavia 鬼茅、-in 母音の次には -in > -in となる。場所を表はすには普通 -an を用ゐるべきなれども、バイワンには、かゝる場合は子音の後には -in を、母音の後には -in < -in を用ゐる。

12. qalitsi 原意は陰莖、va:t na qalitsi 畢丸、されども普通 ku[its (陰莖)と同義に用ゐる。170頁、13行。
18. ka-jama-jama-n < ka-jama-j ma-an 朝の時、mi-jama 早朝、si-pa-kan 食はせる材料、用具主、pa-kan-an 其人に食はせる、位置主、170頁、1行。

- ¹ nimaju azoa kinan / "i: pakanan a'in
自分の 其の 所食物は イヤー 所使食 我は
- ² toa nia'in ?a qalitsi ni ?o qali" aja / sa
を 我の物 共 男根 の 我の女 といふ 而
- ³ jilajilajai ?a ga:p / la'oa kudain / kinan
ベツベツ吐 は 蟹 併 所如何 所食物
- ⁴ apa nimaju ?a qalitsi / qau tsmiki, apa
了 彼の は 男根 すると 回復 了
- ⁵ ?a qalitsi noa ga:p /
は 男根 の 蟹

のは、自分の男根だといふことを知つて、唾を吐きながら、「あゝいやだ。貴様は私の男根を私に食はせた」といった。併し仕方がない、彼は男根を食つてしまった。ところが[後になつて]、蟹の男根は、又元の通りに出来た。

10. ti sakaporar

サカボラル

- ⁹ ti sakaporar ?a sitsoajan [a:q aravats
は サカボラル 共 昔 長 甚
- ¹⁰ ?a nimaju / qau no masiasik ?a vavaja-
が 彼の物 そこで 時 取草 が 女
- ¹¹ vajan / vaik ?a sma qapaz / qau sa qe[aj /
等 行 共 赴 島縁 そこで 而 坐
- ¹² sa saksaki ?a kulits / qau sa pata[ujvtavan
而 所解 は 男根 そこで 而 所使潜行
- ¹³ toa inasikan ?a tsimi, noa vavajavajan /
に 所取物 共 草 の 女 等
- ¹⁴ nu calu inu ?a vavajavan calu inu uta ?a
ても 行到 何處が 女等 行到 何處 又は
- ¹⁵ kulits ?a [imai]aig / qau sa tsiktsiktsiki
男根 共 追掛 そこで 而 所突
- ¹⁶ ?a kinadajan noa vavajavajan / qau qa-
は 勝 の 女等 すると
- ¹⁷ raoqao ?a vavajavajan ?a mavilad tu ri-
時 は 女等 共 逃 爲
- ¹⁸ kucan tazo a kulits ni sakaporar / la'oa
恐 其の 男根の の サカボラル 併
- ¹⁹ tavakin apa ?a tsoatsoaj-apa ini apa
所馴 了 共 久 了 不 了
- ²⁰ ?arikuci /
所恐
- ²¹ qau nu masiasik ?a vavajavajan / sa
そこで 時 取草 が 女等 而

10. サカボラル

昔サカボラルといふ人[があつて]、彼の物は大變長かつた。女達が草を取つてゐると、[彼は]島の縁へ行つて、坐つた。而して、[肩に]巻いてゐた男根を解いて、女達の取つた草の中へ突込んで、先へ突出した。女達が何處へ行つても、男根は又何處までも追かけて行つて、女達の勝を突いた。すると女達は、サカボラルの男根を恐ろしがつて、大聲をあげて逃げた。併し永く経つと、馴れて恐れない様になつた。或時、女達が草を取つてゐると、勝を

1. k-in-an 食つた物、客體主、k-im-an 主體主。

10. m-asi-asik 草を取つてゐる、in-asik-an 取つた草。13 行、m-asik 草を取る。

14. calu-inu 何處まで、calu-...まで。比、calu-maza 此處まで。

16. k-in-adaj-an 勝を廣げた處、勝間。mu-ka-kadaj 兩方に跨がる。

- ¹ tsiktsiki ?a kinadajan / tsiktsikan uta
所突 は 勝 所突 又
- ² azoa kulits ni sakaporar toa vuka / la'oa
其の 男根は の サカボラル で 蟹 併
- ³ ini kilap azoa vavajavajan to ?asi ino ?a
不 知 其の 女等は 何處から 何處 共
- ⁴ maqiz / nu tsiktsikan toa vuka ma-
來 時 所突 で 蟹
- ⁵ u[au / tsoaj-apa uta maqiz azoa kulits /
消失 暫了 又 來 其の 男根は
- ⁶ qau tsiktsikan uta to vuka / "tsivuk"
そこで 所突 又 で 蟹 ブツ
- ⁷ aja azoa kulits ni sakaporar /
といふ 其の 男根は の サカボラル
- ⁸ azoa kulits ni sakaporar smamali ?a
其の 男根は の サカボラル 異常 が
- ⁹ ina[ad]oq / sinivalavalan azoa kulits ?a
長さ 巻き肩に かける 其の 男根は 共
- ¹⁰ pa[aju]aju / mano vaik tiamaju ?a qe-
常に 或時 行 彼等が 共
- ¹¹ malup / qau ?ilavaran noa qaleqali / "ca
時 すると 所言 の 人々 我等の
- ¹² qoeniqoencai ?a su kulits" ajain azoa ti
所見 は 汝の 男根 所言 其の は
- ¹³ sakaporar noa qaleqali / qau saksakin
サカボラル の 人々 そこで 所解
- ¹⁴ azoa kulits / sa pa?eqoencan toa qaleqali /
其の 男根は 而 所使見 に 人々
- ¹⁵ mano ma?a ?eqoenc ?a qaleqali / "aitsu
ところが 後 見 が 人々 此
- ¹⁶ apa qala" ajain noa qaleqali ?a vintsa /
だ 敵は 所言 の 人々 共 驚
- ¹⁷ ini kiamau apa ?a vinalavalan toa kulits
不 間に 合ふ 了 共 掛肩 を 男根
- ¹⁸ ti sakaporar / minto[loq timaju / qau
は サカボラル 走 彼は すると
- ¹⁹ rakatsin apa ?a kulits ma?a coa juijuin /
所引摺 了 は 男根 通 處 刺の原
- ²⁰ qau jimalun ti sakaporar i cumaq / qau
そこで 到 は サカボラル に 家 そこで
- ²¹ qoemaqeu toa qaleqali / sa pasujuian ?a
呼 を 人々 而 所使抜刺 は

突いたので、女達は又蟹を以て、サカボラルの男根を突いた。併し女達は、其が何處から来たか、分らなかつた。蟹で突くと、[男根は]消えて無くなつた。暫くすると、又その男根が来たので、又蟹で突くと、サカボラルの男根はブツブツといふ音がした。

サカボラルの男根は、その長さが尋

常でない。[彼は]常に、男根を[幾重にも]巻いて、肩に掛けてゐた。ところが或時、社の人々が狩に行つた時、人々がサカボラルに、「我々はお前の男根を見たものだ」といつた。[彼は]その男根をそろそろほどいて、人々に見せた。ところが見てすむと、人々は偽つて、「それ敵が来た」といつて[驚かした]。サカボラルは、男根を肩に掛ける間がないので、彼は走つた。而して男根を引すりながら、刺のある所を通つて、家へ着いた。それから人々を呼んで、男根の刺をとらせた。而して、その刺は壺に入

8. s-m-a-mali < s-im-amali 異常、sa-mali 珍しい、mali 異なる、特別な。
9. s-in-i-valavalan 巻いて肩に掛ける物にしてゐる、用具主、v-in-alavalan 肩に掛ける、主體主、17行。
12. qoeniqoenc-ai 背の見る物にしよう、位置主、pa-?eqoenc-

can 見える物にする、位置主、14行。
15. aitsu 此、aitsu-a 此の、此處にては、それ敵の意。
21. pa-su-jui-an 刺を取らせる物、位置主、男根、~s-im-u-jui 刺を取る、主體主、jui 刺、IN. dursi.

- ¹ ku[its/ qau azoa jui picoajilupin sa
男根 そこで 其の 刺は 所入壺 而
- ² pajupi /
所貯
- ³ qau tsoatsoaj-aga / "kivavau kivavau"
すると 久 了 酒飲め 酒飲め
- ⁴ ajain 'a qaleqali / qau man'ciz 'a qale-
所言 は 人々 そこで 来 が 人
- ⁵ qali / palitikuin azoa jilup / "aitsu a
々 所取下 其の 壺は 此 共
- ⁶ vava kivavau 'a matsijil" ajain 'a qa-
酒 飲め 共 勝手に 所言 は
- ⁷ leqali / qau azoa vava canu-spac i jilup /
人々 すると 其の 酒は 四杯 に 壺
- ⁸ masa[u 'a qaleqali / 'iluvag 'a vaik 'a
喜 は 人々 我先に 共 行 共
- ⁹ simutsaqœv tazoa jilup / mano sutsaqœ-
去蓋 其の 壺を ところが 所去蓋
- ¹⁰ van 'a jilup / mi[ajap 'a pagats / sa
は 壺 飛 が 蜂 而
- ¹¹ tsaliji azoa qaleqali / 'a navintsa cai-
所刺 其の 人々は 共 既欺 彼
- ¹² maju / qau mavilad azoa qaleqali 'a
を そこで 逃 其の 人々は 共
- ¹³ mapulat /
皆
- ¹⁴ qau 'a cainan jui noa cavuvuk 'a
そこでは 蜜蜂 刺 の 毒 共
- ¹⁵ inaqatian / qau 'a cidiul jui noa lajuju /
所生物 そこでは 蜂名 刺 の 木名
- ¹⁶ qau 'a tsa[ukul jui noa kajuan / qau' a
そこでは 蜂名 刺 の 木名 そこでは
- ¹⁷ laluvor jui a' paqti[in 'a inaqatian /
蜂名 刺 共 雜草 共 所生物
- ¹⁸ qau avan si'a uzai noa pagats tots /
そこで 其だ 理由は 有 の 蜂 今日

れて、しまつて置いた。

暫くして後、[サカボラルは]酒を飲め酒を飲め」といって、人々を招待した。人々が来ると、その壺を下して、此の酒を自分で勝手に飲め、と人々にいつた。而して、その酒は壺に四杯あつた。人々は喜んで、我先にと行つて蓋をとつた。ところが蓋をとると、蜂が飛んで出て、先に]彼を欺いた人々を刺した。人々は皆逃げた。

蜜蜂は毒の刺から出来たもの、チヂ、ウルといふ蜂はラヂュヂュといふ木の刺、而してツァルクルといふ蜂はカヂュイアンといふ木の刺、而してラルグァルといふ蜂は雜[草]の刺から出来たものだ。今日蜂のあるのはさういふ譯である。

1. pi-coa-jilup-in 壺の中に入れる物、客體主、jilup 壺、5行、pi-coa-…の壺に入れる、置く。
3. ki-vava-u, ki-vava 酒を飲む、vava 酒、-u 命令、主體主。
11. cai-maju 其人を、其人に、人代名詞には cai- を用ゐ

る、ti-maju 其人は。
15. in-aqati-an 發生したものの、m-aqati 發生する。
18. si'a <*si-ka …の理由、…の譯、普通共でと譯す、si-用具主の接頭辭。

11. 妻に殺された夫

- 11. valau 'a oqalai 'a qeintsji
配偶 共 男 共 所殺了
noa vavajan
の 妻
- ² uzai a marvalau 'a sitsoajan 'a napin-
有 が 夫婦 共 昔 共 貧
- ⁴ ao[ao]ain / qau nika-ŋa no more kan-
乏者 すると 無了 も 可爲 食
- ⁵ in / qau "kimuda-ŋa icin" aja tiamaju /
物 そこで 可如何 ぞ我等はといふ 彼等は
- ⁶ "maja si'a nika no ca 'itanin / napaq a
如共 故 無 の 我等の 金儲 良 共
- ⁷ vaik a'in a sma coa malaqalan" aja
行 我は 共 赴 處 他の社 といふ
- ⁸ azoa valau 'a oqalai / qau vaik / sa tsoa-
其の 配偶 共 男 そこで 行 而 久
- ⁹ tsoai ini paŋciz aga cumaq /
不 歸 了 家
- ¹⁰ manu uzai a oqalai / 'a rimurucuk
ところが 有 が 男 共 誘惑
- ¹¹ tazoa valau 'a vavajan / "kudain / 'a ini
其の 配偶を 共 女 所可如何 共 不
- ¹² paŋciz aga 'a su valau 'a cisapas / napaq
歸 了 は 汝の 夫 共 前の 良
- ¹³ a timica-ŋa 'a marvalau / anima su
其 我等はだらう 共 互夫婦 何 汝の
- ¹⁴ 'aciŋlajan 'a matsijil" / ajain 'a 'ilavaran
所好 共 一人 所言 共 話
- ¹⁵ 'a pa[ajulu] / "napaq nu maja kudain /
共 常に 宜 若 如共 所可如何
- ¹⁶ 'a ini paŋciz aga 'a 'u valau 'a caisapas"
其 不 歸 了 は 我の 夫 共 前の
- ¹⁷ aja azoa vavajan / qau makakilap aga 'a
といふ 其の 女は そこで 互に 了解 了 は
- ¹⁸ varoŋ niamaju 'a ma[usa / qau ma[ap
心 彼等の 共 二人 そこで 取
- ¹⁹ toa vava / sa a[ap toa kacucup to dusa /
を 酒 而 取 を 竹筒 を 二
- ²⁰ sa kivava tiamaju / qau ma'a kivava
而 飲酒 彼等は そこで から 飲酒

昔貧しい夫婦があつた。而して食べるべき物もなかつた。「我々は如何しようか」と彼等はいつた。「共よ、我々は金を儲ける方法もない。私は他社へ行つた方がよい」と、その夫がいつた。そこで[他社へ]行つて、久しく内へ歸つて来なかつた。

ところが[一人の]男があつて、その妻を誘惑して、「お前の前の夫は歸つて来ない。仕方がない、我々は夫婦にならうではないか、何でお前は一人であるのを好むか」と、いつもさういつてゐた。「其なら宜しい、私の前の夫は歸つて来ない、仕方がない」と、女がいつた。そこで、彼等二人の心は、互に諒解しあつた。而して酒を持出して、竹の杯二つを取つて、彼等は酒を飲んだ。飲んですむと、酒と杯とを寢臺の頭の方に置いて、

4. na-pinao[a-o]a-in 其構れむべき状態になつてゐる者、p-in-ao[a 構れむ、同情する。
6. 'i-tan-in <*ki-tan-in 自分で儲ける物、tan <塞解語、赴 (than) 金を儲ける。
11. kuda-in 其事は如何しよう、客體主、轉じて仕方がないといふ意となる。

12. cisapas <ca-i-sapas, 16行、sapas 以前、先、ca-…より、尙、i-…に在る、…に於ける。
13. ti-mi-ca 我等お互は、ti IN, si; ca IN, ta.
14. 'a-ciŋlaj-an <*ka-ciŋlaj-an 好む所の事、ciŋlaj 好む、主體主。

- ¹ tiamaju / cao[an] ʔa vava atoa kacucup
彼等は 所置 は 酒 と 竹筒
- ² pi qo[ʉ]qo[ʉ] / qau sa qœriŋ tiamaju /
へ 頭の方 そこで 面 寝 彼等は
- ³ manu maŋciz azoa valau ʔa caisapas /
ところが 歸 其の 夫が 其 前の
- ⁴ sa sisivupi noa tsad i ja[an] / “ʔu
面 所偶然出會 の 賊 於 道 我の
- ⁵ katsu-wau su kinatsu / pazujiuli aŋa aʔin
所携 汝の 荷物は 所與實 そ 我は
- ⁶ to [imaidai] aja azoa tsad / “ui katsuu
を 五百 といふ 其の 賊は 宜し 持て
- ⁷ nu maja / ʔu pazujiulai aŋa sun / aja azoa
若 如其 我の 所與實 そ 汝は といふ 其の
- ⁸ valau caisapas ʔa oqalai / qau katsuin
配偶は 前の 其 男 そこで 所携
- ⁹ noa tsad / ʔa pasa coa tapau nimaju /
の 賊 其 方 處 家 彼の
- ¹⁰ minto² kivavavava azoa valau ʔa vavajan
見ると 飲酒してある 其の 配偶は 其 女
- ¹¹ atoa oqalai ʔa zuma / qau cao[an] noa
と 男 其 他人 そこで 所置 の
- ¹² tsad pagalu azoa nanimanimaja / qau
賊 徐に 其の 物は そこで
- ¹³ ʔa tsad / “naŋaŋ ʔeqela-ʔin imaza eqoma-
は 賊 好い 隠 我は 此處に 屋内
- ¹⁴ qan / qau nu taqœd tiamaju / tsimakau
そこで 時 眠 彼等は 盜
- ¹⁵ aŋa aʔin toa nanimanimaja / sa ʔu
のだ 我は を 物 而 我の
- ¹⁶ kavijad aŋa nusaoni” aja timaju / qau
逃 だ 後刺 と思 彼は そこで
- ¹⁷ ʔeqela i coa misulima[iman] /
隠 に 處 暗い
- ¹⁸ qau ini ʔa tsoai / maŋciz azoa valau
すると 不 其 久 歸來 其の 夫は
- ¹⁹ ʔa caisapas / manu pacarakilaŋ azoa
其 前の ところが 勸付 其の
- ²⁰ valau ʔa civi[il] ʔa oqalai / to more maŋ-
配偶は 其 後 其 男 ことを 將 歸
- ²¹ ciz azoa valau ʔa caisapas / qau migatsal
來 其の 夫が 其 前の ところで 起上

彼等は寝た。
ところが、前の夫が歸つて来たが、彼
は[途中で、一人の]賊に出會つた。賊は
「私は、お前の荷物を持つてやらう。私
に貸銀五百文を呉れ」といつた。前の
夫は「よし、其なら持つて行け、私はお前
に貸銀をやらう」といつた。而して賊
は「先に荷物を」彼の家に持つて行つた。
見ると、妻が他の男と酒を飲んでゐた
ので、賊は荷物をしづかに置いた。而
して賊は「私は此の家の内に隠れてゐ
よう。而して彼等が寝た時、物を盗ん
でやらう。それから逃げよう」と思つ
た。そこで暗い處に隠れてゐた。
すると問もなく、前の夫が歸つて來
た。ところが後の夫は、前の夫が歸つ
て來ることを勸付いた。そこで起上
つて、寢臺の下へ行つた。前の夫は歸

1. cao[an] <cao[an] 其物を持つて行つて置く、用具主。
11行. c-im-aŋa 置く、主體主。
4. si-tsiwup-i noa tsad 思はず賊の出會ふ所となる、客
體主、前夫. si-tsiwup-an ʔa tsad 人が行つて思はず
賊に出會ふ、客體主、賊 tsad <臺語語、賊 (chhat).
5. katsu-w-au 現實未來、客體主、荷物. k-in-atsu 一般過

去、客體主、携へてある物、荷物. 5行. katsu-u 命令、主
體主. 6行. katsu-in 一般現在、客體主、荷物. 8行.
pa-zujiul-i 報酬を與へよ、位置主、我. zujiul 報酬、賃
金. pa-zujiul-ai 報酬を與へよう、位置主、汝. 7行.
13. eqomaq-an <ʔi-omaq-an (?) 屋内. Mal. rumah, 家.
19. pa-cara-kilaŋ. cara 大概、大抵、~k-im-ilan 知る、

- ¹ sa vaik ʔa sma patikutiku toa taktak /
而 行 共 赴 下 の 寢臺
- ² qau maŋciz azoa valau ʔa caisapas ʔa
すると 歸 其の 配偶は 其 前の 其
- ³ oqalai / qau nataqœd aŋa azoa vavajan /
男 すると 既寝 了 其の 妻は
- ⁴ qau tigain aŋa nazoa valau ʔa caisapas
そこで 所使起 了 の 夫 其 前の
- ⁵ azoa vavajan / qau patsigid azoa vava-
其の 妻は すると 醒 其の 妻は
- ⁶ jan / “aqo uzaj-a vava atoa kacucup
何故 有が 酒 と 竹筒
- ⁷ imaza” ajain ʔa vavajan / “ui aŋata / nu
此處に 所言は 妻 はいやはり 時
- ⁸ kiman aʔin / ʔu sipazikazikac sun ʔa
食 我は 我の 準備の目的 汝は 其
- ⁹ pa[aju]aju” aja maitazoa / ʔa ʔilavaran
常に といふ 如其 其 話
- ¹⁰ azoa vavajan / qau palitiku azoa vava-
其の 妻は そこで 下ろす 其の 妻は
- ¹¹ jan / sa kivava tiamaju / qau ta[avan]
面 飲酒 彼等は そこで 所注入
- ¹² toa vava azoa oqalai / mapo[au] aravats
を 酒 其の 夫は 醉 甚
- ¹³ maipoq aŋa /
倒 了
- ¹⁴ qau azoa tsad atoa valau ʔa civi[il] ʔa
そこで 其の 賊 と 配偶は 其 後の 其
- ¹⁵ oqalai / avantazoa kivavavava-nan ʔa
男 其の時に 飲酒してある 向 が
- ¹⁶ ma[usa] / naʔeqela i patikutiku toa tak-
二人 既に隠 に 下 の 寢
- ¹⁷ tak ʔa ma[usa] / i coa misulima[iman] /
臺は 二人 に 處 暗
- ¹⁸ mano uzaj-a jorekuku i ta[aj] toa tak-
ところが 居 が 難 に 中 の 寢
- ¹⁹ tak / mano sakatsuin noa tsad / zimaip /
臺 丁度 所觸 の 賊 暗
- ²⁰ qau marikuc to jumakin azoa tsad /
そこで 恐 を 成所發見 其の 賊は
- ²¹ “la qo[ʉ]qo[ʉ] aʔin” aja timaju / minto²
行 頭の方 我は と思 彼は 怒

つて来た。その妻は寝てゐた。そこ
で前の夫が妻を起すと、妻は目を醒し
た。「何故此處に、酒と盃とがあるのか」
と妻にいつた。妻は「さうです、[それは]
私が食べる時は、いつもお前の爲に準
備するのです」と、さういつて話した。
そこで妻は[馳走を]下して、彼等[二人]で
酒を飲んだ。[妻は]夫に無理に酒を飲
ませた[ので、夫は]大變酔つて倒れた。

ところが、あの賊と後の夫とは[妻と
前の夫と]二人が、まだ酒を飲んでゐた
其時は、寢臺の下に隠れて、二人共暗い
處に居た。ところが[思掛ない事に]寢
臺の中に難が居たので、賊がつい其に
當つた爲に、難が暗いた。そこで、賊は
見つかるのを恐れて、「寢臺の頭の方へ
行かう」と思つた。すると賊の頭と、後

4. tiga-in 其人を起す、客體主、妻. t-im-iga 起す、主體
主。
8. si-pazika-zikac 人の爲に準備しておく、用具主、汝。
11. ta[av]-an 人に無理に飲ませる、位置主、夫. t-im-a[au]
竹筒に水を注送むなど。

19. sakatsu-in 其物に一寸ぶつかる、客體主、難. s-im-
akatsu 主體主。
20. jumak-in 人の見附ける所となる、客體主、賊. j-im-
umak 主體主。

- ¹ mapatsatsagsag ?a qo?o ato azoa qo?o
互衝突 が 頭 と 其の 頭
- ² na valau ?a civilil ?a oqalai / qau azoa
の 配偶 其 後の 其 男 そこで 其の
- ³ tsad "aqo uzai a tsautsau imaza" aja
賊は 何故 有 が 人 此處に と思
- ⁴ azoa tsad / "napaq a vaik a'in ?a sma
其の 賊は 好 其 行 我は 其 赴
- ⁵ azoa i ca ?eqomaqan ?a ?eqela " aja
彼方 へ 方 奥 其 隠 と思
- ⁶ timaju / qau avanazoa valau uta civilil
彼は すると 其人 配偶 亦 後の
- ⁷ ?a oqalai / "napaq a vaik a'in sma azoa
其 男 好 其 行 我は 赴 彼方
- ⁸ i ca ?eqomaqan ?a ?eqela " aja timaju /
へ 方 奥 其 隠 と思 彼は
- ⁹ manu izoa-pa tsad / ?a na?eqela / ma-
ところが 居其處了 賊が 其 既に隠 互
- ¹⁰ tsatsagsag anan ?a qo?o / qau vaik azoa
衝突 再び が 頭 そこで 行 其の
- ¹¹ tsad uta ?a sma [aukup / azoa valau ?a
賊は 又 其 赴 二階物置 其の 配偶は 其
- ¹² civilil ?a oqalai / "uzai a tsautsau imaza
後の 其 男 居 が 人 此處に
- ¹³ uta / napaq a vaik a'in ?a sma-zoa i
亦 好 其 行 我は 其 赴彼處に
- ¹⁴ [aukup ?a ?eqela " aja / qau vaik minto?
二階物置 其 隠 と思 そこで 行 忽
- ¹⁵ mapatsatsagsag anan ?a qo?o uta / "i:
互衝突 再 が 頭 又 おや
- ¹⁶ aqo uzai a tsautsau imaza uta " aja-zoa
何故 居 が 人 此處に 亦 と思 其の
- ¹⁷ tsad / "masa namapiloq toa tsautsau coa
賊 或 既充滿 で 人 處
- ¹⁸ imaza " aja-zoa tsad / migirgirgir apa
此處 と思 其 賊は 震へる 了
- ¹⁹ to rikucan /
爲 所恐
- ²⁰ mano mapo?au aravats aza valau ?a
ところが 酔 甚 其の 配偶 其
- ²¹ caisapas ?a oqalai qau taqed apa / qau
前 其 男 そこで 眠 了 すると
- ²² likatsawan apa azoa valau ?a civilil ?a
出現 了 其の 配偶は 其 後の 其

11. [aukup <臺灣語、樓健、(lau-kong) 二階の梁。
17. na-ma-piloq 充滿してある、Mal. penuh 充滿。

の夫の頭とぶつつかつた。賊は何故
此んな處に、人なんかゐるのかしらん]
と思つて、「今度は、彼處の奥の方へ行つ
て、隠れてやらう」と思つた。すると後
の夫も亦、「同じやうに」彼處の奥の方へ
行つて、隠れてやらうと思つて、其處へ
行つた。ところが、賊がもう其處に隠
れてゐたので、頭が又衝突した。そこ
で賊は又、二階の物置へ行つた。後の
夫は、「此處にも人が居る、私は二階の物
置へ行つて、隠れてやらう」と思つた。
而して、其處へ行つて見ると、又頭がぶ
つつかつた。賊は「おや、何故だらう、此
處にも人がゐる、此處は人で一杯なの
か知らん」と思つた。賊は、恐ろしくな
つて、其の爲に震へ上つた。

[妻と飲んでゐた]前の夫は、大變酔つ
たので、眠つてしまつた。すると、後の
夫が出て來た。そして女に、「汝は如何

20. aza <azoa 其の、あの、

- ¹ oqalai / qau "more kimoda sun / more
男 そこで 欲 爲如何 汝は 欲
- ² kamajan sun ?a povalau toa su valau ?a
其儘 汝は 其 爲配偶 を 汝の 夫 其
- ³ caisapas / kimoda " ajain azoa vavajan /
前の 爲如何 所言 其の 女は
- ⁴ la?oa "nika / timica-jaj-apa ?a marvalau /
併 無 我等 こそれ 其 夫婦
- ⁵ ca qoetsiaw-apa azoa ?u valau ?a caisa-
我等の 所可殺 そ 其の 我の 夫は 其 前の
- ⁶ pas / aja azoa vavajan / qau "ca kudain
といふ 其の 女は そこで 我等の 所可如何
- ⁷ ?a qoemtsi / sa ini kilap to tima ?a
は 殺 而 不 判明 ことを 誰 は
- ⁸ naqoemtsi " aja tiamaju / ?ilavaran ?a va-
既殺者 といふ 彼等は 話 は
- ⁹ vajan / "azoa mapo?au / ca sia?apan toa
女 其の 酔者 我等の 所取 を
- ¹⁰ bupbup / sa ca pizoai toa qacuvi / qau sa
火吹竹 而 我等の 所入 を 蛇 そこで 而
- ¹¹ ca tsagii toa sapui ?a iku: noa qacuvi /
我等の 所結 で 火 は 尾 の 蛇
- ¹² qau i: minto?oq apa azoa qacuvi ?a sma
すると エー 走 そ 其の 蛇は 其 赴
- ¹³ coa cial nimaju / aja tiamaju ?a mala-
方 腹の 彼の といふ 彼等は 其 相談
- ¹⁴ var / qau aitazoain ?a qoemtsi azoa valau
そこで 所爲如何 其 殺 其の 夫は
- ¹⁵ ?a cisapas / qau ?a tsad ?eqoeniqoenic
其 前の すると は 賊 見てゐる
- ¹⁶ tazoa ma?usa ?a palita?ata?aj toa qacu-
其の 二人を 其 入れてゐる を 蛇
- ¹⁷ vi / qau marikuc apa azoa tsad to si?a
そこで 恐 了 其の 賊は 其を 故
- ¹⁸ uzai apa tsautsau eqomaqan ?a namatsaj-
有 了 人 家内に 其 既死者
- ¹⁹ apa / minto?oq apa litsasau / qau malia-
了 走 了 行外 すると 夜明
- ²⁰ na / manu kimilap ?a mazazapilan to
了 ところが 知 が 顔目 ことを

しようと思ふか。汝は前の夫と、元通
り夫婦にならうと思ふか、如何かとい
つた。併し女は、「そんな事はない、我々
は夫婦にならう。私の前の夫は殺し
てやらう」といつた。「扱、誰が殺したか
判らない様に殺すには、我々は如何し
よう」と、彼等はいつた。女は、「其の酔つ
てゐる者は、我々は火吹竹を持つて來
て、蛇を其の中に入れよう。[其を、彼の
口の處へもつていつて]、火を以て蛇の
尾を暖めよう。すれば其の蛇は、彼の
腹の中へはひるだらう」といつて、二人
が相談した。而して、さういふ風に
して、前の夫を殺した。ところが、賊は二
人が蛇を入れるのを見てゐた。賊は、
家の内に死人が出來たので、恐ろしくな
つて、外へ走り出た。其の中、夜が明け
た。ところが、顔目は死人のあつたこ
とを知つた。そこで、行つて、其の妻に
問うた。併し[妻は]殺した人は誰だか

5. qoetsi-au 其人を殺さう、現實未來、客體主、前夫、q-cem-
tsi 殺す、主體主、7行、na-q-cem-tsi 殺した人、下手人、
主體主、8行。
9. si-alap-an 人の爲に取る、用具主、酔者、m-alap 取る、
主體主。
10. p-i-zoa-i 其處に物を入れる、置く、位置主、p-i-zoa 其處

に入れる、置く、主體主、i-zoa 其處に在る。
11. tsagi-i 其物を焙る、客體主、尾、ts-im-agi 火を近づけ
て焙る、主體主。
12. i: 氣味の悪い時の感動詞。
14. ai-tazoa-in 其様にする、客體主、夫、mai-tazoa 其様な
事、物。

- ¹ uzai ?a namatsai ?a tsautsau / qau vaik
有 が 既死者 共 人 ところで 行
- ² a ?ivadaq tazoa valau ?a vavajan / la?oa
其 間 其の 配偶に 共 女 併
- ³ "kimilap to tima ?a naqoemtsi" aja
知 ことを 誰 は 殺した人 といふ
- ⁴ maitazoa cimupal /
如其 告
- ⁵ manu vaivaik azoa mazazanilan ?a sma
或時 丁度行 其の 頭目は 共 赴
- ⁶ kavoavoan / sitsivupan ?a tsad / "aqo
島 偶然所出會 は 賊 何故
- ⁷ ini su puvalavalau / tia?in aja ?isan
不 汝の 妻をもつてゐる 我 こそ共 成
- ⁸ mui?ap canusun" ajain azoa tsad / minto?
媒 汝に 所言 其の 賊は 忽
- ⁹ valjivis azoa tsad / "marikuc a?in ?a
振首 其の 賊は 恐 我は 共
- ¹⁰ povalau / uzaj-apa ?u lini?lipan ?a pa-
娶妻 有 了 我の 所見了 は
- ¹¹ lita[ata]ajan toa qacuvi / sa patsaj-apa /
入れてある所 を 蛇 而 殺了
- ¹² avan ?u si?a rikuc ?a povalau" aja-zoa
共 我の 故 恐 共 娶妻 といふ 其の
- ¹³ tsad / qau sa cumal to tima ?a lini?li-
賊は ところで 而 告 ことを 誰 は 所見了
- ¹⁴ pan / qau kimilap apa azoa mazazanilan
そこで 知 了 其の 頭目は
- ¹⁵ to tima / qau qoetsin apa-zoa vavajan
ことを 誰 ところで 所殺 了 其の 女
- ¹⁶ atoa oqalai ?a lima?usa /
と 男は 共 二人共

知るものかと、さう告げた。

或時その頭目が島へ行つてゐると、
偶然[その]賊に出會つた。[頭目が]汝は
何故妻をもたないか。私は汝の爲に、
媒人になつてやらうといつた。する
と、賊は首を振つて、私は妻を取るの
は眞平だ。私は、蛇を入れて[夫を]殺して
しまつた妻を見たことがある。私が、
妻を取るのを恐がるのは、さういふ譯
だといつた。而して、その見たのは、誰
だといふことを告げた。それで、その
頭目は[先の下手人は]誰であつたか、と
いふことを知つて、その女と男とを、二
人共殺してしまつた。

12. namiploq toa lima ?a
切斷した者 を 手 共
sicakuvkuvul
上蕃の人

- ²¹ uzaj-aza mar?alalak ?a maspac / manu
有 あの 親子 共 四人 ところが
- ²² vaik a kina ?a sma kavoavoan / qau
行 は 母 共 赴 島 ところで

8. mui?ap < 臺灣語, 媒人 (mui-lang).
10. l-in-iglip-an 見た物, 過去, 客體主. l-im-iglip 見る, 主
體主.

12. 手を切斷した
上蕃の人

四人の親子が有つた。ところが、母
は島に行つた。三人の子供は[内に]残

19. na-mi-ploq 切斷した者, 主體主. ?i-ploq-an 自分で
切斷する物, 客體主, 手. 179頁, 21行.

- ¹ ?ajoqoen azoa kakiqian ?a maci?u / qau
所殺置 其の 子供は 共 三人 ところで
- ² ?ilavaranan noa kina / "maja marivu-
所話 の 母 勿 互に喧
- ³ rivu" ajain / sa vaik ?a sma kavoavoan /
噂 所言 而 行 共 赴 島
- ⁴ manu ?iau ?a si?si?an noa kina / qau
ところが 多 は 仕事 の 母 ところで
- ⁵ si?uman apa aravats / qau qoemaqaon
暗 了 共 ところで 泣いてゐる
- ⁶ apa ?a kakiqian /
了 は 子供
- ⁷ manu ?imadi?a ?a sicakuvkuvul /
ところが 聞 が 上蕃の人
- ⁸ "nanaq ?a ?u vaikin ?a kiman" aja
良 は 我の 所行 共 食 といふ
- ⁹ sicakuvkuvul / qau vaikin sa tsagtsagi
上蕃の人 ところで 所行 而 所叩
- ¹⁰ ?a soqoelivan / sa "soqoelivi" ajain azoa
は 戸 而 所開ぞ 所言 其の
- ¹¹ kakiqian / la?oa ini soqoelivi / rimi?oe-
子供は 併 不 所開 強ひてする
- ¹² roeq azoa cakuvkuvul to sma qomaqan /
其の 上蕃の人は ことを 赴 屋内
- ¹³ ini soqoelivi apata / "ti caina a?in pa-
不 所開 やはり 汝等の母 我は
- ¹⁴ saqomaqanu a?in" ajain ?a vintsa / "no
所入屋内ぞ 我は 所言 共 偽 若
- ¹⁵ ti ina sun / pasuksukan ?a su ?ima totsua
母 汝は 所突入ぞ は 汝の手 此の
- ¹⁶ biroq" ajain / qau sipasuksuk ?a paqolid
孔に 所言 ところで 所突入 共 本當
- ¹⁷ ?a ?ima / minto? ini ?a ?ima noa kina /
は 手 見ると 非 其手 の 母
- ¹⁸ qau ?icakalupan noa kakiqian / sa more
そこで 所離下 の 子供 而 將
- ¹⁹ vitsi?oqoen / qau no ?avilvilin nazoa
所折 ところで 離 所引 其の
- ²⁰ sicakuvkuvul / ini apa mavilvil / qau
上蕃人の 不 了 能引 ところで
- ²¹ ?ipdoqan apa ?a ?ima / sa kaviljad
自分所切斷 了 は 手 而 逃

して置いた。その時母は[喧嘩をして
はいけない]といつて、島へ行つた。と
ころが、母の仕事は多かつた。それで、
夕方大變暗くなつて[も、歸つて來ない
ので]、子供は泣いてゐた。

すると、上蕃の人が共を聞いて、「私が
行つて、食つてやらう」といつた。而し
て行つて、戸をヨツヨツ敲いて、「開けて
くれ」と、子供にいつた。併し、[子供は]開
けなかつた。上蕃の人は、無理に家に
入らうとしたが、やはり開けなかつた。
[彼は]偽つて、「私はお前等の母だ。私を
内に入れよ」といつた。「若しお前が母
なら、お前の手を此の孔へ突こんで、此
方へ出せ」といふ。すると、彼は本當に
手を突こんだ。見ると、母の手ではな
かつた。それで子供等は[其の手に]ぶ
ら下ると[手が]折れさうになつた。上
蕃の人はいくら引ばつても、引ばれな
いので、到頭自分で手を切斷して、逃げ

1. ?ajoq-oen 其人を残して置く, 客體主, 子供. ?majoq
殘す.
10. so-qoeliv-an 聞く處, s-im-o-qoeliv 戸を開く, q-tem-
iliv 開す, so-qoeliv-i 共を開け, 客體主, ini so-qoeliv-i
共を開かぬ, 客體主. 13行.

13. pasa-qomaq-an-u 家の内へ入れよ, 客體主, 我.
15. pa-suksuk-an 物を突入れよ, 用具主, 手. si-pa-suksuk
突入れる物, 用具主, 手. 16行.
19. ?avilvil-in < *ka-vilvil-in 物を引張る, 客體主, 手.
ma-vilvil 引張られる状態にある, 主體主, 手. 20行.